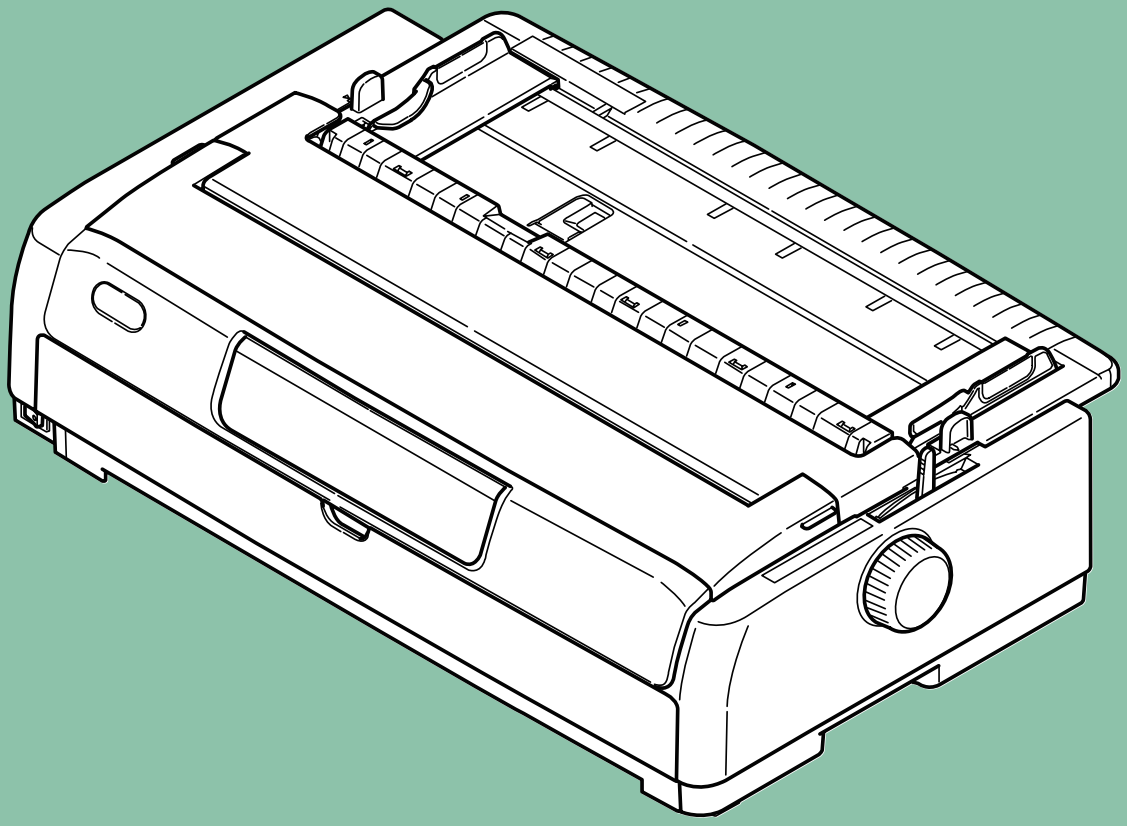


ユーザーズマニュアル

セットアップと使い方編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE 5460HU2
MICROLINE 8460HU2

◯ このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
◯ 本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

目次へ　次へ　戻る　索引へ　検索する

はじめに

このたびは、沖データの MICROLINE 5460HU2/8460HU2 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、本ユーザーズマニュアルをよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。

お読みになった後は、いつでも見られるように大切に手元に保管してください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

△記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。
△の中に具体的な警告内容が描かれています。
（左図の場合は、「感電注意」を表します。）

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
○の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、「分解禁止」を表します。）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、「アースを接続してください。」を表します。）

お客様登録について

ご購入いただきました MICROLINE　5460HU2/8460HU2 を長く快適にお使いいただくためのサポート情報をご提供する為に、お客様登録をお願いしております。
ご登録いただきますと製品に関するお知らせや、ご使用方法に関する情報等お役立ち情報ををお届けします。

お客様登録の方法

＜郵送で登録する場合＞

製品に同梱されている「保証書 / ご愛用者登録カード」の登録カード部分へご記入の上、弊社宛に折り返しご返信ください。

＜弊社ホームページより登録する場合＞

インターネットから弊社ホームページ（http://www.okidata.co.jp）へアクセスし、お客様登録（ご愛用登録）ボタンを押していただき、登録をお願いいたします。

諸注意

電波障害防止について

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

なお、オプションのネットワークカードを使用した場合、この装置はクラス A 情報技術装置になり、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品を廃棄する場合の注意

お買い上げいただいた製品の廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。
一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一記載もれなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

各会社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。
ESC/P は、セイコーエプソン（株）の登録商標です。
Microsoft、Windows、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
MICROLINE は株式会社沖データの商標です。

マニュアルの版権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行ってはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2011 Oki Data Corporation

使用許諾契約

プリンターに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社 沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社 沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンターを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することができます。

2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。

3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   （1）本ソフトウェアに対応する沖データプリンターと一緒に譲渡する。
   （2）本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   （3）当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
   また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。
   お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。

4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。

5. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
   （1）本ソフトウェアを使用することによってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   （2）本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
   （3）第三者の権利を侵害していないこと。
   （4）特定の目的に適合していること。
   またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。

6. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 5460HU2/8460HU2 → ML5460HU2/8460HU2
- Microsoft® Windows® 7 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows 7（x64 版）※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 R2 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008（x64 版）※
- Microsoft® Windows Vista TM x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Vista（x64 版）※
- Microsoft® Windows　Server® 2003　x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003（x64 版）※
- Microsoft® Windows®　XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP（x64 版）※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows Vista TM operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008、Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP、Windows2000 の総称→ Windows

※特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Server 2008、Windows Vista、Windows Server 2003 と WindowsXP には 64bit 版も含みます。

マーク

注意　プリンターを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

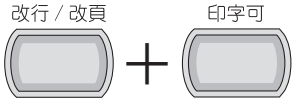
メモ　プリンターを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書の見方

本書の内容は、大きく分けて次の 7 つの構成になっています。

第1章～第2章	ご使用上の注意、プリンターの設置からテスト印刷、コンピューターとの接続について説明します。
第3章	プリンターの基本的な使い方と、使用可能な用紙と用紙のセット方法について説明します。
第4章	プリンタードライバーの設定方法とプリンタードライバーを使った印刷方法について説明します。
第5章	プリンターの設定項目について説明します。
第6章	プリンターオプション品の取り付け方と使い方について説明します。
第7章～第8章	メンテナンス方法、困ったときの処置方法について説明します。
付録	ユーザーサポートサービスとプリンターの仕様について説明します。

図の表記のしかた

	「印字可」スイッチを押します。
	「改行 / 改頁」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。

目　次

1. ご使用前に必ずお読みください 11

設置条件 11
電源を入れます 13
プリンター各部の名称 15

2. セットアップします 17

セットアップの流れ 17
製品の確認 18
付属品を取り付けます 19
電源コードを取り付けます 24
テスト印字をします 25
インターフェースのオプション品の取り付け、取り外し 26
ケーブルを接続します 29
ネットワークカードをセットアップします 30
USB 接続で Windows にセットアップします 31
動作環境 32
プリンタードライバーをインストールします（USB 接続） 33
パラレル接続で Windows にセットアップします 35
動作環境 36
プリンタードライバーをインストールします（パラレル接続） 37
プリンタードライバーを削除します 40

3. プリンターの基本操作 43

操作パネルの使い方 43
カット紙（単票）をセットします 46
連続紙をセットします 51
用紙規格および印字範囲 63
用紙の厚さに応じた調整方法 77
スリープモード（節電モード）への切り替え 78
静音 / 高静音印字モードで印刷します 79
単票用紙の頭出し位置を選択します 80

4. 印刷します 81

プリンタードライバーの設定 81
印刷します 84
途中で印刷を停止するには 86

5. プリンターの設定を変更するには 87

現在の機能メニュー項目の設定を確認します 87
機能メニュー項目一覧 88
現在の調整メニュー項目の設定を確認します 100

6. オプション～取り付けから使い方まで～ 107
カットシートフィーダー 107
プッシュトラクタ 112
プルトラクタ 115
ダブルトラクタ 120
ロールペーパースタンド 134
RS232C ボード 138
ネットワークカード 140

7. 困ったときには 143
LED ランプが点灯・点滅しているとき 143
（アラーム表示がでたときは） 143
紙づまりしたとき 144
問題が発生したとき 152

8. メンテナンスをします 159
リボンカートリッジを交換します 159
インクリボンを交換します 161
プリンターのお手入れをします 168
プリンター内部を清掃します 169
カットシートフィーダーの清掃のしかた 170

付　録 171
消耗品・オプション一覧 171
プリンター仕様 173
プリンターソフトウェア CD-ROM の内容 174
ユーザーサポートサービスについて 175

索　引 179
索　引 179

活用編の内容

活用編は「プリンターソフトウェア CD-ROM」に格納されています。

1. 便利な印刷機能 7

プリンターの調整項目 7
用紙の頭出し位置を補正します 7
連続紙のカット位置を補正します 8
プリンターの便利な機能 9
1 文字目の印字位置を設定します 9
1 文字目印字位置をリセットします 11
メニュー情報の選択をします 11
HEX ダンプをとります 12
バーコードの印字をします 13

2. Windows ソフトウェア 17

OKI DIPUS（OKI Dot Impact Printer Utilities）を使います 17
動作環境 17
インストール方法 17
ステータスモニター 19
メニューの設定を変更します（メニュー設定ユーティリティー） 22
設定手順 24
頭出し位置を調整します（TOF 設定ユーティリティー） 25
スイッチ機能を制限します（スイッチ設定ユーティリティー） 27

3. Windows 95/98/Me/NT4.0 のプリンタードライバーを使用します 29

USB 接続でセットアップします 29
動作環境 30
プリンタードライバーをインストールします（USB 接続） 31
Windows Me の場合 31
Windows 98 の場合 34
パラレル接続でセットアップします 38
動作環境 39
プリンタードライバーをインストールします（パラレル接続） 40
Windows Me の場合 40
Windows 98 の場合 43
Windows 95 の場合 46
Windows NT4.0 の場合 50
プリンタードライバーの設定 51
Windows Me/98/95 の場合 51
Windows NT4.0 の場合 52
印刷します 55
途中で印刷を停止するには 57

4. シリアルインターフェースの設定を変更します 59

現在の設定を確認します 59
シリアルインターフェース項目一覧 60
シリアルインターフェースメニュー項目一覧 60

設定を変更します 61
設定を変更します 61
設定を初期化します 62

5. Windows プリンタードライバーを使用しないお客様へ 63
Windows プリンタードライバーを使用しない（DOS 環境で使用したい）お客様へ 63

6. 付　録 65
書体のサンプル 65
印字仕様 66
文字種類 66
文字の大きさ 66
印字間隔 66
1 行最大印字数 66
印字速度 66
改行間隔 66
パラレルインターフェース仕様 67
コネクターおよびケーブル 67
パラレルインターフェース信号 67
パラレルインターフェースタイムチャート 68
USB インターフェース仕様 69
コネクターおよびケーブル 69
USB インターフェース信号 69
仕様 69
シリアルインターフェース仕様 70
コネクターおよびケーブル 70
シリアルインターフェース信号 70
プリンターの初期状態 71
Windows プリンタードライバーの印字範囲 72
ANK 文字コード表 79
拡張グラフィックスセット 79
カタカナセット 79
国際文字セット 80
漢字コード表 81
JIS 第 1 水準 81
JIS 第 2 水準 84
コントロールコマンド一覧表 87
拡張コントロールコマンドの仕様 91

索　引 93

（MEMO）

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度：5 ～ 35℃
  周囲湿度：20 ～ 80% RH（相対湿度）
  （ただし、印刷精度保証条件は、15℃～ 30℃ , 40%～ 70% RH）
- 結露しないように注意してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

- プリンターの排気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニターやテレビの画面ゆれにつながりますので、モニターやテレビから離して設置してください。
- プリンターを移動するときは、プリンターの両側を持ってください。

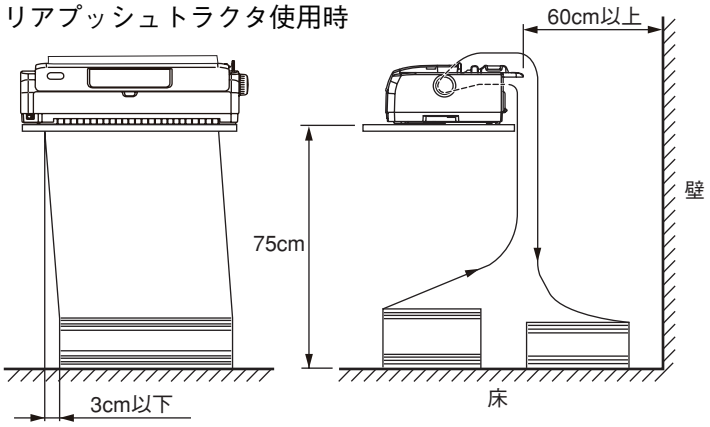
1

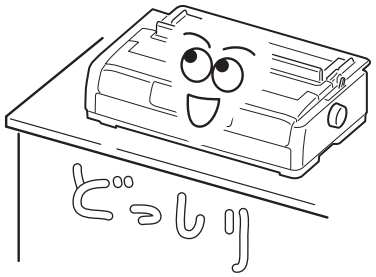
条件

◎直射日光のあたる場所やヒーターなどの熱器具の近くは避けてください。
◎衝撃を与えたり、衝撃や振動の加わる場所は避けてください。
◎急激な温度変化のある場所は避けてください。
◎ジュータンを敷いた場所は避けてください。静電気障害の原因になります。
◎湿気やほこりの多い場所は避けてください。
◎フロッピーディスクを乗せると、フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。
◎強い電磁界、腐食性ガスの発生する場所は避けてください。
◎近くでラジオを聞く場合、周波数によっては雑音が入ることがあります。

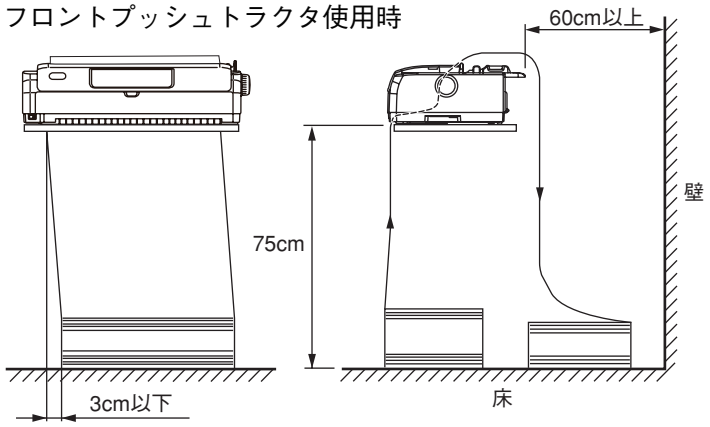
プリンターは、水平で安定した台の上に設置してください。また、操作、日常の点検および消耗品の交換など、プリンターの性能を維持する作業を行うために下記の設置スペースを確保してください。

リアプッシュトラクタ使用時

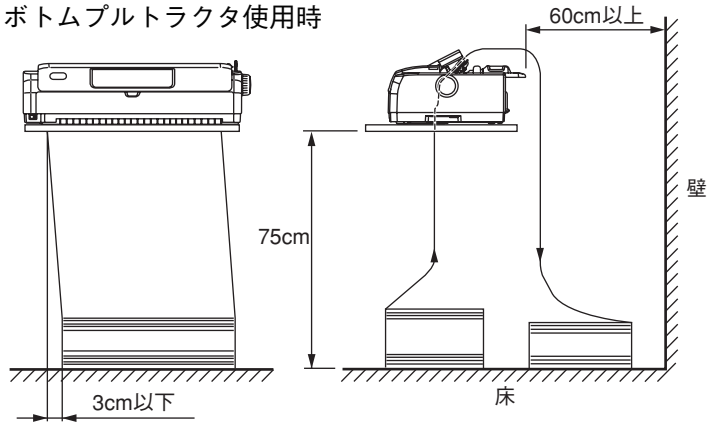




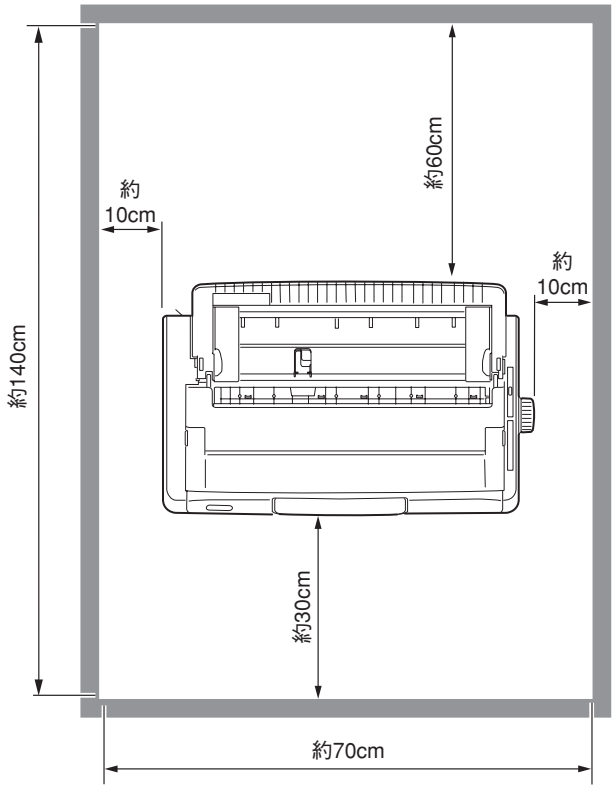
フロントプッシュトラクタ使用時



ボトムプルトラクタ使用時



設置スペース



◎プリンターの通風口をふさいだり、風通しの悪い場所は避けてください。
◎プリンターを設置する台、机は、プリンターの振動で動く場合がありますので、キャスター付きのものは避けてください。
◎CRT の近くは避けてください。電磁界の影響により、画面に歪みが発生することがあります。

電源を入れます

動作環境

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）: 100V ± 10%
  電源周波数 : 50Hz または 60Hz ± 2%
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンターの最大消費電力は約 300W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

電源に関する注意

⚠警告	火災や感電の恐れがあります。	

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンターと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダーなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンターが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルターかノイズカットトランスを使用してください。
- 本プリンターに添付の電源コードを使用してください。他の製品用の電源コードは使用しないでください。
- 本プリンターに添付の電源コードは、本プリンター専用です。他の製品には使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 12A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンターが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- プリンターの電源スイッチを OFF にしてから再び ON するときには、5 秒以上待ってから ON してください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

◎ 電源は必ず AC100V（50Hz または 60Hz）を使用してください。
◎ オプションを取り付けるときは、電源を「OFF」してください。
◎ 電源コードの抜き差しは、必ず電源を「OFF」し、電源プラグを持って行ってください。
絶対に電源コードを引っ張らないでください。
◎ 雷が鳴っているときは電源を「OFF」し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
◎ プリンターとコンピューターを接続するときは、両方の電源を「OFF」してください。
◎ 長時間プリンターを使用しないときは、電源を「OFF」してください。

⚠警告	火災の恐れがあります。	
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長時間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	

ご使用時の注意

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源をいれたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換などをしないでください。
プリンターが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

⚠注意	装置が壊れる恐れがあります。	

プリンター内部にクリップなどの異物を落とさないでください。
もし、落ちてしまったときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解しないでください。故障の原因になります。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドやその周辺が高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。

注

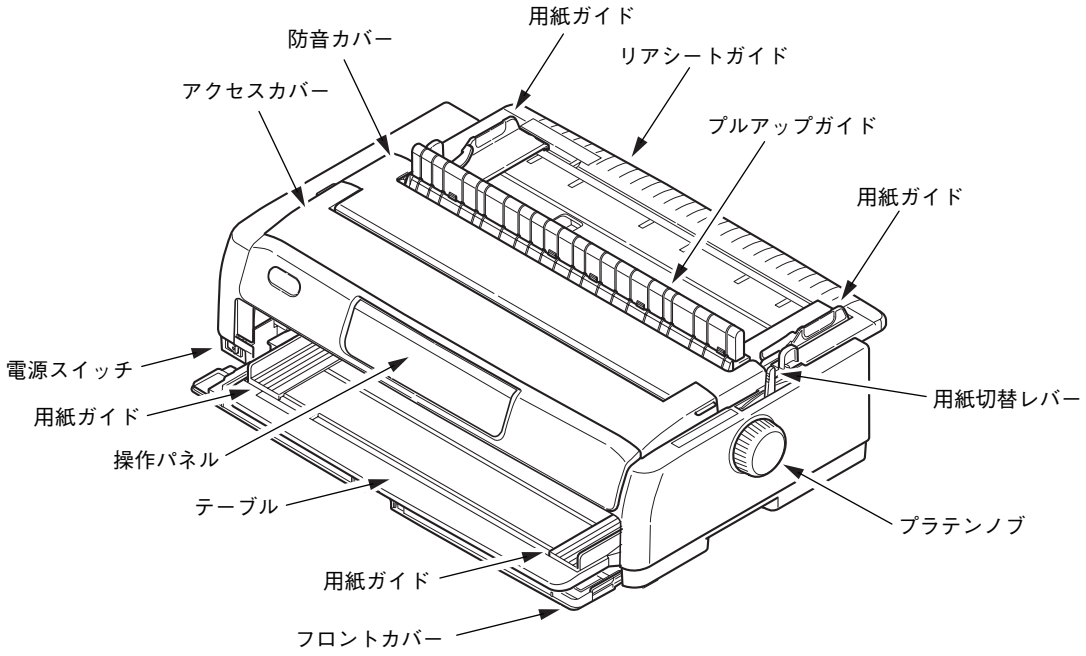
- 用紙やリボンカートリッジが無い状態では、絶対に印字させないでください。また、用紙幅以上の領域にも印字させないでください。
  印字ヘッドの寿命低下や、破損の原因になります。
- インクリボンとリボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- 印字が薄くなったり、インクリボンがほつれたりした場合には交換してください。包装を解いたリボンカートリッジは長時間放置すると寿命が短くなります。
- リボンカートリッジ交換後は、インクリボンがたるんでいないことを確認してください。たるんでいる場合は、つまみを矢印方向に回してたるみをとってから動作させてください。
  詳細は、「リボンカートリッジを取り付けます」（21 ページ）を参照してください。
- 用紙は、仕様に合ったものを使用してください。用紙詰まりや印字精度低下等の原因となります。詳細は、「用紙規格および印字範囲」（63 ページ）を参照してください。

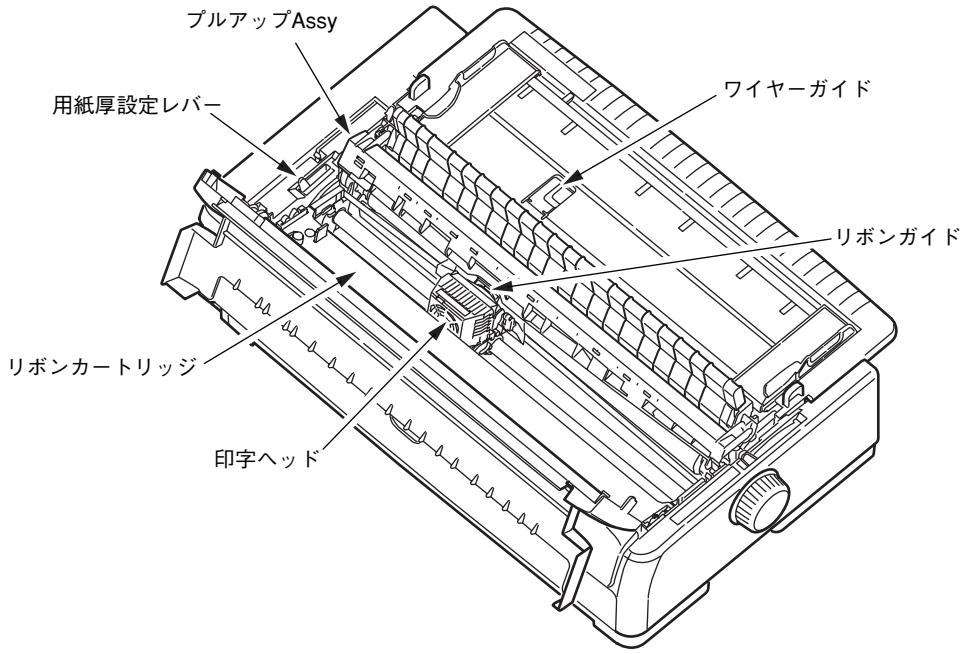
故障や異常のときは

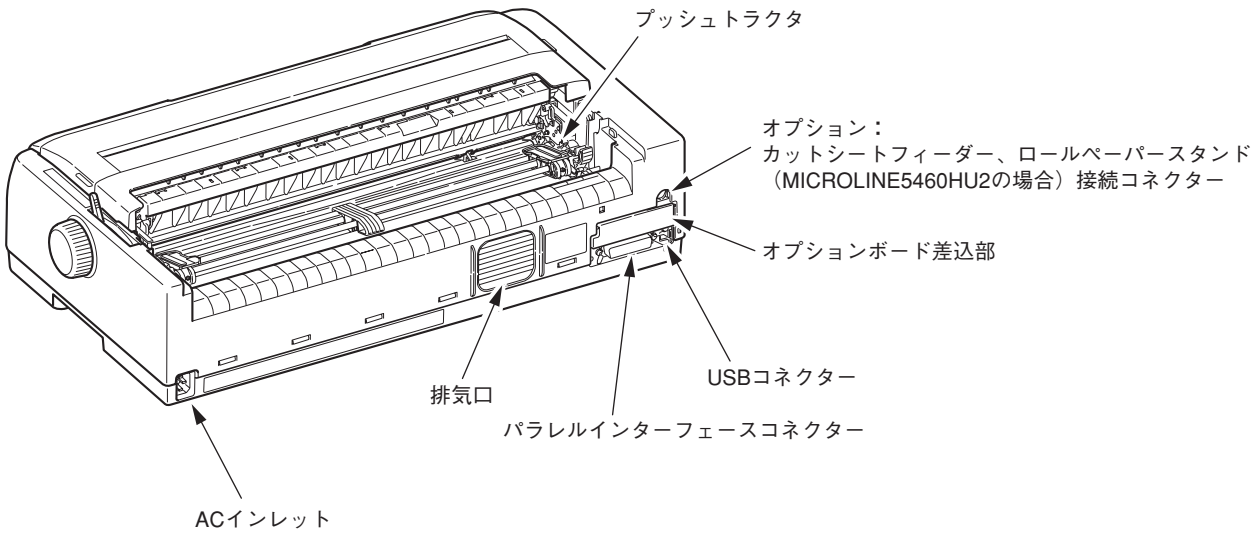
⚠警告	故障や感電の原因になります。	

故障や異常（においがしたり、煙が出たり、熱くなったり）に気付いたときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解したり、修理したりしないでください。故障や感電の原因になります。

プリンター各部の名称


用紙ガイド
防音カバー
リアシートガイド
アクセスカバー
プルアップガイド
用紙ガイド
電源スイッチ
用紙切替レバー
用紙ガイド
操作パネル
テーブル
プラテンノブ
用紙ガイド
フロントカバー


プルアップAssy
用紙厚設定レバー
ワイヤーガイド
リボンガイド
リボンカートリッジ
印字ヘッド


プッシュトラクタ
オプション：
カットシートフィーダー、ロールペーパースタンド
（MICROLINE5460HU2の場合）接続コネクター
オプションボード差込部
USBコネクター
排気口
パラレルインターフェースコネクター
ACインレット

（MEMO）

セットアップの流れ

プリンターが使用できるようにセットアップします。
セットアップは、以下の手順で行います。

1 製品の確認 18 ページ

パッケージの内容を確認します。

↓

2 付属品を取り付けます 19 ページ

- テープ、固定具を取り除きます。
- テーブルを取り付けます。
- プルアップガイドを取り付けます。
- リボンカートリッジを取り付けます。

↓

3 電源コードを取り付けます 24 ページ

↓

4 テスト印字をします 25 ページ

テスト印刷を実施し、プリンターが問題なく使用できるかどうかを確認します。

↓

5 インターフェースのオプション品の取り付け、取り外し 26 ページ

プリンターのインターフェースのオプション品の紹介とオプション品の接続の仕方を確認します。

↓

6 ケーブルを接続します 29 ページ

お手持ちのインターフェースケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

↓

7 ネットワークカードをセットアップします 30 ページ

※オプション品のネットワークカード（LAN7120E3）を使ってネットワーク接続する場合のみの設定です。

↓

8 USB/パラレル接続で Windows にセットアップします

USB ケーブルやパラレルケーブルを使用して、プリンターとコンピューターを接続します。

- Windows USB 接続の場合、31 ページ
- Windows パラレル接続の場合、35 ページ

↓

9 プリンタードライバーをインストールします。（USB/パラレル接続）

同梱のプリンタードライバー CD-ROM に収録されているプリンタードライバーやユーティリティーソフト等をコンピューターにインストールします。

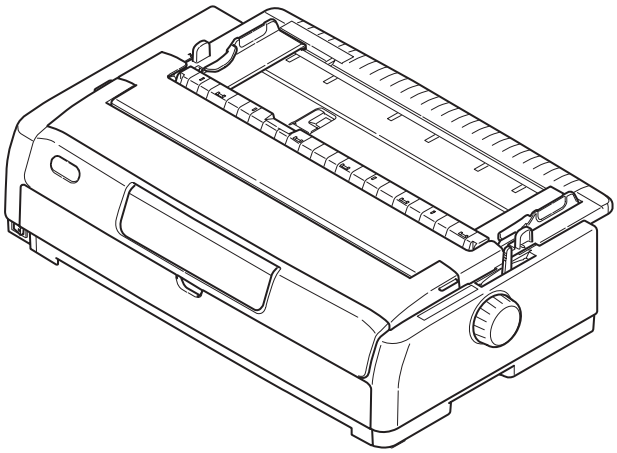
- Windows USB 接続の場合、33 ページ
- Windows パラレル接続の場合、37 ページ

注 Windows プリンタードライバーを使用しない場合、ユーザーズマニュアル（活用編） 5 章「Windows プリンタードライバーを使用しないお客様へ」（63 ページ）を参照してください。

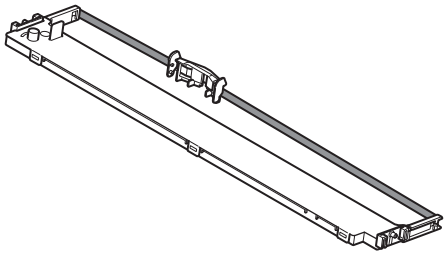
製品の確認

プリンターの梱包を開いて、以下の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンターをお買い求めの販売店にご連絡ください。

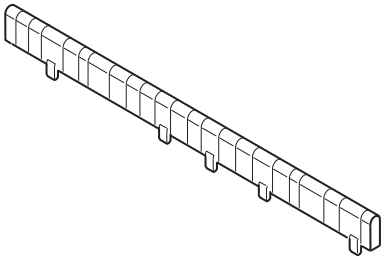
□ プリンター



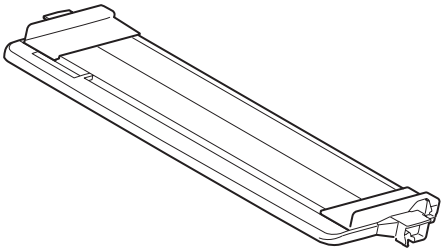
□ リボンカートリッジ



□ プルアップガイド



□ テーブル



□ 電源コード
□ ユーザーズマニュアル（本書）
□ 保証書・ご愛用者登録カード
□ プリンターソフトウェア CD-ROM
□ お客様相談センターラベル
□ お客様情報保護シール
□ インストラクションサポート

注

・保証書に必要事項が記入されているか確認してください。
正しく記入されていない保証書は無効になり、無償保証を受けられない場合があります。もし、記入内容が不十分でしたら、販売店にお問い合わせください。
・保証書は大切に保管してください。
・梱包箱、梱包材、固定具は保管しておき、再輸送の際に必ず使用してください。
・インターフェースケーブルは添付されておりません。お使いのコンピューターに合わせて別途購入してください。

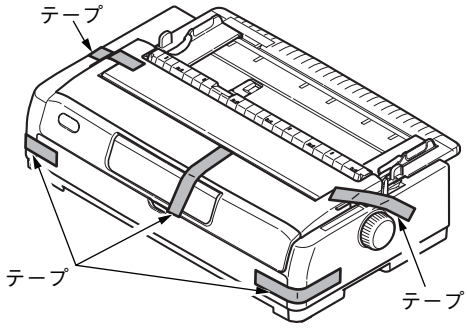
付属品を取り付けます

1 テープおよび固定具を取り除きます。

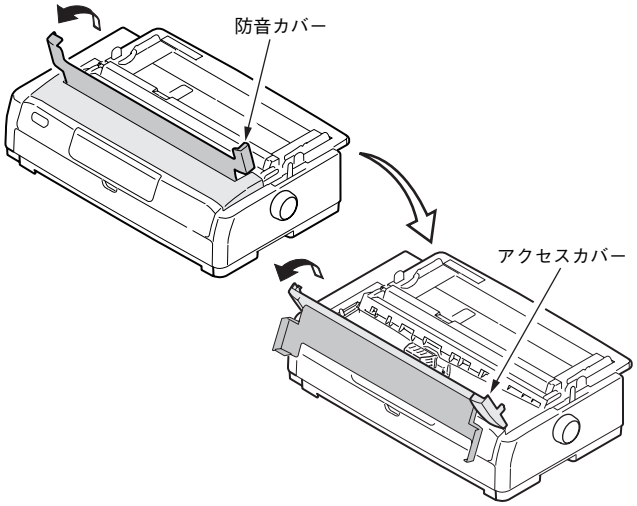
輸送時の振動などによる破損を防ぐため、印字ヘッドをストッパーで固定してあります。
ご使用になる前に、このストッパーを外してください。

注 輸送時には、印字ヘッドを左側に寄せてストッパーで固定してください。また、フロントストッパーも取り付けてください。
取り外したストッパー、フロントストッパーは、再輸送の際、必要となりますので、別に保管してください。
取り付けは、取り外しと逆の手順で行なってください。

❶ プリンターに貼付られている 5 ヵ所のテープを剥がします。

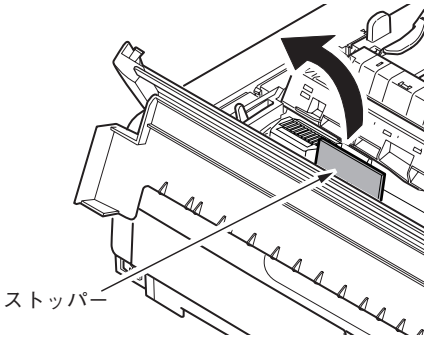


❷ 防音カバーを開けて、アクセスカバーの左右の手掛け部持って開きます。

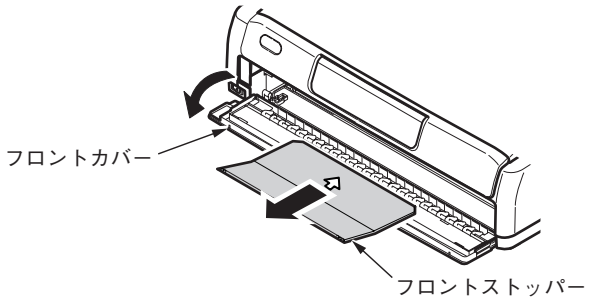


注 防音カバーが外れやすいので、注意してください。

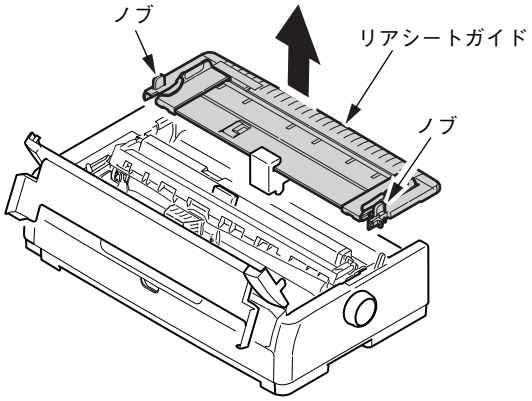
❸ 印字ヘッドの固定用ストッパーを外します。



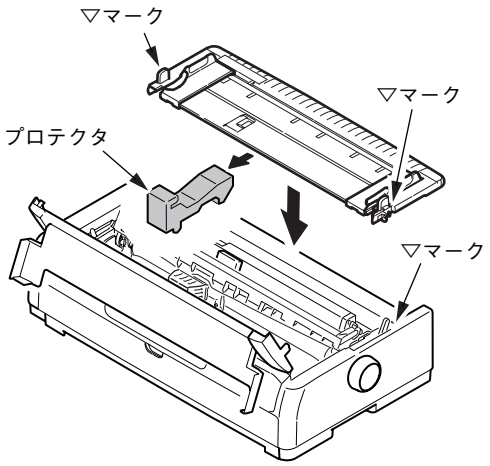
❹ フロントカバーの中央部のへこみ部分を持って、手前に回転させてフロントカバーを開け、フロントストッパーを外します。



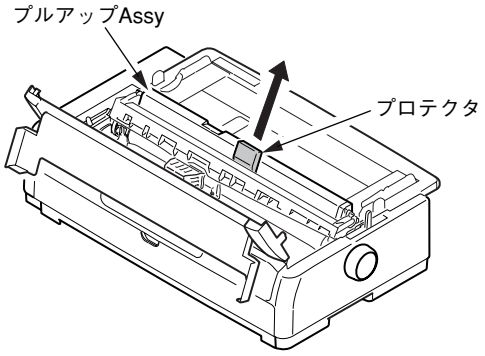
❺ 左右のノブを持って、リアシートガイドを外します。



❻ リアシートガイドからプロテクターを外します。リアシートガイドをプリンターに取り付けます。
アッパーカバーの▽マークとリアシートガイドの▽マークを合わせて、リアシートガイドを取り付けます。



❼ プルアップ Assy から、プロテクタを外します。

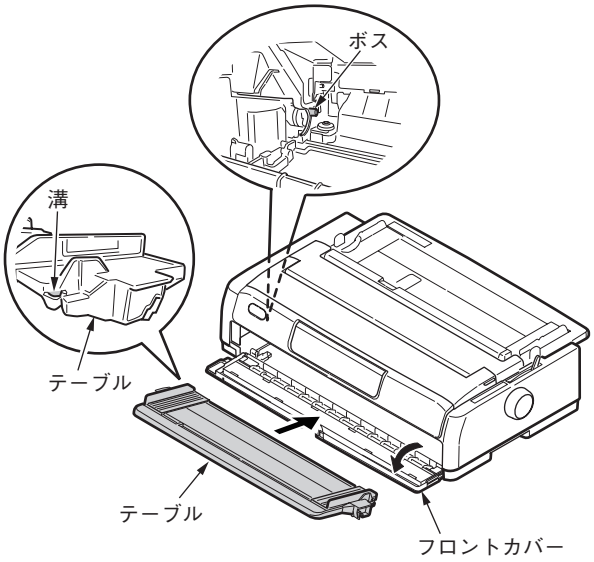


❽ アクセスカバーと防音カバーを閉じます。

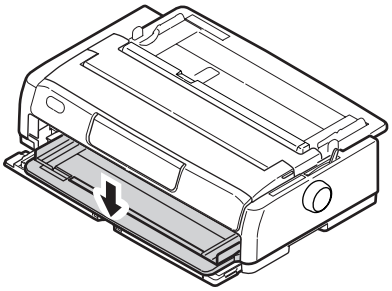
2 テーブルを取り付けます。

注 フロントからの単票を使用する場合はテーブルを取り付けます。

❶ フロントカバーの中央部のへこみ部分を持って、手前に回転させてフロントカバーを開け、テーブルを斜めにプリンター内部に差し込み、テーブルの左右の溝部をプリンター内部の左右のボスに差し込みます。



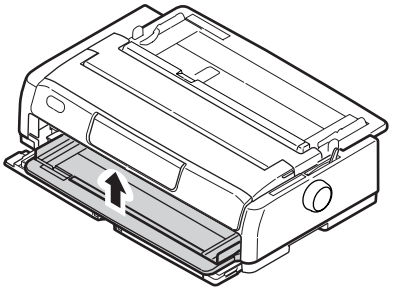
❷ テーブルを矢印方向に回転させて、ロックするまで押し下げます。



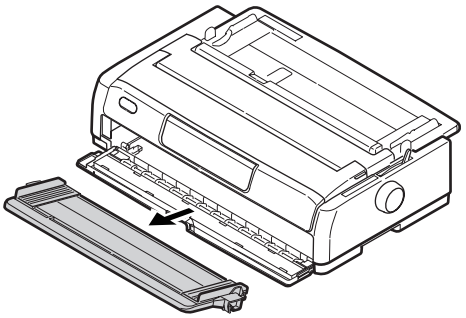
注 テーブルの左右の爪に無理な力を与えないでください。テーブル破損の原因となります。

テーブルを取り外す場合

❶ テーブルを矢印方向に回転させて、ロックを外します。



❷ テーブルを手前に引いて外します。



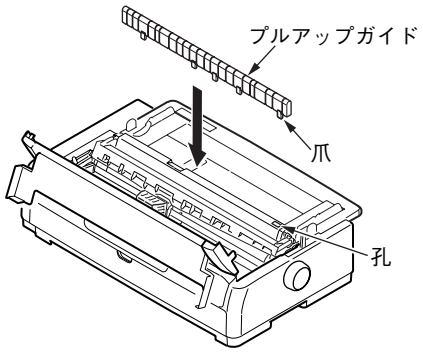
取り外したテーブルは、フロントから単票を使用する場合に使用しますので、大切に保管してください。

注 テーブルの左右の爪に無理な力を与えないでください。テーブル破損の原因となります。

3 プルアップガイドを取り付けます。

注 リアプッシュトラクタを使用する場合は、プルアップガイドを取り付けてください。

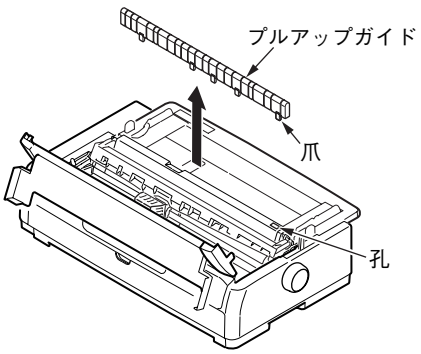
❶ プルアップガイドの爪をプルアップ Assy の孔に差し込みます。



注
- プルアップガイドの爪は、MICROLINE 5460HU2 の場合、3 ヶ所、MICROLINE 8460HU2 の場合は、5 ヶ所あります。
- プルアップガイドの爪に無理な力を与えないでください。プルアップガイドの破損につながります。
- プルアップガイドはリアプッシュトラクタを使用する時に取り付けてください。フロントプッシュで用紙を給紙する場合は取り外してください。

プルアップガイドを取り外す場合

❶ プルアップガイドを真っ直ぐ上に引き上げます。



注
- プルアップガイドの爪は、MICROLINE 5460HU2 の場合、3 ヶ所、MICROLINE 8460HU2 の場合は、5 ヶ所あります。
- プルアップガイドの爪に無理な力を与えないでください。プルアップガイドの破損につながります。
- プルアップガイドを斜めに持ち上げないでください。プルアップガイドの爪の破損につながります。

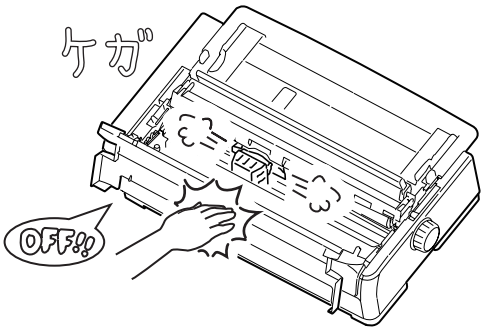
4 リボンカートリッジを取り付けます。

注 リボンカートリッジは必ず沖データの純正品を使用してください。
指定外のものを使用した場合、故障の原因になります。

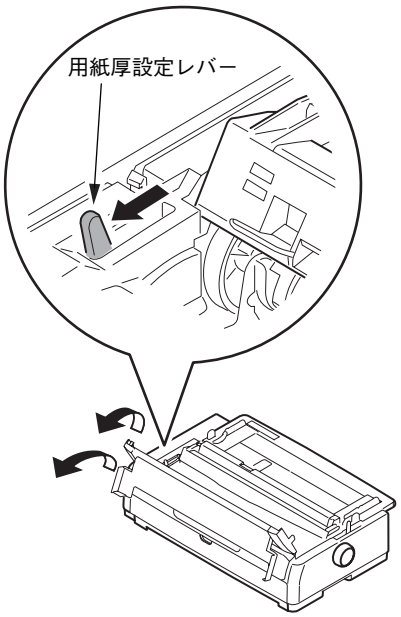
❶ 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。プリンターが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

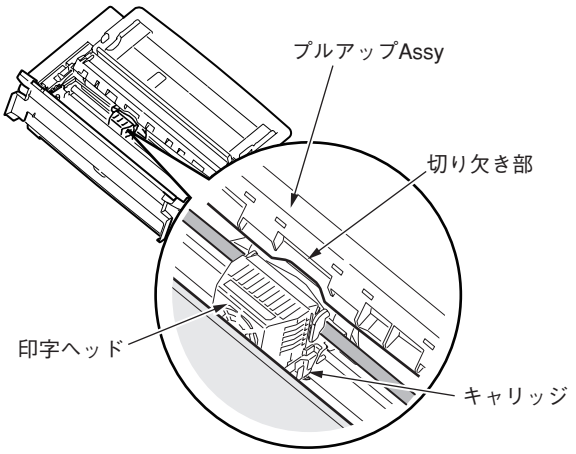


❷ 防音カバーを開き、アクセスカバーの両側の手掛け部を持ってアクセスカバーを開き、用紙厚設定レバーを「リボン交換」（10 レンジ）に設定します。



注 リボン取り付け時、用紙厚保設定レバーを 10 レンジにしないと、印字ヘッドとリボンプロテクターの隙間にインクリボンを通した際、リボンのよじれや折れの原因となります。

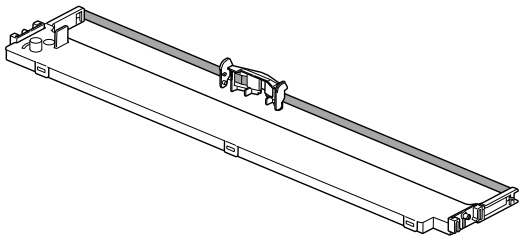
❸ キャリッジをリボン交換位置のプルアップ Assy のカバー切り欠き部へ移動させます。



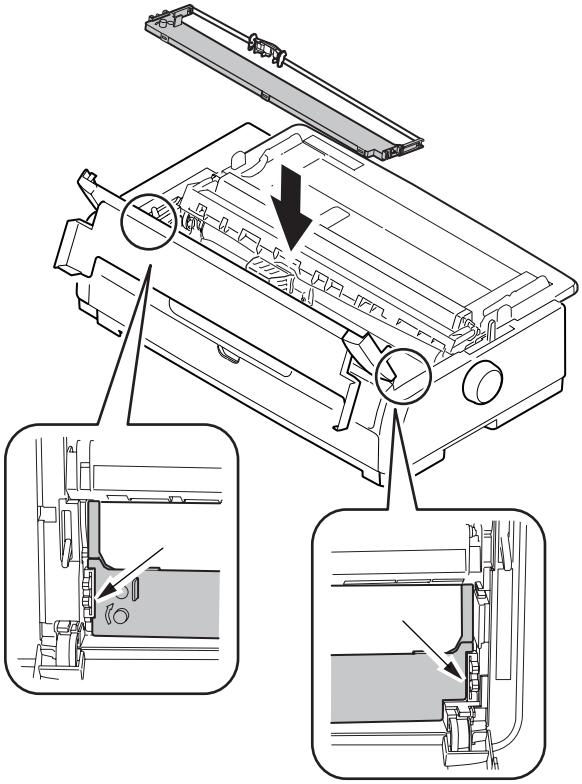
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドやその周辺にさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

❹ リボンカートリッジの包装紙を取り除きます。



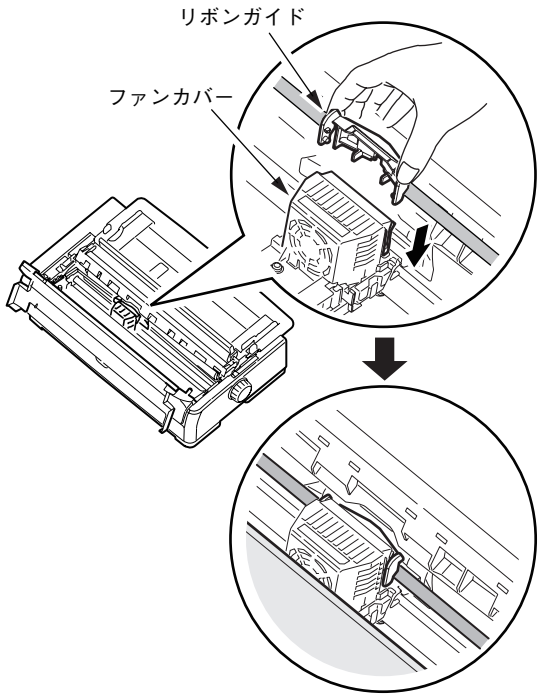
❺ プリンターの U 溝部にリボンカートリッジ両端のピン部を合わせて止まるまで押し込みます。



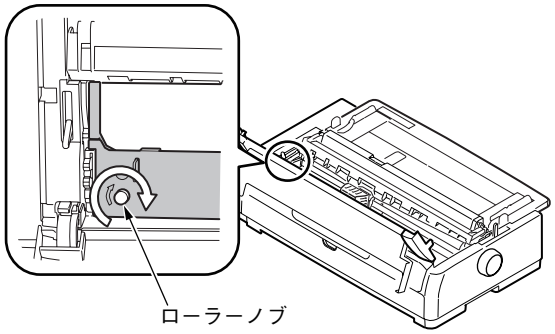
インクリボンは巻き取らず、ややたるませた状態にしておくと簡単にセットできます。

❻ リボンカートリッジについているリボンガイドを指でつまみ、キャリッジ部のファンカバーの左右にに設けられた U 溝にリボンガイドのポストを合わせるように斜め上方よりガイドに沿って奥まで押し込みます。

注 リボンガイドを奥まで押し込んでください。
奥まで押し込まない場合は、印字乱れおよびリボンづまりが発生する場合があります。

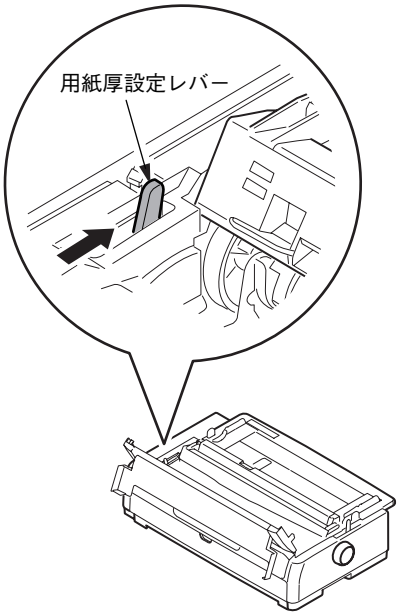


❼ ローラーノブを時計方向（矢印方向）に回してインクリボンのたるみを取ります。

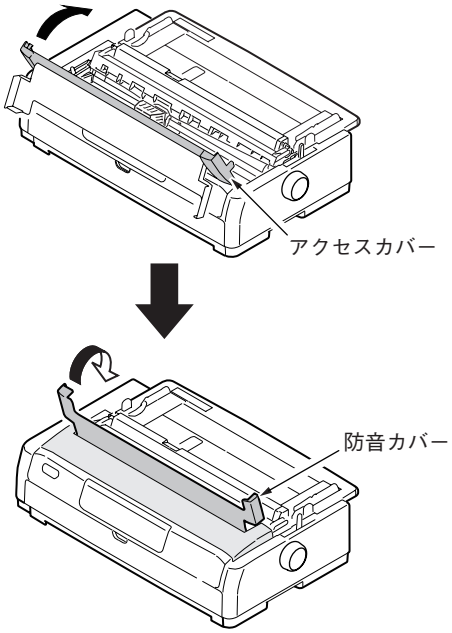


注
- ローラーノブを矢印の反対方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- 印字ヘッドとリボンプロテクターのすき間にインクリボンを通した際、よじれや折れがないことを確認してください。

❽ 用紙厚設定レバーを元の位置に戻します。



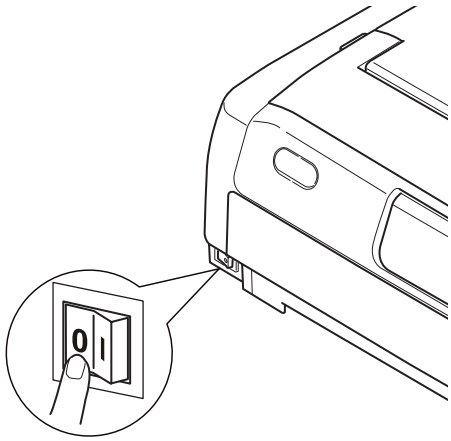
❾ アクセスカバー、防音カバーを閉じます。



電源コードを取り付けます

電源コードとアース線を接続します。

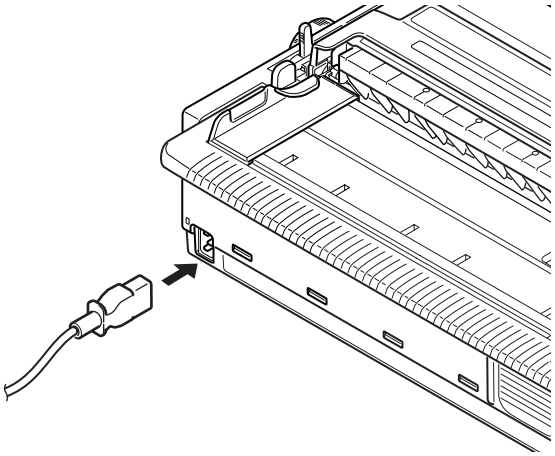
❶ 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。



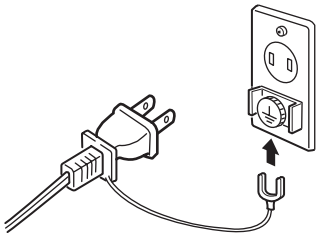
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

プリンターが突然動作することがあります。
必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。

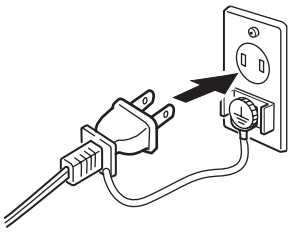
❷ 電源コードをプリンターの AC インレットに接続します。



❸ アース線をアース端子に接続します。



❹ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



⚠警告	感電の恐れがあります。	

万一の危険防止のため、アースは必ず接続してください。
ガス管には絶対に接続しないでください。
電源プラグのアースが接続できない場合は、電気工事店へご相談ください。
電源コードの取り外しは、❶ 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、❹→❸→❷の手順で行います。

注

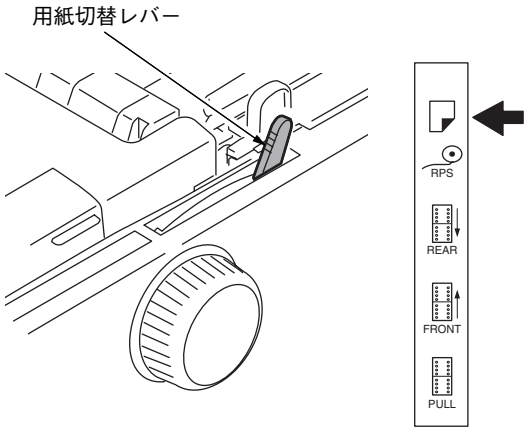
- アース線をコンセントに差し込まないでください。
- 電源は必ず AC100V（50Hz または 60Hz）を使用してください。
- 電源を入れたとき、一瞬大きな電流が流れます。電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- このプリンターは、ドット密度の高い印字（黒ベタ印字など）を行うと、最大 4A の電流が流れます。コンピューターなどのサービスコンセントには接続しないでください。タコ足配線は、絶対しないでください。
- 電源コードは、添付されているものを使用してください。他の製品用の電源コードは使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」してから、電源プラグを持って行ってください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。
- UPS（無停電電源）およびインバーターを使用した場合の動作は保障していません。故障のおそれがあります。UPS（無停電電源）およびインバーターは使用しないでください。

テスト印字をします

プリンターが正常に動くことを確かめるために、テスト印字を行います。テスト印字には、A4 サイズ以上の単票の縦置、または 10 インチ幅の連続紙を使用します（MICROLINE 8460HU2 の場合には、15 インチ幅の連続紙を使用します）。
ここでは、A4 サイズの単票を使う場合を例にとって、テスト印字の手順を説明します。

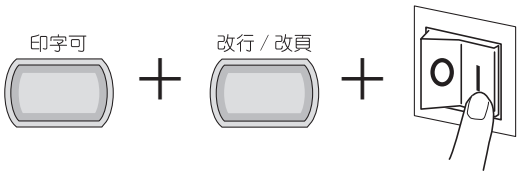
❶ 電源スイッチを「OFF」にします。

❷ 用紙切替レバーを単票「 」にします。

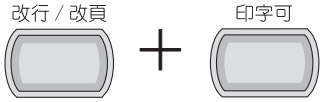


❸ アクセスカバーと防音カバーを開けて、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。（「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。）
用紙厚設定レバーを調整した後、アクセスカバーと防音カバーを閉じます。

❹「印字可」＋「改行 / 改頁」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」します。
「印字可」ランプが点滅したら、スイッチから指を離します。



❺「印字可」ランプの点滅を確認後、「改行 / 改頁」スイッチを押しながら、「印字可」スイッチを押します。
印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。



❻ 単票をセットします。単票の左端をシートガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。
単票のセット方法は、「カット紙（単票）をセットします」（46 ページ）を参照してください。
単票が自動的に給紙されます。

❼ プリンターが印字を開始します。テスト印字中は、「印字可」ランプが点滅します。
「印字可」スイッチを押して、印字を中断します。
もう一度「印字可」スイッチを押すと、印字を再開します。

❽「印字可」スイッチを押して印字を中断して「給紙 / 退避」スイッチを押すと単票を排出します。またはテスト印字が終了すると単票を排出します。

❾ 電源スイッチを「OFF」にします。

注 テスト印字を行ってみて、動作が異常な場合には、7 章「困ったときには」（143 ページ）を参照してください。

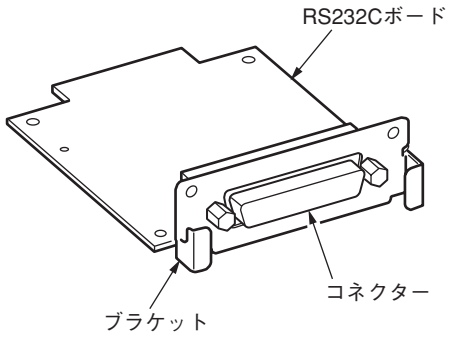
インターフェースのオプション品の取り付け、取り外し

RS232C ボード

RS232C ボードを取り付けることにより、シリアルインターフェースでデータを受信することができます。
シリアルインターフェースの機能は、メニューにより設定することができます。
シリアルインターフェースのメニューについては、ユーザーズマニュアル（活用編）「4 章　シリアルインターフェースの設定を変更します」（59 ページ）を参照してください。

注
- シリアルケーブルは、コンピューターによって異なります。それぞれのコンピューターとプリンターのコネクターに合ったものを販売店でお求めください。
- RS232C ボードは、静電気に非常に弱いため、注意して取り扱ってください。

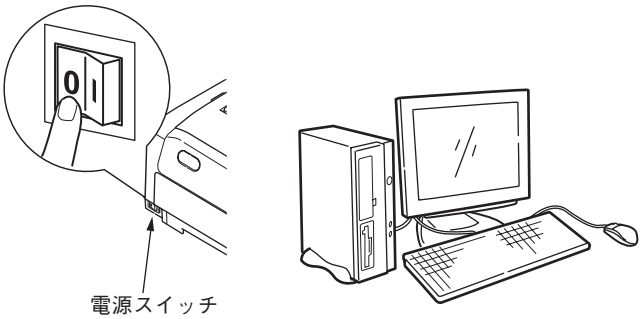
外観と各部の名称



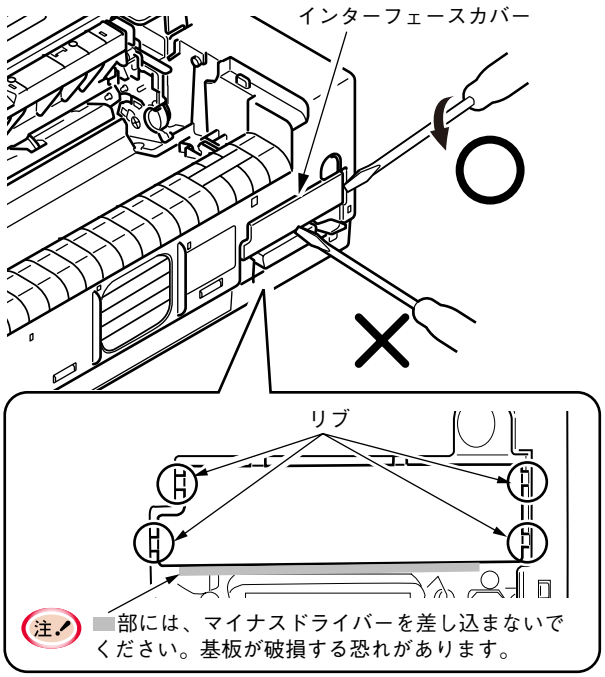
RS232C ボードを取り付けます

注　RS232C ボードの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にして電源コードを取り外してから行ってください。

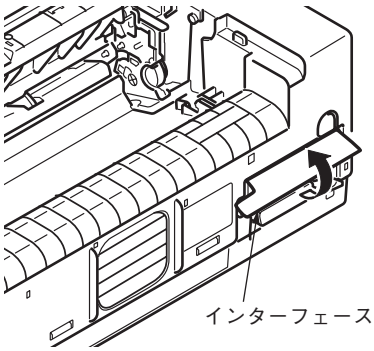
❶ プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にします。



❷ プリンター後方のインターフェースカバーを取り外します。
インターフェースカバーとプリンターカバーの間にマイナスドライバーを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバーを倒し、4 ヶ所のリブを外します。

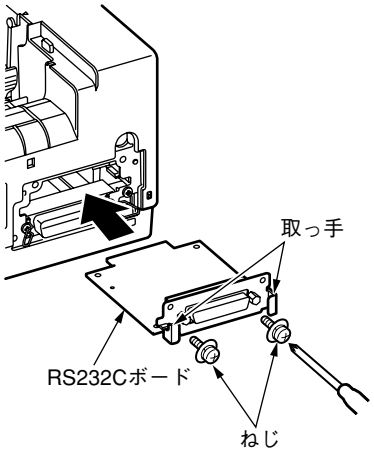


❸ インターフェースカバーを上に折り曲げて取り外します。

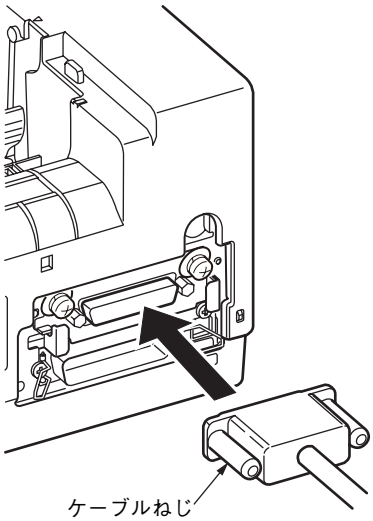


注　取り外したインターフェースカバーはプラスチック製です。各自治体の分別にしたがって廃棄してください。

❹ RS232C ボードのブラケットの取っ手を持ち、上部と下部のガイドに合わせて静かにしっかり押し込みます。
さらに、添付されているねじ（2 個）でプリンターに固定します。



❺ シリアルケーブルを RS232C ボードのコネクターに接続し、ケーブルねじで固定します。
RS232C ボードの取り外しは、❶ プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にし、❺→❹ の手順で行います。



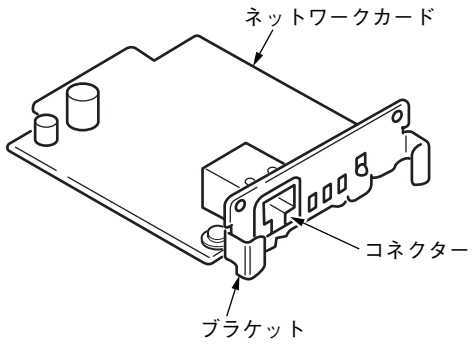
注 シリアルケーブルを無理に引っ張らないでください。RS232C ボードが外れたり、コネクターが破損する恐れがあります。

ネットワークカード

ネットワークカードを取り付けることにより、ネットワークでデータを受信することができます。
ネットワークカードの機能については、ネットワークカードのユーザーズマニュアルを参照してください。

注 ネットワークカードは、静電気に非常に弱いため、注意して取り扱ってください。

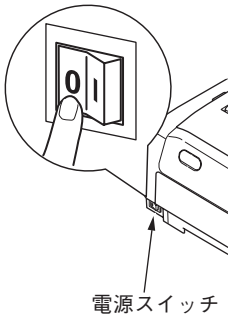
外観と各部の名称

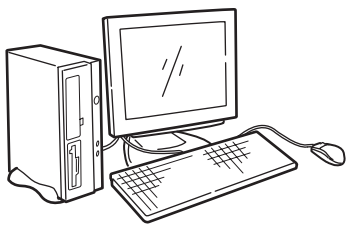


ネットワークカードの取り付け、取り外し

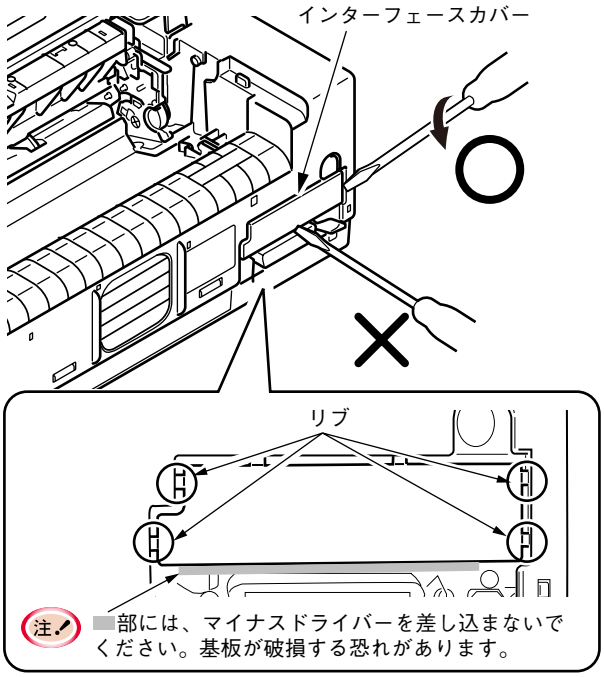
注 ネットワークカードの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にして電源コードを取り外してから行ってください。

❶ プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にします。



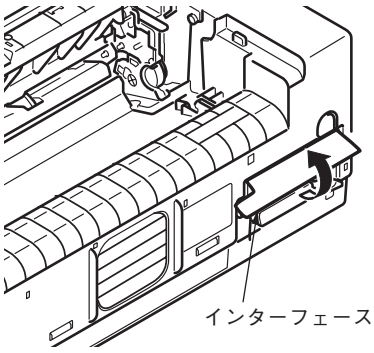


❷ プリンター後方のインターフェースカバーを取り外します。
インターフェースカバーとプリンターカバーの間にマイナスドライバーを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバーを倒し、4 ヶ所のリブを外します。



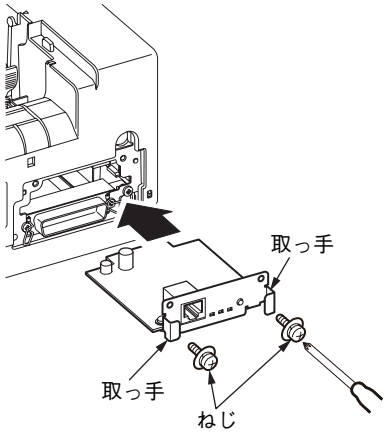
注 ■部には、マイナスドライバーを差し込まないでください。基板が破損する恐れがあります。

❸インターフェースカバーを上に折り曲げて取り外します。

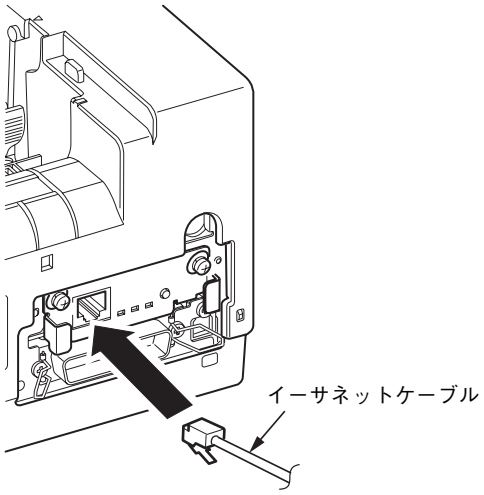


注 取り外したインターフェースカバーはプラスチック製です。各自治体の分別にしたがって廃棄してください。

❹ ネットワークカードのブラケットの取っ手を持ち、上部と下部のガイドに合わせて静かにしっかり押し込みます。さらに、添付のねじ（2 個）でプリンターに固定します。



❺ イーサネットケーブルをネットワークカードのコネクターに差し込みます。
ネットワークカードの取り外しは、❶ プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にし、❺→❹の手順で行います。

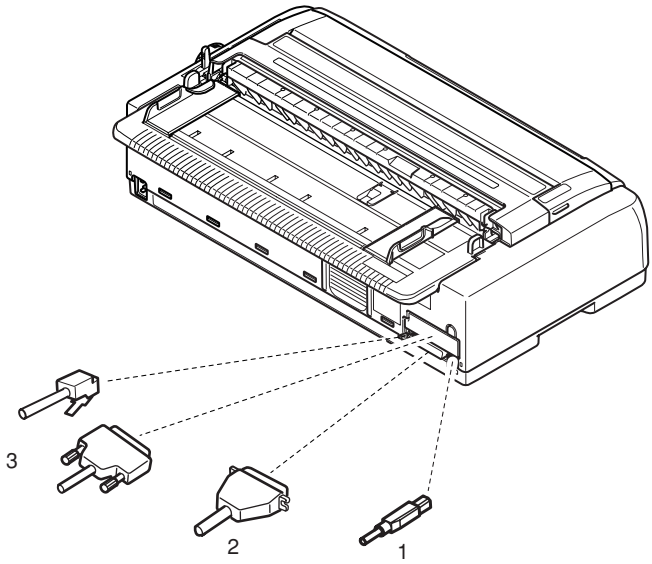


注 イーサネットケーブルを無理に引っ張らないでください。ネットワークカードが外れたり、コネクターが破損する恐れがあります。

ケーブルを接続します

❶ プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にします。

❷ インターフェースケーブルを接続します。
1：USB、2：パラレル、3：RS232C or ネットワークインターフェースの同時接続が可能です。



インターフェースケーブルの取り外し

❶ プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にします。

❷ インターフェースケーブルを取り外します。

ネットワークカードをセットアップします

オプション品のネットワークカード（LAN7120E3）を使ってネットワーク接続する場合は、ネットワークカードの設定が必要となります（ネットワークカードは、オプション品です）。
ユーティリティーをセットアップすることで、ネットワークカードの詳しい設定や設定内容の確認を行うことができます。

❶「日本語」をクリックし、言語選択をします。

❷ Setup Utility メニュー画面の「OKI Device Standard Setup」をクリックします。
「UTILITY」-「STANDARD」フォルダーの「ADSETUP.EXE」を直接起動しても、インストールウィザードが起動します。

❸ ユーティリティーの運用方法を選択します。

・インストールせずに、直接 CD-ROM から起動
・インストールしてから起動

❹ 以降、画面の指示に従って設定を続けます。

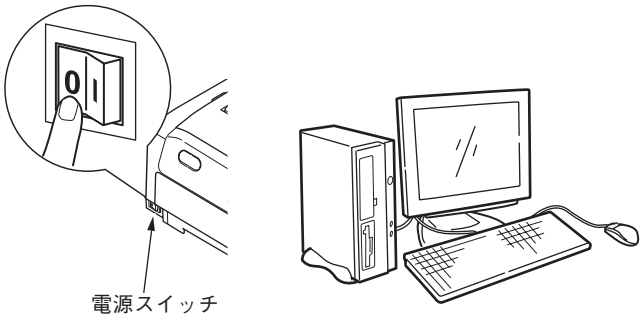
詳しいネットワークカードの設定は、ネットワークカード（LAN7120E3）に添付されている CD-ROM 内のユーザーズマニュアルをご覧ください。

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

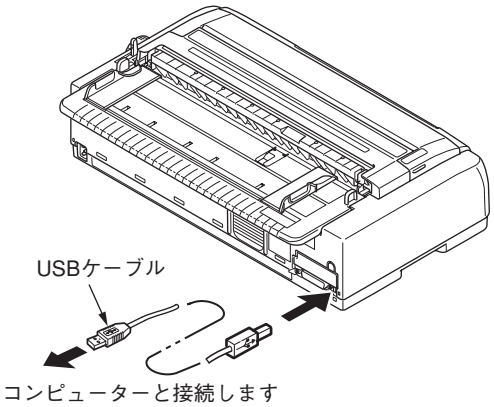
USB 接続で Windows にセットアップします

USB ケーブルは、長さ 5m 以下の USB2.0 仕様の規格適合ケーブルをお使いください。
USB インターフェースの詳細および信号線ピン配列は、ユーザーズマニュアル（活用編）「USB インターフェース仕様」（69 ページ）をご覧ください。
ユーティリティーソフトウェアをセットアップする場合は、プリンタードライバーのセットアップ後にインストールしてください。
ユーティリティーソフトウェアのセットアップ方法につきましては、ユーザーズマニュアル（活用編）「OKI DIPUS（OKI Dot Impact Printer Utilities）を使います」（17 ページ）をご覧ください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。コンピューター側の電源スイッチも「OFF」にします。



2 USB ケーブルを接続します。



3 コンピューターに USB ケーブルを接続します。

詳しくは、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

動作環境

プリンターの設定

プリンタードライバーを使用して印刷する場合、プリンターのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化します」（106 ページ）を参照してください。

プリンタードライバーの動作環境

- Windows 7 / Windows 7（x64 版）日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Server 2008 / Windows Server 2008（x64 版）日本語版
- Windows Vista / Windows Vista（x64 版）日本語版
- Windows Server 2003 / Windows Server 2003（x64 版）日本語版
- Windows XP / Windows XP（x64 版）日本語版
- Windows 2000 日本語版

注 日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタードライバーのセットアップ

注
- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- プリンターソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタードライバーに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
- プリンターソフトウェア CD-ROM（プリンターに添付されているもの）

プリンタードライバーをインストールします（USB 接続）

インストーラーを使用したセットアップには、「かんたんインストール」と「詳細インストール」があります。
標準の設定を少ない操作でインストールする場合は、「かんたんインストール」を使用します。
手動でセットアップしたい場合や、Windows 2000 をお使いの場合は、「詳細インストール」を使用します。
ここでは、OKI MICROLINE 8460HU2 を使用し、Windows 7 にセットアップする場合を例に説明します。

注
- セットアップを行う際は、コンピューターの管理者の権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8460HU2/5460HU2 プリンタードライバーがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
  削除方法につきましては「プリンタードライバーを削除します」（40 ページ）を参照してください。

[かんたんインストールを使用してセットアップを行います]

❶ プリンターとコンピューターの電源が OFF になっていることと、USB ケーブルがコンピューターから抜いてあることを確認します。

❷ コンピューターの電源を ON にし、Windows を起動します。

❸ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹ しばらくすると、『自動再生』の画面が表示されますので、『Autorun.exe の実行』をクリックします。

※ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe』をダブルクリックしてください。（CD-ROM ドライブが D: の場合）

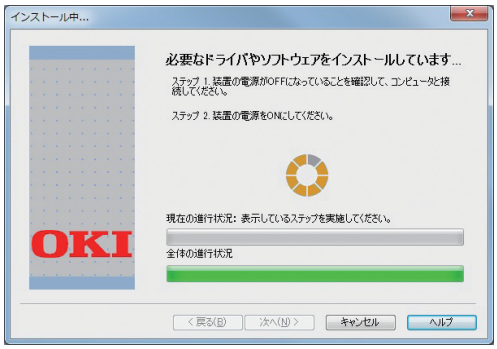
❺『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『 はい』をクリックします（Windows Vista の場合は、『続行』をクリックします）。

❻『モデルの選択』の画面でプリンターの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

❼『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

❽ 以下の画面が表示したら、『ドライバのインストール』を選択し、『 かんたんインストール（ローカル接続）』をクリックします。
インストールが開始されます。（ネットワークプリンターとしてご使用になるには、オプションのネットワークカードのマニュアルをご参照ください。）

❾ プリンターをコンピューターに接続して、プリンターの電源を入れることを促す指示が表示されたら、プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続し、プリンターの電源を入れます。
（ケーブルを接続する際には、パラレルケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。）



❿『インストールの完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

[詳細インストールを使用してセットアップを行います]

Windows 2000 をお使いの場合は、こちらの手順にてセットアップしてください。

❶ プリンターとコンピューターの電源が OFF になっていることと、USB ケーブルがコンピューターから抜いてあることを確認します。

❷ コンピューターの電源を ON にし、Windows を起動します。

❸ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹ しばらくすると、『自動再生』の画面が表示されますので、『Autorun.exe の実行』をクリックします。

※ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D: ¥Autorun.exe』をダブルクリックしてください。(CD-ROM ドライブが D: の場合)

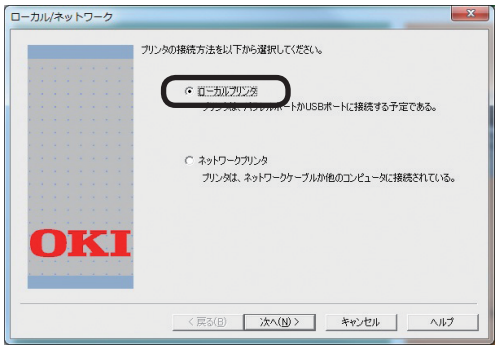
❺『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『 はい』をクリックします (Windows Vista の場合は、『続行』をクリックします)。

❻『モデルの選択』の画面でプリンターの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

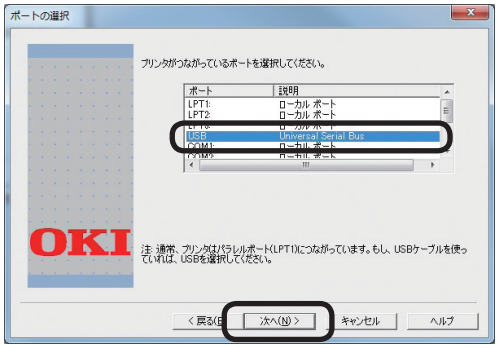
❼『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

❽ 以下の画面が表示したら、『ドライバのインストール』を選択し、『詳細インストール』をクリックします。

❾『ローカル / ネットワーク』の画面が表示されたら、『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします (ネットワークプリンターとしてご使用になるには、オプションのネットワークカードのマニュアルをご参照ください。)

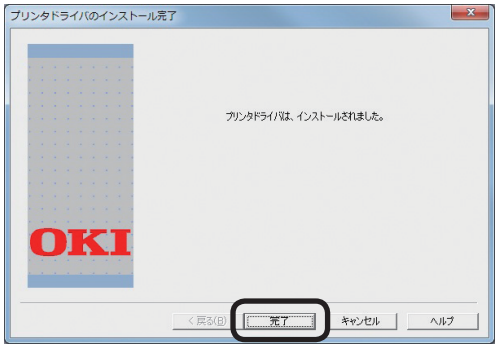


❿ ポートの選択の画面が表示したら、『USB』を選択し、『次へ』をクリックします。



⓫ プリンターをコンピューターに接続して、プリンターの電源を入れることを促す指示が表示されたら、プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続し、プリンターの電源を入れます。(ケーブルを接続する際には、パラレルインターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。)

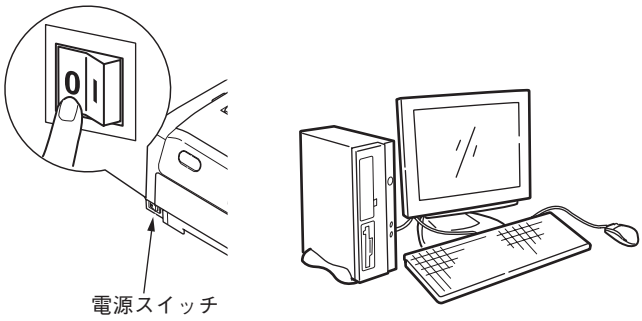
⓬『インストールの完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。



パラレル接続で Windows にセットアップします

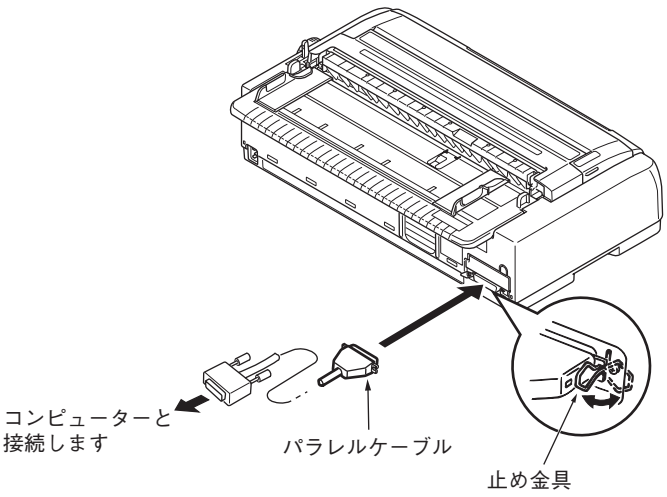
パラレルケーブルは、コンピューターによって異なります。それぞれのコンピューターに合わせて IEEE std1284-1994 準拠の双方向パラレルケーブルをお使いください。
パラレルインターフェースの信号線ピン配列は、ユーザーズマニュアル（活用編）「パラレルインターフェース仕様」（67 ページ）をご覧ください。
ユーティリティーソフトウェアをセットアップする場合は、プリンタードライバーのセットアップ後にインストールしてください。
ユーティリティーソフトウェアのセットアップ方法につきましては、ユーザーズマニュアル（活用編）「OKI DIPUS(OKI Dot Impact Printer Utilities) を使います」（17 ページ）をご覧ください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。コンピューター側の電源スイッチも「OFF」にします。



2 パラレルケーブルを接続します。

ケーブルが外れないようにプリンター側の止め金具で固定します。



3 コンピューターにパラレルケーブルを接続します。

詳しくは、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

動作環境

プリンターの設定

プリンタードライバーを使用して印刷する場合、プリンターのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化します」（106 ページ）を参照してください。

プリンタードライバーの動作環境

- Windows 7 / Windows 7（x64 版）日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Server 2008 / Windows Server 2008（x64 版）日本語版
- Windows Vista / Windows Vista（x64 版）日本語版
- Windows Server 2003 / Windows Server 2003（x64 版）日本語版
- Windows XP / Windows XP（x64 版）日本語版
- Windows 2000 日本語版

注 日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタードライバーのセットアップ

注
- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- プリンターソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタードライバーに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
- プリンターソフトウェア CD-ROM（プリンターに添付されているもの）

プリンタードライバーをインストールします（パラレル接続）

インストーラーを使用したセットアップには、「かんたんインストール」と「詳細インストール」があります。
標準の設定を少ない操作でインストールする場合は、「かんたんインストール」を使用します。
手動でセットアップしたい場合や、Windows 2000 をお使いの場合は、「詳細インストール」を使用します。
ここでは、OKI MICROLINE 8460HU2 を使用し、Windows 7 にセットアップする場合を例に説明します。

注
- セットアップを行う際は、必ずコンピューターの管理者の権限を持ったアカウントでログオンしてください。
- すでに古いバージョンの OKI MICROLINE 8460HU2/5460HU2 プリンタードライバーがセットアップされている場合は、削除してからセットアップを行ってください。
  削除方法につきましては「プリンタードライバーを削除します」（40 ページ）を参照してください。

[かんたんインストールを使用してセットアップを行います]

❶ プリンターとコンピューターの電源が OFF になっていることと、パラレルケーブルがコンピューターから抜いてあることを確認します。

❷ コンピューターの電源を ON にし、Windows を起動します。

❸ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹ しばらくすると、『自動再生』の画面が表示されますので、『Autorun.exe の実行』をクリックします。

※ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe』をダブルクリックしてください。（CD-ROM ドライブが D: の場合）

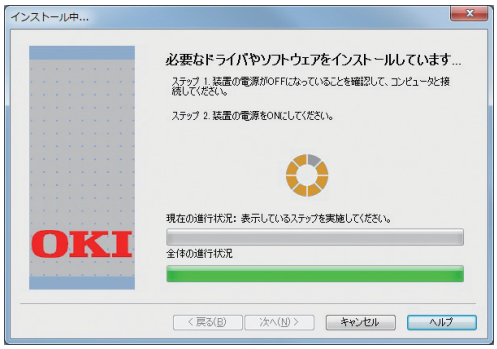
❺『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『 はい』をクリックします（Windows Vista の場合は、『続行』をクリックします）。

❻『モデルの選択』の画面でプリンターの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

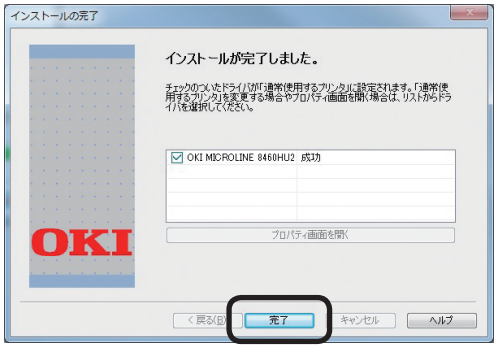
❼『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

❽ 以下の画面が表示したら、『ドライバのインストール』を選択し、『かんたんインストール（ローカル接続）』をクリックします。
インストールが開始されます（ネットワークプリンターとしてご使用になるには、オプションのネットワークカードのマニュアルをご参照ください）。

❾ プリンターをコンピューターに接続して、プリンターの電源を入れることを促す指示が表示されたら、プリンターとコンピューターをパラレルケーブルで接続し、プリンターの電源を入れます。
（ケーブルを接続する際には、USB ケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。）



❿『インストールの完了』画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。



[詳細インストールを使用してセットアップを行います]

Windows 2000 をお使いの場合は、こちらの手順にてセットアップしてください。

❶ プリンターとコンピューターの電源が OFF になっていることと、パラレルケーブルがコンピューターから抜いてあることを確認します。

❷ コンピューターの電源を ON にし、Windows を起動します。

❸ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹ しばらくすると、『自動再生』の画面が表示されますので、『Autorun.exe の実行』をクリックします。

※ プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D: ¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。(CD-ROM ドライブが D: の場合)

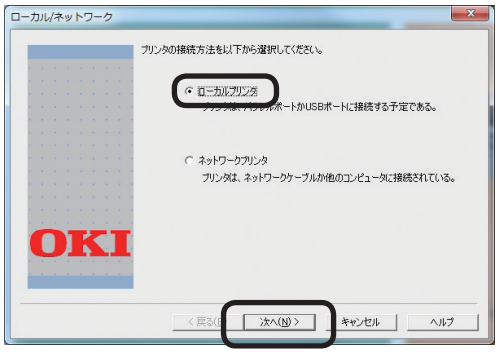
❺『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『はい』をクリックします (Windows Vista の場合は、『続行』をクリックします)。

❻『モデルの選択』の画面でプリンターの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

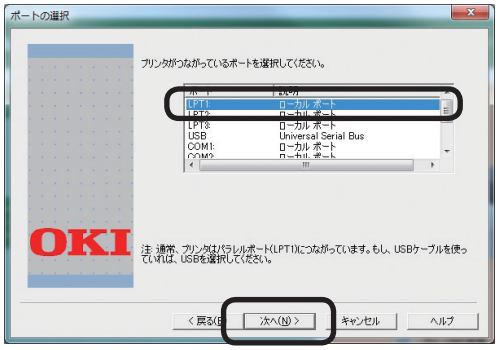
❼『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

❽ 以下の画面が表示したら、『ドライバのインストール』を選択し、『詳細インストール』をクリックします。

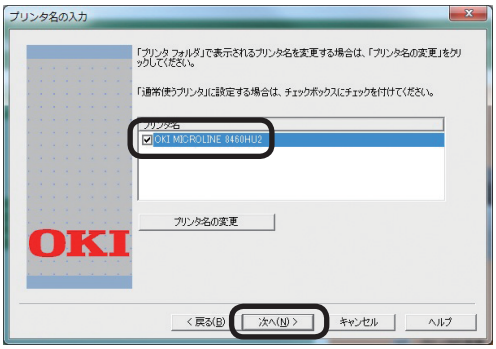
❾『ローカル / ネットワーク』の画面が表示されたら、『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします (ネットワークプリンターとしてご使用になるには、オプションのネットワークカードのマニュアルをご参照ください)。

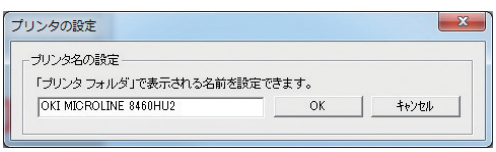


❿ ポートの選択の画面が表示したら、『LPT1』を選択し、『次へ』をクリックします。

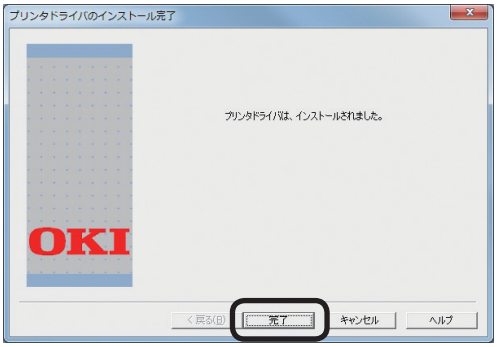


⓫『プリンター名の入力』の画面ではプリンター名を変更することができます。プリンター名を変更したい場合は『プリンター名の変更』ボタンをクリックし、『プリンターの設定』画面にて設定します。
また、「通常使うプリンター」に設定する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。
設定が終了したら、『次へ』をクリックします。





⓬『インストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。



⓭ プリンターとコンピューターをパラレルインターフェースケーブルで接続し、プリンターの電源を ON にします。

プリンタードライバーを削除します

Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

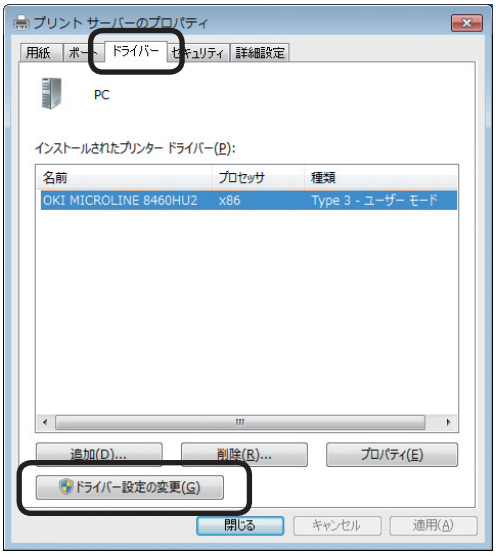
注 ・コンピューターの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

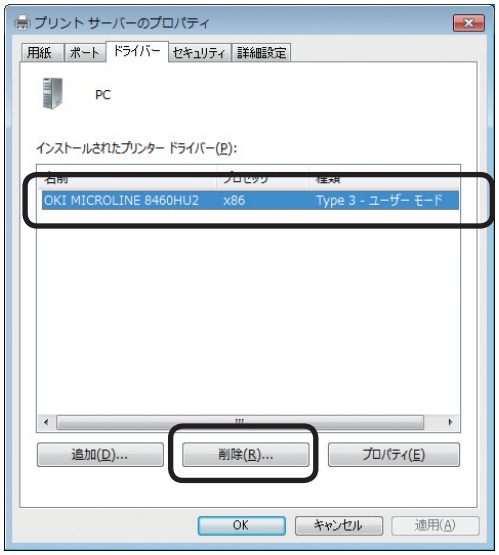
❷［デバイスとプリンター］フォルダーで任意のプリンターアイコンを選択します。

❸ メニューから［プリント　サーバプロパティ］をクリックします。

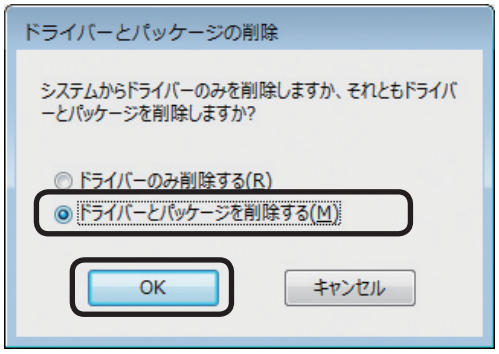
❹［プリント　サーバのプロパティ］の［ドライバー］タブをクリックし、［ドライバー設定の変更］をクリックします。



❺ 削除したいプリンター名を選択し、［削除］をクリックします。



❻［ドライバーとパッケージを削除する］を選択して［OK］をクリックします。



❼［プリント　サーバプロパティ］が表示されたら、［はい］をクリックします。

注 「指定されたプリンタードライバーは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタードライバーの削除を行ってください。

❽ 削除が終了したら、［OK］をクリックします。

❾［プリント　サーバプロパティ］に戻ったら、［閉じる］をクリックします。

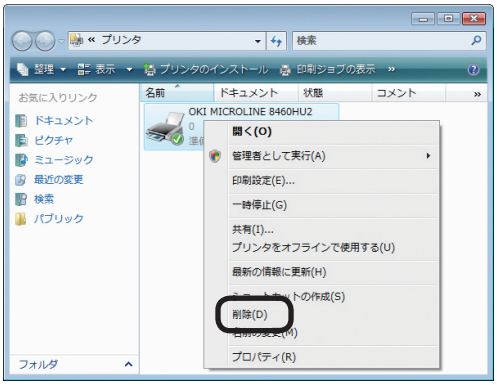
❿ Windows を再起動します。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

注
- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

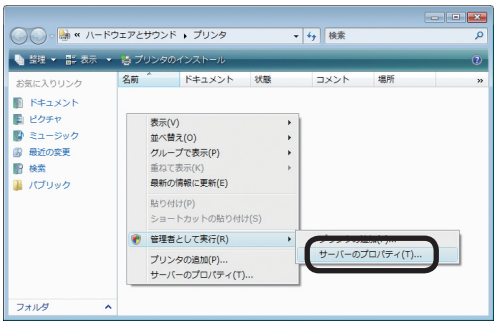
❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

❷削除したいプリンターのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。



❸確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

❹プリンターアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］を選択します。



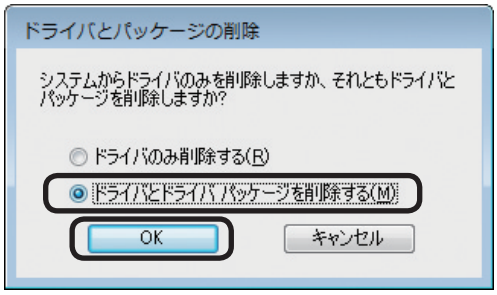
❺［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❻［プリント　サーバプロパティ］の、［ドライバ］タブを選択します。

❼削除したいプリンターを選択し、［削除］をクリックします。

注「指定されたプリンタードライバーは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタードライバーの削除を行ってください。

❽［ドライバとパッケージを削除する］を選択して、［OK］をクリックします。



❾確認のメッセージが表示されたら、［削除］をクリックします。

❿［ドライバとパッケージを削除する］が表示されたら、［削除］をクリックします。

⓫削除が終了したら、［OK］をクリックします。

⓬［プリント　サーバプロパティ］に戻ったら、［閉じる］をクリックします。

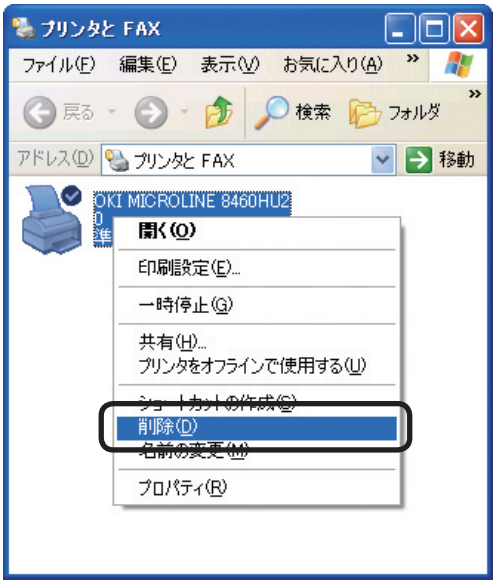
⓭Windows を再起動します。

Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合

注 ・コンピューターの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ 削除したいプリンターのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除] を選択します。

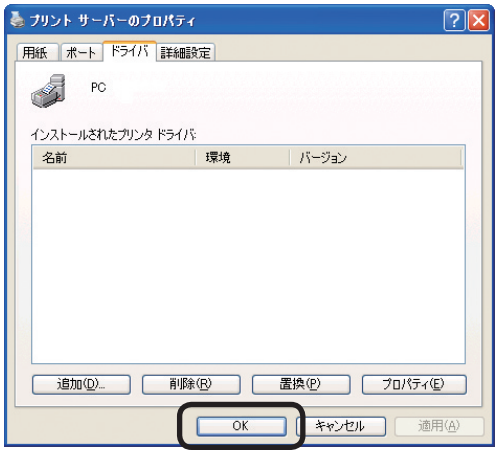


❸ 以降、画面の指示に従います。

❹「プリンタと FAX」フォルダー（Windows 2000 では、「プリンタ」フォルダー）の、[ファイル] - [サーバのプロパティ] を選択します。

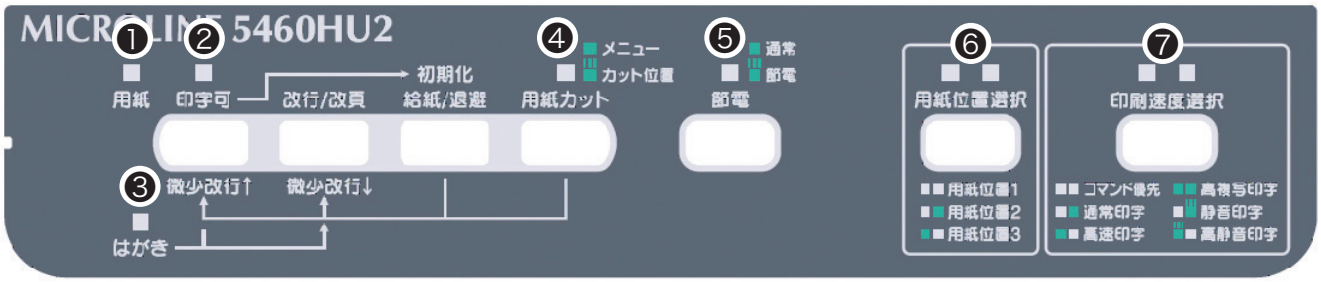
❺ [ドライバ] タブで、該当する機種名を選択し、[削除] をクリックします。

❻ プリンタードライバーが削除されたら［OK］をクリックします。



❼ Windows を再起動します。

操作パネルの使い方



ランプの表示機能

番号	名称（ランプ色）	機　能	番号	名称（ランプ色）	機　能
❶	用紙（赤）	点灯：ペーパーエンド状態 消灯：給紙済み状態 点滅：• 紙づまりアラーム状態 • 用紙切替レバーアラーム状態 • サーマルアラーム状態 • 復旧不可能アラーム状態（「印字可」ランプと共に点滅）	❺	節電（緑）	点灯：通常モード 点滅：スリープモード（他のランプは、消灯）
❷	印字可（緑）	点灯：オンライン（印字可） 消灯：オフライン（印字不可） 点滅：• 単票給紙待ち状態 • 復旧不可能アラーム状態（「用紙」ランプと共に点滅）	❻	用紙位置選択（緑）	用紙位置 1 用紙位置 2 用紙位置 3
❸	はがき（緑）	点灯：はがきモード 消灯：通常モード	❼	印刷速度選択（緑）	コマンド優先 通常印字 高速印字 高複写印字 静音印字 高静音印字
❹	用紙カット（緑）	点灯：メニューモード中 消灯：通常モード 点滅：用紙カットアップ状態			

スイッチの機能

名 称	機　能	名 称	機　能	名 称	機　能
	◆オンラインのとき • オフラインにします。 ◆オフラインのとき • オンラインにします。 • アラームを解除します。		◆オンライン / オフラインのとき • 連続紙モードのとき： 連続紙が給紙されているときは、連続紙を用紙カット位置まで送ります。再度スイッチを押す、またはデータを受信すると元の位置に戻ります。連続紙が給紙されていないときは、無効です。 • 単票手差しモードのとき： スイッチ無効です。 • CSF モードのとき： スイッチ無効です。		◆オンライン / オフラインのとき • 印刷速度の選択をします。 スイッチを押すと、「コマンド優先」→「通常印字」→「高速印字」→「高複写印字」→「静音印字」→「高静音印字」の順で印刷速度の設定が選択されます。 メモ スイッチで選択された印刷速度設定内容はプリンターに記憶され、プリンターの電源を OFF → ON にしても最後に選択された印刷速度が設定されます。
	◆オンライン / オフラインのとき • 連続紙モードのとき： 1 行改行します。 1 秒以上押し続けたときは、改頁動作を実行します。 • 単票手差しモードのとき： 1 行改行します。 1 秒以上押し続けたときは、単票を排出します。 • CSF モードのとき： 1 行改行します。 1 秒以上押し続けたときは、単票を排出します。		◆オンライン / オフラインのとき • 待機状態のとき： スリープモードに入ります。 メモ 本スイッチを押してスリープモードに入った場合は、再度スイッチを押す、またはデータを受信するとプリンターはスリープモードを解除して待機状態に戻ります。 • スリープモードのとき： 待機状態に戻ります。		◆オンライン / オフラインのとき • 通常印刷モードのとき： はがきモードを選択します。 注 はがきモード設定状態では、メニューで選択された頭出し位置の設定は無効となり、1 行目印字位置は、6.35mm(工場出荷設定値) 固定となります。 Windows から印刷を行う場合には、プリンタードライバーで用紙サイズを指定してください。 スイッチによるはがきモード設定よりも、プリンタードライバーの設定が優先されます。 連続紙モードのときは、はがきモードを設定することはできません。 • はがきモードのとき 通常印刷モードに戻ります。
	◆オンライン / オフラインのとき • 連続紙モードのとき： ピントラクタに連続紙をセットしてから押すと、1 行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。 連続紙がセットされているときは、ピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。 注 連続紙の後退量は、最大 11 インチです。11 インチ後退しても用紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。 連続した用紙後退動作により、紙づまりが発生する恐れがあります。よって、連続紙の後退動作は、絶対に 2 回以上連続で行わないでください。 • 単票手差しモードのとき： 単票用紙が給紙されているときに押すと、単票用紙を排出します。 • CSF モードのとき： 単票用紙が給紙されていないときに押すと、自動的に次の用紙がセットされます。 単票用紙が給紙されているときに押すと、単票用紙を排出します。		◆オンライン / オフラインのとき • 連続紙モードのとき： スイッチ無効です。 • 単票モードのとき： 単票用紙の頭出し位置を選択します。 単票用紙が給紙されていないときに押した場合は次の単票用紙給紙から有効となります。 単票用紙が供給されているときに押した場合は、スイッチを押して現在給紙されている単票用紙を排出した後、次の単票用紙給紙から有効となります。 • CSF モードのとき： 単票用紙の頭出し位置を選択します。 メモ スイッチで選択された頭出し位置設定内容はプリンターに記憶され、プリンターの電源を OFF → ON にしても最後に選択された用紙頭出し位置が設定されます。		◆オンラインのとき • スイッチ無効です。 ◆オフラインのとき • プリンターの初期化を実行します。 プリンターは、メニュー設定で設定された状態に初期化されます。 注 受信バッファーに格納されたデータは、クリアされます。

目次へ　前へ　次へ　戻る　索引へ　検索する

メモ その他のスイッチ機能については、ユーザーズマニュアル（活用編）の「1 章　便利な印刷機能」を参照してください。

注 「スイッチ設定ユーティリティー」を使用してスイッチ機能に制限を行うと、スイッチを押しても機能しません。スイッチを押しても正常に機能しない場合は「スイッチ設定ユーティリティー」で機能制限を行っていないかご確認ください。
「スイッチ設定ユーティリティー」のご使用方法につきましては、ユーザーズマニュアル（活用編）「スイッチ機能を制限します（スイッチ設定ユーティリティー）」（27 ページ）を参照してください。

〈高複写印字について〉

注
- 1 枚目が厚く 2 枚目に複写できないような用紙に高複写印字に設定してください。
- 高複写印字では 2 度打ちを行います。
- 用紙の厚さは、「用紙規格および印字範囲」（63 ページ）を参照してください。
- リボン寿命は、約半分になります。
- 薄紙で横罫線印字をすると用紙が破れる場合がありますので、高複写印字にしないでください。
- インクリボンが新しいときに印字密度の高い文字やグラフィックを印字すると、汚れが発生する場合があります。

〈スリープモード中について〉

注 プリンターの印刷動作停止してから 5 分以上経過した場合は、スリープモードに入ります。
スリープモード中にいづれかのスイッチを押した場合には、スリープモードを解除します。
「節電」スイッチを押してスリープモードに入った場合は、「節電」スイッチ以外のスイッチを押しても、スリープモードは解除しません。再度「節電」スイッチを押すか、データを受信したときにスリープモードを解除します。

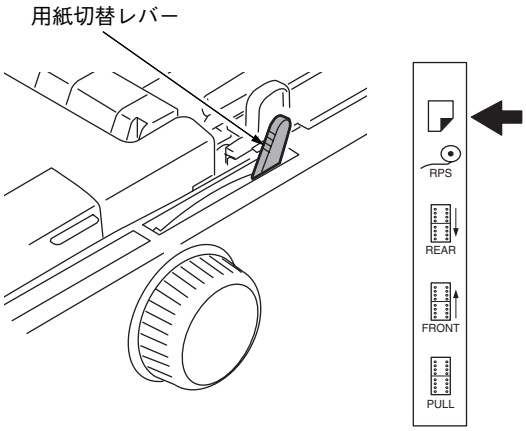
カット紙（単票）をセットします

単票のセット（トップの場合）

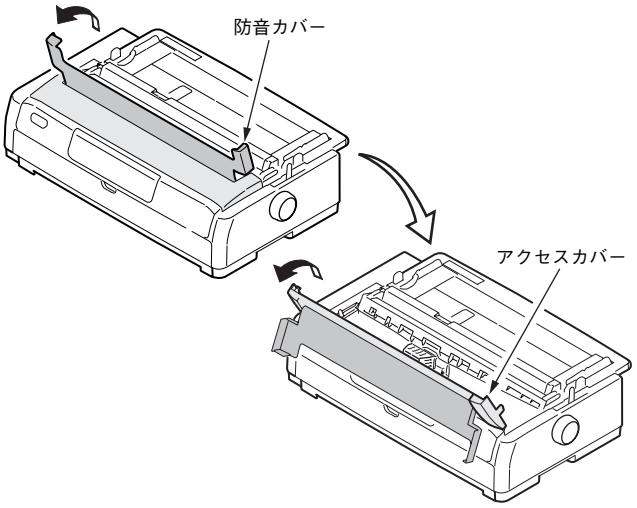
1 電源スイッチを「OFF」にします。

連続紙がセットされている場合は、印字済みの用紙を切り取って退避させるか排出してください。
詳細は、「連続紙の排出方法」(59 ページ)を参照してください。

2 用紙切替レバーを単票「 」にセットします。



3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

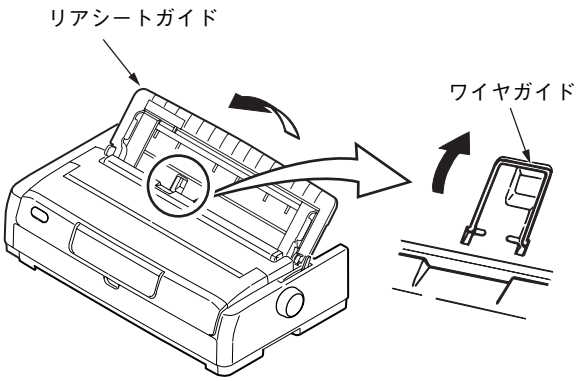


レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」(77 ページ)を参照してください。

4 リアシートガイドを起こします。

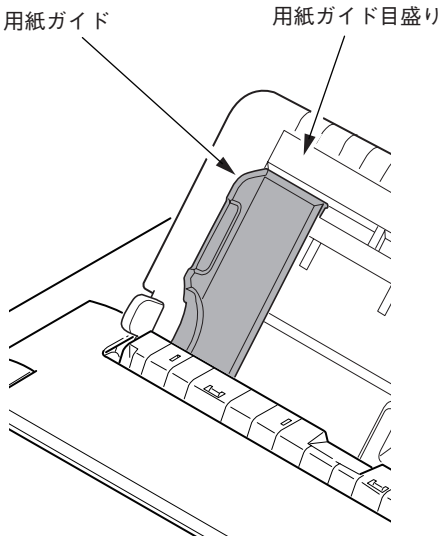
ワイヤガイドをリアシートガイド側に倒します。

注 リアシートガイドを元に戻すときは、リアシートガイドを軽く上方に持ち上げてから倒してください。リアシートガイドに無理な力を加えると破損する恐れがあります。



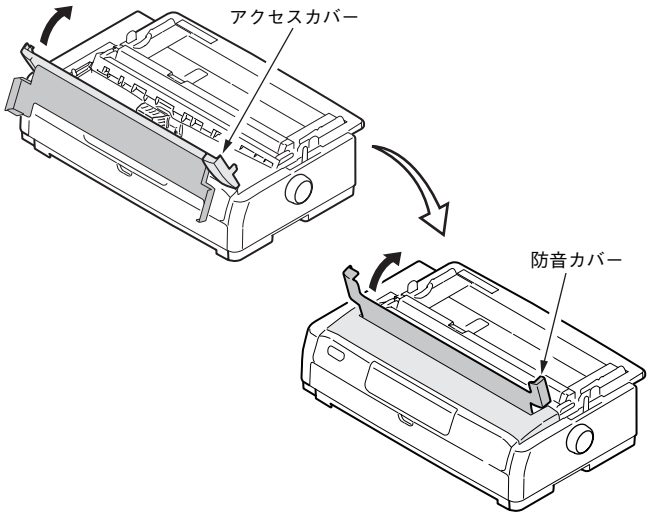
5 左側の用紙ガイドを単票の左位置に合わせます。

目盛り上の「▼」の位置が、横方向の 1 文字目の中心になります。

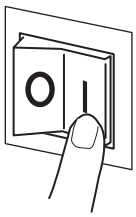


6 右側の用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

7 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。

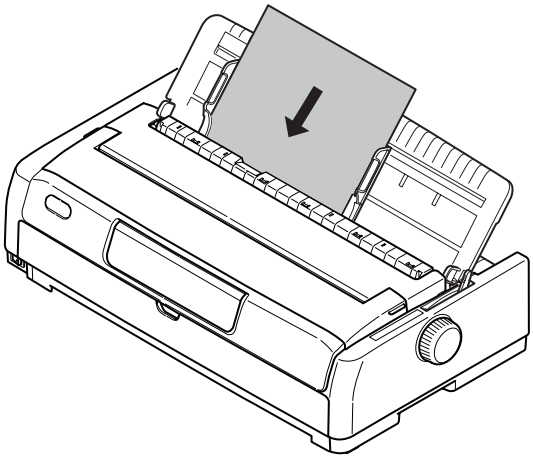


8 電源スイッチを「ON」にします。



9 用紙は印字する面を裏にして、左端を用紙ガイドに合わせて、そのまま奥に軽く突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

約 1 秒後に単票が自動的に給紙されます（メニューに設定された待ち時間に従って給紙されます）。
用紙がセットしにくい場合は用紙の後端を持ってまっすぐ差し込んでください。



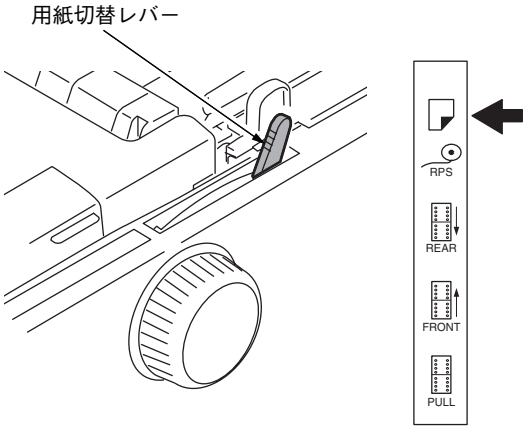
注
- 用紙を斜めにセットするとそのまま斜めに用紙が給紙されます。用紙ガイドに沿って用紙をセットしてください。
- 複写紙などの比較的厚い用紙を使用する場合は、用紙が給紙されるまで軽く奥まで突き当ててください。
- 複写紙または薄い用紙の場合、印字パターン（特に印刷密度の高い場合）によっては、用紙の下端部がカールし、用紙排出時に用紙の折れや紙づまりが発生する場合があります。
- 用紙下端部にある印刷禁止エリア（69 ～ 74 ページ参照）には印刷しないでください。印刷禁止エリアに印刷した場合、正しい印刷結果が得られなかったり、用紙が破れたり紙づまりが発生する恐れがあります。
- 複写紙の場合、用紙の種類、印字パターンによってはしわが発生する場合があります。その場合は、右側の用紙ガイドと用紙の間に 0.5 ～ 1mm の隙間を設けてください。

単票のセット（フロントの場合）

1 電源スイッチを「OFF」にします。

連続紙がセットされている場合は、印字済みの用紙を切り取って退避させるか排出してください。
詳細は、「連続紙の排出方法」（59 ページ）を参照してください。

2 用紙切替レバーを単票「 」にセットします。



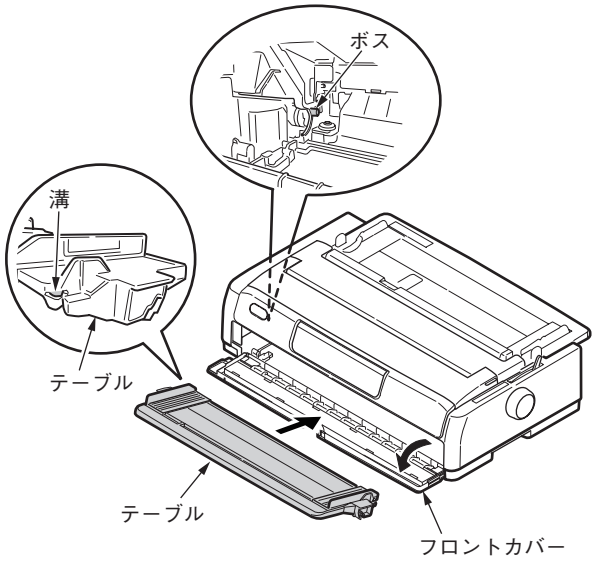
3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

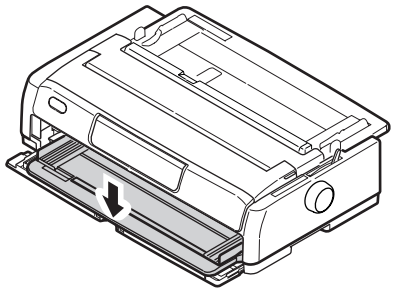
4 テーブルを取り付けます。

注 フロントからの単票を使用する場合はテーブルを取り付けます。

❶ フロントカバーの中央のへこみ部分を持って、手前に回転させてフロントカバーを開け、テーブルを斜めにプリンター内部に差し込み、テーブルの左右の溝部をプリンター内部の左右のボスに差し込みます。



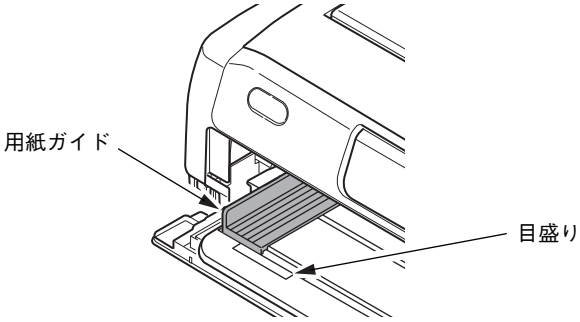
❷ テーブルを矢印方向に回転させて、ロックするまで押し下げます。



注 テーブルの左右の爪に無理な力を与えないでください。テーブル破損の原因となります。

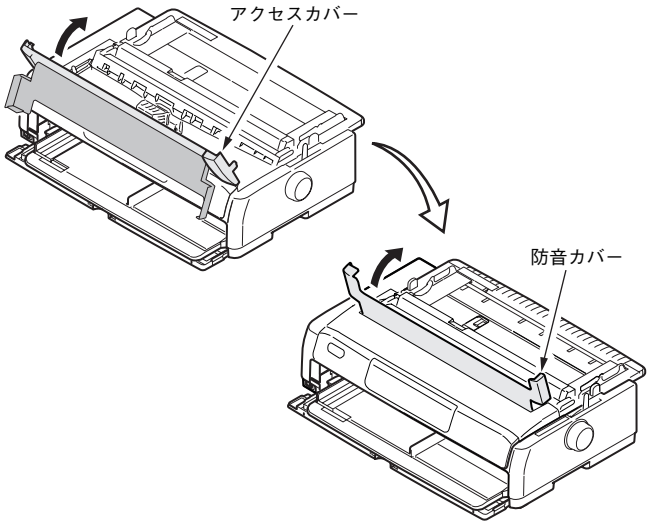
5 左側の用紙ガイドを単票の左位置に合わせます。

目盛り上の「▼」の位置が、横方向の 1 文字目の中心になります。

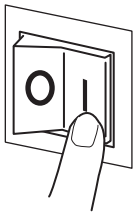


6 右側の用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

7 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。

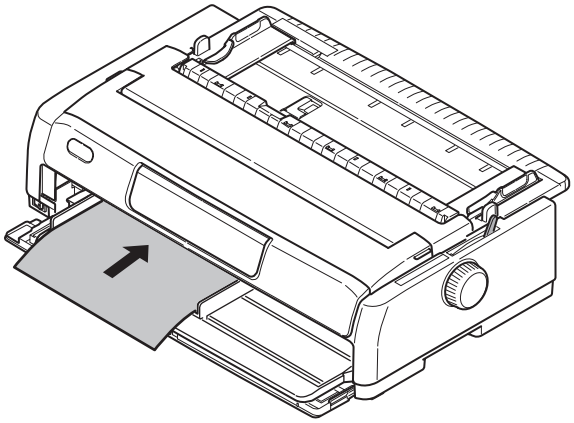


8 電源スイッチを「ON」にします。



9 用紙は印字する面を表にして、左端を用紙ガイドに合わせて、そのまま奥に軽く突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

約 1 秒後に単票が自動的に給紙されます（メニューに設定された待ち時間に従って給紙されます）。
用紙がセットしにくい場合は用紙の後端を持ってまっすぐ差し込んでください。



注

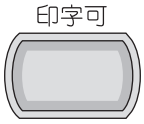
- 用紙を斜めにセットするとそのまま斜めに用紙が給紙されます。用紙ガイドに沿って用紙をセットしてください。
- 複写紙などの比較的厚い用紙を使用する場合は、用紙が給紙されるまで軽く奥まで突き当ててください。
- 複写紙または薄い用紙の場合、印字パターン（特に印刷密度の高い場合）によっては、用紙の下端部がカールし、用紙排出時に用紙の折れや紙づまりが発生する場合があります。
- 用紙下端部にある印刷禁止エリア（69 ～ 74 ページ）には印刷しないでください。印刷禁止エリアに印刷した場合、正しい印刷結果が得られなかったり、用紙が破れたり紙づまりが発生する恐れがあります。
- 複写紙の場合、用紙の種類、印字パターンによってはしわが発生する場合があります。その場合は、右側の用紙ガイドと用紙の間に 0.5 ～ 1mm の隙間を設けてください。

単票の排出方法

単票がプリンター内部に残っている場合は、次の手順で単票を排出します。

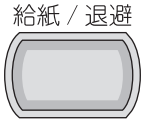
1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

「印字可」ランプが消えていることを確認してください。



2 「給紙 / 退避」スイッチを押します。

用紙が排出されます。
用紙はプリンター上部に排出されます。

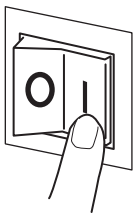


メモ 「改行 / 改頁」スイッチを 1 秒以上押し続けることで、単票用紙を排出することもできます。

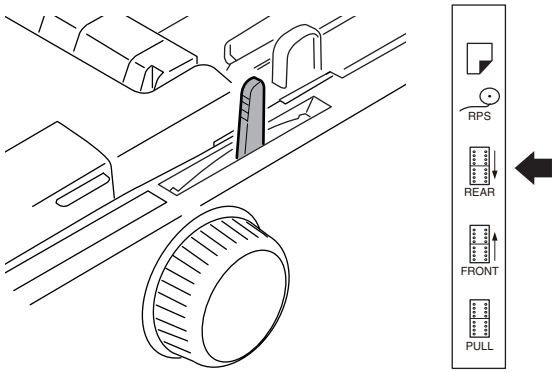
連続紙をセットします

連続紙のセット（リアの場合）

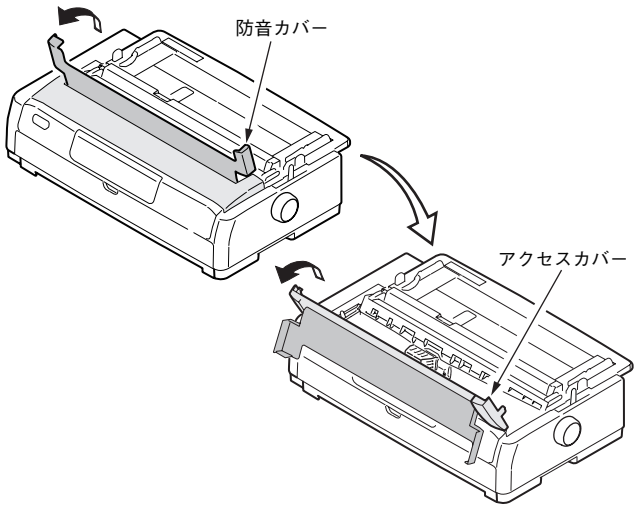
1 電源スイッチを「ON」にします。



2 用紙切換レバーを REAR「 REAR 」にセットします。

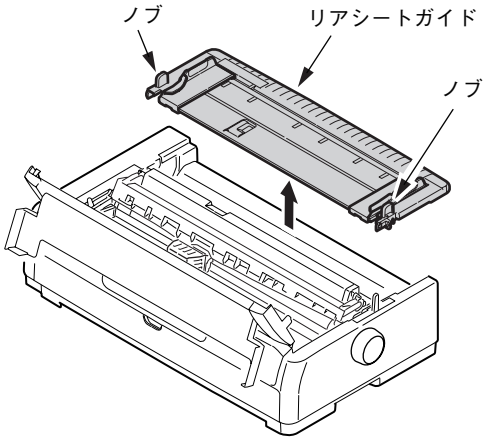


3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。



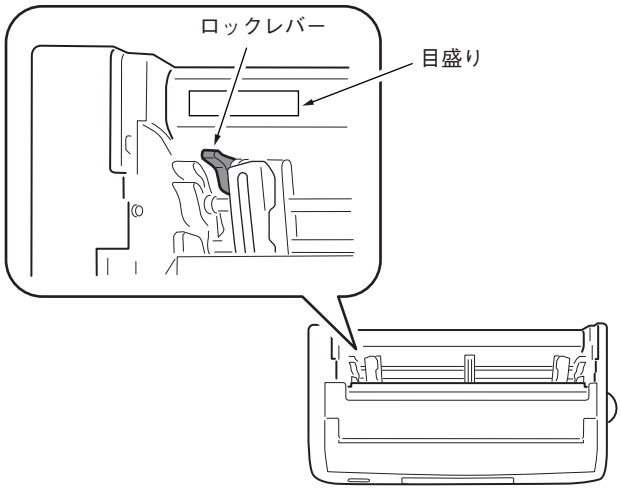
レンジ位置は、「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

4 左右のノブを持ってリアシートガイドを外します。

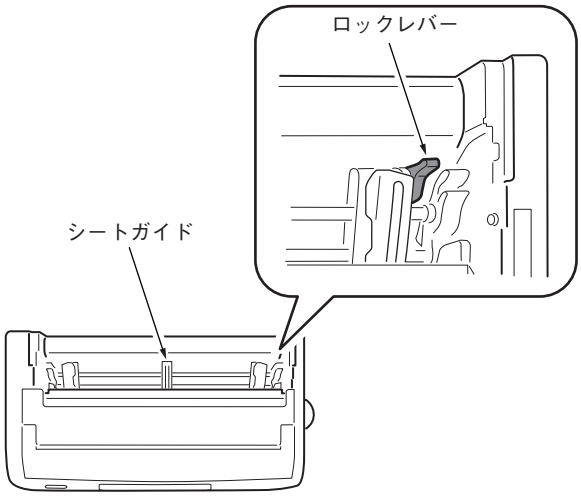


5 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、横方向の印字位置に合わせて、ロックレバーを押し下げて固定します。

目盛り上の「▼」の位置が、横方向の 1 文字目の中心になります。

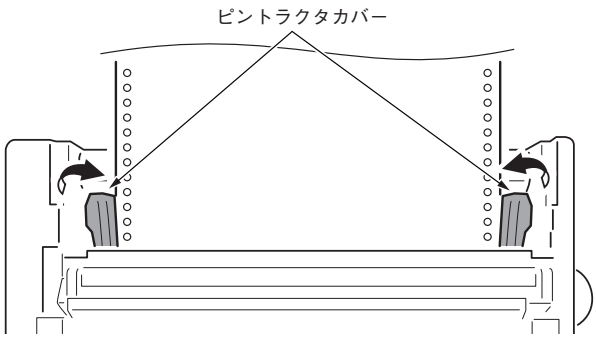


6 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、連続紙の幅に合わせて移動します。
シートガイドを連続紙の中央に合わせます。

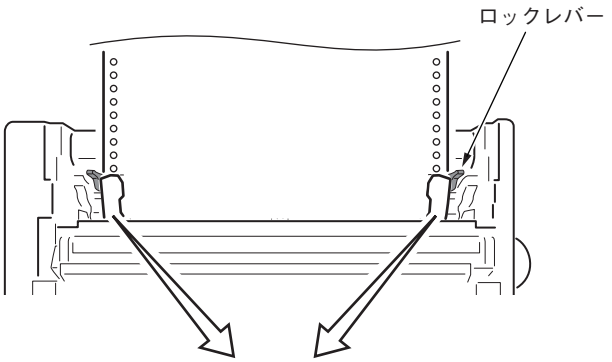


7 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙にセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

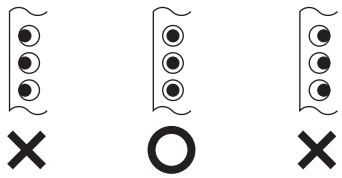
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。



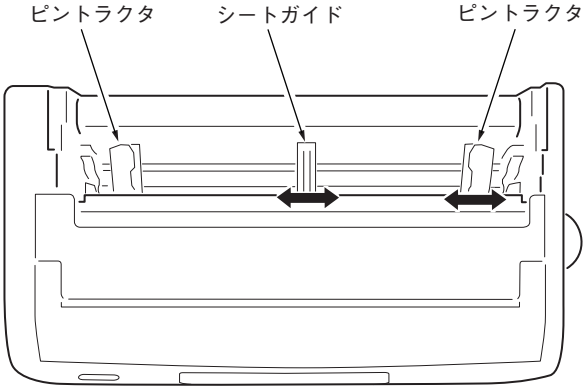
8 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせてロックレバーを押し下げて固定します。



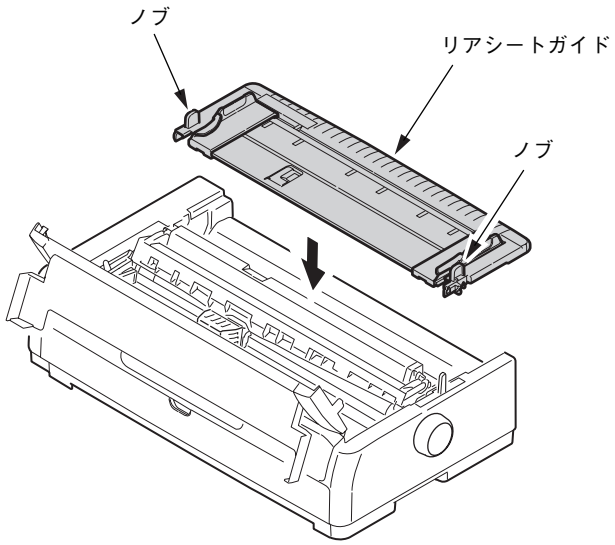
連続紙のスプロケット孔に対する
スプロケットピンの位置



注 高温多湿の環境下では、用紙がやわらかくなり、用紙のスプロケット孔が裂けたり、紙づまりが発生しやすくなります。用紙をピントラクタにセットする場合は、ピントラクタを適切な位置に調整してください。用紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。(ピントラクタのスプロケットピンは、用紙のスプロケット孔の中心にセットしてください。)

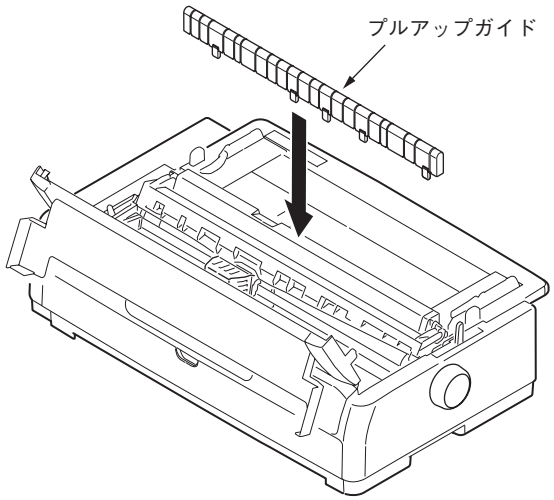


9 左右のノブを持って、リアシートガイドを取り付けます。



注 連続紙を印刷するときは、リアシートガイドが必要です。

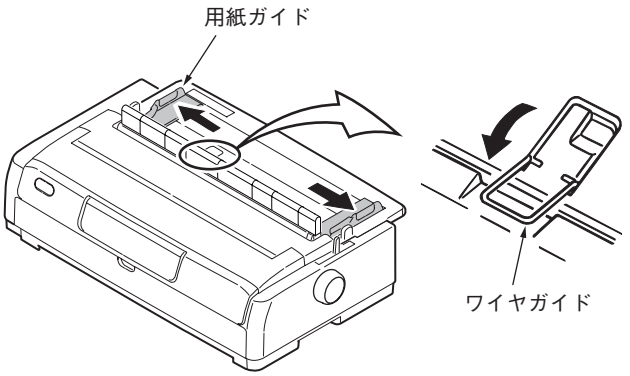
10 プルアップガイドを取り付けます。



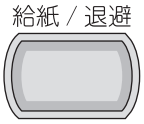
注 リアプッシュトラクタを使用する場合は、プルアップガイドを取り付けてください。取り付けないで使用した場合は、連続複写紙の層間ズレ（5 枚複写紙の場合であれば、1 枚目と 5 枚目の印字のズレ）が発生する場合があります。

11 用紙ガイドを左右いっぱいに移動し、ワイヤガイドを手前側に倒します。

注 ワイヤガイドは印刷済の連続紙がカールしてプリンター内に入り込むのを防ぎます。



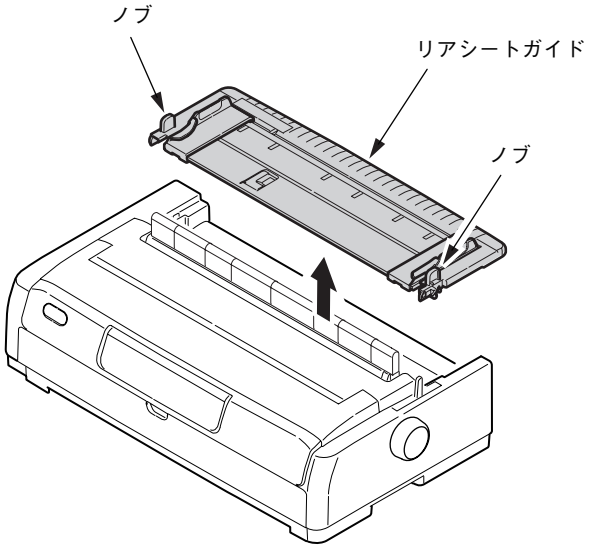
12「給紙 / 退避」スイッチを押します。
1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。



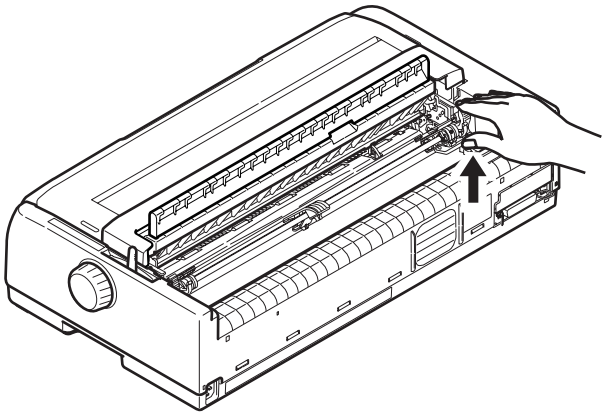
注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

リアトラクタの外し方

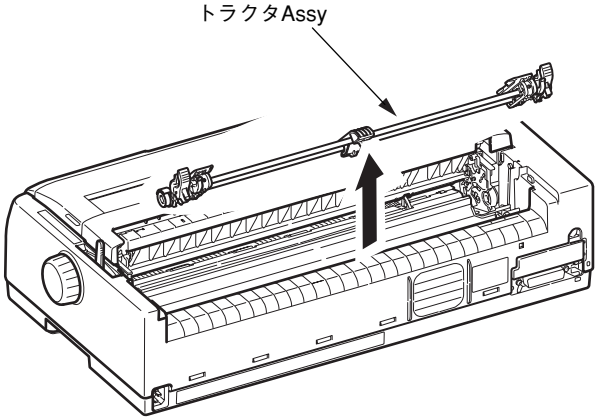
1 左右のノブを持って、リアシートガイドを外します。



2 左右のトラクタ Assy のつまみを上に押し上げてロックを外します。

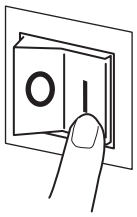


3 トラクタ Assy を外します。

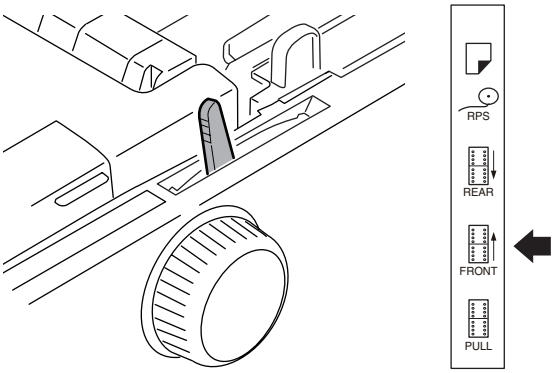


連続紙のセット（フロントの場合）

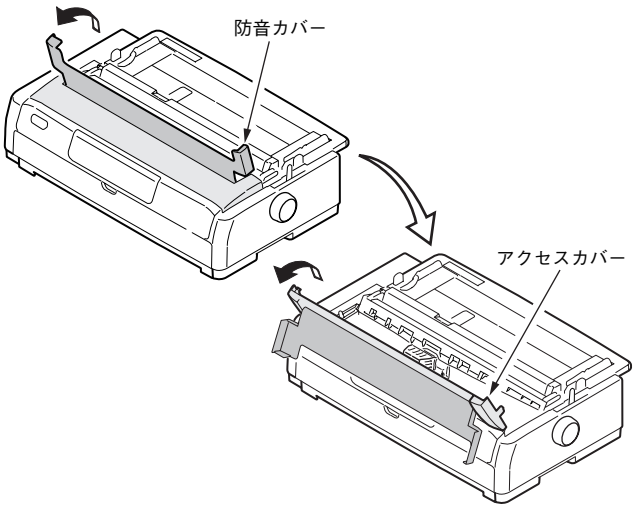
1 電源スイッチを「ON」にします。



2 用紙切換レバーを FRONT「 FRONT 」にセットします。

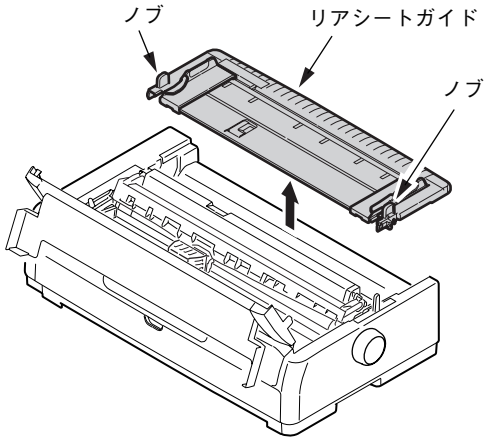


3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

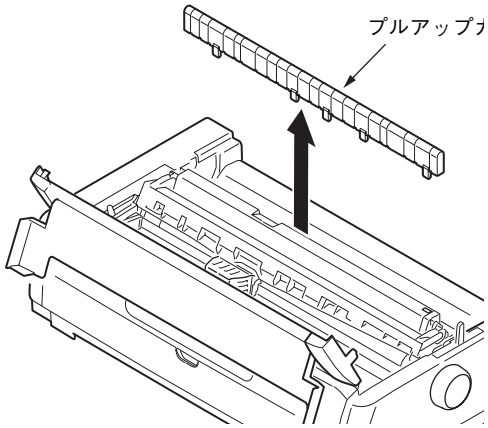


レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

4 左右のノブを持って、リアシートガイドを外します。



5 プルアップガイドを外します。

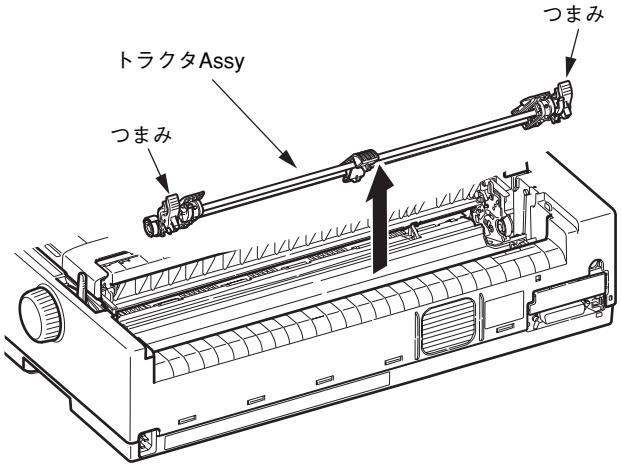


プルアップガイドは、リアプッシュトラクタで使用する時に必要ですので、大切に保管してください。

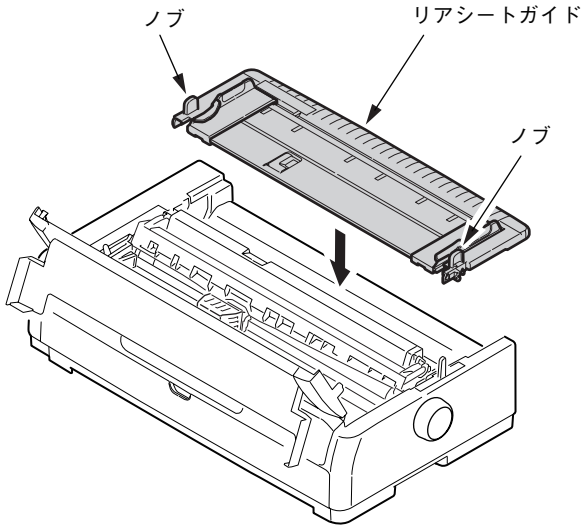
注 フロントプッシュトラクタを使用する場合は、プルアップガイドを取り外してください。取り付けて使用した場合は、連続複写紙の層間ズレ（5 枚複写紙の場合であれば、1 枚目と 5 枚目の印字のズレ）が発生する場合があります。

6 トラクタ Assy を外します。

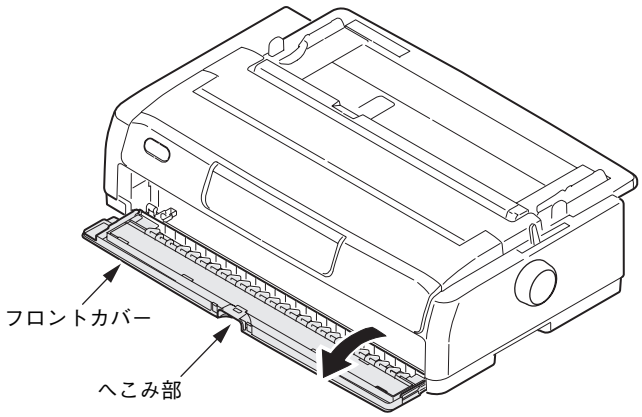
左右のトラクタ Assy のつまみを押し上げてロックを外します。



7 左右のノブを持って、リアシートガイドを取り付けます。



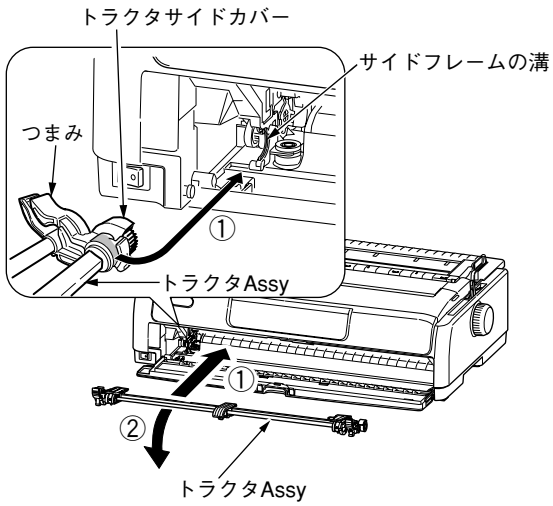
8 フロントカバーを開きます。



注
- 中央のへこみ部を持って手前に開いてください。
- テーブルがセットされている場合は、テーブルを取り外します。

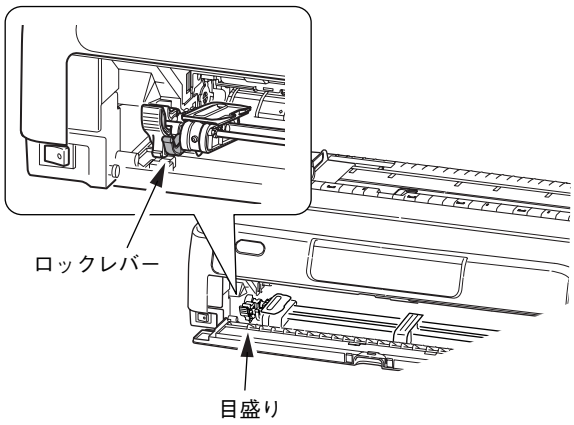
9 トラクタ Assy のつまみを持ってトラクタ Assy をセットします。

トラクタ Assy の左右のつまみを持って、①左右のトラクタサイドカバーを左右のサイドフレームの円弧状の溝に差し込み、②矢印方向に回転させてロックします。

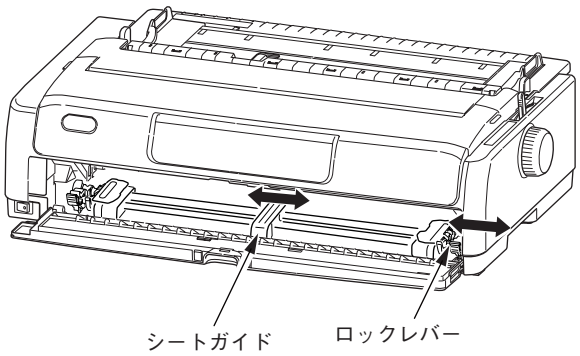


10 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、横方向の印字位置を合わせて、ロックレバーを押し下げて固定します。

目盛の“▼”位置は横方向の 1 文字目の中心になります。

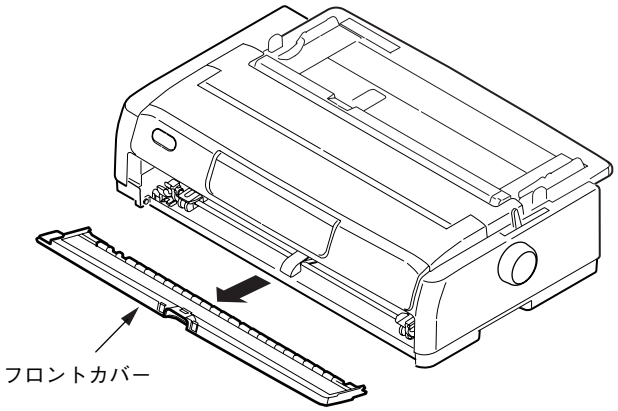


11 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、連続紙の幅に合わせて移動します。シートガイドを連続紙の中央に合わせます。



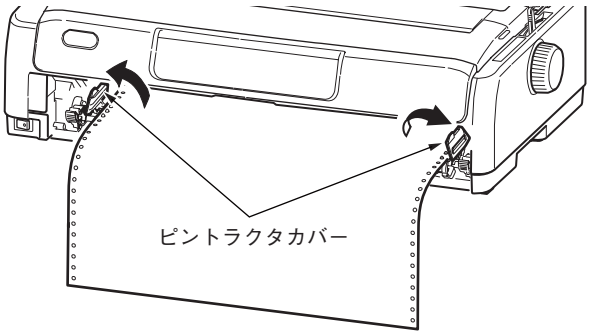
12 フロントカバーを取り外します。

注 フロントカバーの両端を持って、手前に引いて外してください。



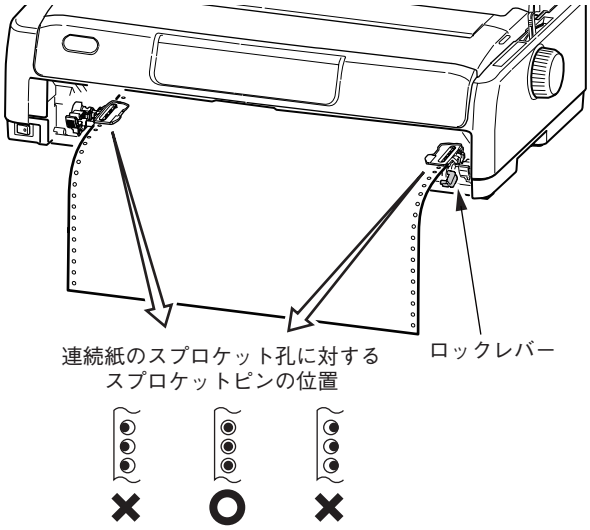
13 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンの位置がずれないようにしてください。

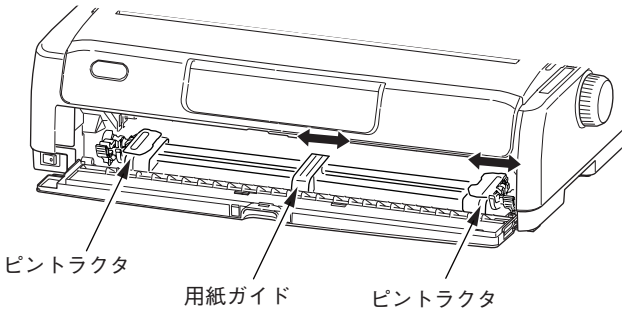


14 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせて、ロックレバーを押し下げて固定します。

その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

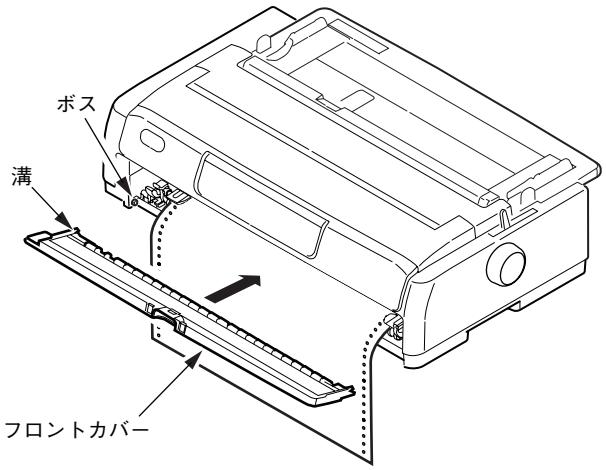


注 高温多湿の環境下では、用紙がやわらかくなり、用紙のスプロケット孔が裂けたり、紙づまりが発生しやすくなります。用紙をピントラクタにセットする場合は、ピントラクタを適切な位置に調整してください。用紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。(ピントラクタのスプロケットピンは、用紙のスプロケット孔の中心にセットしてください。)



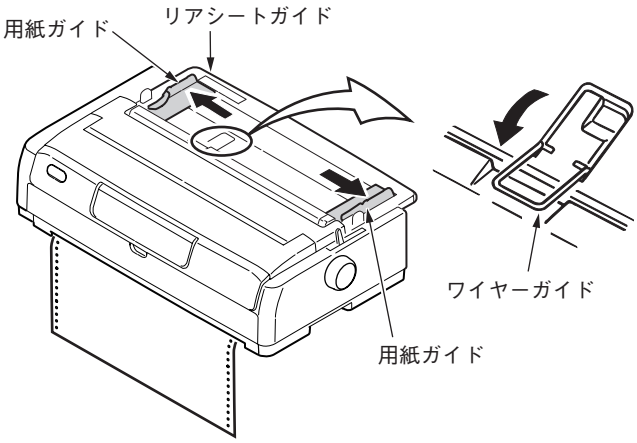
15 フロントカバーを取り付けます。

フロントカバーの左右の溝をプリンターのボスに差し込み、フロントカバーを閉じます。



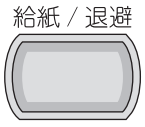
16 リアシートガイドの用紙ガイドを左右いっぱいに移動し、ワイヤーガイドを手前に倒します。

注 ワイヤーガイドは、印刷済の連続紙がカールしてプリンター内に入り込むのを防ぎます。



17 「給紙 / 退避」スイッチを押します。

1 行目印字位置まで連続紙が自動的に送られ「印字可」ランプが点灯します。

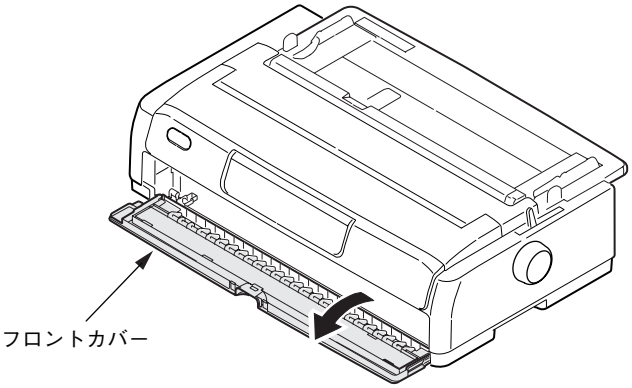


注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。
用紙の種類によっては、逆改行を使用した場合に印字が乱れることがあります。
逆改行動作を実行する印字パターンを使用する場合は、リアプッシュトラクタを推奨します。

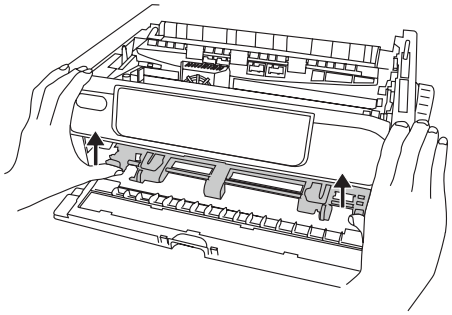
フロントトラクタの外し方

1 フロントカバーを開きます。

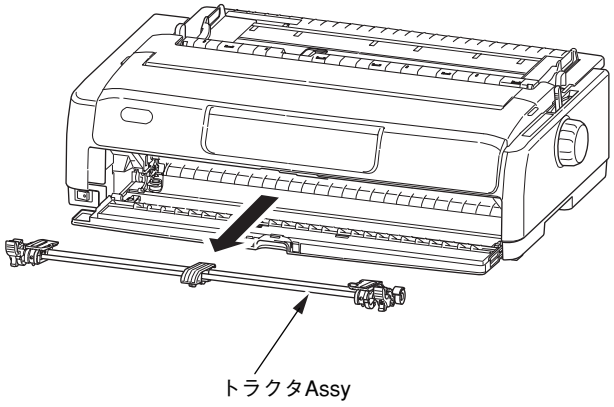
注 中央のへこみ部を持って手前に開いてください。



2 左右のトラクタ Assy のつまみを上に押し上げてロックを外します。



3 トラクタ Assy を外します。



プッシュトラクタについて

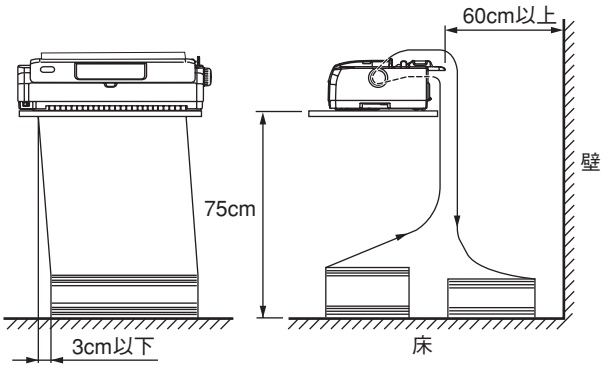
本プリンターに使用しているプッシュトラクタはリアとフロントに付け替えて使用することができます。
また、プッシュトラクタのオプションを購入することにより、リアとフロントの両方に実装することができます。
実装方法については、連続紙のセット方法を参照してください。

注
- リアとフロントの同時印字はできません。
- リア→フロント、あるいは、フロント→リアに切り替える場合は、用紙先端をピントラクタまで退避させてから切り替えてください。
- 用紙を退避しないで用紙切替レバーを切り替えるとアラーム表示されます。

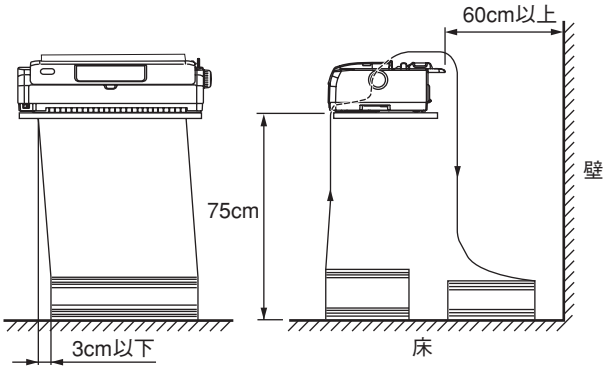
注 プッシュトラクタ使用時のプリンターの設置位置と連続用紙の置き方

- プリンターを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以下にしてください。
- プリンターの後部と机の縁を合わせてください。
- プリンターの後部は、壁から 60cm 以上離してください。

リアプッシュトラクタの場合



フロントプッシュトラクタの場合



連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

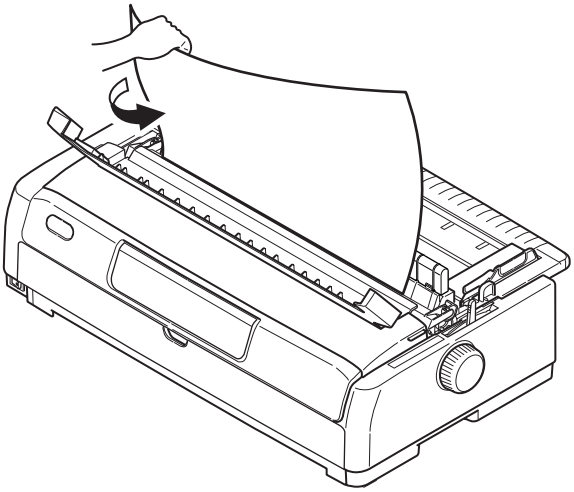
印刷済の連続紙を切り取るとき

1 「用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がプルアップ Assy のカット部に繰り出されます。
「用紙カット」ランプが点滅します。

用紙カット

2 プルアップ Assy のカッター部に連続紙のミシン目を合わせて切り取ります。



注 いきおいよくカットすると、ミシン目以外から破れる場合があります。

3 もう一度、「用紙カット」スイッチを押します。

連続紙が元の印刷位置に戻ります。
「用紙カット」ランプが消えます。

用紙カット

用紙の種類によってミシン目位置がプルアップ Assy のカッターと合わない場合は次の手順で補正します。

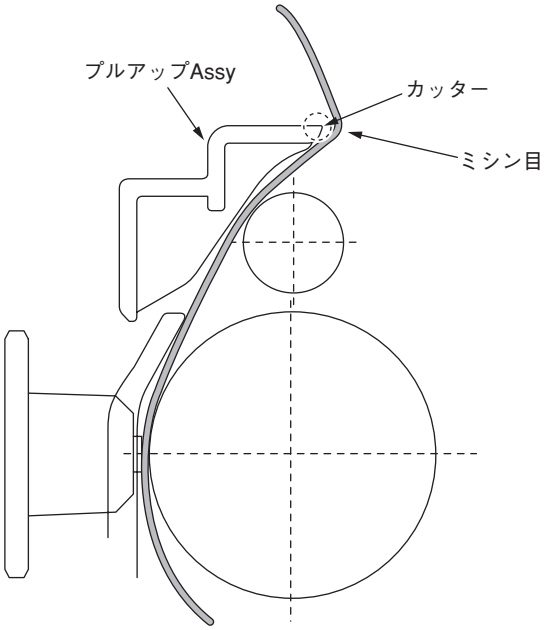
1 「用紙カット」スイッチを押し、そのままスイッチを押したままにしてください。

用紙のミシン目部がアクセスカバーのカッター部分まで送り出されます。

注 用紙カット動作終了後も「用紙カット」スイッチを押したままにしてください。

2 用紙のミシン目部がプルアップ Assy のカッター部分まで送り出されます。

(1) 用紙カッター部と用紙のミシン目位置を確認します。



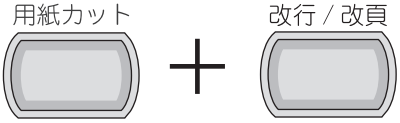
(2) 下記のスイッチを押して、ミシン目カット位置を調整します。

順方向に微少送り：
「用紙カット」スイッチを押したまま、「印字可」スイッチを押します。

用紙カット ＋ 印字可

逆方向に微少送り：
「用紙カット」スイッチを押したまま、「改行 / 改頁」スイッチを押します。

用紙カット ＋ 改行 / 改頁



3 カッターとミシン目の位置を確認します。

プルアップ Assy のカッターと用紙のミシン目の位置が合っていることを、目視で確認します。

連続紙を外すとき（リアプッシュの場合）

1 印刷済みの連続紙を切り取ります。

「連続紙の排出方法」（59 ページ）を参照してください。

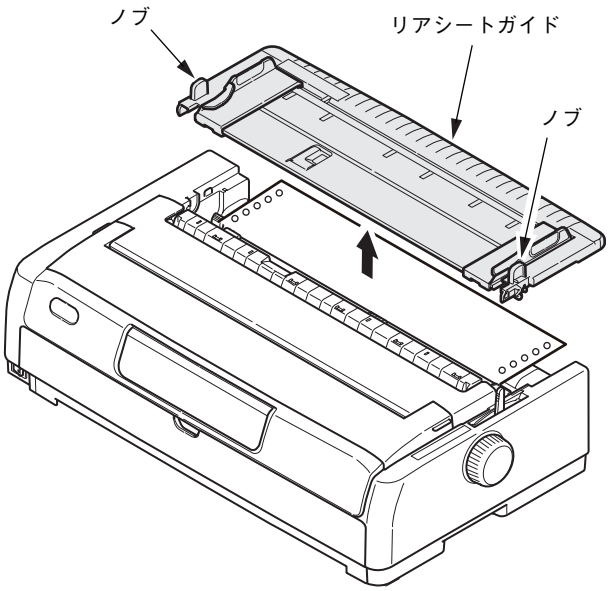
2 「給紙 / 退避」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

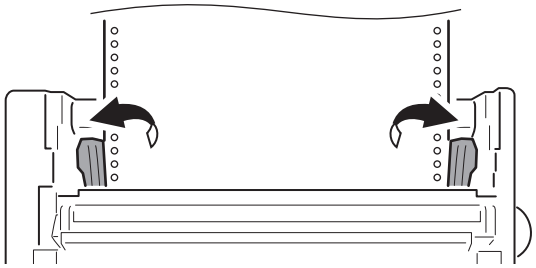
注

- 連続紙の後退量は最高 279.4mm（11 インチ）です。279.4mm（11 インチ）後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、絶対に 2 回以上連続して行わないでください。
  2 回以上行った場合、連続紙の種類によっては、紙づまりが発生します。
- 連続紙の最終ページのスプロケット孔がピントラクタのスプロケットピンから外れた状態で後退動作を行わないでください。紙づまりが発生します。

3 左右のノブを持って、リアシートガイドを外します。

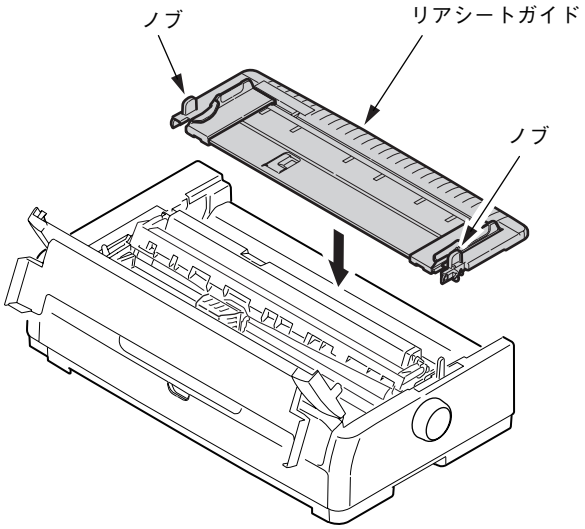


4 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙を外します。



5 ピントラクタカバーを閉じ、リアシートガイドを取り付けます。

メモ ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオンライン状態で「改行 / 改頁」スイッチを押して排出してください。



連続紙を外すとき（フロントプッシュの場合）

1 印刷済みの連続紙を切り取ります。

「連続紙の排出方法」（59 ページ）を参照してください。

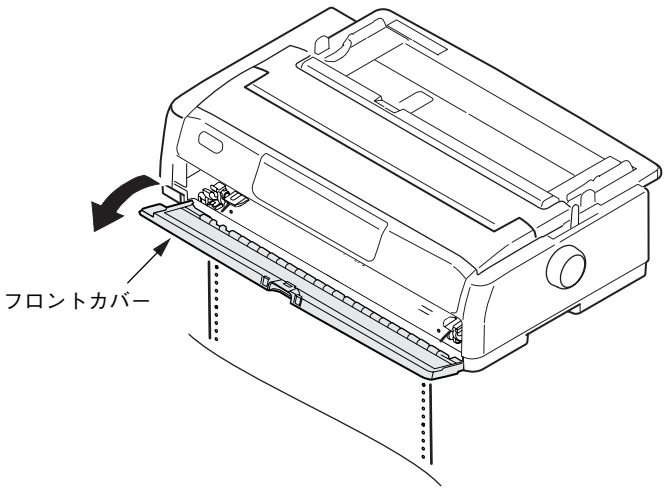
2 「給紙 / 退避」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

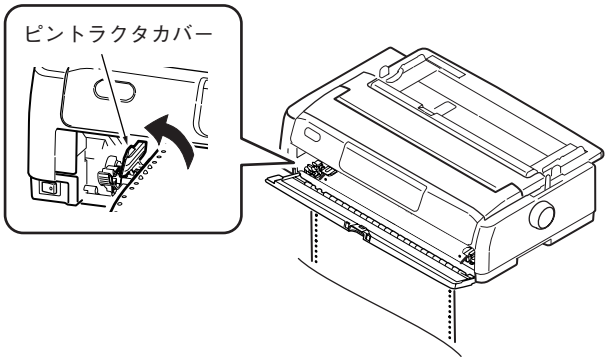
注
- 連続紙の後退量は最高 279.4mm（11 インチ）です。279.4mm（11 インチ）後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、絶対に 2 回以上連続して行わないでください。
  2 回以上行った場合、連続紙の種類によっては、紙づまりが発生します。
- 連続紙の最終ページのスプロケット孔がピントラクタのスプロケットピンから外れた状態で後退動作を行わないでください。紙づまりが発生します。

3 フロントカバーを開きます。

注 中央のへこみ部を持って手前に開いてください。



4 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙を外し、ピントラクタカバーを閉じます。



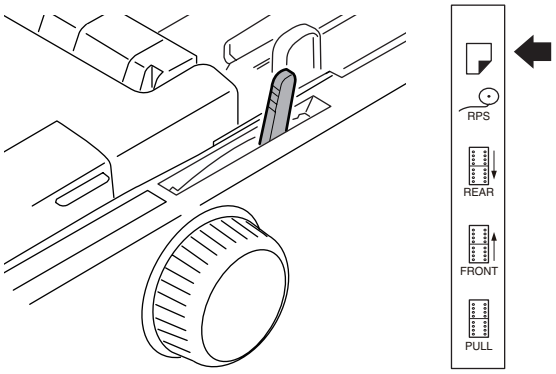
5 フロントカバーを閉じます。

メモ オフラインの状態で「改行 / 改頁」スイッチを押すと、上部より余った連続紙を排出させることができます。

単票と連続紙の切り替え

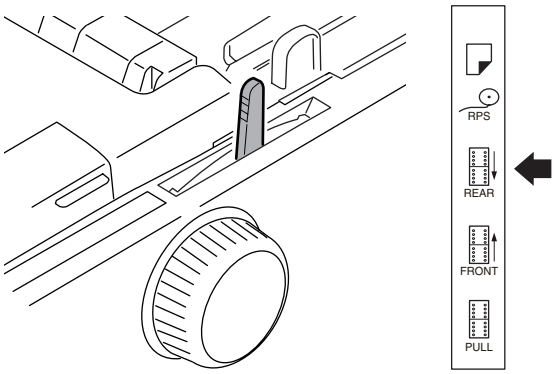
単票

用紙切替レバーを単票「 」に設定します。



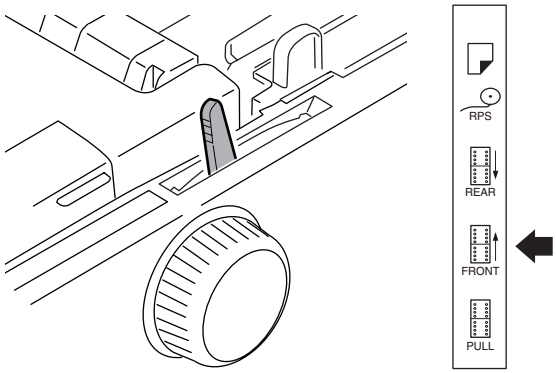
連続紙（リアプッシュトラクタ）

用紙切替レバーを REAR「 」に設定します。



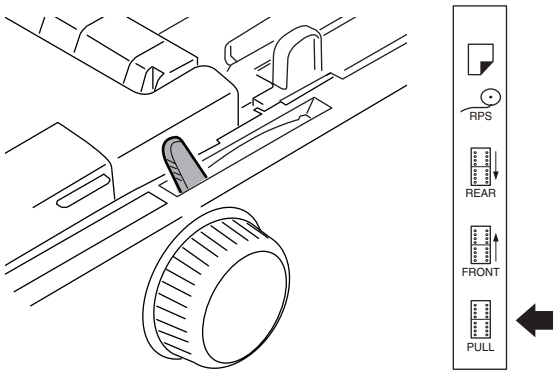
連続紙（フロントプッシュトラクタ）

用紙切替レバーを FRONT「 」に設定します。



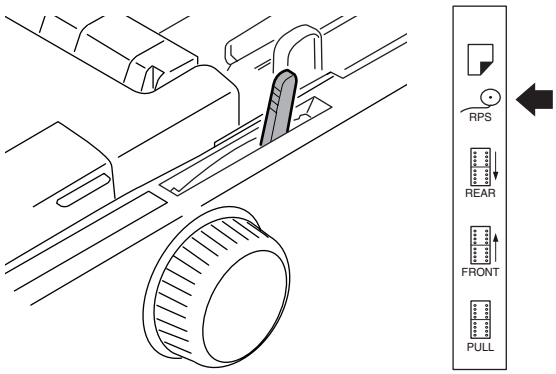
連続紙（プルトラクタ）

用紙切替レバーを PULL「 」に設定します。



ロールペーパースタンド（ML5460HU2 の場合）

用紙切替レバーをロールペーパースタンド、「 」に設定します。



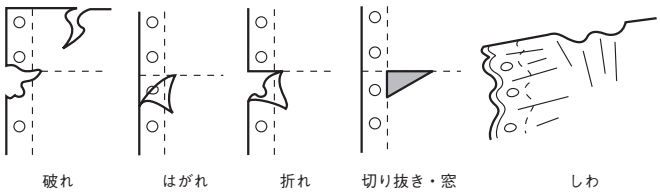
用紙規格および印字範囲

用紙に関する注意

使用禁止の用紙

次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり、紙づまりや紙折れ、印字ずれ、また、最悪の場合は印字ヘッドのピン折れを起こす場合があるため、使用しないでください。

- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン、クリップ、ホッチキスの針などの金属の付いている紙
- のり付け面が露出しているもの、波打っているもの、はがれているもの
- 浮き彫りのあるもの
- 連続用紙の横ミシン目以外で折りたたんだもの
- 複写紙においてオリジナルと複写紙で大きさの異なるもの、または部分的に複写枚数が異なるもの
- 端または角が破れていたり折れている紙
- 切手、シールなどを貼り付けたはがきや封筒



プレプリント用紙

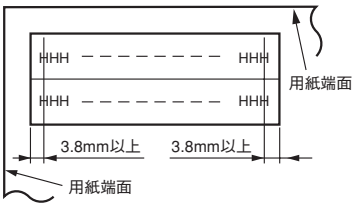
罫線や表などが入った用紙に印刷すると、用紙送り精度や用紙セットのばらつきにより、罫線や表の枠からはみ出して印刷されることがあります。このようなプレプリント用紙を設計する場合は次の点に注意してください。

- 事前印刷する場合は、あらかじめ十分なテストを行い、印刷品質について問題のないことを確認してください。
- 事前印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり、インクの乾燥が不完全であったために、用紙どうしが付着しているようなことがあってはなりません。
- 事前印刷する場合、最大印字可能範囲ぎりぎりに印字位置がくるような用紙設計は避けてください。
- この装置は、光学式センサーを用紙の検出に使用しています。用紙の上端 / 下端 / 左端 / 右端にプレ印刷されている用紙は、用紙の検出がずれる場合があります。事前に問題がないことを確認していから印字をおこなってください。

横罫線について

- 文字の行間隔は 8.47mm（1/3 インチ）以上とってください。
- 文字中心から罫線まで上下とも 4.23mm 以上とってください。

縦罫線について



- 縦罫線は文字中心から 3.8mm 以上（左右外側に）とってください。

注 罫線のプレ印刷は用紙の端面を基準とし平行度 0.1˚ にしてください。

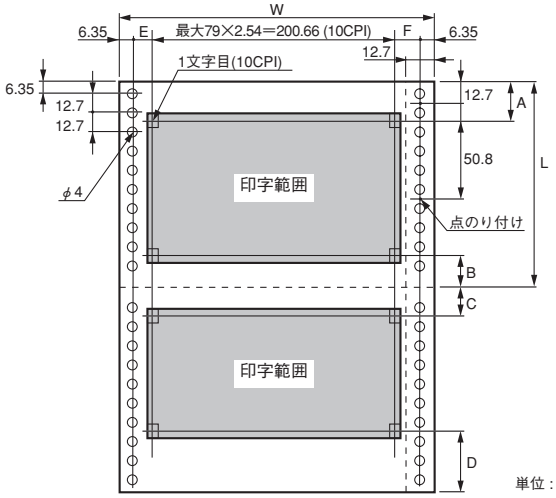
用紙の保管条件（JIS X 6195 による）

用紙は温度 10 ～ 30℃、相対湿度 30 ～ 70%の環境条件で保管してください。
また、保管場所と使用場所との間で環境条件に差がある場合は、使用場所の環境になじませてから使用してください。

連続紙（スプロケット紙）

連続紙はスプロケット孔付きの折りたたみ用紙です。

用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 5460HU2）



記号	名　称	規格値
W	用紙幅	76.2 ～ 254mm（3 ～ 10 インチ）
L	用紙長さ	76.2 ～ 558.8mm（3～22 インチ） ただし、25.4mm（1 インチ）の整数倍で、279.4mm（11 インチ）を標準にします。
A	頭出し位置	2.12mm（1/12 インチ）～ 27.52mm（13/12 インチ） メニュー設定によります。
B	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）
D	用紙終了検出位置	リアプッシュトラクタの場合： 64mm（2.5 インチ） フロントプッシュトラクタの場合： 54mm（2.1 インチ）
E	1 文字目印字位置	用紙幅 3 ～ 9.5 インチの場合 11.73 ～ 20.32mm（0.46 ～ 0.8 インチ） 用紙幅 10 インチ以下の場合 20.32mm（0.8 インチ）
F	印字禁止範囲	用紙幅 3 ～ 9.5 インチの場合 10.67mm（0.42 インチ） 用紙幅 10 インチの場合 16.51mm（0.65 インチ） ただし、E 値範囲内で 80 文字目までです。

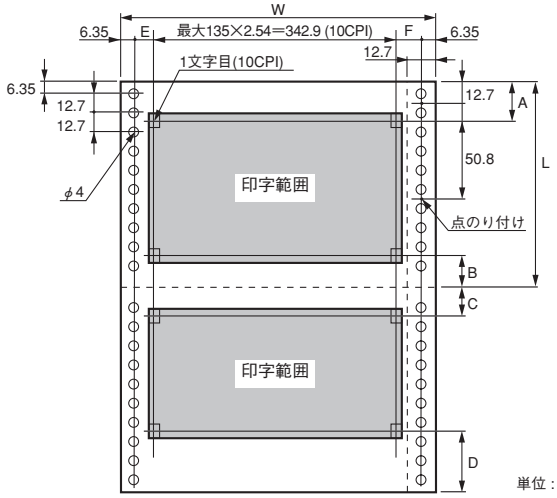
印字精度保証は 35mm（1.38 インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

印字精度保証は 19.05mm（3/4 インチ）以上です。

注

- 印字範囲を超えて印字した場合、印字品質を損ねたり、装置に悪影響を及ぼすことがありますので、印字フォーマットを設定する際は注意してください。
- 横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。横ミシン目をスプロケット孔の近くに設けると用紙がはがれやすくなり、キャリッジ部が引っ掛かることがあります。
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔、コーナカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100 秒（JIS P 8119）以下とします。
- グラフィックやイメージ印刷を行なうと、改行の乱れが出やすくなります。
- ミシン目付傍に印字を行った場合は、汚れや印字ヘッドのピン折れが発生する可能性があります。

用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 8460HU2）



記号	名　称	規格値
W	用紙幅	76.2 ～ 406.4mm（3 ～ 16 インチ）
L	用紙長さ	76.2 ～ 558.8mm（3～22 インチ） ただし、25.4mm（1 インチ）の整数倍で、279.4mm（11 インチ）を標準にします。
A	頭出し位置	2.12mm（1/12 インチ）～ 27.52mm（13/12 インチ） メニュー設定によります。
B	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）
D	用紙終了検出位置	リアプッシュトラクタの場合： 64mm（2.5 インチ） フロントプッシュトラクタの場合： 54mm（2.1 インチ）
E	1 文字目印字位置	用紙幅 3 ～ 15 インチの場合 11.73 ～ 20.32mm（0.46 ～ 0.8 インチ） 用紙幅 16 インチ以下の場合 20.32mm（0.8 インチ）
F	印字禁止範囲	用紙幅 3 ～ 15 インチの場合 10.67mm（0.42 インチ） 用紙幅 16 インチの場合 16.51mm（0.65 インチ） ただし、E 値範囲内で 136 文字目までです。

印字精度保証は 35mm（1.38 インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

印字精度保証は 19.05mm（3/4 インチ）以上です。

注

- 印字範囲を超えて印字した場合、印字品質を損ねたり、装置に悪影響を及ぼすことがありますので、印字フォーマットを設定する際は注意してください。
- 横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。横ミシン目をスプロケット孔の近くに設けると用紙がはがれやすくなり、キャリッジ部が引っ掛かることがあります。
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔、コーナカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100 秒（JIS P 8119）以下とします。
- グラフィックやイメージ印刷を行なうと、改行の乱れが出やすくなります。
- ミシン目付傍に印字を行った場合は、汚れや印字ヘッドのピン折れが発生する可能性があります。

用紙連量

○単　紙

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 用紙連量 40 ～ 77kg（45 ～ 90g/m^2）の用紙が使用可能です。
- 紙厚は 0.05 ～ 0.12mm（0.002 ～ 0.0049 インチ）が使用可能です。

○複写紙

複写能力は、「プリンター仕様」（173 ページ）を参照ください。

種類	用紙連量	通紙能力	最大紙厚
感圧紙 裏カーボン紙	30 ～ 36kg （34 ～ 42g/m^2）	6 枚（オリジナル +5 枚）： リア / フロントプッシュの場合 7 枚（オリジナル +6 枚）： フロント / ボトムプルの場合	リア / フロントプッシュの場合： 0.36mm（0.014 インチ） フロント / リアプル、フロント / リアプッシュプルの場合： 0.44mm（0.017 インチ）
インターリーフ紙	用紙： 32 ～ 36kg （38 ～ 42g/m^2） カーボン紙： 30kg（34g/m^2）	4 枚（オリジナル +3 枚）： リア / フロントプッシュの場合 5 枚（オリジナル +4 枚）： フロント / ボトムプルの場合	ボトムプルの場合： 0.48mm（0.019 インチ）

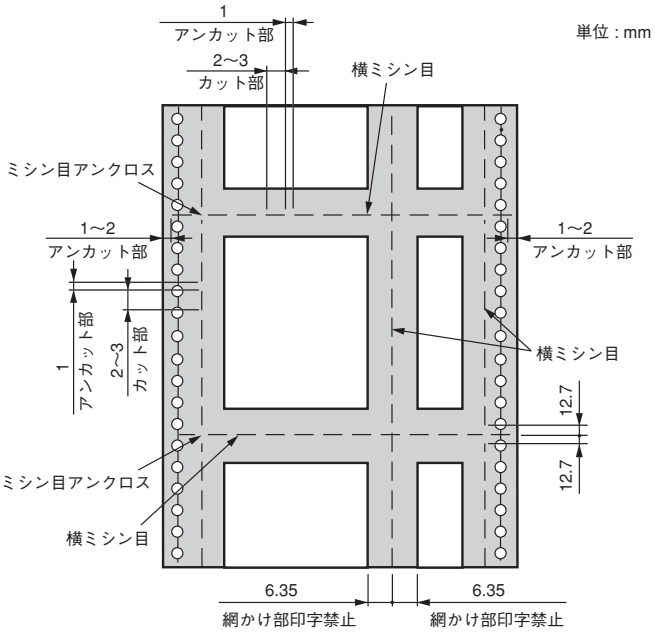
メモ
- 用紙連量は、単位面積（788 × 1091mm）の大きさに換算して、1000 枚分の重量を kg で表わしたものです。
- インターリーフ紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下です。

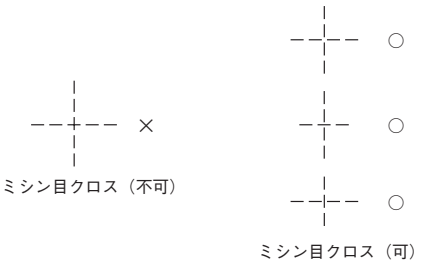
ミシン目

- ミシン目の寸法は、最高速度の用紙送りに耐え、かつ容易に切断できるものを使用してください。
- ミシン目のアンカット部は確実につながっていて、すべての箇所で破れていないことが必要です。
  特に、用紙折り曲げ部は破れやすいので、注意してください。
- ミシン目のカット寸法の比率は、紙質、用紙連量、複写枚数などによって適当な値が選ばれますが、下記の値を推奨します。

	枚　数	カット部の長さ	アンカット部の長さ
横ミシン目	1～6 枚	2～3mm	1mm
縦ミシン目	1～6 枚	3mm	1mm

- 横ミシン目　用紙の両端 1～2mm には、カット部を入れないでください。上下 6.35mm（1/4 インチ）以内は、印字しないでください。
  横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。
- 縦ミシン目　印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は、その左右 6.35mm（1/4 インチ）以内は印字しないでください。
  横ミシン目との交差部は用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないでください。



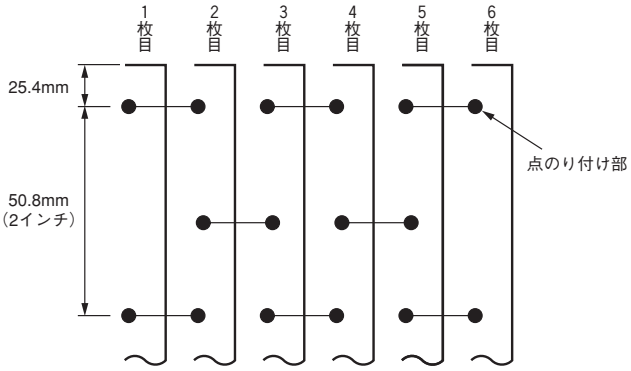


複写紙の重ね合わせの固定方法

複写紙の重ね合わせの固定方法は、点のり付け、線のり付け、または紙ホッチキスとし、両端ともに同じとじ方とします。
ただし､層間ずれ（1 枚目と最下層の印字ずれ）を防止したいときは、点のり付け、または線のり付けとします。（紙ホッチキスの場合、層間ずれが 4mm 程度発生する場合があります）
金属ホッチキスの使用は厳禁です。

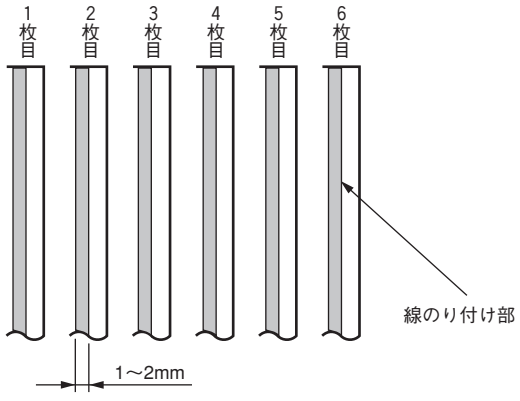
○点のり付け

- 点のり付けは両端点のり付けとし､片端とじは不可とします。
- 点のり付けは均一であり、その大きさはφ 3～φ 5mm とします。
- 点のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また､著しいしわのあるものは使用しないでください。用紙送り精度の乱れの原因になります。
- 点のり付けの位置は、図のとおりにしてください。
- 横ミシン目と 1 つ目の点のり位置は 25.4mm 以下とします。
- 点のり付けは、用紙ごとに千鳥状にしてください。



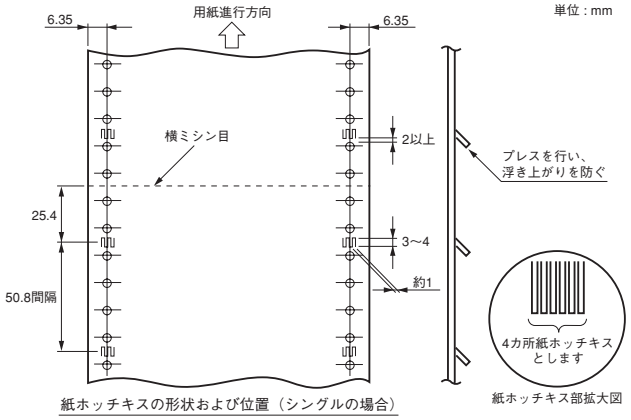
○線のり付け

- 線のり付け部は均一であり、幅は 1～2mm とします。
- 線のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また､著しいしわのあるものは使用しないでください。
- のりは用紙端よりはみ出ないようにしてください。
- のり付け部が固い場合、用紙送り精度の乱れなど発生しやすくなりますので注意してください。

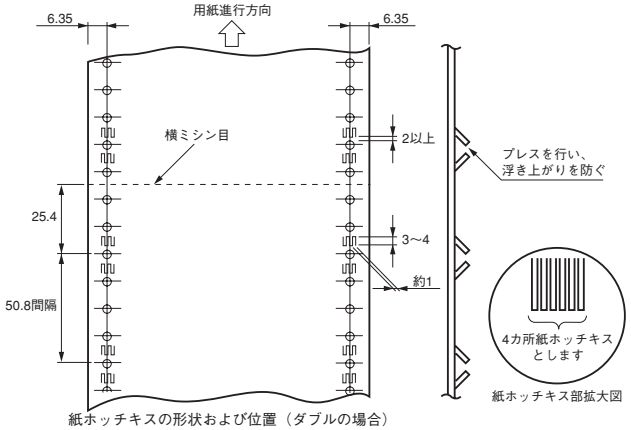


○紙ホッチキス

- 紙ホッチキスは両端紙ホッチキスとし、片端とじは不可とします。
- 紙ホッチキスは必ず用紙の表側から行い、表面には何も出ないようにしてください。
- 紙ホッチキス部は確実にかみ合っていて、浮き上がりなどのないようにしてください。
- 紙ホッチキス後プレスを行い、浮き上がりを防いでください。
- 紙ホッチキスは、ダブルホッチキスを推奨します。シングルホッチキスは使用可能ですが、層間ズレが発生する場合があります。



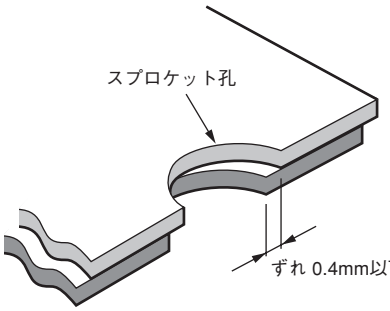
紙ホッチキスの形状および位置（シングルの場合）



紙ホッチキスの形状および位置（ダブルの場合）

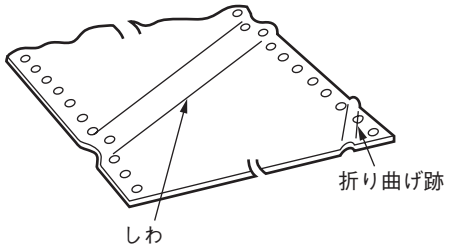
スプロケット孔

スプロケット孔の形状は真円とし、孔の縁は歯状でも可とします。ただし、切口はだれていないことが必要です。
複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは0.4mm 以下のものを使用してください。



しわ、折り曲げ跡

用紙には、しわや折り曲げ跡のないことが必要です。特に新しい用紙の場合、最初と最後の数ページは、しわや折り曲げ跡が発生しやすいので、使用しないようにしてください。用紙送り精度の乱れ、カールやジャム発生の原因になります。

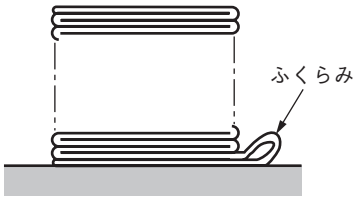


用紙先端、下端のしわ、カール、折れ、めくれ

用紙先端、下端にしわ、カール、折れ、めくれがある場合は、印字品質の低下や紙づまりが発生しやすいので使用しないでください。特に新しい用紙の場合、最初の数ページ～十数ページはカール等が発生している場合があるので使用しないようにしてください。
カール、折れ、曲がりの規定は 72 ページを参照ください。

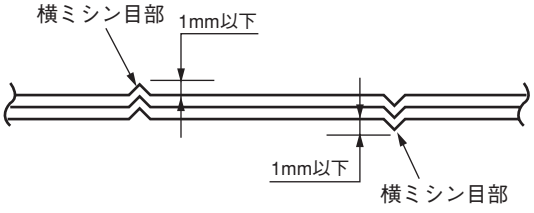
用紙折り曲げ部

用紙は横ミシン目を用いて、交互に折りたたまれていることが必要です。
用紙折り曲げ部が下の図のようにふくらんでいるものは、用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください。



横ミシン目部の盛り上がり

複写紙において、横ミシン目部に盛り上がりがある場合は、印字品質が低下したり、紙づまりが発生しやすくなります。盛り上がり高さは 1mm 以下になるようにしてください。

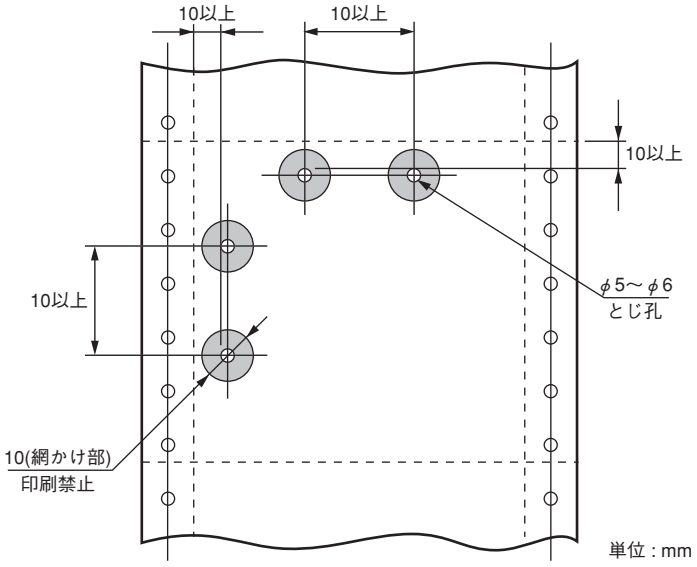


とじ孔

注. とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

- とじ孔の周囲 5mm 以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は盛り上がっていないことを確認してください。盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

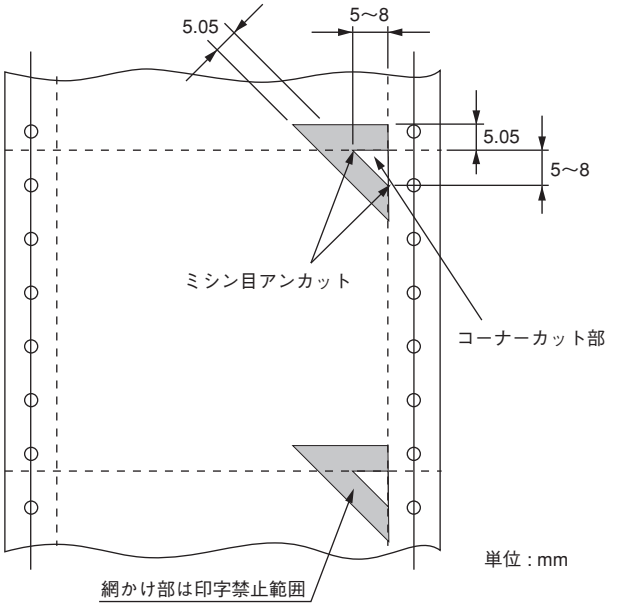


コーナーカット

注. コーナーカットのある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にコーナーカットのある用紙の使用時の注意点を示します。

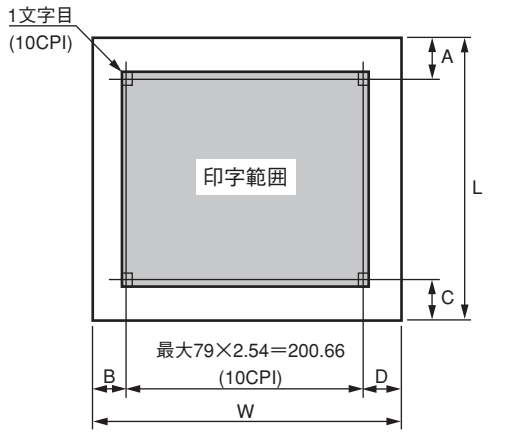
- コーナーカット部の下図網かけ部範囲内には印字しないでください。
- コーナーカットのパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- コーナーカット部周囲には用紙のはがれを防ぐため、縦／横ミシン目のカット部を接続しないでください（アンカット）。用紙はがれの原因となり、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- コーナーカット部が用紙検出スイッチにかかると、用紙終了あるいは用紙ジャムと判断するため注意してください。
- コーナーカットの位置は、下図によります。



単票

単紙

○用紙サイズおよび印字範囲（MOCROLINE 5460HU2）



単位：mm

用紙サイズは B5, A4 を標準とします。

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	100 ～ 257mm（4 ～ 10 インチ）
		カットシートフィーダー使用時 182 ～ 257mm（7.2 ～ 10.1 インチ）
L	用紙長さ	100 ～ 364 mm（4 ～ 14.3 インチ）✎
		カットシートフィーダー使用時 182 ～ 364mm（7.2 ～ 14.3 インチ）
A	頭出し位置	2.12 mm（1/12 インチ）～ 27.52 mm（13/12 インチ）メニュー設定によります。✎✎
B	1 文字目印字位置	6.35mm（1/4 インチ）以上
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）✎✎✎
D	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ） ただし、C 値範囲内で 80 文字目までです。

✎ A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎ 印字精度保証は35mm（1.38 インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

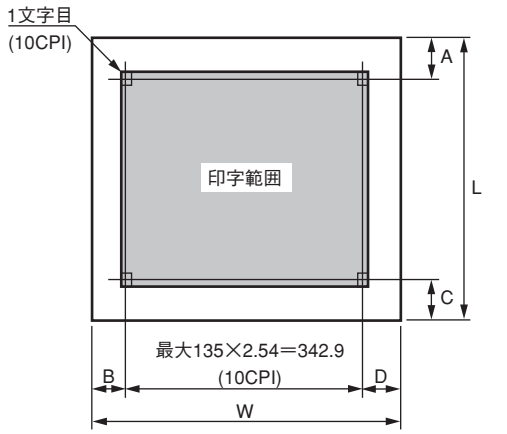
✎✎✎ 印字保証はリア給紙の場合は、25mm（0.98 インチ）以上、フロント給紙の場合は、55mm（2.16 インチ）以上です。

○用紙連量

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 用紙連量 40 ～ 77kg（45 ～ 90g/m^2）の用紙が使用できます。
- カットシートフィーダーでは、用紙連量 55 ～ 70kg（64 ～ 81g/m^2）の用紙が使用できます。

注
- 用紙の縦横比は、1：2 ／ 3 ～ 2 とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は 100 秒（JIS P 8119）とします。
- 用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく、用紙の折れ・ジャムになる可能性があります。
- 用紙の種類、印字のないようにより、しわが発生する場合があります。

○用紙サイズおよび印字範囲（MOCROLINE 8460HU2）



単位：mm

用紙サイズは B5, A4 を標準とします。

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	100 ～ 420mm（4 ～ 16.5 インチ）
		カットシートフィーダー使用時 182 ～ 364mm（7.2 ～ 14.3 インチ）
L	用紙長さ	100 ～ 364 mm（4 ～ 14.3 インチ）✎
		カットシートフィーダー使用時 182 ～ 364mm（7.2 ～ 14.3 インチ）
A	頭出し位置	2.12 mm（1/12 インチ）～ 27.52 mm（13/12 インチ）メニュー設定によります。✎✎
B	1 文字目印字位置	6.35mm（1/4 インチ）以上
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）✎✎✎
D	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ） ただし、C 値範囲内で 136 文字目までです。

✎ A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎ 印字精度保証は35mm（1.38 インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

✎✎✎ 印字保証はリア給紙の場合は、25mm（0.98 インチ）以上、フロント給紙の場合は、55mm（2.16 インチ）以上です。

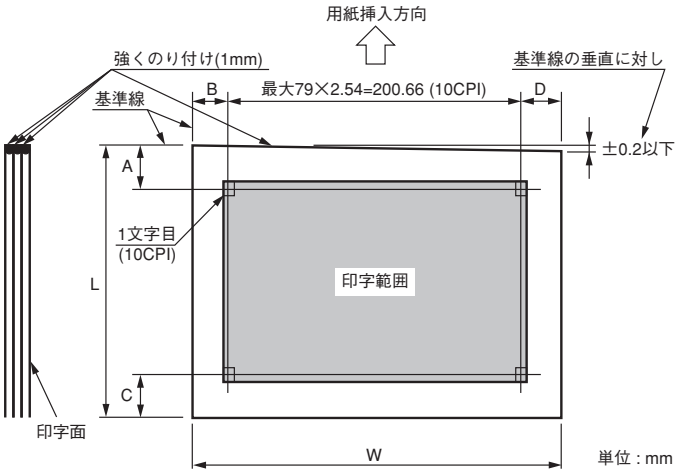
○用紙連量

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 用紙連量 40 ～ 77kg（45 ～ 90g/m^2）の用紙が使用できます。
- カットシートフィーダーでは、用紙連量 55 ～ 70kg（64 ～ 81g/m^2）の用紙が使用できます。

注
- 用紙の縦横比は、1：2 ／ 3 ～ 2 とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は 100 秒（JIS P 8119）とします。
- 用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく、用紙の折れ・ジャムになる可能性があります。
- 用紙の種類、印字のないようにより、しわが発生する場合があります。

複写紙

○ 用紙サイズおよび印字範囲（MOCROLINE 5460HU2）



用紙サイズは B5, A4 を標準とします。

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	100 ～ 257mm（4～10 インチ）
L	用紙長さ	100 ～ 364mm（2.8～14.3 インチ） ✎
A	頭出し位置	2.12mm（1/12 インチ）～ 27.52mm（13/12 インチ） メニュー設定によります。 ✎✎
B	1 文字目印字位置	6.35mm（1/4 インチ）以上 用紙幅 11～12 インチのときは 19.05～28.6mm（3/4～9/8 インチ）
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ） ✎✎✎
D	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）　ただし、C 値範囲内で 80 文字目までです。

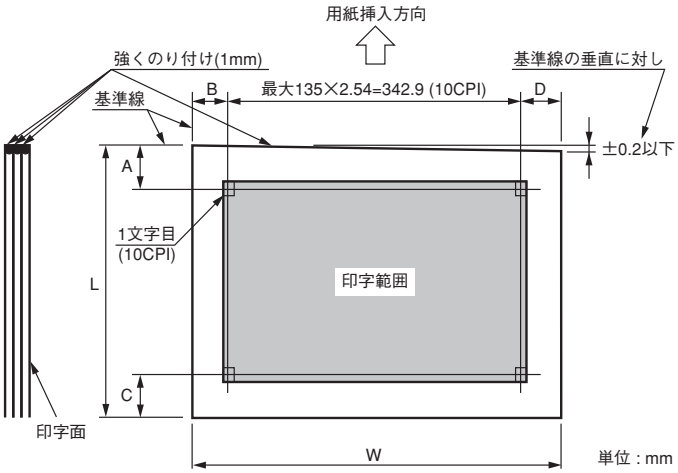
✎ A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎ 印字精度保証は35mm（1.38 インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

✎✎✎ 印字保証はリア給紙の場合は、25mm（0.98 インチ）以上、フロント給紙の場合は、55mm（2.16 インチ）以上です。

注 ・用紙の縦横比は、1：2/3 ～ 2 とします。
・用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく、用紙の折れジャムになる可能性があります。
・折れたり、曲がったりしない用紙を使用してください。
・挿入方向の上端にのり付けしてください。
・とじ孔のある用紙は使用しないでください。
・用紙の種類、印字の内容により、圧痕、しわが発生する場合があります。
・複写紙はカットシートフィーダーでは使用できません。
・用紙の平滑度は、100 秒 (JIS P 8119) とします。
・複写紙を使用する場合は、フロントからの給紙を推奨します。トップから給紙した場合は、用紙の種類、印字の内容により、圧痕、しわが発生する場合があります。

○ 用紙サイズおよび印字範囲（MOCROLINE 8460HU2）



用紙サイズは B5, A4 を標準とします。

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	100 ～ 420mm（4～16.5 インチ）
L	用紙長さ	100 ～ 364mm（2.8～14.3 インチ） ✎
A	頭出し位置	2.12mm（1/12 インチ）～ 27.52mm（13/12 インチ） メニュー設定によります。 ✎✎
B	1 文字目印字位置	6.35mm（1/4 インチ）以上 用紙幅 11～12 インチのときは 19.05～28.6mm（3/4～9/8 インチ）
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ） ✎✎✎
D	印字禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）　ただし、C 値範囲内で 136 文字目までです。

✎ A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎ 印字精度保証は35mm（1.38 インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

✎✎✎ 印字保証はリア給紙の場合は、25mm（0.98 インチ）以上、フロント給紙の場合は、55mm（2.16 インチ）以上です。

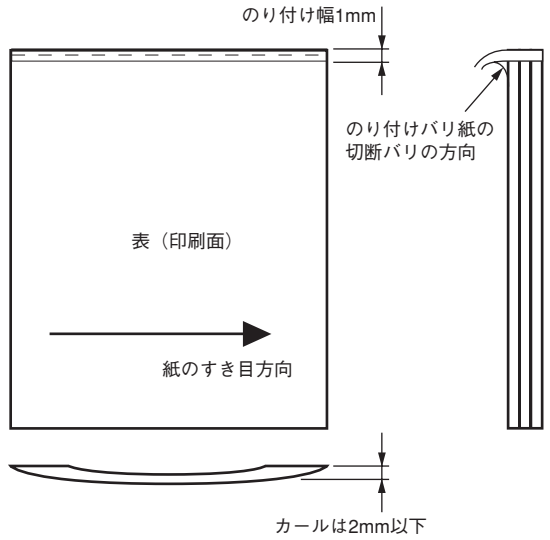
注 ・用紙の縦横比は、1：2/3 ～ 2 とします。
・用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく、用紙の折れジャムになる可能性があります。
・折れたり、曲がったりしない用紙を使用してください。
・挿入方向の上端にのり付けしてください。
・とじ孔のある用紙は使用しないでください。
・用紙の種類、印字の内容により、圧痕、しわが発生する場合があります。
・複写紙はカットシートフィーダーでは使用できません。
・用紙の平滑度は、100 秒 (JIS P 8119) とします。
・複写紙を使用する場合は、フロントからの給紙を推奨します。トップから給紙した場合は、用紙の種類、印字の内容により、圧痕、しわが発生する場合があります。

用紙連量

複写枚数は、最大 5 枚（オリジナル +4 枚）です。
複写紙は、用紙連量 26 ～ 34kg（30 ～ 40g/m^2）裏カーボン紙、または感圧紙とします。また、全体の用紙厚さは 0.24mm を超えないようにしてください。

複写紙の重ね合わせの固定方法

- 複写紙の重ね合わせ固定方法は用紙挿入方向の先端側に幅 1mm の線のり付けとします。（天のり）
- のり付け部は強くのり付けし、必ずプレスを行い、浮き上がりを防止してください。
- のりは、用紙端よりはみ出さないようにしてください。
- のり付け部には著しいしわやばりがあってはなりません。



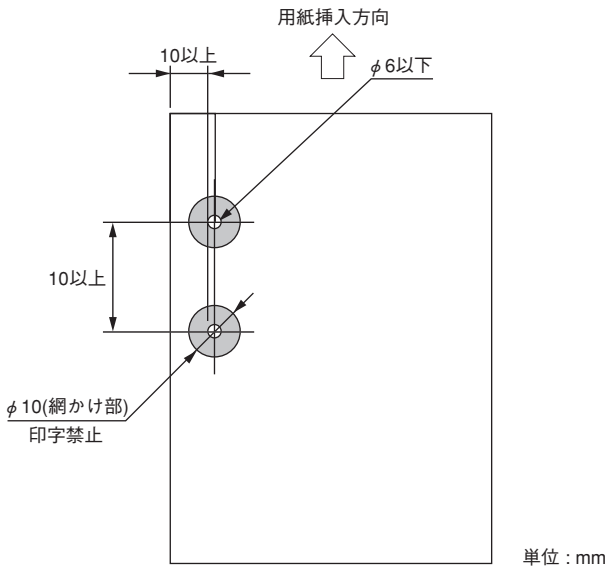
注 ・すき目方向とのり付け方向が垂直になった場合、のり付け部の波うちが多く発生します。
・のり付けバリおよび紙の切断バリは極力少なく押さえてください。バリの方向は表面方向としてください。
・カールを防ぐため、保管方法に注意してください。
カールは 2mm 以下とします。
・のり付け幅は基本的に 1mm としてください。
・印字領域内には、とじ孔は開けないでください。

とじ孔

注 とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

- とじ孔の周囲 5mm 以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は表面側に盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。



単位：mm

ミシン目

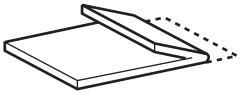
注 ミシン目のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にミシン目のある用紙の使用時の注意点を示します。

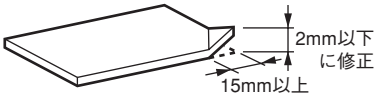
- ミシン目の仕様は連続紙のミシン目の項目に準じます。
- ミシン目の周囲 5.08mm 以内は印字しないでください。

折れ（単票・連続紙）

- 全幅に渡って折れたものは使用不可です。
- 隅の折れについては 2mm 以下に修正してください。



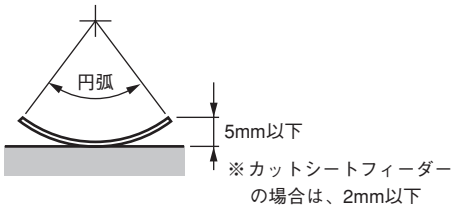
全幅に渡って折れたものは使用不可



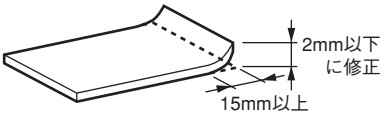
隅の折れ

カール、曲がり（単票・連続紙）

- 全面的なカールは 5mm 以下なら使用可です。[メニュー設定で頭出し位置が 2.12mm(1/12 インチ) に設定する場合、紙づまりが発生するため 2mm 以下]
- 用紙端から 15mm 以内で 2mm 以上の曲がりは使用不可です。



全面的なカール

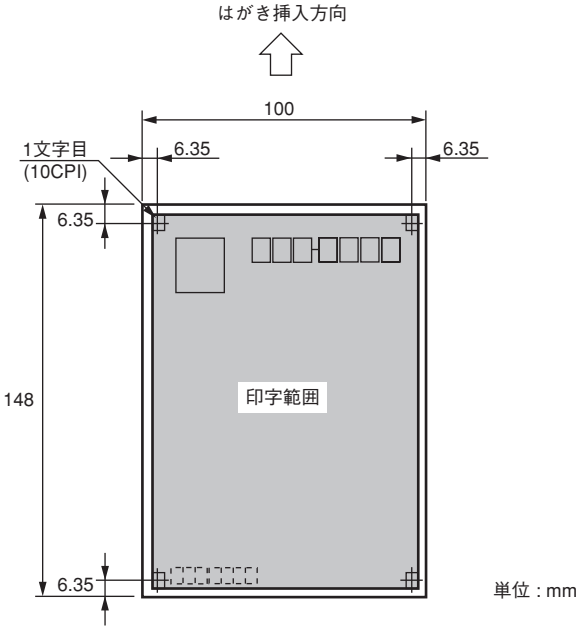


曲がり

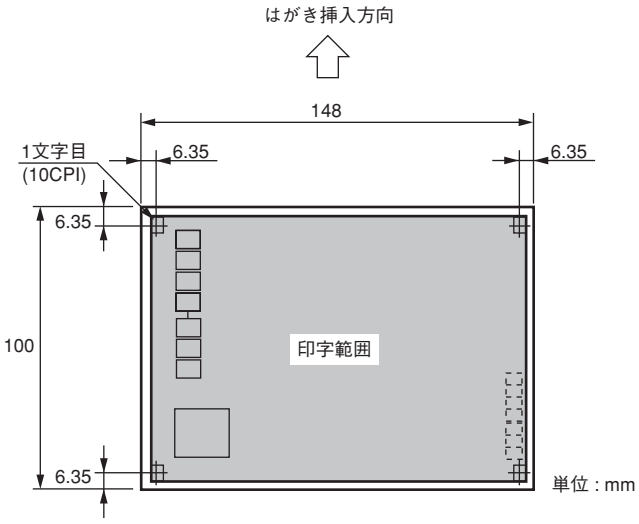
はがき

用紙サイズおよび印字範囲

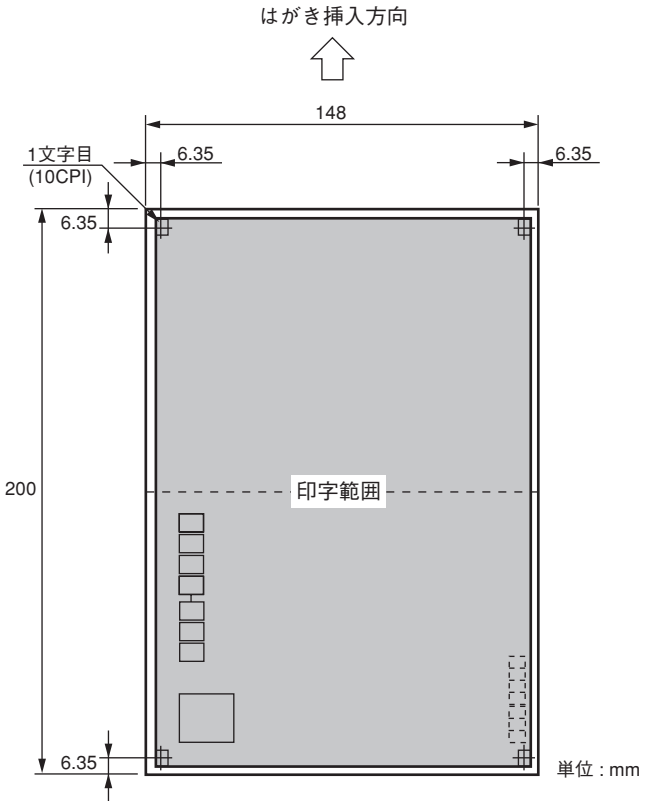
○通常はがき縦挿入



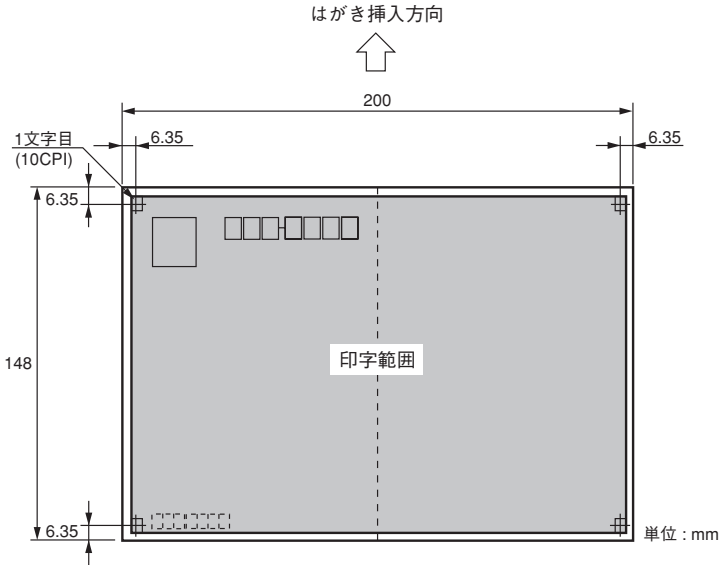
○通常はがき横挿入



○往復はがき縦挿入



○往復はがき横挿入



使用はがき

郵便はがき
連量　163kg 相当（190g/m²）
厚さ　0.23mm

注

・折れたり、曲がったりしていないものを使用してください。
・はがきの反りは 2mm 以下とします。ただし、下向きの反りは使用できません。

・往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
・はがきを使用する場合は、トップからの給紙を推奨します。フロントから給紙した場合は、印字の内容により、下端から 55mm の範囲で印字精度が乱れる場合があります。

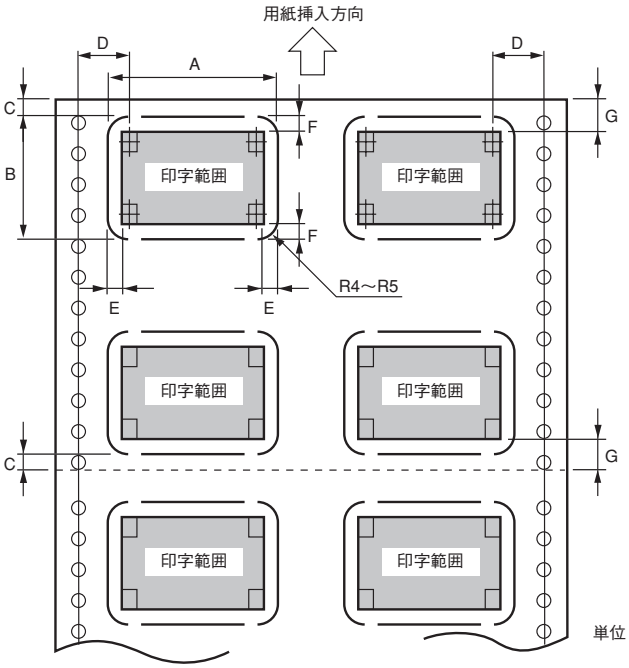
ラベル紙

ラベル紙を使用する場合は以下の基準に合ったものを使用してください。基準から外れたラベル紙は印字品位に悪影響をおよぼすだけでなく、粘着材の付着によって故障の原因になります。

注意
- ラベル紙を使用する場合は、事前に十分テストをして問題のないことを確認してください。
- ラベル紙を使用する場合は、ボトムプルトラクタ、或いはフロントプッシュトラクタの使用を奨励します。リアプッシュトラクタを使用すると、ラベルが台紙より剥がれる場合があります。その際は、ボトムプルトラクタ、あるいはフロントプッシュトラクタを使用するか、粘着力の強いラベル紙を使用してください。ラベル紙によっては、逆改行時にラベルが台紙より剥がれる場合があります。逆改行は行わないでください。

用紙サイズおよび印字範囲

	MICROLINE 5460HU2	MICROLINE 8460HU2
印字幅	101.6 ～ 254.0mm （4 ～ 10 インチ）	101.6 ～ 406.4mm （4 ～ 16 インチ）
印字長さ	76.2 ～ 355.6mm（3 ～ 14 インチ） 但し、25.4mm（1 インチ）の整数倍で 279.4mm（11 インチ）を標準とします。	←



記号	名　称	規格値
A	ラベル幅	50mm 以上
B	ラベル長さ	25mm 以上
C	ラベル禁止範囲	6.35mm（1/4 インチ）以上　12.7mm（1/2 インチ）以上を推奨
D	ラベル禁止範囲	用紙幅 304.4mm（12 インチ）のとき、14.0～22.2mm（11/20～7/8 インチ） 用紙幅 279.4mm（11 インチ）のとき、12.7～22.2mm（1/2～7/8 インチ）
E	印字禁止範囲	2.54mm 以上
F	印字禁止範囲	2mm 以上
G	印字禁止範囲	8.46mm（1/3 インチ）以上 印字精度保証は 25.4mm（1 インチ）以上

用紙連量

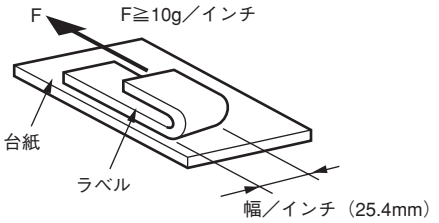
ラベルは上質紙で連量 55kg（坪量 64g/m^2）、厚さ 0.1mm 以下です。台紙ははくり紙で厚さ 0.06 ～ 0.08mm 以下です。

最大用紙厚さ

0.2mm

粘着剤

- はくり強度 10g/ インチ以上です。
- 直径 27mm の円筒に巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないようにしてください。
- 印字中や用紙走行中にラベルがはがれない状態に保たれた用紙を使用してください。
  粘着剤が表面にはみ出さないようにしてください。

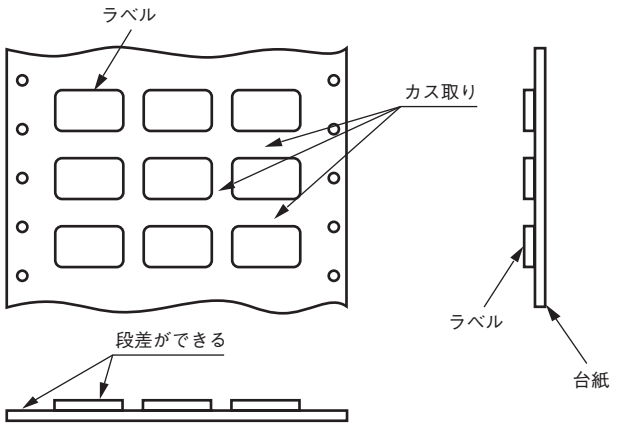


カット

- カットはラベル（表面基紙）のみに入れてください。
- 台紙の横ミシン目に対応するラベルのカットは、横ミシン目と同一とし、両端 1 ～ 2mm にはアンカット部を設けてください。
- ラベル上方の左右コーナ付近に 0.5 ～ 1mm 程度のアンカット部を設けてください。

ラベルのカス取りについて

ラベルのカス取りは行わないでください。
〔ラベルをはがしたときに残るラベル以外の部分（カス）が取り除かれていないこと〕
下図のようにカス取りのしてあるラベル紙は、段差ができるため、使用禁止です。

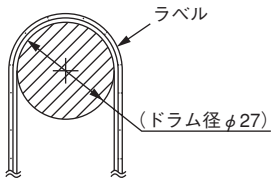


注意
- ラベル紙と台紙の厚さは、合計 0.2mm 以下とします。ただし、ラベル紙および台紙の厚さはどちらも 0.1mm 以下とします。
- 直径 27mm の円筒にラベル紙を表にして巻き付けたとき、ラベル紙が台紙からめくれたり、はがれたりしないものを使用してください。

ラベルの貼付強度

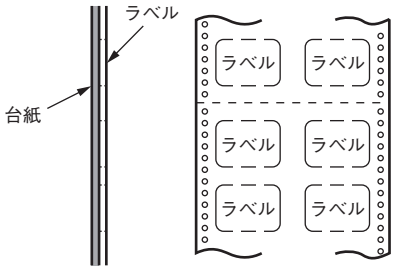
次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%

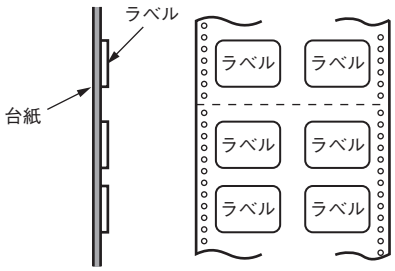


・カス取り（ラベル以外の粘着シールをはぎ取ること）をしていないラベル紙を使用してください。

カス取りをしていないラベル紙

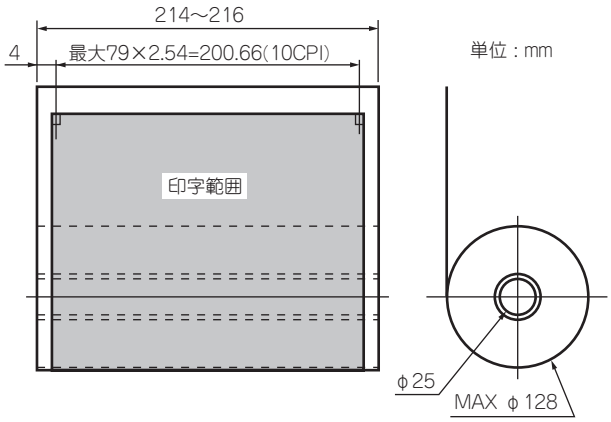


カス取りをしているラベル紙（使用しないでください）



ロール紙

注 MICROLINE 5460HU2オプションのロールペーパースタンドが必要です（MICROLINE 5460HU2単体およびMICROLINE 8460HU2では使用できません）。



仕様

（1） ロール紙外形寸法　MAX φ128mm
（2） 巻き芯内径　φ25mm
（3） 単紙は45kg～55kg（52～64g/m^2）
（4） 複写紙は34kg（40g/m^2）以下の感圧紙で最大オリジナル＋1枚まで使用可能です。
　　複写紙は圧跡がつく場合があります。
（5） 紙質は上質紙を基本とします。

再生紙

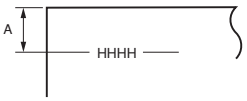
再生紙は製造メーカや紙質により特性が異なりますので、ご使用に際しては以下の注意事項をご確認の上ご使用ください。

- 再生紙は紙粉が発生しやすいため、清掃を短い周期で行ってください。
- 再生紙は湿度の影響を受けやすいため、高湿度での使用は避けてください。
- カットシートフィーダーで使用する場合、再生紙は用紙の引張強度や剛性が弱いため、用紙ジャム率、用紙スキュー、重送率等が増加します。
- カットシートフィーダーで使用する場合、再生紙は紙厚が厚くなる傾向がありますので、カットシートフィーダーへのセット枚数が減少します。

印字規格

用紙の頭出し位置

自動給紙したときの用紙上端から 1 行目中心までの位置精度です。

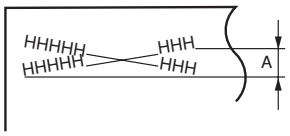


単位：mm

用　紙		A
連続紙	単紙（連量 55kg）	± 1
	その他の用紙	± 2
単票	単紙（連量 55kg）	± 1
	その他の用紙	± 2

- 印字行の傾きは除きます
- 用紙セットが正確な場合の精度です

印字行の傾き



単位：mm

用　紙	印字幅	A
連続紙	80 文字 136 文字	1.0 以下 1.0 以下
単票	40 文字	1.0 以下
郵便はがき	36 文字	1.5 以下

MICROLINE 5460HU2 の場合：80 文字
MICROLINE 8460HU2 の場合：136 文字

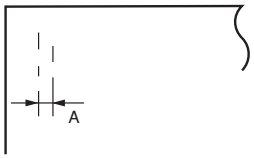
改行精度

Bは40行間

単位：mm

用　紙		A=4.23	B=165.1
連続紙	単紙	± 0.5	± 1.0
	複写紙	± 0.8	−
単票	単紙	± 0.5	± 2.0
	複写紙	± 0.8	−
郵便はがき		± 0.5	−

縦罫線のずれ



単位：mm

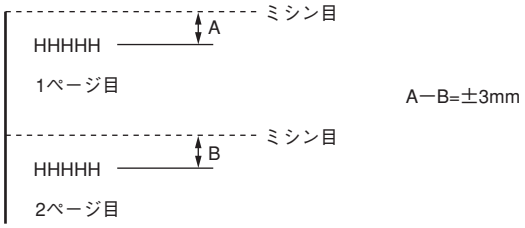
印刷方向	A
片方向	0.15 以下
両方向	0.3 以下

連続複写紙の層間ずれ

5 枚複写紙の 1 枚目と 5 枚目の印字ずれは 4mm 以下です（ただし用紙ジャムない場合です）。

改頁精度

1 ページ目基準として 2 ページ目以降の印字ずれ量は± 3mm。
※複写紙の場合は、1 枚目とします。



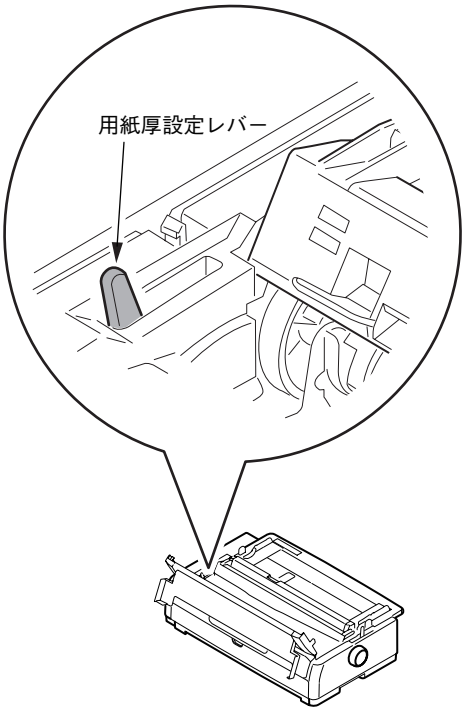
- 設定したページ長と用紙のページ長が一致している場合の精度です
- 印字行の傾きは除きます

用紙の厚さに応じた調整方法

このプリンターは、用紙の厚さに応じて印字ヘッドとプラテンとの間隔の調整を必要とします。用紙の種類および枚数に応じて、用紙厚設定レバーのレンジ位置を変えてください。
使用できる用紙は、「用紙規格および印字範囲」(63 ページ) を参照してください。
次の表から使用する用紙の「最も厚い部分」の「レンジ値」を選びます。

用紙種類			レンジ値							注		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
単紙	連量 40 ～ 70 kg（45 ～ 81g/m²）		○									
	連量 70 ～ 110 kg（81 ～ 128g/m²）			○								
	はがき					○						
複写紙	連量 34 kg（40g/m²）の裏カーボンまたは感圧紙	2 枚		○								
		3 枚			○							
		4 枚				○						
		5 枚					○					
		6 枚						○				
		7 枚							○			

レンジ値	1	2	3	4	5	6	7	注 8	注 9	注 10
用紙全体の厚さ（mm）	0.06 ～ 0.10	0.11 ～ 0.15	0.16 ～ 0.20	0.21 ～ 0.25	0.26 ～ 0.30	0.31 ～ 0.35	0.36 ～ 0.40	0.41 ～ 0.45	0.46 ～ 0.50	0.51 ～ 0.53



注
- レンジ値 8 ～ 10 の印字は保証されません。
- レンジ値 8 ～ 10 も設定できますが、複写紙の印字品位が低下し、文字が判読できない場合があります。
- 用紙の厚さと異なったレンジ値で使用した場合、用紙送りおよび印字ヘッドに不具合を生じるおそれがあります。
- 通帳の印字はしないでください。印字ヘッドのピン折れ / リボン引掛け等の不具合を生じる原因となります。

メモ
- 一般的なコピー紙（連量 55kg の場合）の用紙厚さは約 0.08mm です。
- 郵便はがき（連量 163kg 相当の場合）の用紙厚さは約 0.23mm です。

スリープモード（節電モード）への切り替え

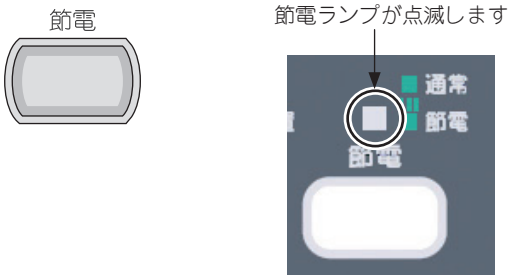
スリープモードにより、プリンターの消費電力を節約することができます。

待機状態からスリープモードへの切り替え

1 印刷動作していないことを確認します。

2「節電」スイッチを押します。

「節電」スイッチを押すと、印字ヘッドは待機位置へ移動して、スリープモードに入ります。
「節電」ランプが点滅し、その他の全てのランプは消えます。



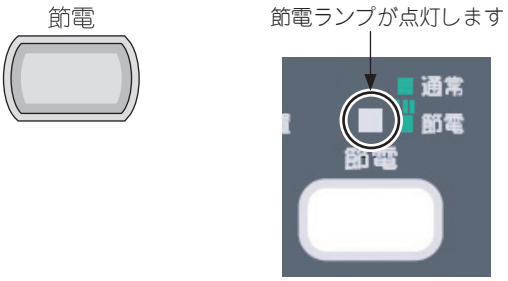
注 印刷動作中は「節電」スイッチは無効となり、スリープモードに入りません。
「節電」スイッチを押してスリープモードに入った場合は、印刷データを受信するか、再度「節電」スイッチを押さないと待機状態に戻りません。

スリープモードから待機状態への切り替え

1「節電」ランプが点滅していることを確認します。

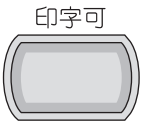
2「節電」スイッチを押します。

「節電」スイッチを押すと、印字ヘッドのホーミング動作が実行され、スリープモードが解除され、待機モードになります。
待機モードに切り替わると「節電」ランプが点灯状態になります。
その他のランプは、スリープモードに入る前の状態に戻ります。



3「印字可」スイッチを押します。

「印字可」ランプが点灯していない場合は、「印字可」スイッチを押してオンライン状態にします。



静音 / 高静音印字モードで印刷します

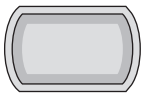
静音 / 高静音印字モードを選択することにより、印刷音を低減することができます。

静音印字モードを選択します

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

「印字可」ランプが消えていることを確認してください。

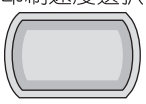
印字可



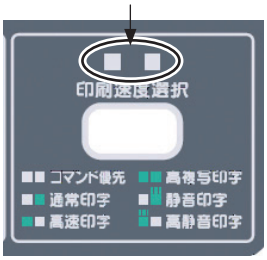
2 「印刷速度選択」スイッチを押します。

「印刷速度選択」スイッチを数回押して、「静音印字」を選択します。

印刷速度選択



「用紙速度選択」ランプが、左から消灯状態、点滅状態になります。



3 「印字可」スイッチを押し、オンラインにします。

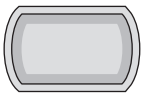
注 静音モードは、印刷速度の低下等により印刷時間が長くなります。
このプリンターは、スイッチを押して設定された印刷速度選択状態を記憶します。
プリンターの電源を OFF した後、再度プリンターの電源を ON すると、プリンターの電源が OFF される前の状態の印刷速度が設定されます。

高静音印字モードを選択します

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

「印字可」ランプが消えていることを確認してください。

印字可

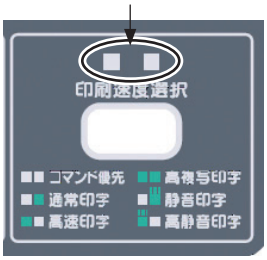


2 「印刷速度選択」スイッチを押します。

「印刷速度選択」スイッチを数回押して、「高静音印字」を選択します。

印刷速度選択

「用紙速度選択」ランプが、左から点滅状態、消灯状態になります。



3 「印字可」スイッチを押し、オンラインにします。

注 高静音モードは、静音モードよりさらに印刷時間が長くなります。
このプリンターは、スイッチを押して設定された印刷速度選択状態を記憶します。
プリンターの電源を OFF した後、再度プリンターの電源を ON すると、プリンターの電源が OFF される前の状態の印刷速度が設定されます。

単票用紙の頭出し位置を選択します

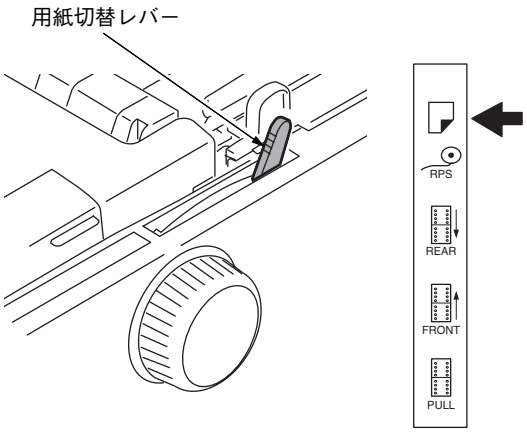
本プリンタは単票頭出し位置を 3 種類設定することができ、スイッチで頭出し位置を選択することができます。

単票頭出し位置を選択します

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

「印字可」ランプが消えていることを確認してください。

2 用紙切替レバーを単票「 」に設定します。

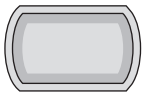


「用紙切替レバーが単票に設定されていて、すでに単票用紙が給紙されている場合は、給紙されている用紙を「給紙 / 退避」スイッチを押して排出します。

3 「用紙位置選択」スイッチを押します。

「用紙位置選択」スイッチを数回押して、利用したい頭出し位置を選択します。

用紙位置選択



「用紙位置選択」ランプが変化し、選択されている頭出し位置を表示します。

4 単票用紙をフロント給紙の場合はテーブルにセットし、トップ給紙の場合はリアシートガイドにセットします。

単票用紙が自動的に給紙され、3 項で選択した用紙頭出し位置まで給紙します。

メモ 用紙位置選択スイッチで選択された頭出し位置は、単票モードでのみ有効となります。頭出し位置は、単票トップと単票フロントルートのメニュー項目の「頭出し位置 1」、「頭出し位置 2」、および「頭出し位置 3」から頭出し位置を設定することができます。

注 このプリンターは、スイッチを押して設定された用紙位置選択状態を記憶します。
プリンターの電源を OFF した後、再度プリンターの電源を ON すると、プリンターの電源が OFF される前の状態の用紙位置が設定されます。

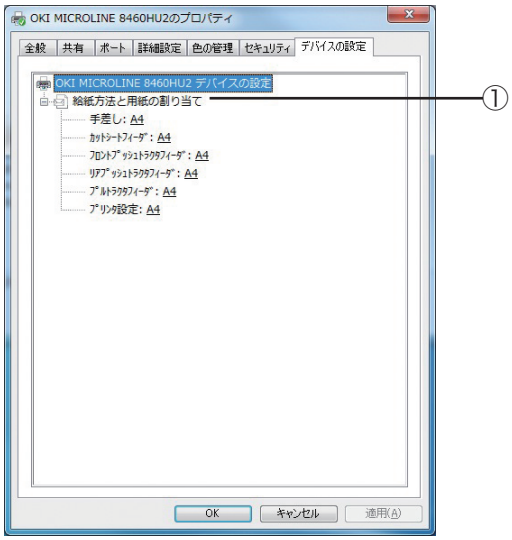
プリンタードライバーの設定

ここでは、Windows 7 の場合を例に説明します。

印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンターのプロパティで表示されます。



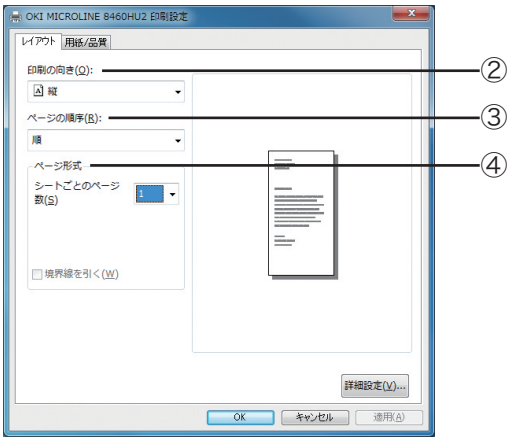
① 給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てた場合、思い通りの給紙方法で給紙できない場合があります。

レイアウトでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタープロパティーで表示されます。



② 印刷の向き

印刷する文書の方向を選択します。
「縦」を選択すると、用紙に対して縦向きに印刷します。
「横」を選択すると、用紙に対して横向きに印刷します。

③ ページ順序

印刷するドキュメントのページの順序を指定します。「順」を選択すると、1 ページ目が 1 番上になるようにドキュメントが印刷されます。
「逆」を選択すると、1 ページ目が 1 番下になるようにドキュメントが印刷されます。

④ ページ形式

ページ形式には以下の設定項目があります。

- シートごとのページ数

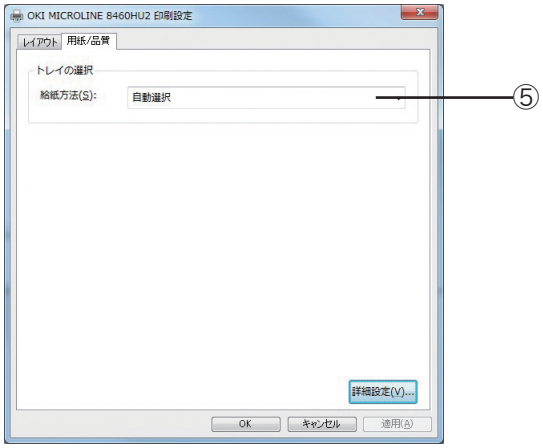
  1 枚の用紙にドキュメントを複数ページ（1, 2, 4, 6, 9, 16 ページ）印刷することができます。
  例えば、「1」を選択すると 1 枚の用紙に 1 ページ分のドキュメントが印刷され、「2」を指定するとページデータを縮小して 1 枚の用紙に 2 ページ分のドキュメントが印刷されます。

- 境界線を引く

  用紙上の各ページに境界線を印刷します。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタープロパティで表示されます。



⑤ 給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダー
- リアプッシュトラクタ
- フロントプッシュトラクタ
- プルトラクタ
- ロールペーパースタンド(MICROLINE 5460HU2 のみ)
- プリンター設定
- 自動選択（使用できません）

● 「手差し」、「カットシートフィーダー」を指定するときは、プリンターの用紙切替レバーを単票「 」にしてください。

● 「リアプッシュトラクタ」を指定するときは、プリンターの用紙切替レバーを REAR「 」にしてください。

● 「ロールペーパースタンド」を使用するときには、プリンターの用紙切替レバーを RPS「 」にしてください。

● 「フロントプッシュトラクタ」を使用するときには、プリンターの用紙切替レバーを FRONT「 」にしてください。

● 「プルトラクタ」を使用するときには、プリンターの用紙切替レバーを PULL「 」にしてください。

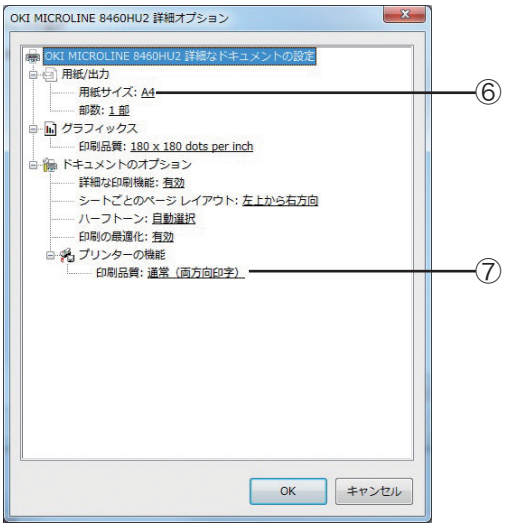
● プリンターの給紙方法の設定は 5 章の「単票をセットします」または「連続紙をセットします」を参照してください。

注 **実際の給紙方法は、プリンターの用紙切替レバーの設定が優先されます。**

● 給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタープロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。



⑥ 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

⑦ 印刷品位

印刷の品位を選択します。

- 通常（片方向印字）　：片方向で通常速度で印刷します。
- 通常（両方向印字）　：両方向で通常速度で印刷します。
- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高複写（片方向印字）：片方向で高複写モードで印刷します。
- 高複写（両方向印字）：両方向で高複写モードで印刷します。
- 静音（片方向印字）　：片方向で静音モードで印刷します。
- 静音（両方向印字）　：両方向で静音モードで印刷します。
- 高静音（片方向印字）：片方向で高静音モードで印刷します。
- 高静音（両方向印字）：両方向で高静音モードで印刷します。

● 高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANK フォントは全て高速度 ANK で印刷されます。

注 **高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ文字が薄く見えます。**

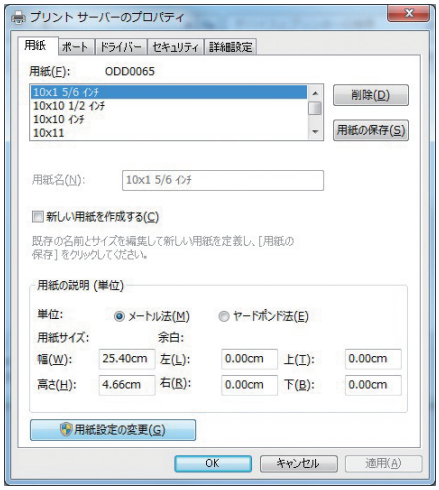
カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

❷プリンターのアイコンをクリック後、『プリントサーバープロパティ』を選択」します。

❸『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、用紙名と寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。
「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタードライバーで選択することはできません。



❹作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

印刷します

印刷手順

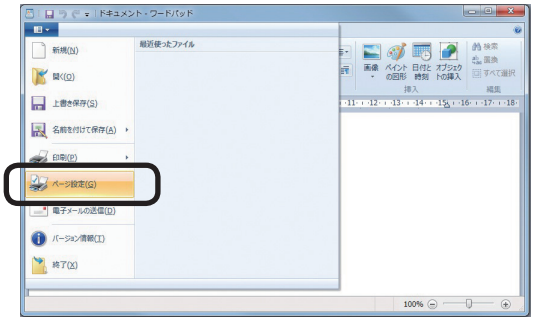
1. 用紙をセットします。
2. アプリケーションを起動します。
3. プリンタードライバーで「用紙サイズ」、「給紙方法」を選択し、印刷します。

ここでは、Windows 7 に添付のワードパッドを例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

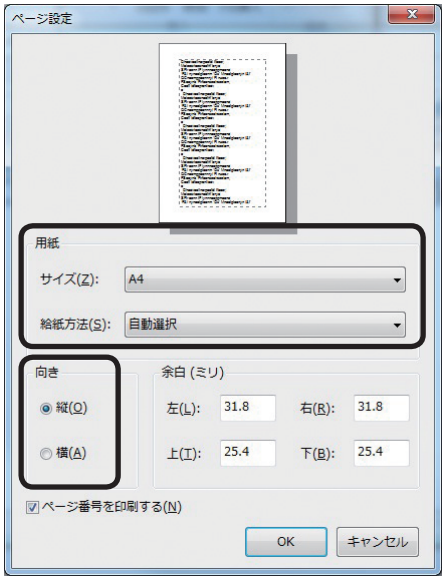
❶ ワードパッドを起動します。

- Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして、アプリケーションソフトを起動し、❺に進みます。

❷［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。
このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

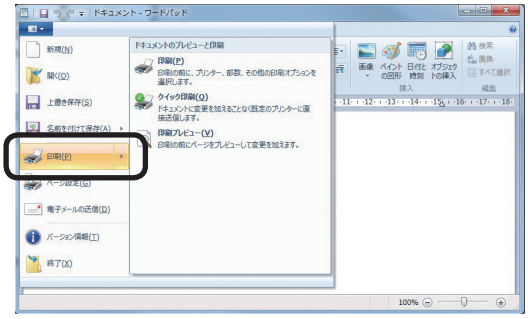


❸ 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、［OK］ボタンをクリックします。

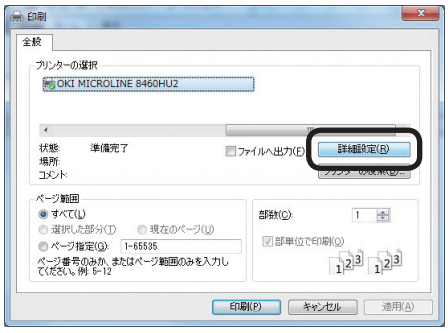


❹ 印刷するデータを作成します。

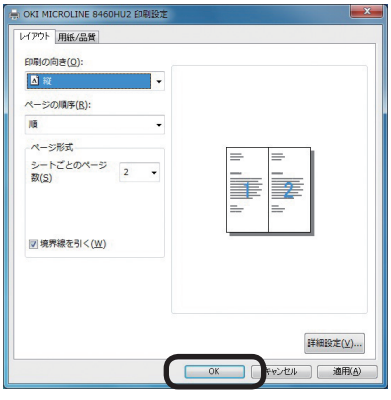
❺［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

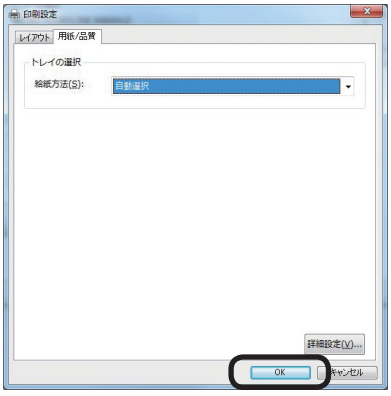


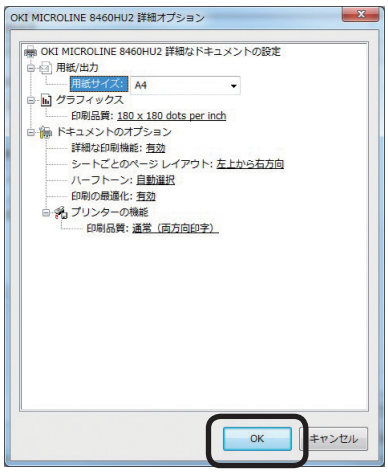
❻ お使いの機種が選択されていることを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。



❼ 各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。
なお、「ページ形式」の「シートごとのページ数」により、1 枚の用紙にドキュメントの何ページ分を印刷するかを指定することができ、用紙を削減することができます。
（「プリンタードライバーの設定」（81 ページ））

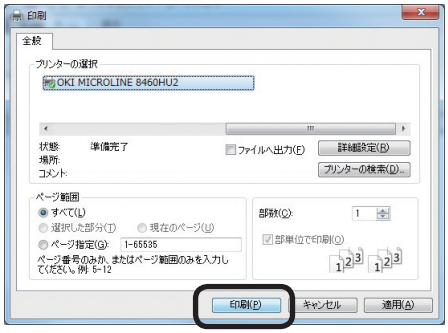






注 ［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

❽［印刷］ボタンをクリックします。



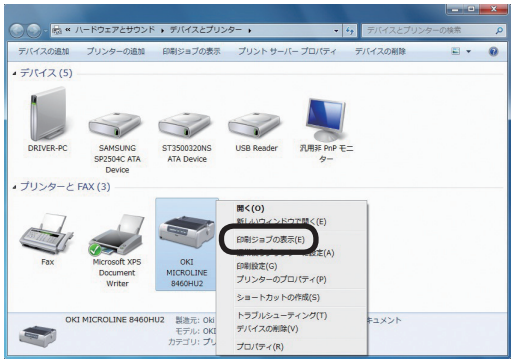
印刷データがプリンターに送られ、印刷が始まります。

途中で印刷を停止するには

ここでは、OKI MICROLINE 8460HU2 を使用し、Windows 7 で印刷をキャンセルする場合を例に説明します。

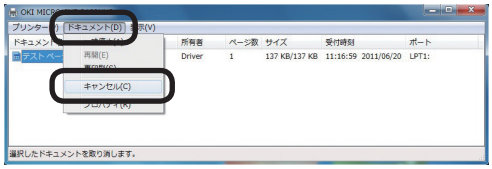
❶［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択し、［デバイスとプリンター］フォルダーを開きます。

❷プリンターアイコンを選択し、右クリックします。
表示されるメニューから［印刷ジョブの表示］を選択します。



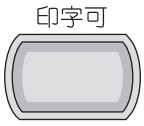
メモ ［印刷ジョブの表示］に複数のプリンタードライバーが登録されている場合は、キャンセルを行うプリンタードライバーを選択します。

❸キャンセルするドキュメントを選択し、［ドキュメント］-［キャンセル］をクリックします。



❹プリンターを初期化します。
プリンターを初期化する為には、プリンターの電源を OFF にし、再度プリンターの電源を ON にするか、以下のスイッチ操作を実施します。

「印字可」スイッチを押し、プリンターをオフラインにします。
「印字可」ランプが消えていることを確認してください。



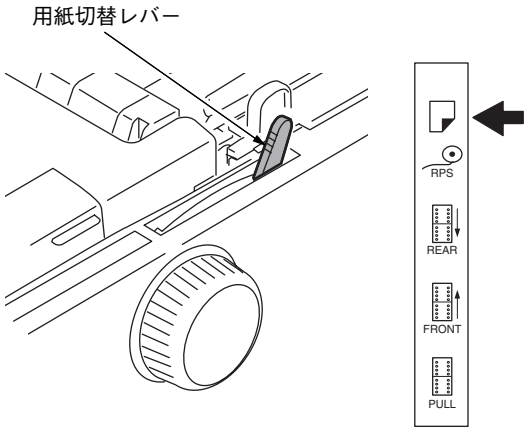
「印字可」スイッチを押しながら、「給紙 / 退避」スイッチを押します。

現在の機能メニュー項目の設定を確認します

ここでは、不揮発性メモリ内に格納されている機能メニュー情報の確認方法について説明します。
メニューの内容の印字には、A4 サイズ以上の単票の縦置き、または 10 インチ幅の連続紙を使用します（MICROLINE 8460HU2 の場合には、15 インチ幅の連続紙を使用します）。
ここでは、A4 サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定内容の確認方法を説明します。
「メニュー設定ユーティリティー」を使用して、コンピューター上から設定を確認することもできます。詳しくは、ユーザーズマニュアル（活用編）の「2 章　Windows ソフトウェア」（17 ページ）をご参照ください。

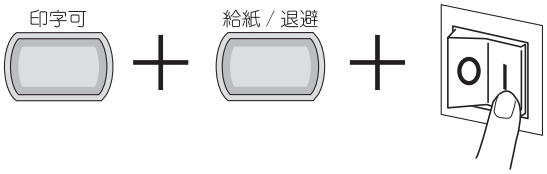
1 **電源スイッチを「OFF」にします。**

2 **用紙切替レバーを単票「 」にセットします。**



3 **「印字可」スイッチと「給紙 / 退避」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。**

印字ヘッドが動き始めたらスイッチから指を離します。



4 **単票をフロント給紙の場合はテーブルにセットし、トップ給紙の場合はリアシートガイドにセットします。**

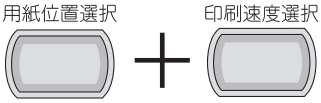
単票が自動的に給紙され、「メニュープリント」と印字されます。

5 **「節電」スイッチを押します。**

現在設定されているメニューのすべての項目と設定値が印字されます。

6 **印字ヘッドが止まったら、「用紙位置選択」スイッチを押しながら、「印刷速度選択」スイッチ押します。**

「メニュープリント終了」と印字され、単票が排出されます。



機能メニュー項目一覧

機能メニュー項目一覧

本プリンターで変更できる項目には、次のような項目があります。

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
1	ANK 書体	ANK 書体を選択します。 ANK 書体選択コマンドによって書体が指定された場合はそれに従います。	ローマン クーリエ サンセリフ OCR-B
2	漢字書体	漢字書体を選択します。	明朝 ゴシック
3	電源投入時の漢字モード設定	電源投入時の漢字モードの設定 / 解除を選択します。	設定 解除
4	文字品位設定	ANK 文字品位の設定を選択します。	LQ（高品位） ドラフト
5	コード表	ANK 文字コード表を選択します。	拡張グラフィックス カタカナ
6	ゼロフォント字体	30H ANK コード受信時の印字フォントパターンを選択します。	0（スラッシュ無し） Ø（スラッシュ有り）
7	帳票カット機能（リアトラクタ）	連続紙リアトラクタモードのミシン目カット位置への送り出し方法を選択します。	手動モード 自動モード
8	ミシン目スキップ設定（リアトラクタ） ✎✎	連続紙リアトラクタモードのミシン目スキップ長を選択します。	なし 25.4mm（1 インチ）
9	ページ長設定モード（リアトラクタ）	連続紙リアトラクタモードのページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード
10	ページ長選択（リアトラクタ）	連続紙リアトラクタモードのページ長を選択します。 項番 9 の「ページ長設定モード（リアトラクタ）」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm（11 インチ） 296.3mm（11-2/3 インチ） 304.8mm（12 インチ） 355.6mm（14 インチ） 431.8mm（17 インチ） 55.9mm（2 1/5 インチ） 69.9mm（2 3/4 インチ） 82.6mm（3 1/4 インチ） 101.6mm（4 インチ） 139.7mm（5.5 インチ） 152.4mm（6 インチ） 177.8mm（7 インチ） 203.2mm（8 インチ） 209.6mm（8 1/4 インチ） 215.9mm（8.5 インチ）
11	ページ長行数 *100（リアトラクタ）	連続紙リアトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、100 の位の行数指定を行います。0 ～ 4 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 9 の「ページ長設定モード（リアトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
12	ページ長行数＊10（リアトラクタ）	連続紙リアトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、10の位の行数指定を行います。0～9まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番9の「ページ長設定モード（リアトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
13	ページ長行数＊1（リアトラクタ）	連続紙リアトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、1の位の行数指定を行います。0～9まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番9の「ページ長設定モード（リアトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
14	電源投入時の用紙位置（リアトラクタ）	連続紙リアトラクタモードの電源投入時に用紙が有る場合の用紙位置を選択します。	印字位置 カット位置
15	頭出し位置（リアトラクタ）✎	連続紙リアトラクタモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第1文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12インチ） 3.18mm（1/8インチ） 6.35mm（1/4インチ） 7.62mm（3/10インチ） 8.47mm（1/3インチ） 10.58mm（5/12インチ） 23.28mm（11/12インチ） 25.4mm（12/12インチ） 27.52mm（13/12インチ） ユーザー指定位置
16	帳票カット機能（フロントトラクタ）	連続紙フロントトラクタモードの帳票カット位置を選択します。	手動モード 自動モード
17	ミシン目スキップ設定（フロントトラクタ）✎✎	連続紙フロントトラクタモードのミシン目スキップ長を選択します。	なし 25.4mm（1インチ）
18	ページ長設定モード（フロントトラクタ）	連続紙フロントトラクタモードのページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード
19	ページ長選択（フロントトラクタ）	連続紙フロントトラクタモードのページ長を選択します。 項番18の「ページ長設定モード（フロントトラクタ）」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm（11インチ） 296.3mm（11-2/3インチ） 304.8mm（12インチ） 355.6mm（14インチ） 431.8mm（17インチ） 55.9mm（2 1/5インチ） 69.9mm（2 3/4インチ） 82.6mm（3 1/4インチ） 101.6mm（4インチ） 139.7mm（5.5インチ） 152.4mm（6インチ） 177.8mm（7インチ） 203.2mm（8インチ） 209.6mm（8 1/4インチ） 215.9mm（8.5インチ）

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
20	ページ長行数 *100（フロントトラクタ）	連続紙フロントトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、100 の位の行数指定を行います。0 ～ 4 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 18 の「ページ長設定モード（フロントトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4
21	ページ長行数 * 10（フロントトラクタ）	連続紙フロントトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、10 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 18 の「ページ長設定モード（フロントトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
22	ページ長行数 * 1（フロントトラクタ）	連続紙フロントトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、1 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 18 の「ページ長設定モード（フロントトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
23	電源投入時の用紙位置（フロントトラクタ）	連続紙フロントトラクタモードの電源投入時に用紙が有る場合の用紙位置を選択します。	印字位置 カット位置
24	頭出し位置（フロントトラクタ）✎	連続紙フロントトラクタモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置
25	ミシン目スキップ設定（プルトラクタ）✎✎	連続紙プルトラクタモードのミシン目スキップ長を選択します。	なし 25.4mm（1 インチ）
26	ページ長設定モード（プルトラクタ）	連続紙プルトラクタモードのページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
27	ページ長選択（プルトラクタ）	連続紙プルトラクタモードのページ長を選択します。 項番 26 の「ページ長設定モード（プルトラクタ）」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm（11 インチ） 296.3mm（11-2/3 インチ） 304.8mm（12 インチ） 355.6mm（14 インチ） 431.8mm（17 インチ） 55.9mm（2 1/5 インチ） 69.9mm（2 3/4 インチ） 82.6mm（3 1/4 インチ） 101.6mm（4 インチ） 139.7mm（5.5 インチ） 152.4mm（6 インチ） 177.8mm（7 インチ） 203.2mm（8 インチ） 209.6mm（8 1/4 インチ） 215.9mm（8.5 インチ）
28	ページ長行数 *100（プルトラクタ）	連続紙プルトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、100 の位の行数指定を行います。0 ～ 4 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 26 の「ページ長設定モード（プルトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4
29	ページ長行数 * 10（プルトラクタ）	連続紙プルトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、10 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 26 の「ページ長設定モード（プルトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
30	ページ長行数 * 1（プルトラクタ）	連続紙プルトラクタモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、1 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 26 の「ページ長設定モード（プルトラクタ）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
31	用紙カット機能（トップ単票）	ロールペーパースタンドモードの用紙カット位置を選択します。 （本項目は、ML5460HU2 のみの項目でロールペーパースタンドを接続したときのみ表示される項目です。ML8460HU2 には本項目はありません。）	手動モード 自動モード
32	ページ長設定モード（トップ単票）	単票トップモードのページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
33	ページ長選択（トップ単票）	単票トップモードのページ長を選択します。 項番 32 の「ページ長設定モード（トップ単票）」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm（11 インチ） 296.3mm（11-2/3 インチ） 304.8mm（12 インチ） 355.6mm（14 インチ） 431.8mm（17 インチ） 55.9mm（2 1/5 インチ） 69.9mm（2 3/4 インチ） 82.6mm（3 1/4 インチ） 101.6mm（4 インチ） 139.7mm（5.5 インチ） 152.4mm（6 インチ） 177.8mm（7 インチ） 203.2mm（8 インチ） 209.6mm（8 1/4 インチ） 215.9mm（8.5 インチ）
34	ページ長行数 *100（トップ単票）	単票トップモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、100 の位の行数指定を行います。0 ～ 4 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 32 の「ページ長設定モード（トップ単票）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4
35	ページ長行数 * 10（トップ単票）	単票トップモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、10 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 32 の「ページ長設定モード（トップ単票）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
36	ページ長行数 * 1（トップ単票）	単票トップモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、1 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 32 の「ページ長設定モード（トップ単票）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
37	電源投入時の用紙位置（トップ単票）	ロールペーパースタンドモードの電源投入時に用紙が有る場合の用紙位置を選択します。（本項目は、ML5460HU2 のみの項目でロールペーパースタンドを接続したときのみ表示される項目です。ML8460HU2 には本項目はありません。）	印字位置 カット位置

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
38	手差し待ち時間（トップ単票）	単票トップモード時の用紙給紙待ち状態で、用紙をシートガイドにセットしてから給紙動作を行うまでの時間を選択します。	無効 0.5 秒 1 秒 1.5 秒 2 秒 3 秒
39	単票自動排出位置（トップ単票）	単票トップモード時の用紙排出検出位置を選択します。（用紙下端からの距離）	6.35mm（1/4 インチ） 14.62mm（7/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ）
40	頭出し位置（トップ単票）	単票トップモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置
41	頭出し位置 2（トップ単票）	単票トップモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置
42	頭出し位置 3（トップ単票）	単票トップモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置
43	ページ長設定モード（フロント単票）	単票フロントモードのページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
44	ページ長選択（フロント単票）	単票フロントモードのページ長を選択します。 項番 43 の「ページ長設定モード（フロント単票）」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm（11 インチ） 296.3mm（11-2/3 インチ） 304.8mm（12 インチ） 355.6mm（14 インチ） 431.8mm（17 インチ） 55.9mm（2 1/5 インチ） 69.9mm（2 3/4 インチ） 82.6mm（3 1/4 インチ） 101.6mm（4 インチ） 139.7mm（5.5 インチ） 152.4mm（6 インチ） 177.8mm（7 インチ） 203.2mm（8 インチ） 209.6mm（8 1/4 インチ） 215.9mm（8.5 インチ）
45	ページ長行数 *100（フロント単票）	単票フロントモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、100 の位の行数指定を行います。0 ～ 4 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 43 の「ページ長設定モード（フロント単票）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4
46	ページ長行数 * 10（フロント単票）	単票フロントモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、10 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 43 の「ページ長設定モード（フロント単票）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
47	ページ長行数 *　1（フロント単票）	単票フロントモードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、1 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 43 の「ページ長設定モード（フロント単票）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
48	手差し待ち時間（フロント単票）	単票フロント手差し時の用紙給紙待ち状態で、用紙をシートガイドにセットしてから給紙動作を行うまでの時間を選択します。	無効 0.5 秒 1 秒 1.5 秒 2 秒 3 秒
49	単票自動排出位置（フロント単票）	単票フロントモード時の用紙排出検出位置を選択します。（用紙下端からの距離）	6.35mm（1/4 インチ） 14.62mm（7/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ）

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
50	頭出し位置（フロント単票）	単票フロントモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置
51	頭出し位置 2（フロント単票）	単票フロントモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置
52	頭出し位置 3（フロント単票）	単票フロントモード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置
53	イメージ行の印字方向	行内にイメージデータが存在するときの印字方向を選択します。	両方向 片方向
54	受信バッファー選択	受信バッファーのサイズを選択します。	なし あり（16K） あり（32K） あり（64K） あり（128K）
55	水平印字位置補正（通常）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は "0" 1/720 インチ単位で± 10 まで補正が可能です。
56	水平印字位置補正（高速）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は "0" 1/720 インチ単位で± 10 まで補正が可能です。
57	水平印字位置補正（ドラフト ANK）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は "0" 1/720 インチ単位で± 10 まで補正が可能です。
58	DC1/DC3	DC1 と DC3 コードの有効 / 無効を選択します。	有効 無効
59	オート CR	CR コード受信時の動作を選択します。	CR CR+LF

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
60	インターフェース選択	データを受信するインターフェースの選択をします。	自動 パラレル USB オプション
61	インターフェースタイムアウト時間	項番 60「インターフェース選択」が「自動」に選択されているとき、本項目で選択された時間データが送られてこない場合、インターフェースの選択を解除します。	15 秒 30 秒 45 秒 1 分 2 分 3 分 4 分 5 分
62	印刷モードの選択	印刷モードを選択します。 コマンド優先を選択した場合は、アプリケーションソフトが印刷モードの選択ができる場合は選択した印刷モードで印刷します。アプリケーションソフトが印刷モードの選択ができない場合は、通常印字で印刷します。	コマンド優先 通常印字 高速印字 高複写印字 静音印字 高静音印字
63	縦 2 倍拡張時の印字方向	行内に縦 2 倍拡張印字データが存在するときの印字方向を選択します。	両方向 片方向
64	スリープモードの選択	スリープモードを有効にするか、無効にするかを選択します。	有効 無効
65	スリープモード開始時間	スリープモード有効時、スリープへ移行するまでのアイドル時間を選択します。	5 分 10 分 15 分 30 分 60 分
66	単票紙無し状態	単票手差しモード時、用紙終了（未給紙状態）を検出したとき、ペーパーエンド出力を行うか、行わないかを選択します。	PE 出力なし PE 出力あり
67	単票モード時の FF コード	単票モード時の FF コード（改頁実行コマンド）の機能を選択します。	排出 改頁
68	単票ボトム検出時の排出条件	単票モード、及び CSF モードでの用紙下端検出時の排出条件を選択します。	自動排出 FF コード
69	印字幅	1 行の最大印字桁を選択します。 （本項目は、ML8460HU2 のみ表示される項目です。ML5460HU2 には本項目はありません。）	80 桁 106 桁 132 桁 136 桁
70	AUTO FEED XT 信号機能	パラレルインターフェースの AUTO FEED XT 信号の有効 / 無効を選択します。	有効 無効
71	双方向インターフェース	IEEE1284 双方向インターフェースの有効 / 無効を選択します。	有効 無効
72	ページ長設定モード（CSF）	CSF モードのページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
73	ページ長選択（CSF）	CSF モードのページ長を選択します。 項番 72 の「ページ長設定モード（CSF）」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm（11 インチ） 296.3mm（11-2/3 インチ） 304.8mm（12 インチ） 355.6mm（14 インチ） 431.8mm（17 インチ） 55.9mm（2 1/5 インチ） 69.9mm（2 3/4 インチ） 82.6mm（3 1/4 インチ） 101.6mm（4 インチ） 139.7mm（5.5 インチ） 152.4mm（6 インチ） 177.8mm（7 インチ） 203.2mm（8 インチ） 209.6mm（8 1/4 インチ） 215.9mm（8.5 インチ）
74	ページ長行数 *100（CSF）	CSF モードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、100 の位の行数指定を行います。0 ～ 4 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 72 の「ページ長設定モード（CSF）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4
75	ページ長行数 * 10（CSF）	CSF モードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、10 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 72 の「ページ長設定モード（CSF）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
76	ページ長行数 * 1（CSF）	CSF モードの行数指定によるページ長を選択します。 本メニューでは、1 の位の行数指定を行います。0 ～ 9 まで設定可能です。 行数は、4.23mm（6LPI）単位です。 項番 72 の「ページ長設定モード（CSF）」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
77	単票自動排出位置（CSF）	CSF モード時の用紙排出検出位置を選択します。（用紙下端からの距離）	6.35mm（1/4 インチ） 14.62mm（7/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ）

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
78	頭出し位置（CSF）✎	CSF モード給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで） ユーザー指定位置は、1 文字目印字位置の設定を行った場合、印字されます。	2.12mm（1/12 インチ） 3.18mm（1/8 インチ） 6.35mm（1/4 インチ） 7.62mm（3/10 インチ） 8.47mm（1/3 インチ） 10.58mm（5/12 インチ） 23.28mm（11/12 インチ） 25.4mm（12/12 インチ） 27.52mm（13/12 インチ） ユーザー指定位置

✎
- 頭出し位置は用紙の種類によって ± 2mm 程度の誤差が生じることがあります。
  設定値（初期値 6.35mm（1/4 インチ））に合わせる場合は、頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に連量 55kg 用紙にて適正値に調整してあります。
- 頭出し位置は、2.12mm（1/12 インチ）、3.18mm（1/8 インチ）、4.23mm（3/12 インチ）に設定はできますが、印字品質は保証されません。
  2.12mm（1/12 インチ）から用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ、折れや紙づまりが発生する場合があります。

✎✎ ページ長を 25.4mm 以下に設定した場合、「ミシン目スキップ設定」を「25.4mm（1 インチ）」に設定しても、ミシン目スキップは 0mm が設定されます。

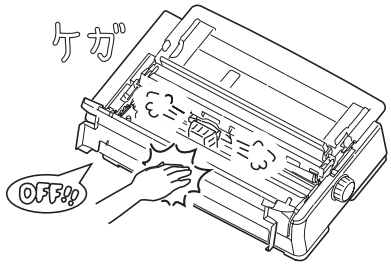
目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

設定を変更します

機能メニューの設定内容を変更するには、A4 サイズ以上の単票の縦置き、または 10 インチ幅の連続紙を使用します（MICROLINE 8460HU2 の場合には、15 インチ幅の連続紙を使用します）。
ここでは、A4 サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定変更方法を説明します。
「メニュー設定ユーティリティー」を使用して、コンピューター上から設定を変更することもできます。詳しくは、ユーザーズマニュアル（活用編）「メニュー設定を変更します（メニュー設定ユーティリティー）」（22 ページ）をご覧ください。

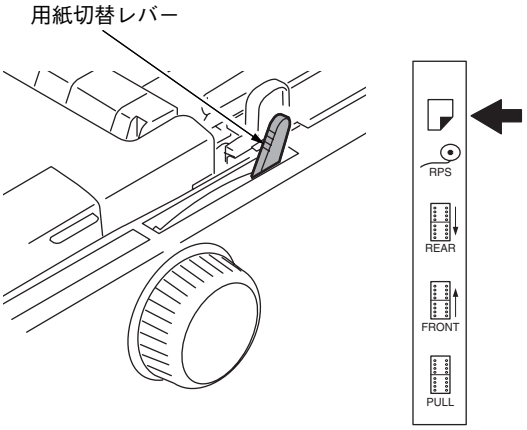
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

アクセスカバーを開けて、メニューの設定変更をしないでください。
メニューの設定変更中は、印字ヘッドが動くので危険です。



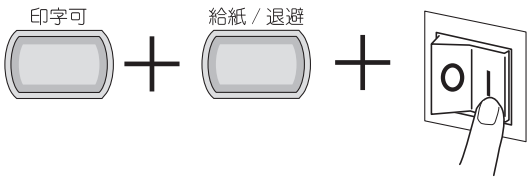
1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 用紙切替レバーを単票「□」にセットします。



3 「印字可」スイッチと「給紙 / 退避」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」します。

印字ヘッドが動きだしたらスイッチから指を離します。



4 単票をフロント給紙の場合はテーブルにセットし、トップ給紙の場合はリアシートガイドにセットします。

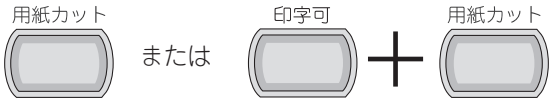
単票が自動的に給紙され、「メニュープリント」と印字されます。

5 「給紙 / 退避」スイッチまたは「印字可」スイッチを押しながら「給紙 / 退避」スイッチを押して、設定を変更したい項目を印字させます。

メモ 「給紙 / 退避」スイッチを押すたびに設定項目が順送りで印字され、「印字可」スイッチを押しながら「給紙 / 退避」スイッチ押すたびに、逆送りで印字されます。

6 変更したい項目が印字されたら、「用紙カット」スイッチまたは「印字可」スイッチ押しながら「用紙カット」スイッチを押して、変更したい設定値を印字させます。

メモ 「用紙カット」スイッチを押すたびに設定値が順送りで印字され、「印字可」スイッチ押しながら「用紙カット」スイッチを押すたびに設定値が逆送りで印字されます。



7 さらに変更したい項目があれば、手順 4, 5 を繰り返します。

8 「用紙位置選択」スイッチを押しながら「印刷速度選択」スイッチを押して、メニューの設定変更を終了します。

メモ スイッチを押すと「メニュープリント終了」と印字されます。
それぞれの項目は、最後に印字された設定値がプリンターに記憶されます。

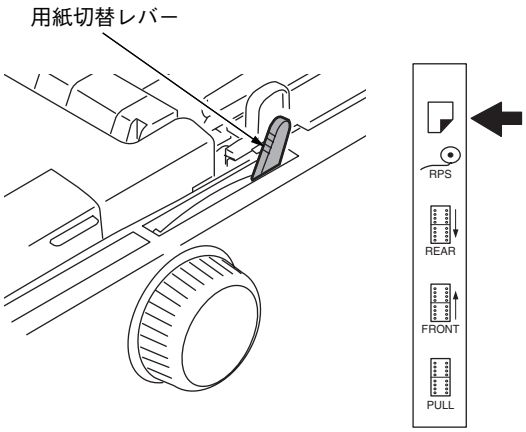
注 ・メニューの設定変更時は、操作パネルのスイッチの機能が通常と異なります。
・メニューの設定変更中に用紙終了になったときは、新しい用紙をセットしてください。設定変更が続行されます。
・「用紙位置選択」スイッチを押しながら「印刷速度選択」スイッチを押し、「メニュープリント終了」と印字する前に電源スイッチを「OFF」にしたときは、設定値は変更されません。

現在の調整メニュー項目の設定を確認します

ここでは、不揮発性メモリー内に格納されている調整メニュー情報の確認方法について説明します。
メニューの内容の印字には、A4 サイズ以上の単票の縦置き、または 10 インチ幅の連続紙を使用します（MICRLINE 8480HU2 の場合には、15 インチ幅の連続紙を使用します）。
ここでは、A4 サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定内容の確認方法を説明します。
コンピューター上から設定を確認することもできます。詳しくは、ユーザーズマニュアル（活用編）の「2 章　Windows ソフトウェア」（17 ページ）をご参照ください。

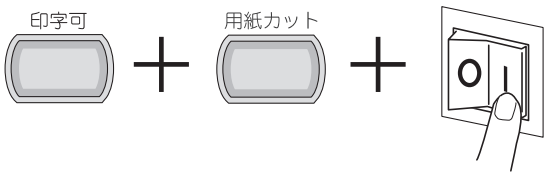
1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 用紙切替レバーを単票「 」にセットします。



3 「印字可」スイッチと「用紙カット」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。



4 単票をフロント給紙の場合はテーブルにセットし、トップ給紙の場合はリアシートガイドにセットします。

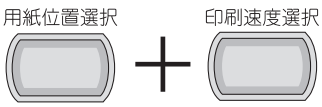
単票が自動的に給紙され、「メニュープリント」と印字されます。

5 「節電」スイッチを押します。

現在設定されているメニューのすべての項目と設定値が印字されます。

6 印字ヘッドが止まったら、「用紙位置選択」スイッチを押しながら、「印字速度選択」スイッチを押します。

「メニュープリント終了」と印字され、単票が排出されます。



プリンターの調整項目

本プリンター独自の調整、および設定を行います。

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
1	改行補正（帳票）	帳票の改行補正値を設定します。	-2 -1 0 +1 +2
2	改行補正（単票）	単票の改行補正値を設定します。	-1 ～ -14 0 +1 ～ +14
3	ラッチタイミング切り替え	データのラッチタイミングを STB 信号の立ち上がりとするか、立ち下りとするかを選択します。	STB 信号立下り STB 信号立上り
4	I/F 信号タイミング	パラレルインターフェースの ACK 信号と BUSY 信号のタイミングを選択します。	A-B-A A-B
5	帳票送り速度	帳票の改行スピードを選択します。	通常 低速
6	FAULT 信号出力	オフライン状態でのパラレルインターフェース FAULT 信号出力制御を選択します。 出力あり：Low レベルとなります。 出力なし：High レベルとなります。	出力あり 出力なし
7	I-PRIME 時の処理	パラレルインターフェースの I-PRIME 信号受信時の動作を選択します。 印字モード： 受信済みデータを全印字してから初期化動作を実行します。 クリアモード： 受信済みデータをクリアして初期化します。	印字モード クリアモード
8	連続 I-PRIME	パラレルインターフェースの I-PRIME 信号受信をデータ受信やスイッチ操作がない状態で連続的に受信した場合の処理を選択します。	有効 無効
9	ロールペーパーニアエンド	ロールペーパースタンド使用時のペーパーニアエンド発生時の処理を選択します。	印刷継続 印刷停止

網掛け部は、工場出荷設定

項番	項目	機能	設定値
10	単票手差し PE 位置補正	単票モード時の自動排出位置の調整を行います。	-10（-2.82mm） -9（-2.54mm） -8（-2.26mm） -7（-1.97mm） -6（-1.69mm） -5（-1.41mm） -4（-1.13mm） -3（-0.85mm） -2（-0.56mm） -1（-0.28mm） 0 +1（0.28mm） +2（0.56mm） +3（0.85mm） +4（1.13mm） +5（1.41mm） +6（1.69mm） +7（1.97mm） +8（2.26mm） +9（2.54mm） +10（2.82mm）
11	CSF PE 位置補正	CSF モード時の自動排出位置制御の調整を行います。	-10（-2.82mm） -9（-2.54mm） -8（-2.26mm） -7（-1.97mm） -6（-1.69mm） -5（-1.41mm） -4（-1.13mm） -3（-0.85mm） -2（-0.56mm） -1（-0.28mm） 0 +1（0.28mm） +2（0.56mm） +3（0.85mm） +4（1.13mm） +5（1.41mm） +6（1.69mm） +7（1.97mm） +8（2.26mm） +9（2.54mm） +10（2.82mm）
12	水平印字位置補正（通常）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は "0" 1/720 インチ単位で± 10 まで補正が可能です。
13	水平印字位置補正（高速）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は "0" 1/720 インチ単位で± 10 まで補正が可能です。
14	水平印字位置補正（ドラフト ANK）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は "0" 1/720 インチ単位で± 10 まで補正が可能です。

網掛け部は、工場出荷設定

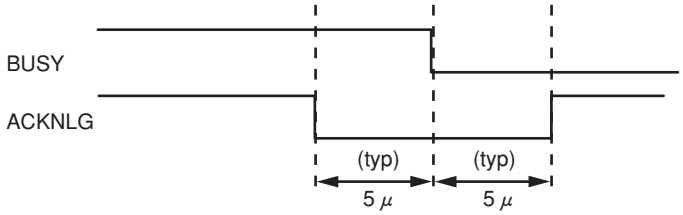
項番	項目	機能	設定値
15	スプロケット孔検出	単票用紙給紙動作時、用紙のスプロケット孔の有無チェックを指定します。	無効 有効
16	帳票右余白指定	帳票の用紙右端余白量を指定します。	Right Margin Over 1mm 3mm 5.08mm 10mm 13mm 15mm 20mm 25mm
17	単票右余白指定	単票の用紙右端余白量を指定します。	Right Margin Over 1mm 2mm 3mm 4mm 5mm 6mm
18	スイッチ機能	オペレーターパネル機能に制限をかけるか制限をかけないか選択します。	制限あり 制限なし
19	改行スイッチ機能	スイッチによる改行動作を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
20	改頁スイッチ機能	スイッチによる改頁動作を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
21	給紙スイッチ機能	スイッチによる用紙給紙動作を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
22	排出 / 退避スイッチ機能	スイッチによる用紙排出 / 退避動作を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
23	用紙カットスイッチ機能	スイッチによる用紙カット動作を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
24	初期化スイッチ機能	スイッチによるプリンター初期化動作を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
25	TOF 位置調整スイッチ機能	スイッチによるユーザー頭出し位置設定を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
26	用紙給紙位置調整スイッチ機能	スイッチによる用紙給紙位置調整を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効

網掛け部は、工場出荷設定

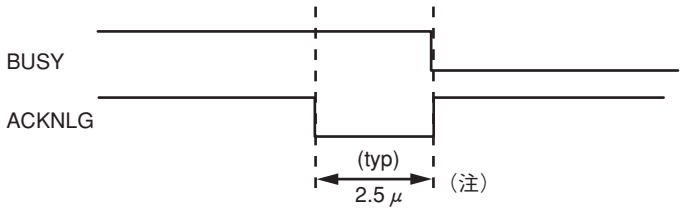
項番	項目	機能	設定値
27	用紙カット位置調整スイッチ機能	スイッチによる用紙カット位置調整動作を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
28	印刷速度スイッチ機能	スイッチによる印刷速度選択を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
29	節電スイッチ機能	スイッチによる節電モード設定を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
30	はがき選択スイッチ機能	スイッチによるはがきモード設定を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効
31	用紙位置選択スイッチ機能	スイッチによる単票用紙位置選択設定を有効とするか無効とするか選択します。 項番 18「スイッチ機能」が「制限あり」を選択した場合に、本設定が有効となります。	無効 有効

✎ I/F タイミングの“A-B-A”と“A-B”の意味は、下図になります。

「A-B-A」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。



「A-B」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。



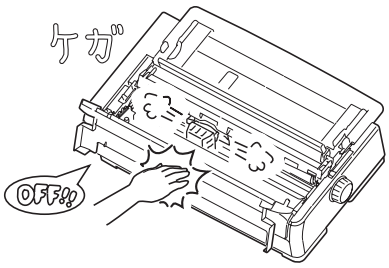
（注）BUSY OFFとACK OFFのタイミングの差はMIN 0secです。

設定を変更します

調整メニューの設定内容を変更するには、A4 サイズ以上の単票の縦置き、または 10 インチ幅の連続紙を使用します（MICROLINE 8460HU2 の場合には、15 インチ幅の連続紙を使用します）。
ここでは、A4 サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定変更方法を説明します。
詳しくは、ユーザーズマニュアル（活用編）「メニュー設定を変更します（メニュー設定ユーティリティー）」(22 ページ)をご覧ください。

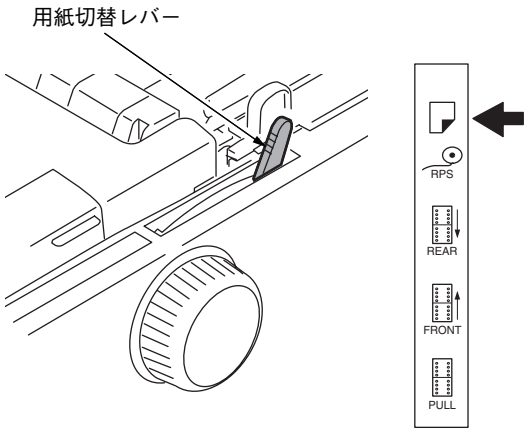
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

アクセスカバーを開けて、メニューの設定変更をしないでください。
メニューの設定変更中は、印字ヘッドが動くので危険です。



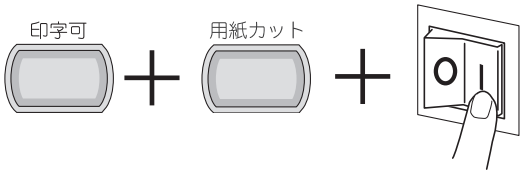
1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 用紙切替レバーを単票「 」にセットします。



3 「印字可」スイッチと「用紙カット」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」します。

印字ヘッドが動きだしたらスイッチから指を離します。



4 単票をフロント給紙の場合はテーブルにセットし、トップ給紙の場合はリアシートガイドにセットします。

単票が自動的に給紙され、「メニュープリント」と印字されます。

5 「給紙 / 退避」スイッチまたは「印字可」スイッチを押しながら「給紙 / 退避」スイッチを押して、設定を変更したい項目を印字させます。

メモ 「給紙 / 退避」スイッチを押すたびに設定項目が順送りで印字され、「印字可」スイッチを押しながら「給紙 / 退避」スイッチ押すたびに、逆送りで印字されます。

6 変更したい項目が印字されたら、「用紙カット」スイッチまたは「印字可」スイッチ押しながら「用紙カット」スイッチを押して、変更したい設定値を印字させます。

メモ 「用紙カット」スイッチを押すたびに設定値が順送りで印字され、「印字可」スイッチ押しながら「用紙カット」スイッチを押すたびに設定値が逆送りで印字されます。

7 さらに変更したい項目があれば、手順 4, 5 を繰り返します。

8 「用紙位置選択」スイッチを押しながら「印刷速度選択」スイッチを押して、メニューの設定変更を終了します。

メモ スイッチを押すと「メニュープリント終了」と印字されます。
それぞれの項目は、最後に印字された設定値がプリンターに記憶されます。

注 ・メニューの設定変更時は、操作パネルのスイッチの機能が通常と異なります。
・メニューの設定変更中に用紙終了になったときは、新しい用紙をセットしてください。設定変更が続行されます。
・「用紙位置選択」スイッチを押しながら「印刷速度選択」スイッチを押し、「メニュープリント終了」と印字する前に電源スイッチを「OFF」にしたときは、設定値は変更されません。

設定を初期化します

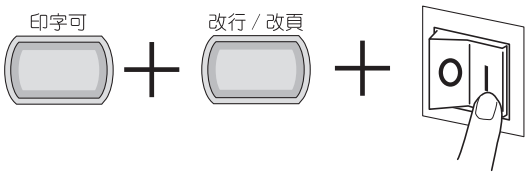
全てのメニューの設定値を、初期の状態に戻すことができます。

注 メニュー項目のうち、補正に関する項目は初期化されません。

1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 「印字可」＋「改行 / 改頁」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。

「印字可」ランプが点滅し始めたら、スイッチから指を離します。



3 「印字可」ランプの点滅を確認後、「用紙カット」スイッチを押しながら、「印刷位置選択」スイッチを押します。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。

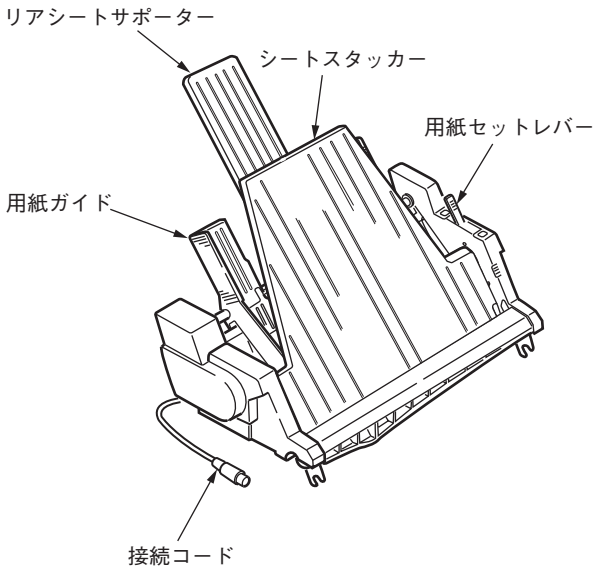
メニューの初期化動作が実行されると、「印刷速度選択」ランプが約 1 秒間点灯します。

カットシートフィーダー

プリンターにカットシートフィーダー（CSF）を取り付けることにより、単票やはがきを自動的に連続給紙できます。

注 カットシートフィーダーでは複写紙は使用できません。

外観と各部の名称



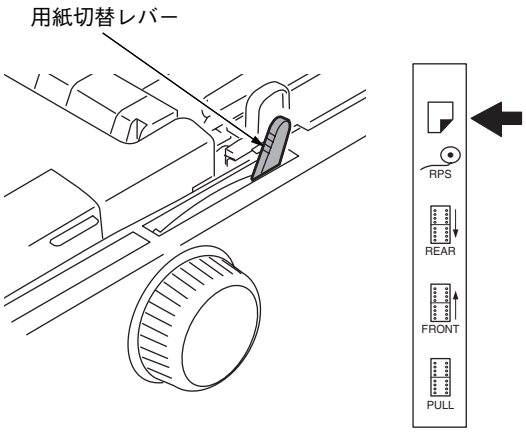
カットシートフィーダーの取り付け、取り外し

注
- カットシートフィーダーの接続コードは、必ずプリンターの電源スイッチを「OFF」にしてから、抜き差しを行ってください。
- カットシートフィーダーを取り付けているときは、プルトラクタ、ボトムトラクタおよびロールペーパースタンドは使用できません。

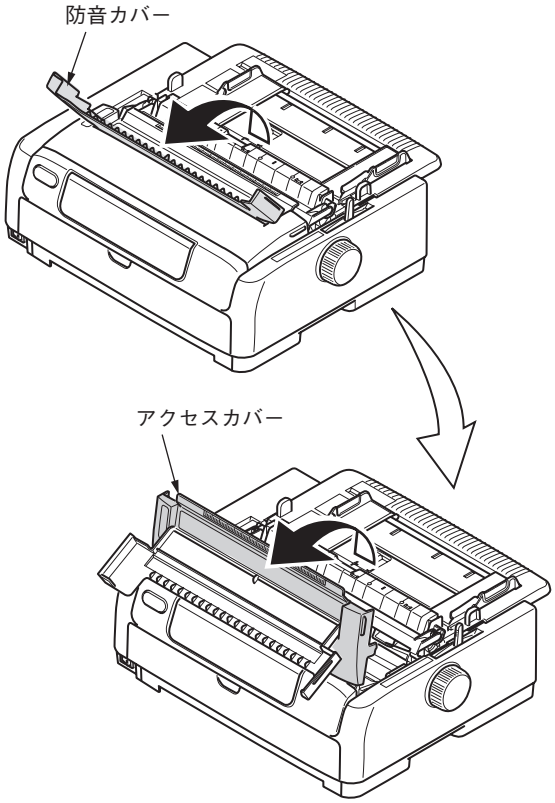
1 プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。

用紙がセットされているときは、排出してください。

2 用紙切替レバーを単票「 」にします。



3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開きます。

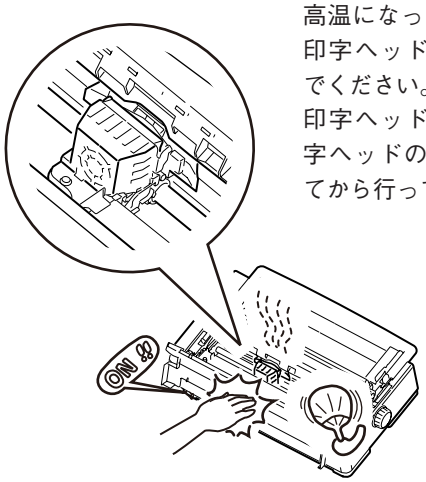


注 アクセスカバーを開くときには、アクセスカバー両端のアクセスカバーノブを両手で持って開いてください。

4 印字ヘッドを中央に移動させます。

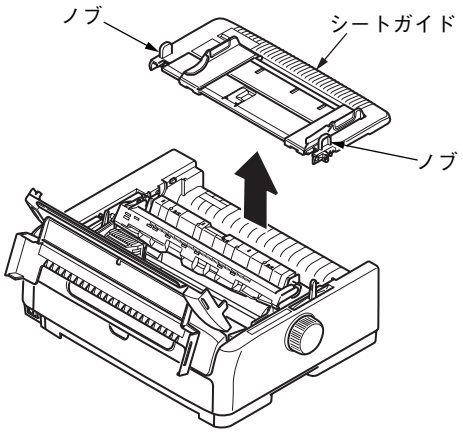
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。



5 左右のノブを持ってリアシートガイドを取り外します。

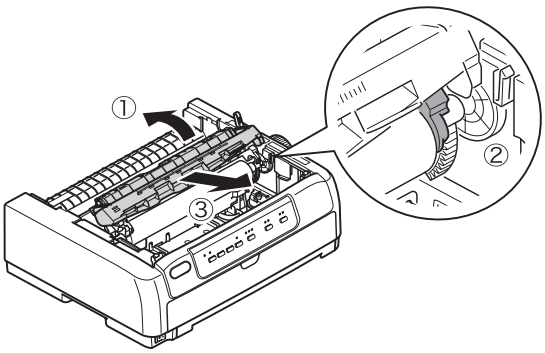
注 取り外したリアシートガイドは使用しませんので、大切に保管してください。



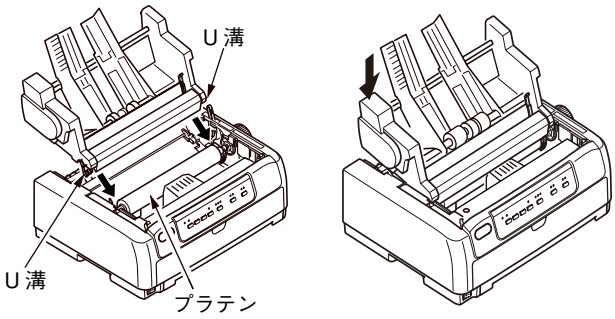
6 プルアップ Assy を取り外します。

プルアップ Assy を、①後側に静かに回転させて、②左右のロックを外した後、③手前に引いて取り外します。

注 取り外したプルアップ Assy は使用しませんので、大切に保管してください。

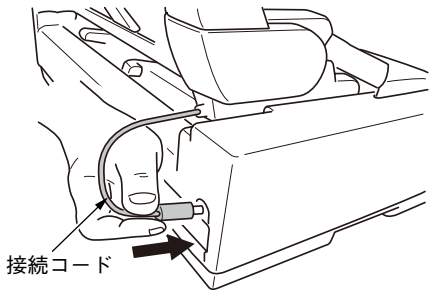


7 カットシートフィーダーの両側の U 溝をプラテンシャフトに差し込み、そのまま、静かに下ろします。



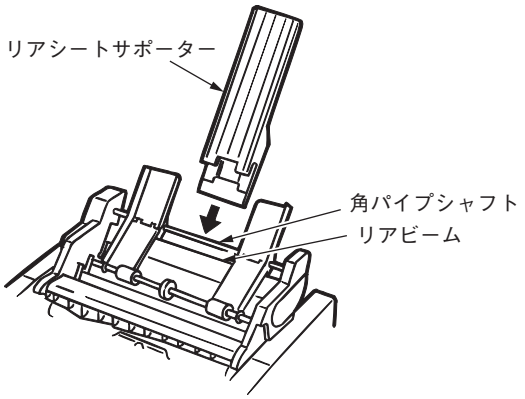
8 カットシートフィーダーの接続コードをプリンター後部のコネクターに接続します。

注 コネクターの向きを間違えたり、無理矢理挿入しないでください。コネクターが破損する恐れがあります。

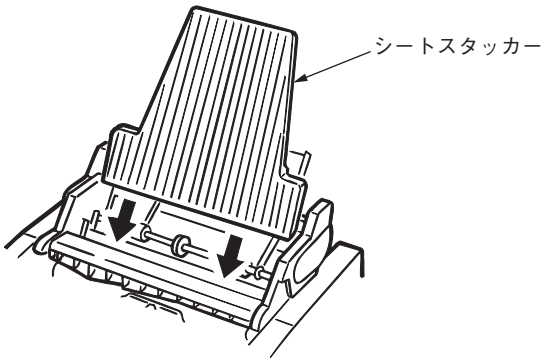


9 リアシートサポーターを取り付けます。

角パイプシャフトに引っ掛けるのと同時に、リアシートサポーターの下端をリアビームにしっかり差し込みます。
リアシートサポーターは、ML5460HCSF の場合は 1 個、ML8460HCSF の場合は 2 個あります。

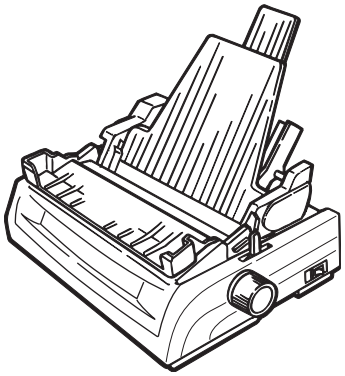


10 シートスタッカーを差し込みます。



11 アクセスカバーを閉じます。

防音カバーは開いたままにします。



カットシートフィーダーの取り外しは、プリンターの電源を「OFF」にし、取り付けの逆の手順で行います。

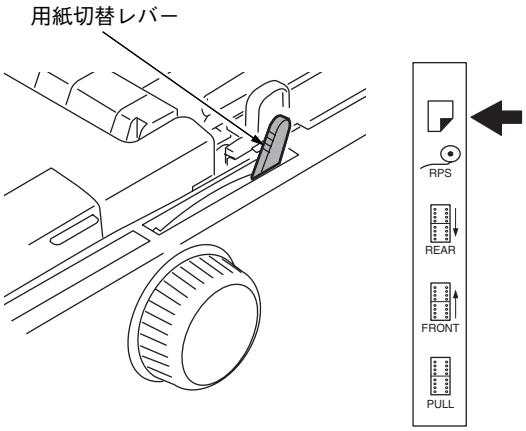
単票のセット

用紙をまとめてカットシートフィーダーにセットします。
次の手順に従って、用紙をセットしてください。

注 使用できる用紙は、単票とはがきです。複写紙は使用できません。
用紙の挿入方向、用紙の規格については、「用紙規格および印字範囲」（63 ページ）を参照してください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。

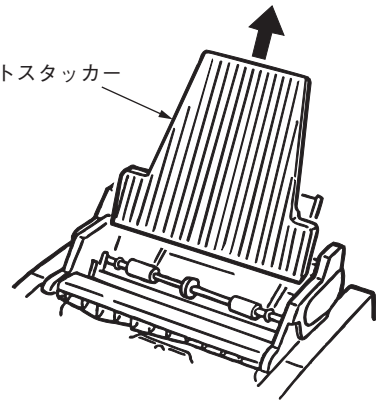
2 用紙切替レバーを単票「 」にします。



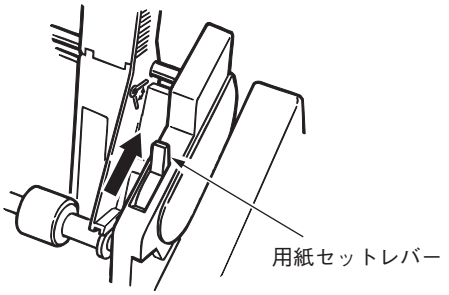
3 アクセスカバーを開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

4 シートスタッカーを外します。

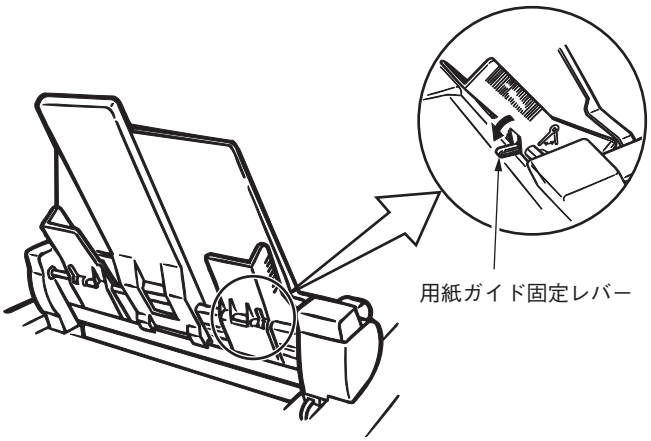


5 用紙セットレバーを「RESET」にします。

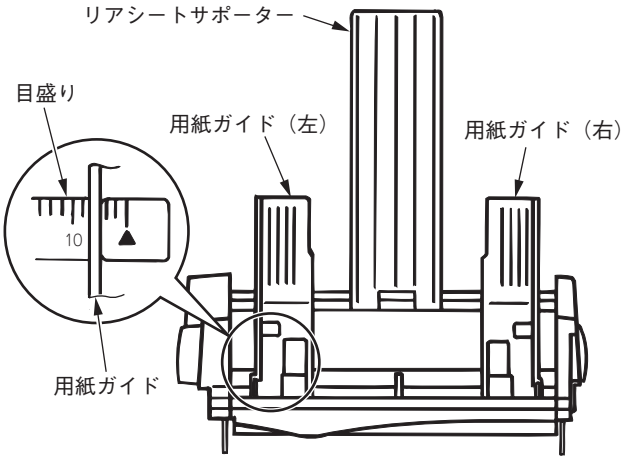


6 左右の用紙ガイド固定レバーを下げます。

用紙ガイドの固定を解除します。



7 目盛の「▲」マークが 1 文字目の中心になるように用紙ガイド（左）の位置を決め、用紙ガイド固定レバーを上げて固定します。



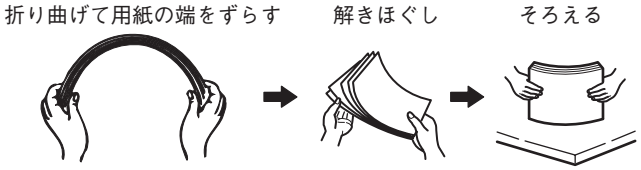
メモ はがきをセットする場合には、リアシートサポーターを外してください。

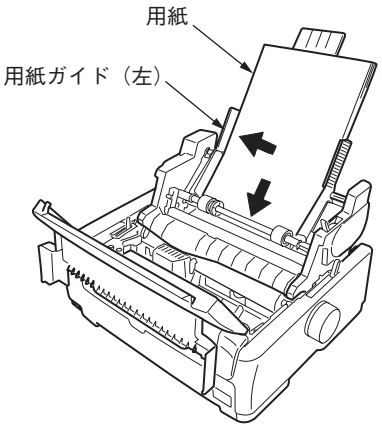
8 用紙ガイド（右）を用紙サイズに合わせます。

9 リアシートサポーターを左右の用紙ガイドの中央に移動します。

10 用紙の左端を用紙ガイド（左）に合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

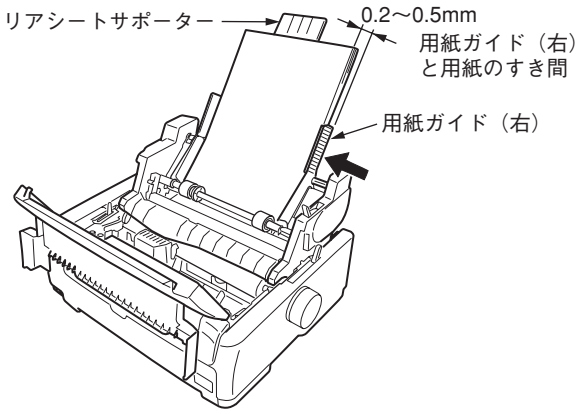
印刷する面を裏側にします。



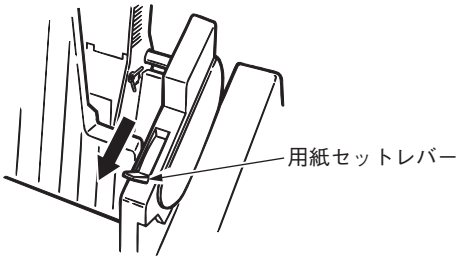


注
- 用紙は、よくさばき、上下左右をそろえてください。
- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は、一般紙の場合、連量 55kg 用紙で約 180 枚です。
  はがきの場合、郵便はがきで約 50 枚です。
- B4 のような大きなサイズの場合は、総紙厚 10mm 以下にしてください。
- 折り目、しわ、傷、反りがあるもの、用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質、厚さ、大きさの異なる用紙を、混ぜて使用しないでください。
- 郵便はがきの両面に印字する場合は、片面の印字後、反りをなくしてから反対側の面を印字してください。
- 最後の用紙の給紙が不安定となることがありますので、最後の用紙は使用しないようにしてください。また、用紙残量が少なくなった場合には、用紙を補充してください。

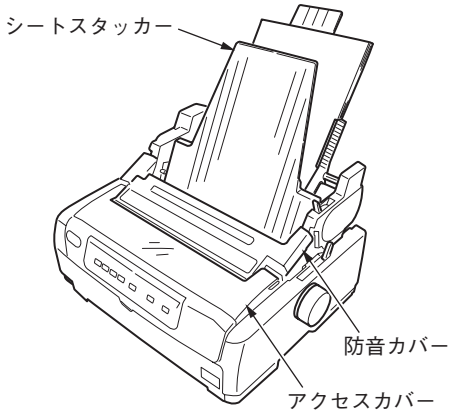
11 用紙ガイド（右）を用紙の幅に合わせ、用紙ガイド固定レバーを上げて固定します。



12 用紙セットレバーを、静かに「SET」にします。



13 シートスタッカーを差し込み、アクセスカバーと防音カバーを閉じ、電源スイッチを「ON」にします。

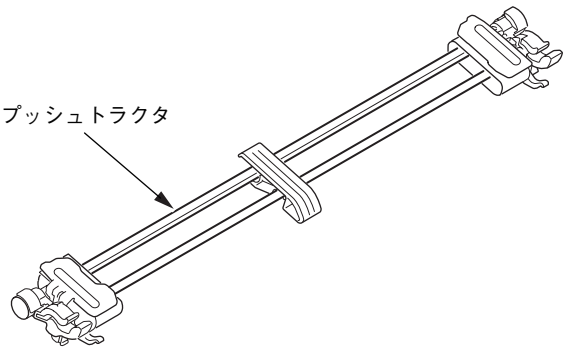


注
- はがき、往復はがき使用時は「印刷可」＋「改行 /改頁」スイッチを押して、はがきモードを設定してください。スイッチ機能（44ページ）を参照してください。
  はがき縦 /横または往復はがき縦 /横の用紙モード中は、メニューの頭出し位置の変更は無効となり、1行目印字位置は 6.35mmとなります。
- Windows から印刷を行う場合は、プリンタードライバーで用紙サイズを指定してください。この場合、スイッチによる用紙モードの設定は必要ありません。
- 使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止し、もう一度セットし直してください。
- 用紙を長時間カットシートフィーダーに放置しないでください。
- 用紙の逆改行量は 1 回の給紙に対して累計で 1/3 インチ以内です。

プッシュトラクタ

プリンターにプッシュトラクタを取り付けることにより、連続紙を給紙することができます。
プリンターには、リアトラクタが標準装備されています。
リア、フロントそれぞれに連続紙をセットして、使用する場合に本オプションをご使用ください。

外観と各部の名称



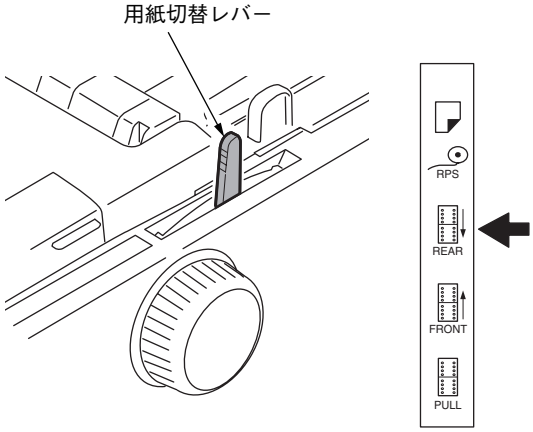
プッシュトラクタの取り付け

注 プッシュトラクタの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にしてから行ってください。

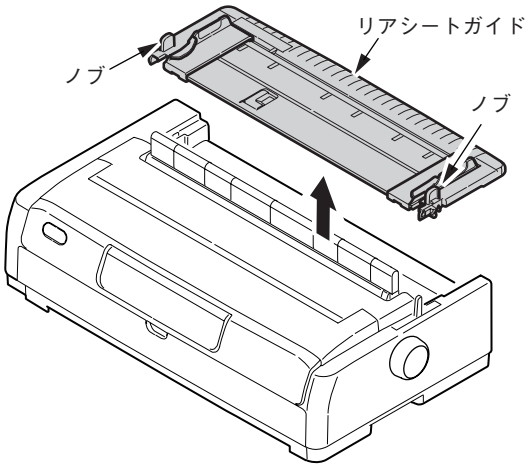
リアトラクタの取り付け方

1 電源スイッチを『OFF』にします

2 用紙切替レバーを REAR「 REAR 」にセットします

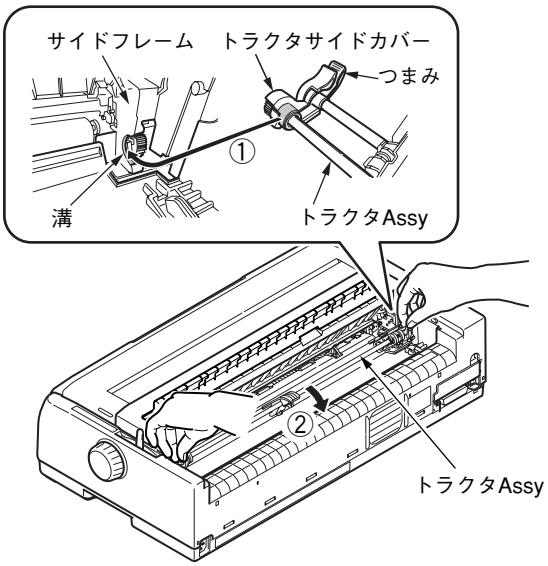


3 左右のノブを持って、リアシートガイドを外します。

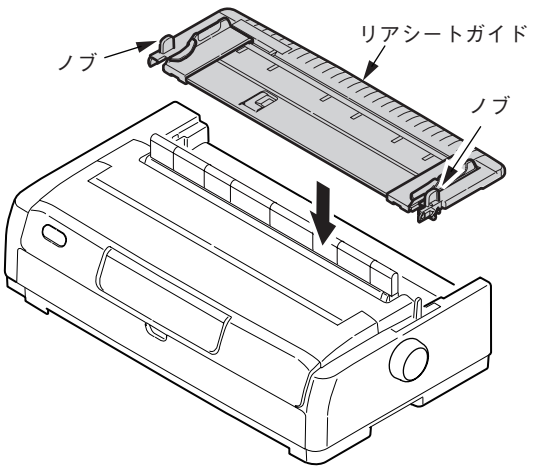


4 トラクタ Assy のつまみを持ってトラクタをセットします。

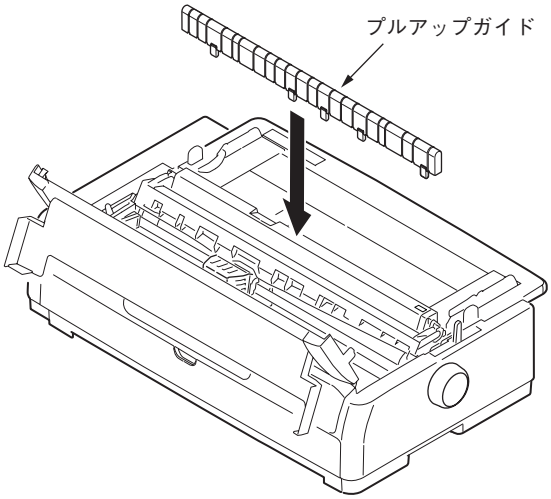
トラクタ Assy の左右のつまみを持って、①左右のトラクタサイドカバーを左右のサイドフレームの円弧状の溝に差し込み、②矢印方向に回転させてロックします。



5 左右のノブを持って、リアシートガイドを取り付けます。



6 プルアップガイドを取り付けます。

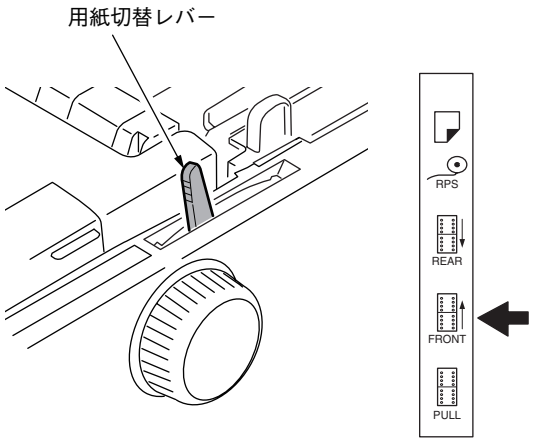


7 用紙のセット方法については、「連続紙をセットします」（51 ページ）を参照してください

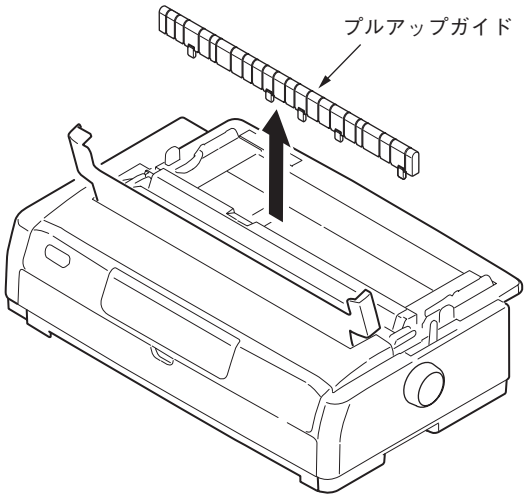
フロントトラクタの取り付け方

1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 用紙切替レバーを FRONT「 」にセットします。



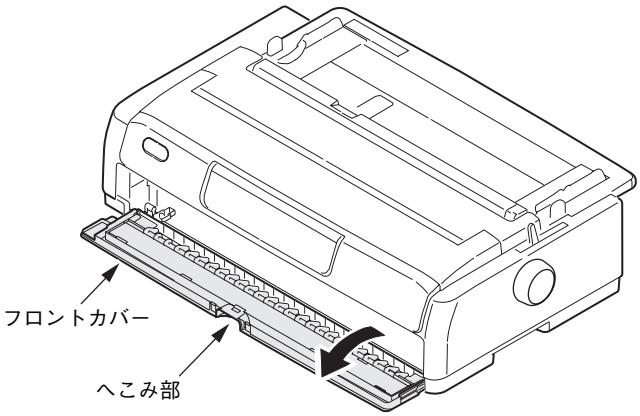
3 プルアップガイドを外します。



プルアップガイドは、リアプッシュトラクタを使用する場合に使用しますので、大切に保管してください。

注 フロントプッシュを使用する場合は、プルアップガイドを取り外してください。取り付けて使用した場合は、連続複写紙の層間ズレが発生する場合があります。

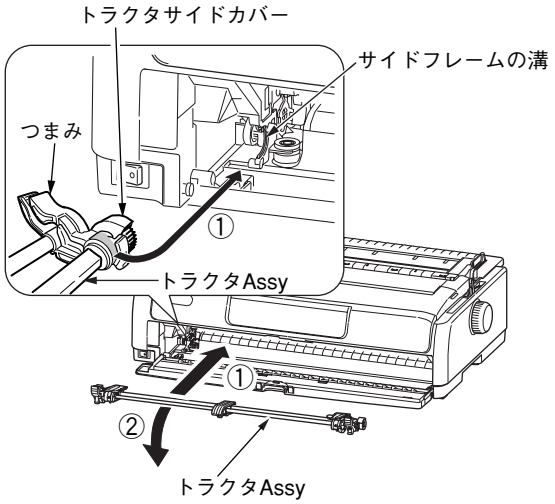
4 フロントカバーを開きます。



注
- 中央のへこみ部を持って手前に開いてください。
- テーブルがセットされている場合は、テーブルを取り外します。

5 トラクタ Assy のつまみを持ってトラクタをセットします。

トラクタ Assy の左右のつまみを持って、①左右のトラクタサイドカバーを左右のサイドフレームの円弧状の溝に差し込み、②矢印方向に回転させてロックします。



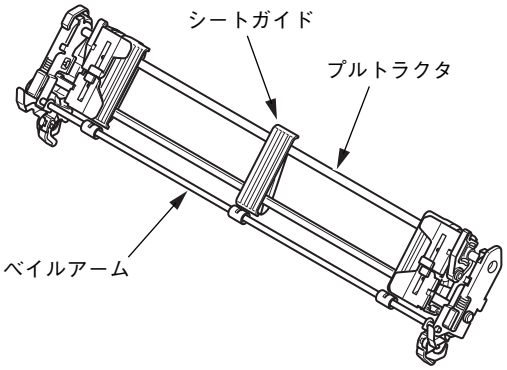
6 フロントカバーを閉じます。

7 用紙のセット方法については、「連続紙をセットします」(51 ページ) を参照してください。

プルトラクタ

プリンターにプルトラクタを取り付けることにより、連続紙をプリンターの下からまっすぐ給紙することができます。ラベル紙や厚い用紙を使用するのに適しています。

外観と各部の名称



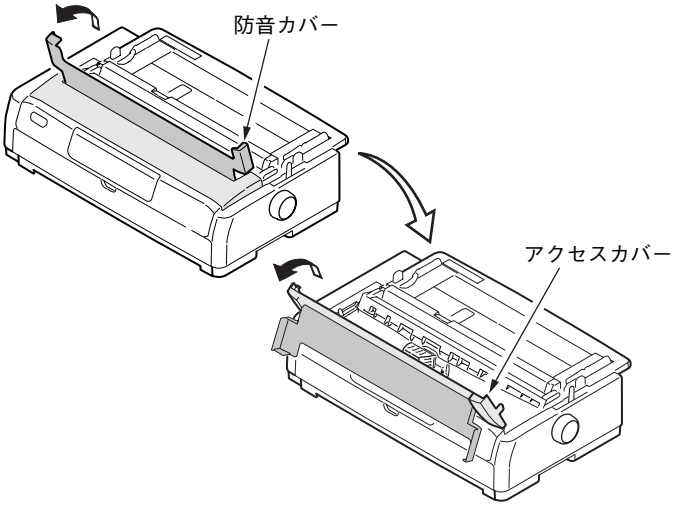
プルトラクタの取り付け、取り外し

注
- プルトラクタの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にしてから行ってください。
- プルトラクタを使用する際は、カット紙（単票）、ロールペーパースタンドは使用できません。

1 プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。

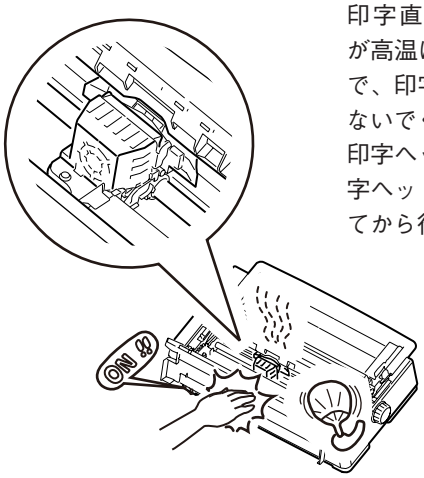
用紙がセットされているときは、排出してください。

2 防音カバーとアクセスカバーを開きます。



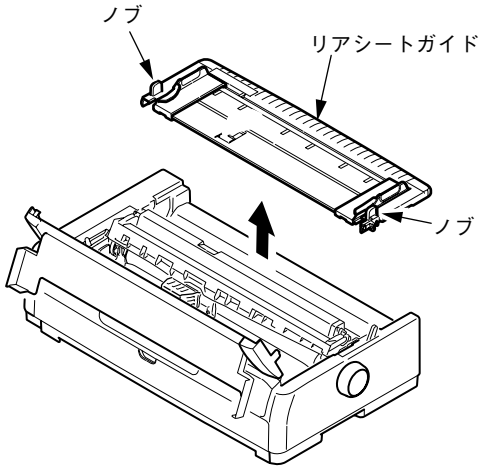
3 印字ヘッドを中央に移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。



印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

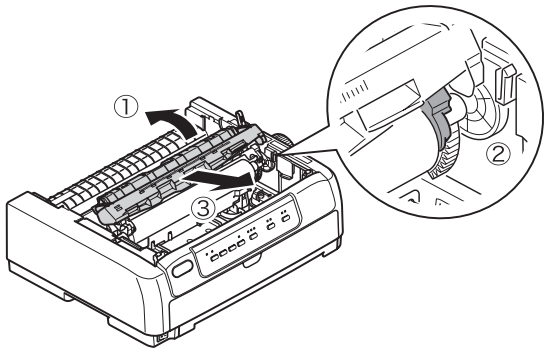
4 左右のノブを持ってシートガイドを取り外します。



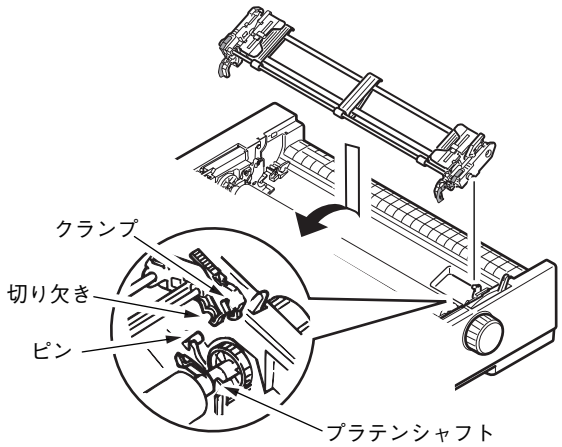
5 プルアップ Assy を取り外します。

プルアップ Assy を、①後側に静かに回転させて、②左右のロックを外した後、③手前に引いて取り外します。

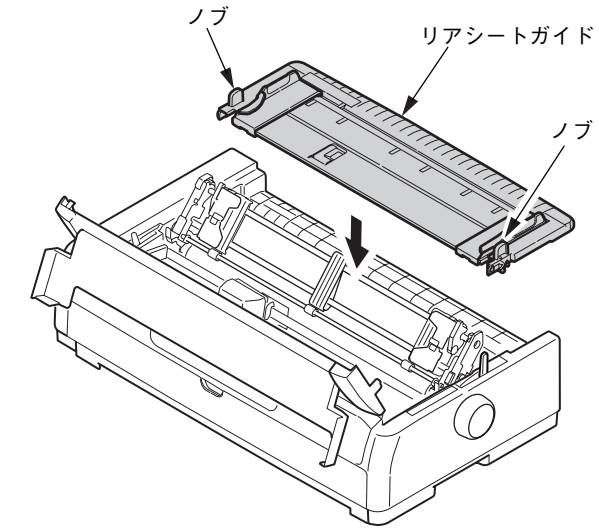
注 取り外したプルアップ Assy は使用しませんので、大切に保管してください。

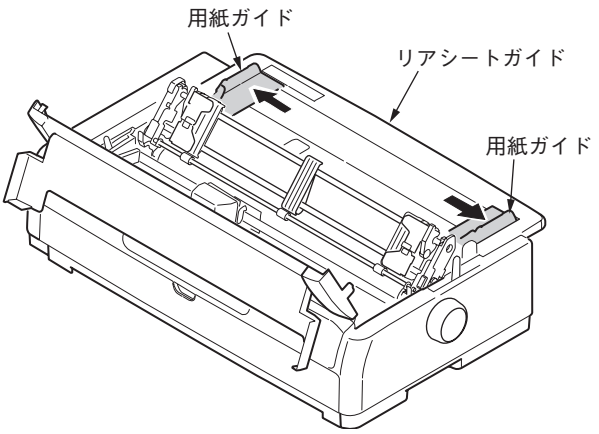


6 プルトラクタの切り欠きをプリンターのピンに合わせ、プルトラクタを前方に倒し、クランプをプラテンシャフトにはめ込みます。

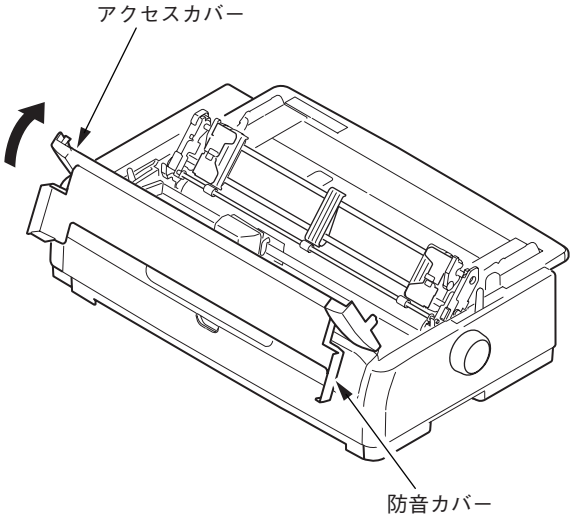


7 シートガイドを取り付け、用紙ガイドを左右いっぱいに移動します。





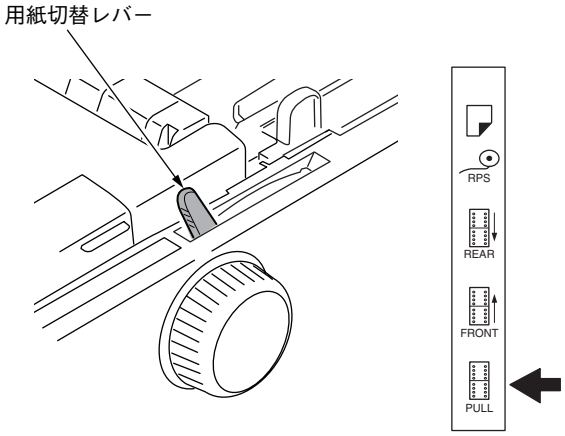
8 アクセスカバー、防音カバーを閉めます。



連続紙のセット

1 電源スイッチを「OFF」にします。

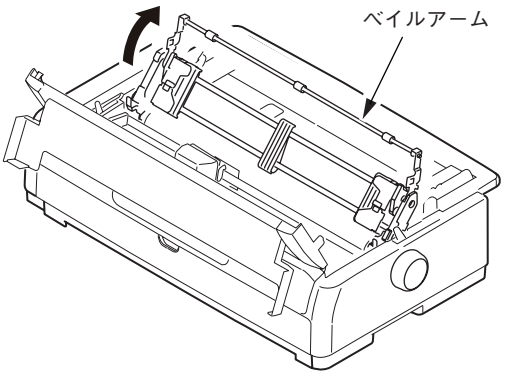
2 用紙切替レバーを PULL「 PULL 」にします。



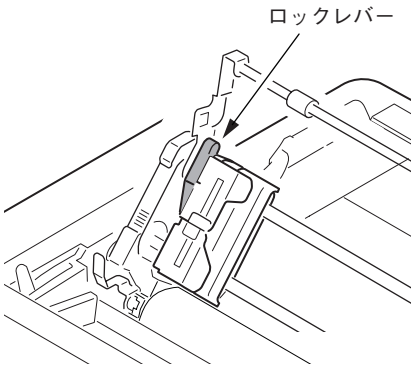
3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」(77 ページ)を参照してください。

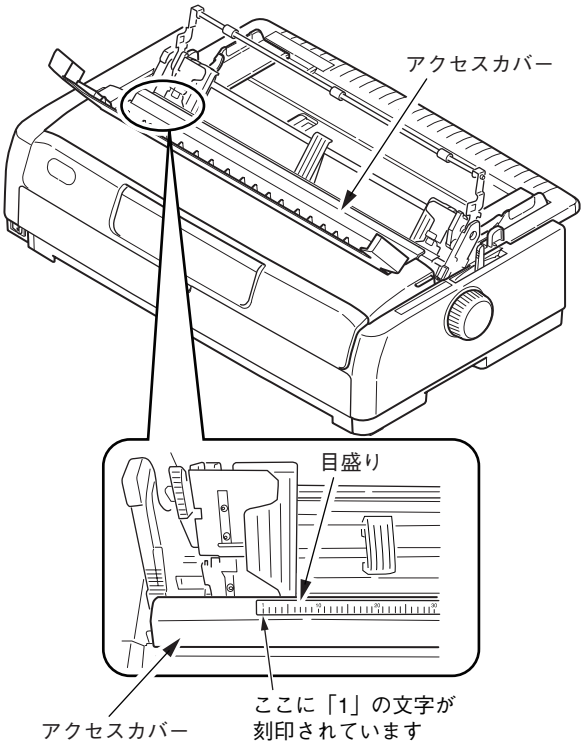
4 プルトラクタのベイルアームを開きます。



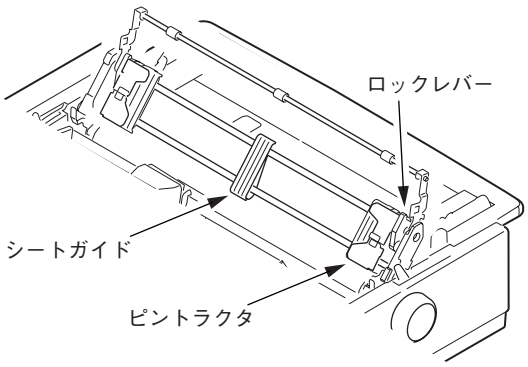
5 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。



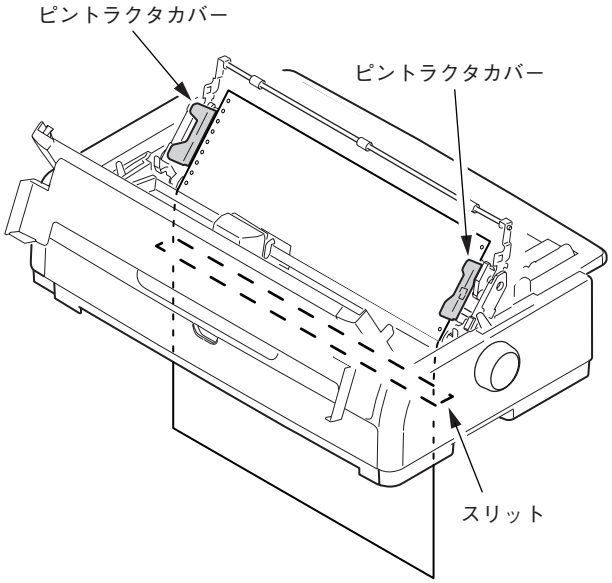
6 アクセスカバーを一度閉じてピントラクタの位置を確認します。
目盛り上の「1」の位置が、横方向の 1 文字目の中心になります。
ピントラクタの位置がずれている場合は、5 項に記載された手順で、位置を調整してください。
位置を合わせた後で、アクセスカバーを開けてください。



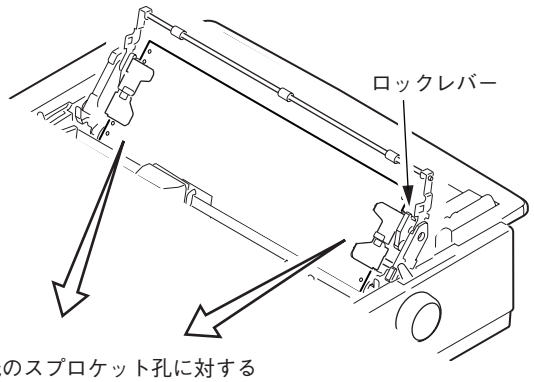
7 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。
シートガイドは、左右のピントラクタの中央に移動します。



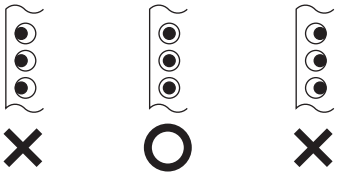
8 左右のピントラクタカバーを開いて、プリンター下部のスリットから連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。



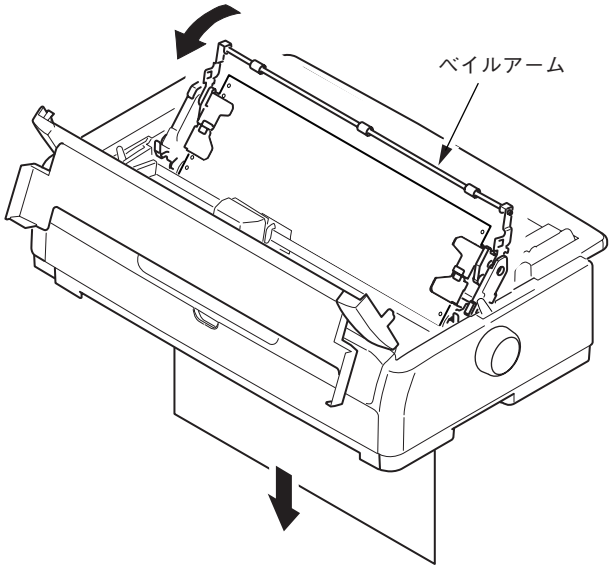
9 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロッククレバーを押し下げて固定します。
その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。



連続紙のスプロケット孔に対するスプロケットピンの位置

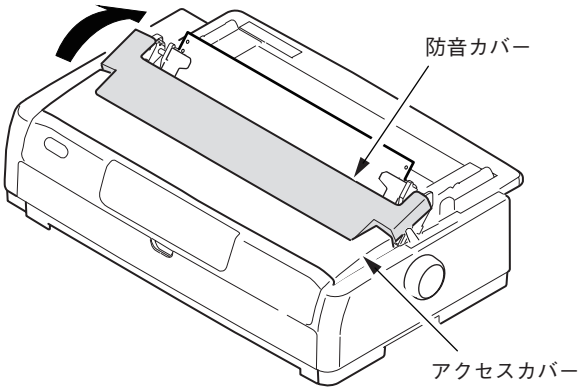


10 ベイルアームを手前に倒し、連続紙に押しあてます。



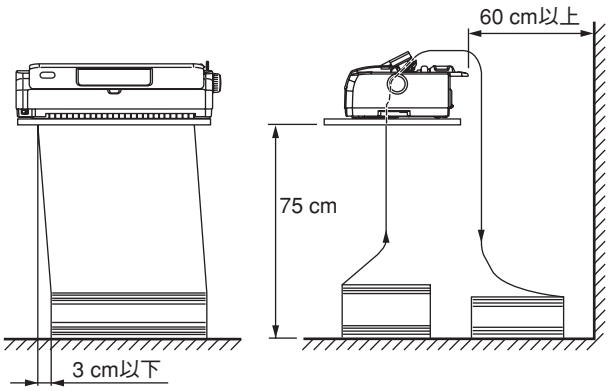
注 連続紙をセット後、用紙を下方向に軽く引っ張って用紙のたるみをとってください。

11 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。



注 連続紙の置き方

- プリンターを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以内にしてください。
- プリンターの後部は、壁から 60cm 以上離してください。



ダブルトラクタ

ダブルトラクタとは、1つの連続紙をフロントトラクタとプルトラクタ、あるいは、リアトラクタとプルトラクタを同時にセットします。2つのトラクタを使用するのでより安定した紙送りが行えます。

ダブルトラクタの取り付け、取り外し

注
- ダブルトラクタの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にしてから行ってください。
- ダブルトラクタを使用する際は、カット紙（単票）、ロールペーパースタンドは使用できません。

リアトラクタ＋プルトラクタの場合

1 **プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。**

用紙がセットされているときは、排出してください。

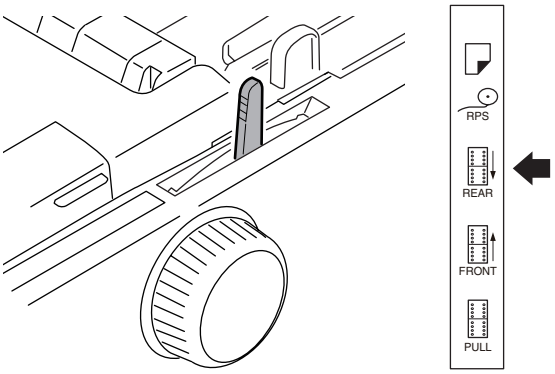
2 **プルトラクタを取り付けます。**

プルトラクタの取り付けは、「プルトラクタの取り付け、取り外し」（115 ページ）を参照してください。

3 **リアトラクタを取り付けます。**

リアトラクタの取り付けは、「リアトラクタの取り付け方」（112 ページ）を参照してください。

4 **用紙切替レバーを REAR「 REAR 」にセットします。**

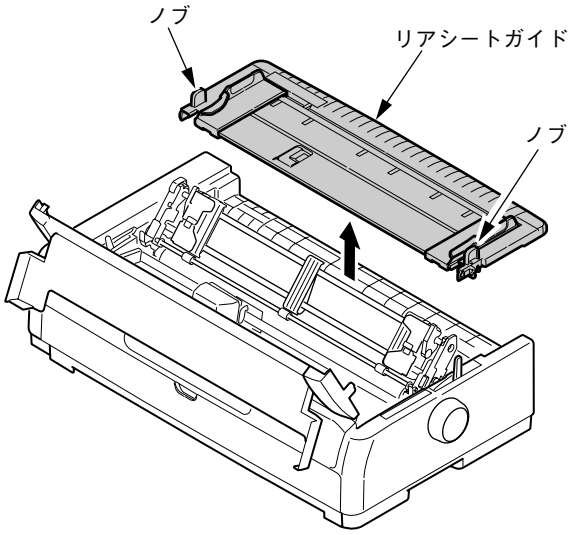


5 **防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合わせます。**

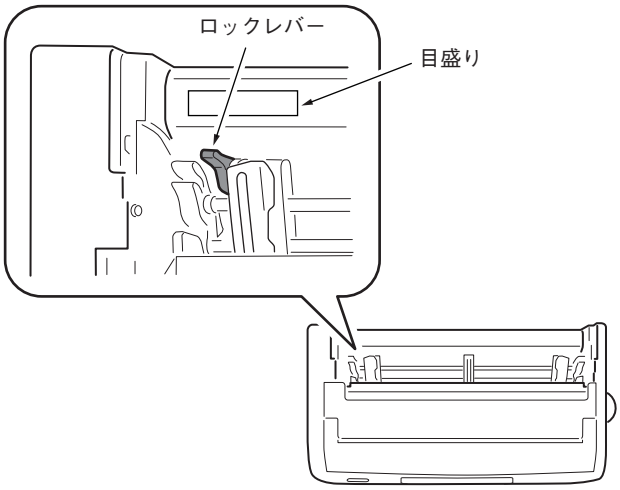
レンジ位置は、「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

注 用紙厚に対して適切な調整をしない場合、故障する恐れがあります。

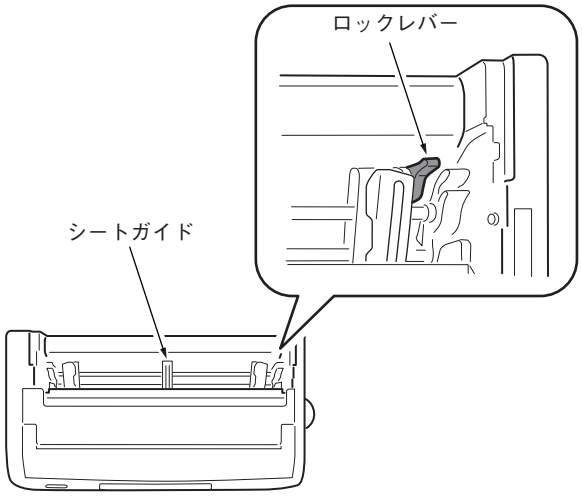
6 **左右のノブを持って、リアシートガイドを外します。**



7 **左側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、横方向の印字位置に合わせて、ロックレバーを押し下げて固定します。**
目盛り上の「▼」の位置が、横方向の1文字目の中心になります。

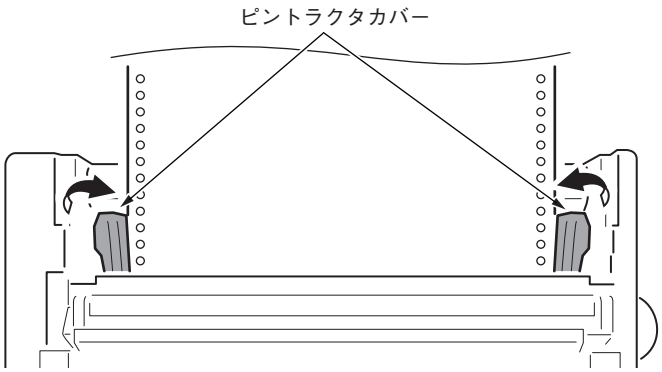


8 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、連続紙の幅に合わせて移動します。シートガイドを連続紙の中央に合わせます。

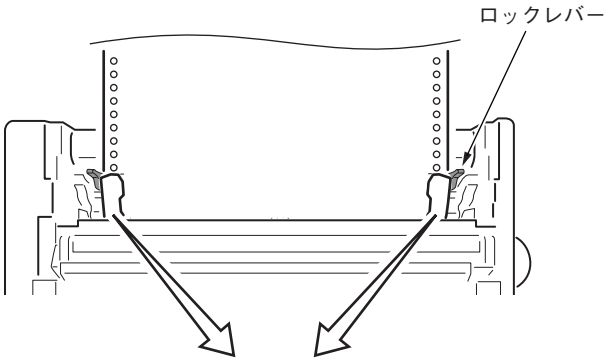


9 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

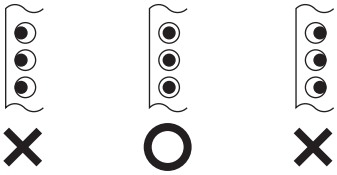
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。



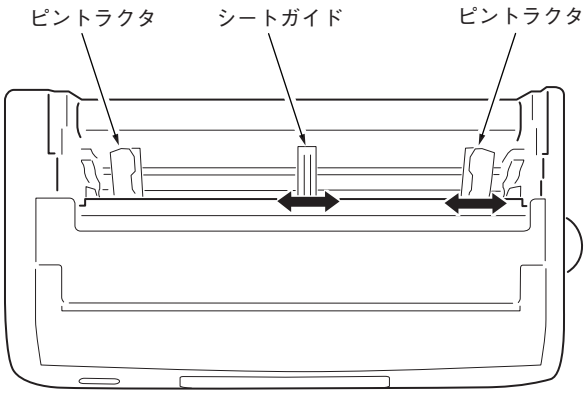
10 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせてロックレバーを押し下げて固定します。



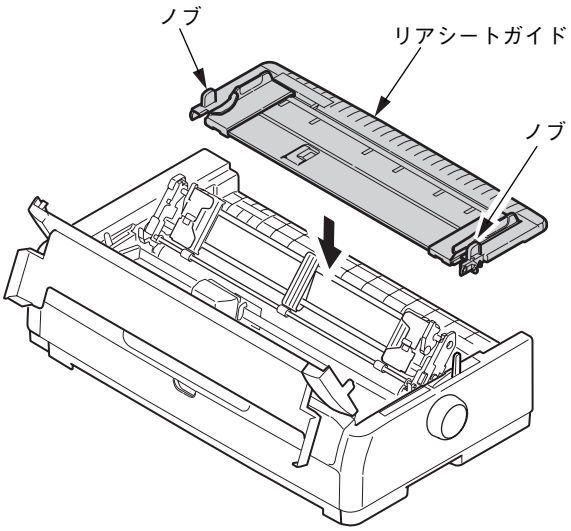
連続紙のスプロケット孔に対するスプロケットピンの位置

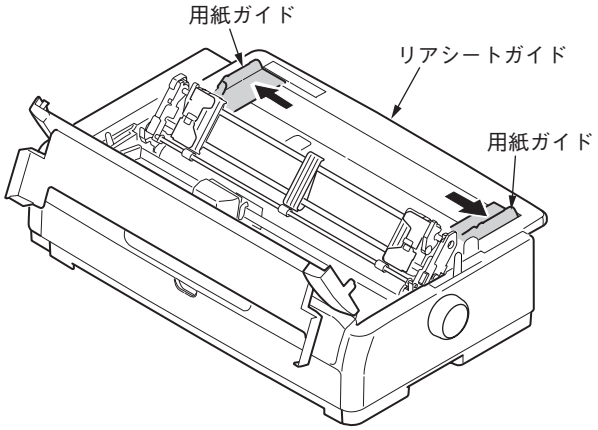


注 高温多湿の環境下では、用紙がやわらかくなり、用紙のスプロケット孔が裂けたり、紙づまりが発生しやすくなります。用紙をピントラクタにセットする場合は、トラクタを適切な位置に調整してください。用紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください（ピントラクタのスプロケットピンは、用紙のスプロケット孔の中心にセットしてください）。

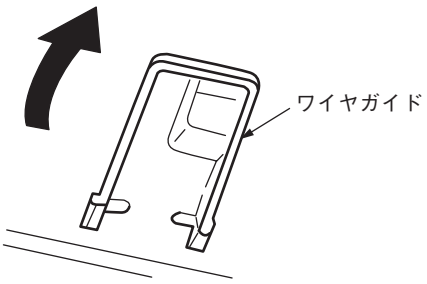


11 シートガイドを取り付け、用紙ガイドを左右いっぱいに移動します。

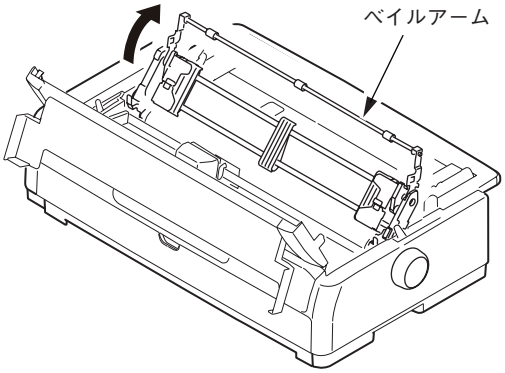




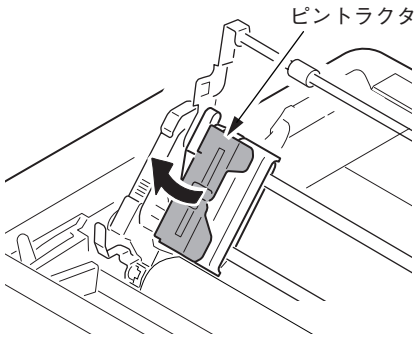
注 ワイヤガイドはリアシートガイド側に倒してください。



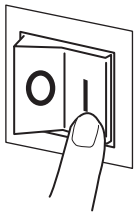
12 プルトラクタのベイルアームを開きます。



13 左右のピントラクタのカバーを開きます。



14 電源スイッチを「ON」にします。

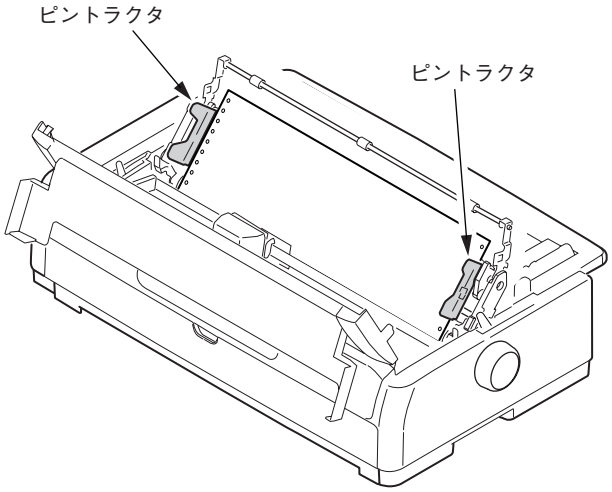


15 「給紙 / 退避」スイッチを押します。
1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。

注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

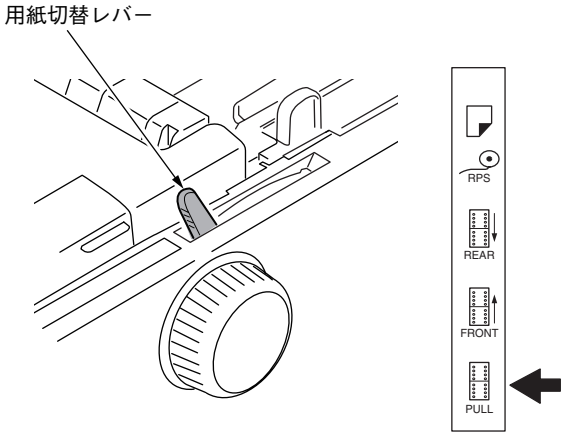
16 「改行 / 改頁」スイッチを押して、用紙をプルトラクタの左右のピントラクタの部分まで給紙します。

注 「改行 / 改頁」スイッチを 1 秒以上押すと改頁動作になります。
「改行 / 改頁」スイッチを繰り返し押して給紙してください。



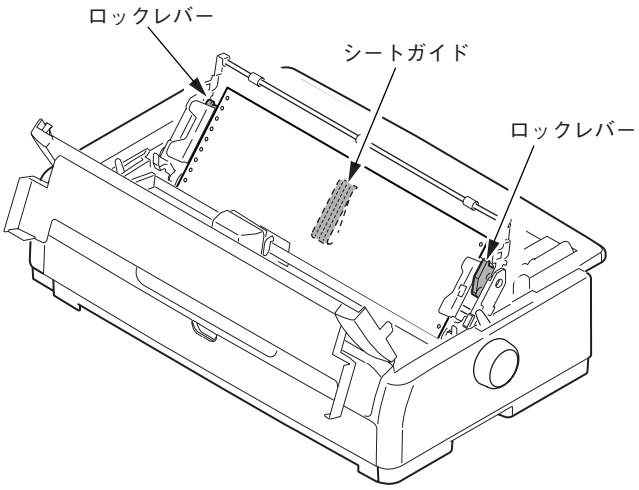
17 用紙切替レバーを PULL「 」にします。

PULL



注 「用紙」ランプ（赤）が点滅しますがそのままにしてください。

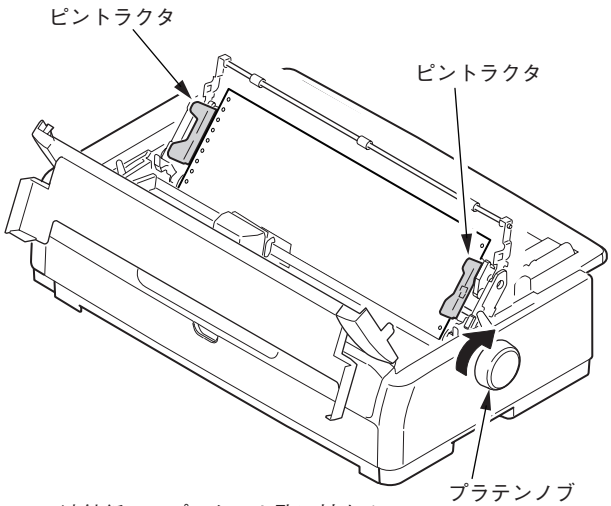
18 左右のロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。



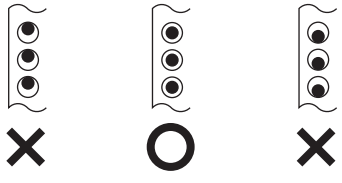
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。

19 プラテンノブを回して、連続紙のスプロケット孔とピントラクタのスプロケットピンの位置を合わせます。

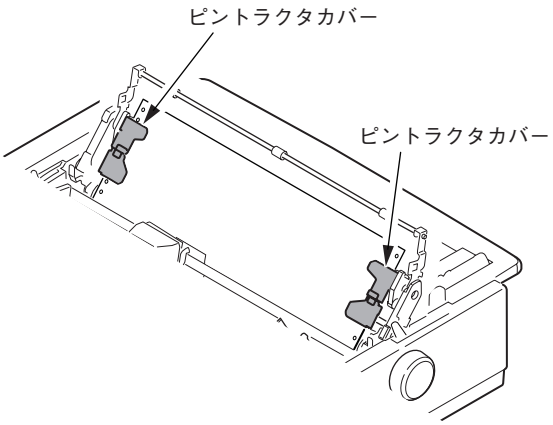
注
- 連続紙のスプロケット孔とスプロケットピンの位置が合わない場合は、プラテンノブを回してください。連続紙は移動しませんが、ピントラクタのスプロケットピンが移動して合わせることができます。
- 無理に連続紙のスプロケット孔とスプロケットピンの位置を合わせると、スプロケット孔が破れたり、変形しますので注意してください。



連続紙のスプロケット孔に対するスプロケットピンの位置

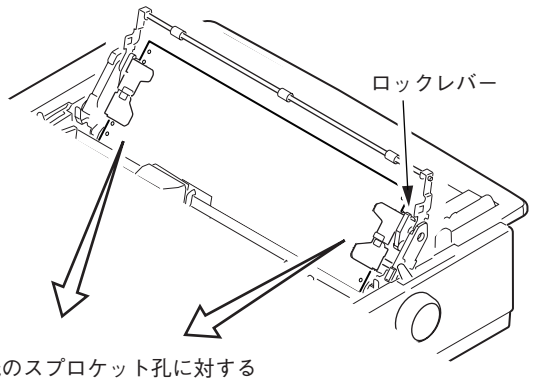


20 左右のピントラクタカバーを閉めます。

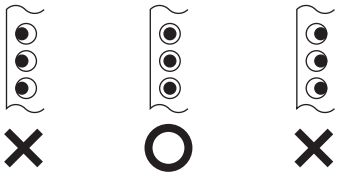


21 左右のピントラクタのロックレバーを押し下げて固定します。

注 連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎに注意してください。



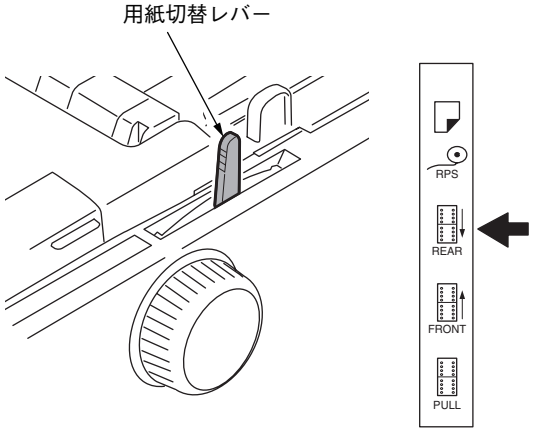
連続紙のスプロケット孔に対する
スプロケットピンの位置



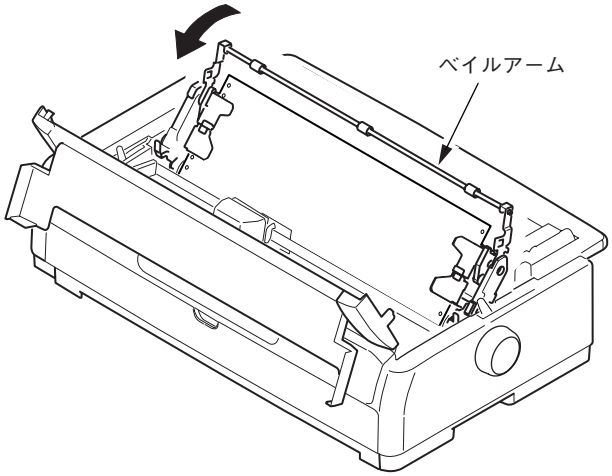
22 用紙切替レバーを REAR「 」にセットします。

REAR

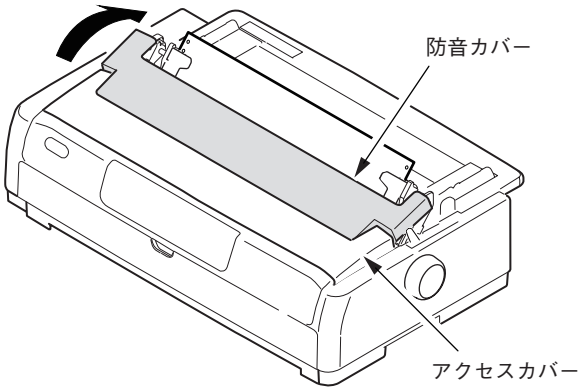
注 「用紙」ランプ（赤）が消灯します。



23 ベイルアームを手前に倒し、連続紙に押しあてます。



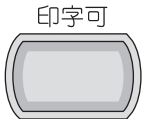
24 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。



25「改行 / 改頁」スイッチで 1 文字目印字位置を合わせます。

注
- 用紙の位置合わせはスイッチで行ってください。プラテンノブで行うと、改行ずれが発生します。
- セットした連続紙の 1 ページ目は印刷できません。2 ページ目で 1 文字目印字位置を合わせてください。
- 「改行 / 改頁」スイッチは、約 1 秒以上押すと改頁動作を実行しますので、注意してください。

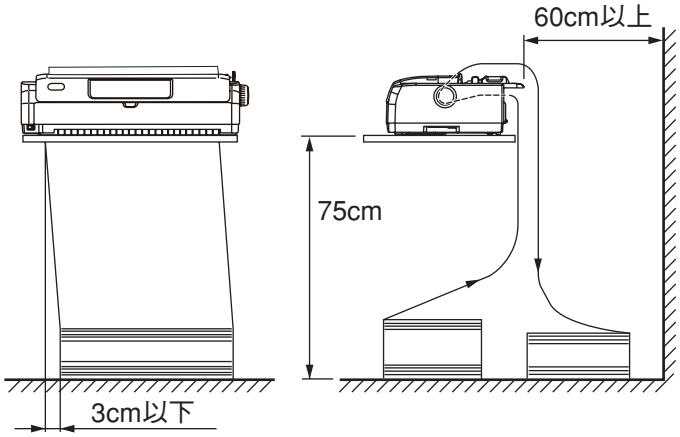
26「印字可」スイッチを押し、オンラインにします。



注 連続紙の置き方

- プリンターを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以下にしてください。
- プリンターの後部は、壁から 60cm 以上離してください。

ダブルトラクタ（リアトラクタ＋プルトラクタ）の場合



フロントトラクタ＋プルトラクタの場合

1 プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。

用紙がセットされているときは、排出してください。

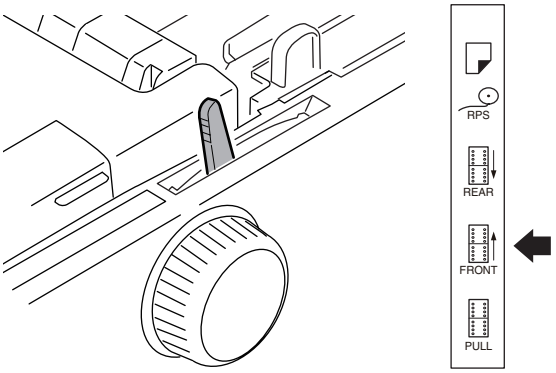
2 プルトラクタを取り付けます。

プルトラクタの取り付けは、「プルトラクタの取り付け、取り外し」（115 ページ）を参照してください。

3 フロントトラクタを取り付けます。

フロントトラクタの取り付けは、「フロントトラクタの取り付け方」（114 ページ）を参照してください。

4 用紙切替レバーを FRONT「 FRONT 」にセットします。



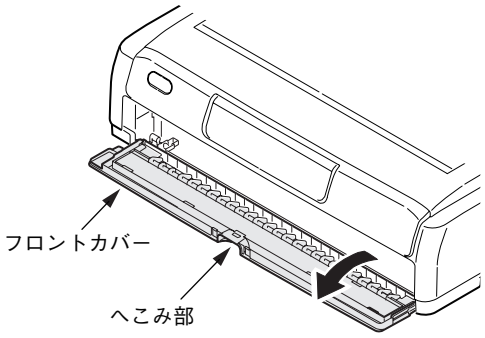
5 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は、「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

注 用紙厚に対して適切な調整をしない場合、故障する恐れがあります。

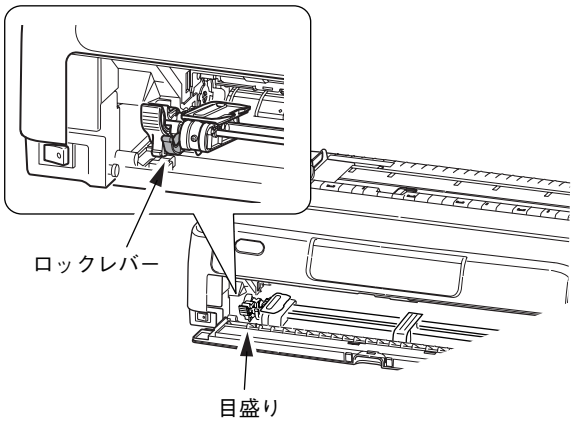
6 フロントカバーを開きます。

注 中央のへこみ部を持って手前に開いてください。

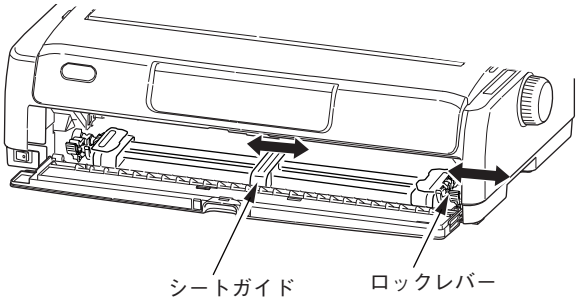


7 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、横方向の印字位置に合わせて、ロックレバーを押し下げて固定します。

目盛りの“▼”位置は横方向の 1 文字目の中心になります。

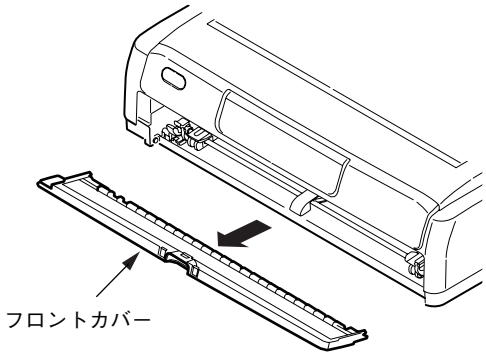


8 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げて、連続紙の幅に合わせて移動します。シートガイドを連続紙の中央に合わせます。



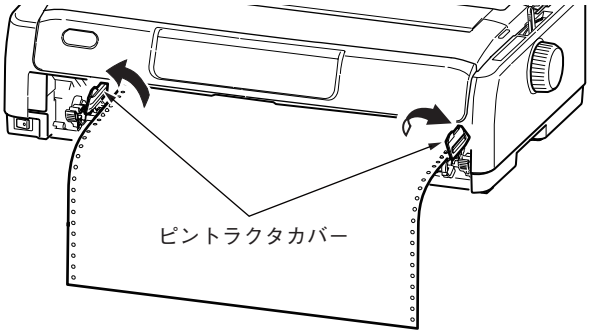
9 フロントカバーを取り外します。

注 フロントカバーの両端を持って、手前に引いて外してください。



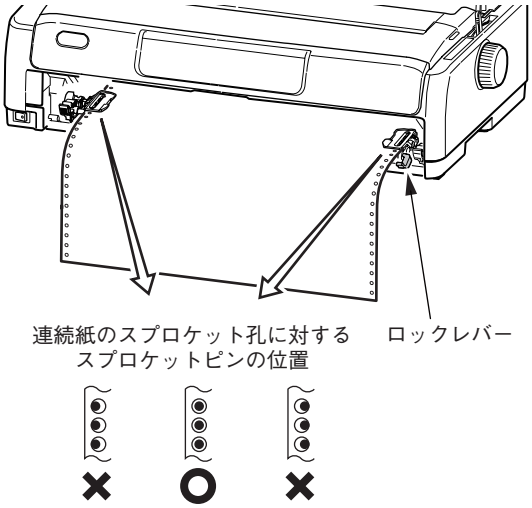
10 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンの位置がずれないようにしてください。

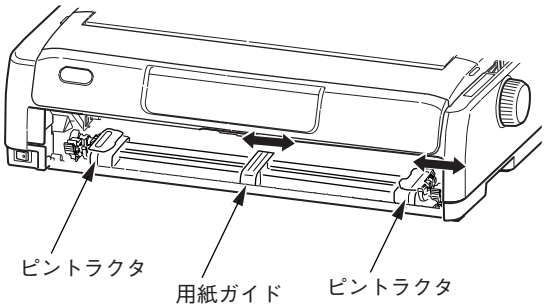


11 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせて、ロックレバーを押し下げて固定します。

その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

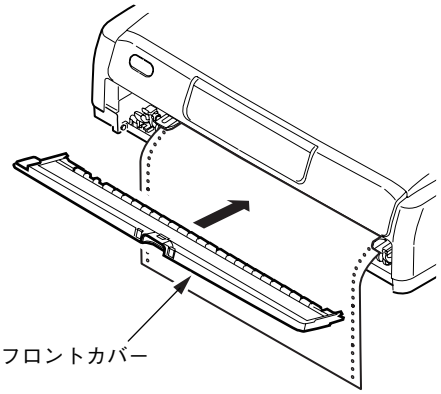


注 高温多湿の環境下では、用紙がやわらかくなり、用紙のスプロケット孔が裂けたり、紙づまりが発生しやすくなります。用紙をピントラクタにセットする場合は、ピントラクタを適切な位置に調整してください。用紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください（ピントラクタのスプロケットピンは、用紙のスプロケット孔の中心にセットしてください）。

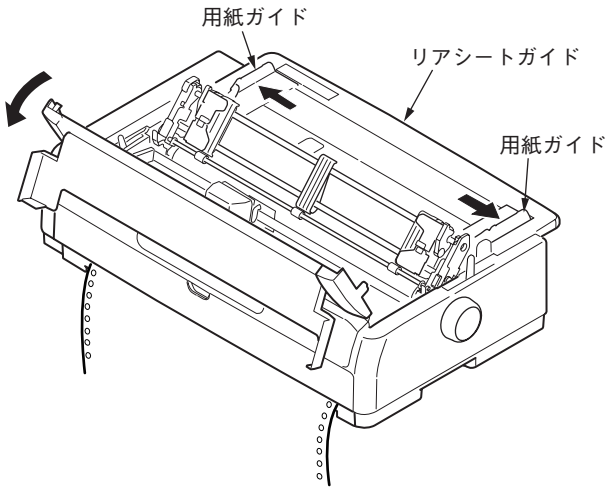


12 フロントカバーを取り付けます。

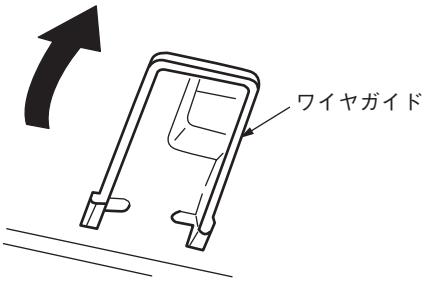
フロントカバーの左右の溝をプリンターのボスに差し込み、フロントカバーを閉じます。



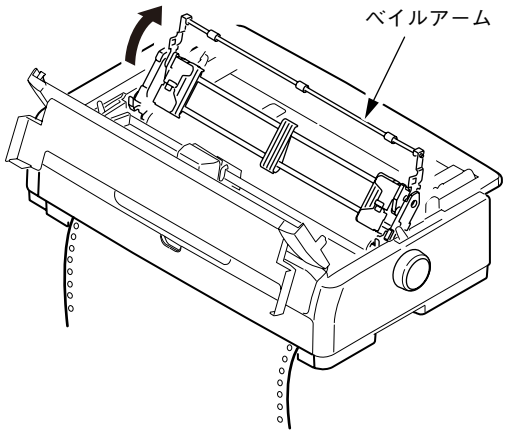
13 防音カバーとアクセスカバーを両手で開きます。リアシートガイドを取り付け、用紙ガイドを左右いっぱいに移動します。



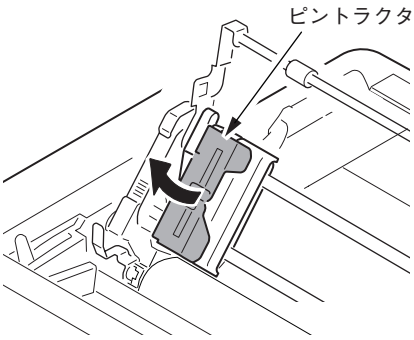
注 ワイヤガイドはリアシートガイド側に倒してください。



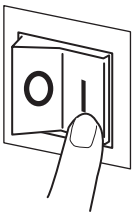
14 プルトラクタのベイルアームを開きます。



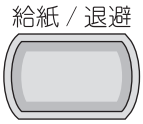
15 左右のピントラクタのカバーを開きます。



16 電源スイッチを「ON」にします。

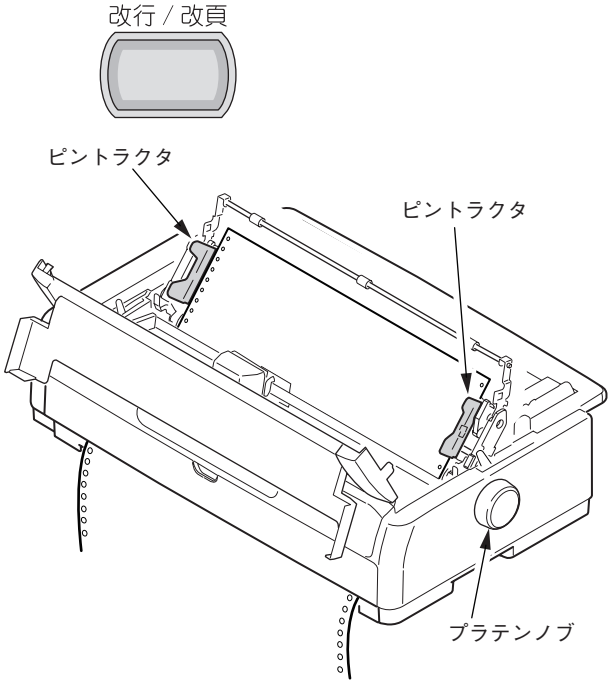


17 「給紙 / 退避」スイッチを押します。1 行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。



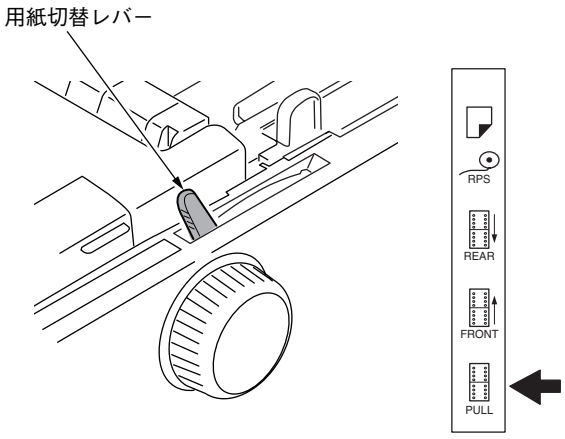
注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

18 「改行 / 改頁」スイッチを押して、用紙を左右のピントラクタの部分まで給紙します。



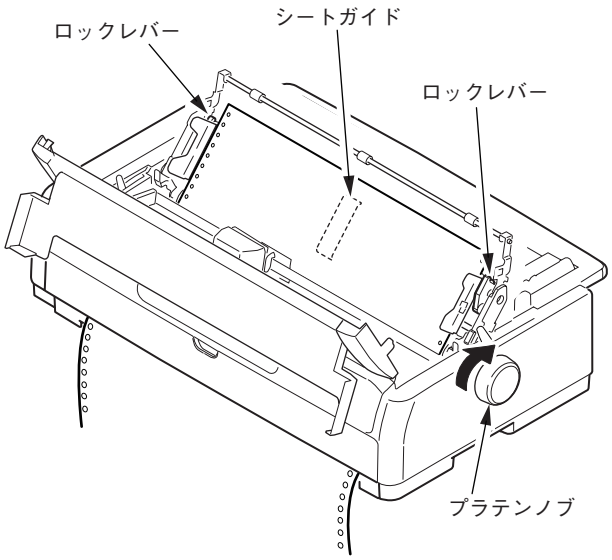
注 「改行 / 改頁」スイッチは、約 1 秒以上押すと改頁動作を実行しますので、注意してください。

19 用紙切替レバーを PULL「 PULL 」にします。



注 「用紙」ランプ（赤）が点滅しますがそのままにしてください。

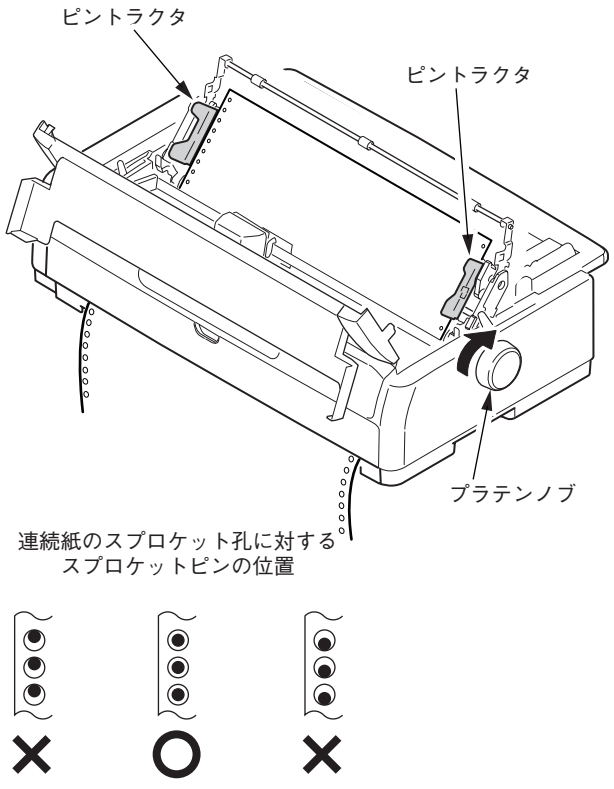
20 左右のロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。



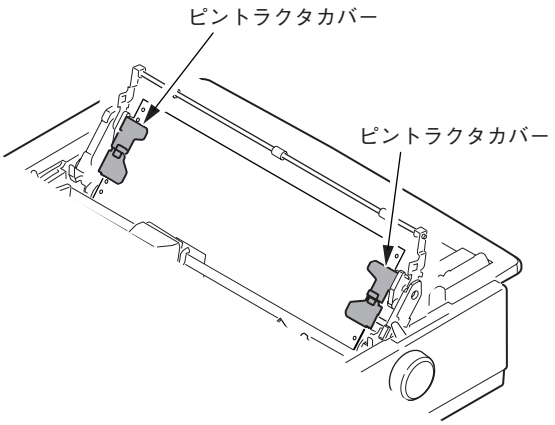
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。

21 プラテンノブを回して、連続紙のスプロケット孔とピントラクタのスプロケットピンの位置を合わせます。

注
- 連続紙のスプロケット孔とスプロケットピンの位置が合わない場合は、プラテンノブを回してください。連続紙は移動しませんが、ピントラクタのスプロケットピンが移動して合わせることができます。
- 無理に連続紙のスプロケット孔とスプロケットピンの位置を合わせると、スプロケット孔が破れたり、変形しますので注意してください。

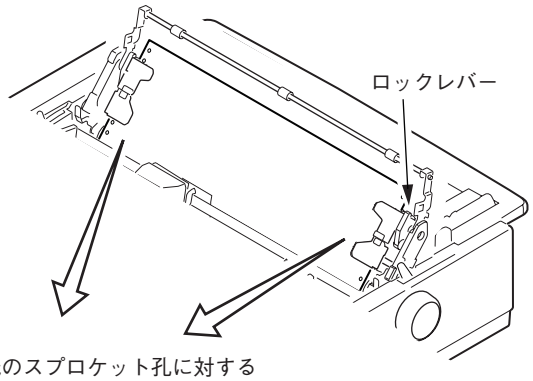


22 左右のピントラクタカバーを閉めます。

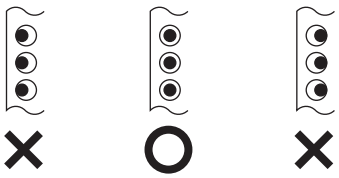


23 左右のピントラクタのロックレバーを押し下げて固定します。

注 連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎに注意してください。

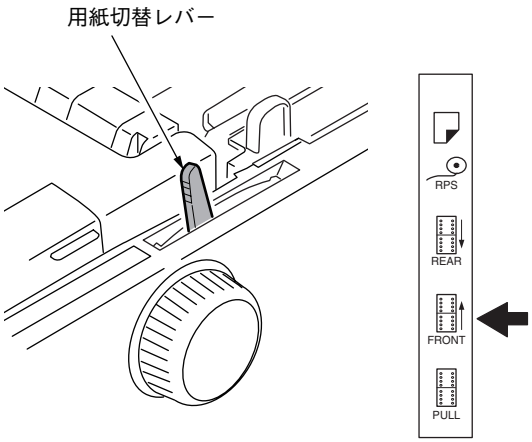


連続紙のスプロケット孔に対する
スプロケットピンの位置

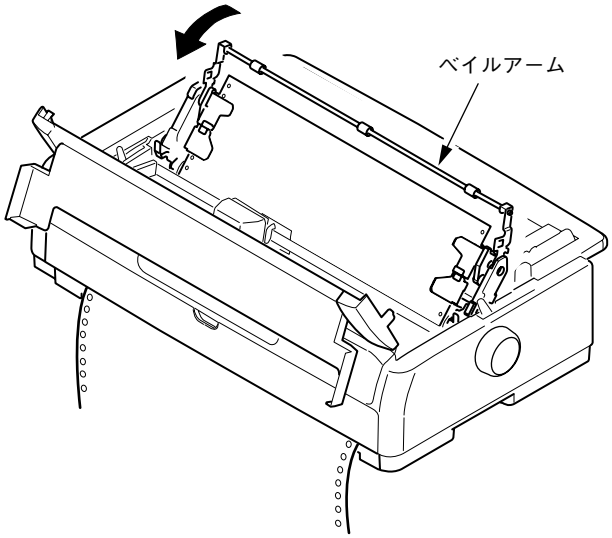


24 用紙切替レバーを FRONT「 FRONT 」にセットします。

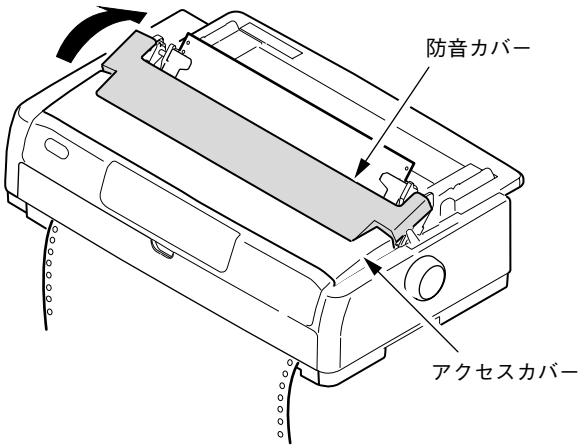
注 「用紙」ランプ（赤）が消灯します。



25 ベイルアームを手前に倒し、連続紙に押しあてます。



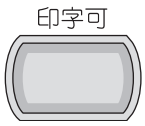
26 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。



27 「改行 / 改頁」スイッチで 1 文字目印字位置を合わせます。

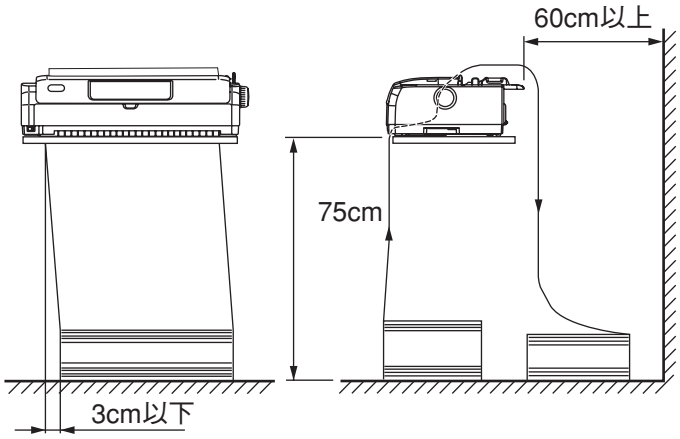
注
- 用紙の位置合わせはスイッチで行ってください。プラテンノブで行うと、改行ずれが発生します。
- セットした連続紙の 1 ページ目は印刷できません。2 ページ目で 1 文字目印字位置を合わせてください。
- 「改行 / 改頁」スイッチは、約 1 秒以上押すと改頁動作を実行しますので、注意してください。

28 「印字可」スイッチを押し、オンラインにします。



注 連続紙の置き方
- プリンターを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンターと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以下にしてください。
- プリンターの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンターの後部は、壁から 60cm 以上離してください。

ダブルトラクタ（フロントトラクタ＋プルトラクタ）の場合

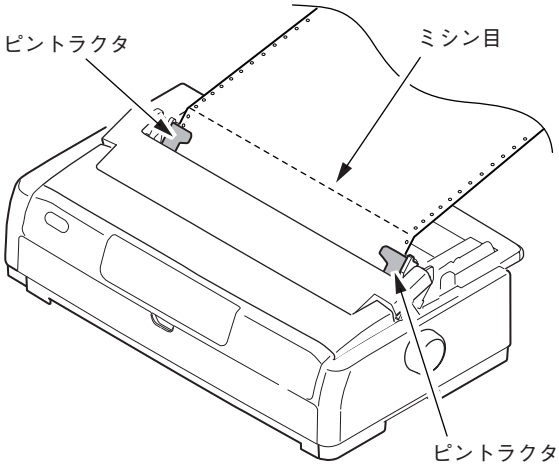


ダブルトラクタでの連続紙の排出方法

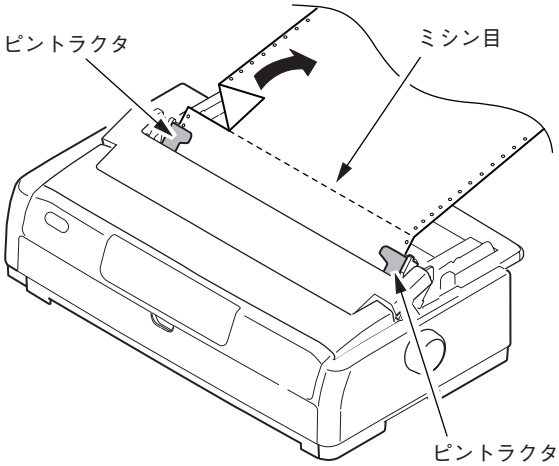
印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

印刷済みの連続紙を切り取るとき

1 「改行 / 改頁」スイッチを押して連続紙のミシン目をプルトラクタのピントラクタの後の位置まで移動します。



2 連続紙をミシン目から切り取ります。

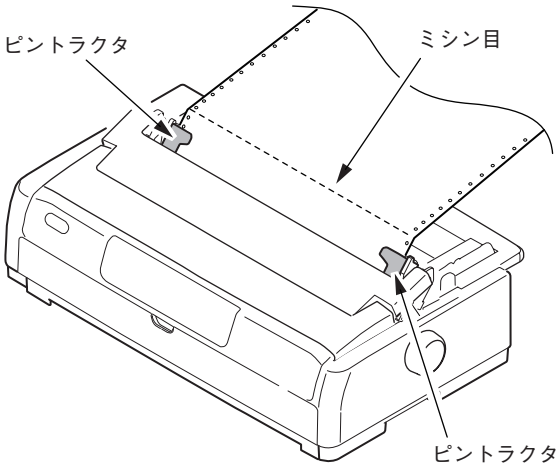


3 「改行 / 改頁」スイッチで 1 文字目印字位置を合わせます。

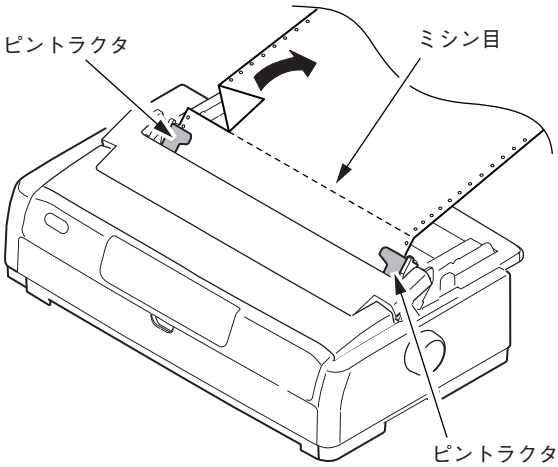
注
- 用紙の位置合わせはスイッチで行ってください。プラテンノブで行うと、改行ずれが発生します。
- セットした連続紙の 1 ページ目は印刷できません。2 ページ目で 1 文字目印字位置を合わせてください。
- 「改行 / 改頁」スイッチは、約 1 秒以上押すと改頁動作を実行しますので、注意してください。

連続紙を外すとき

1 「改行 / 改頁」スイッチを押して連続紙のミシン目をプルトラクタのピントラクタの後の位置まで移動します。



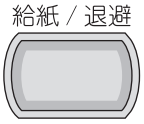
2 連続紙をミシン目から切り取ります。



3 「給紙 / 退避」スイッチを押します。

連続紙の先端が、

- **リアトラクタ＋プルトラクタの場合：**
  →リアトラクタのピントラクタまで後退します。
- **フロントトラクタ＋プルトラクタの場合：**
  →フロントトラクタのピントラクタまで後退します。



注
- 連続紙の後退量は最高 279.4mm（11 インチ）です。279.4mm（11 インチ）後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、絶対に 2 回以上連続して行わないでください。
- 連続紙の最終ページのスプロケット孔がピントラクタのスプロケットピンから外れた状態で後退動作を行わないでください。紙づまりが発生します。

4 連続紙を外します。

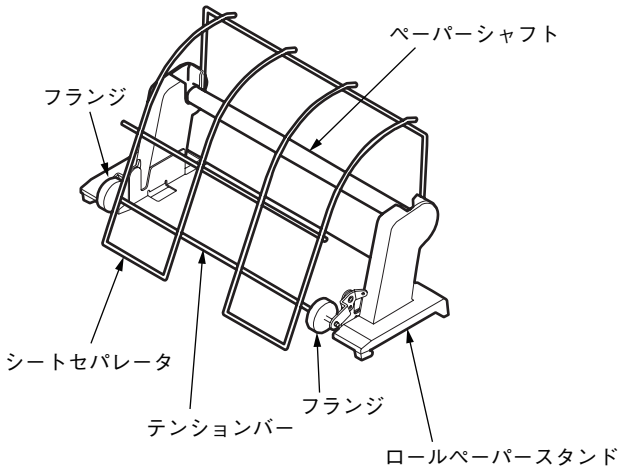
- **リアトラクタ＋プルトラクタの場合：**
  →「連続紙を外すとき（リアプッシュの場合）」（60 ページ）を参照してください。
- **フロントトラクタ＋プルトラクタの場合：**
  →「連続紙を外すとき（フロントプッシュの場合）」（61 ページ）を参照してください。

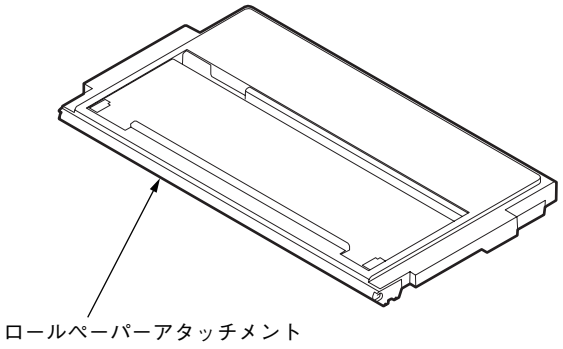
ロールペーパースタンド

プリンターにロールペーパースタンド（RPS）を取り付けることにより、ロール紙を使うことができます。

注 ロールペーパースタンドは MICROLINE 5460HU2 のみ取り付け可能です。（MICROLINE 8460HU2 には取り付けできません。）

外観と各部の名称



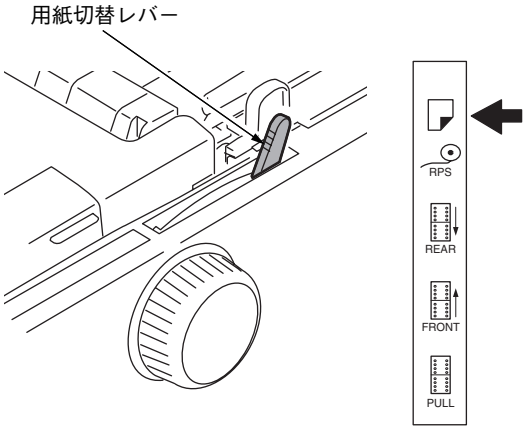


ロールペーパースタンドの取り付け、取り外し

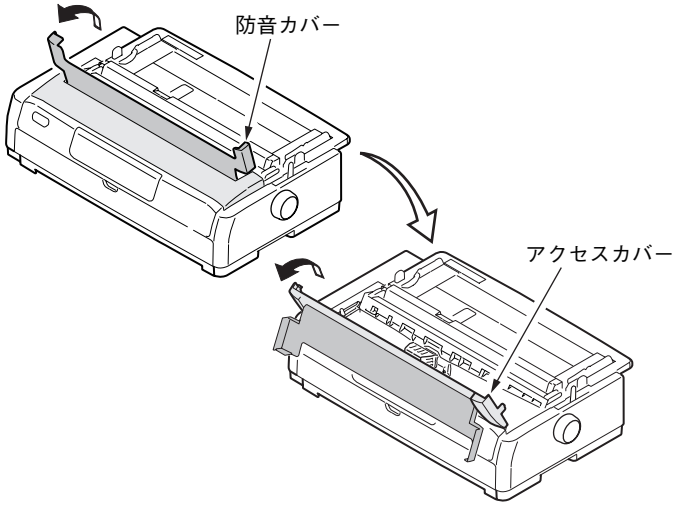
注
- ロールペーパースタンドの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にしてから行ってください。
- ロールペーパースタンドを使用する際は、カット紙（単票）、プッシュトラクタおよびプルトラクタは使用できません。

1 プリンターの電源スイッチを「OFF」にします。

2 プリンターの用紙切替レバーを単票「 」にします。



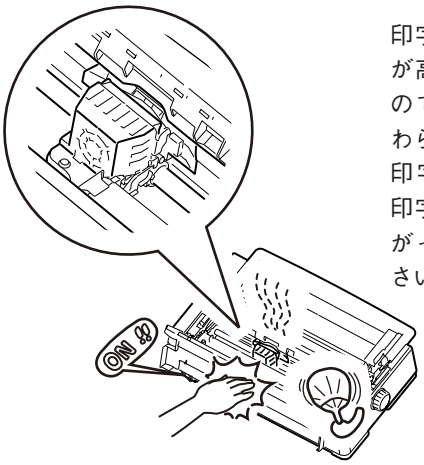
3 防音カバーとアクセスカバーを開きます。



注 アクセスカバーを開くときには、アクセスカバー両端のアクセスカバーノブを両手で持って開いてください。

4 印字ヘッドを中央に移動させます。

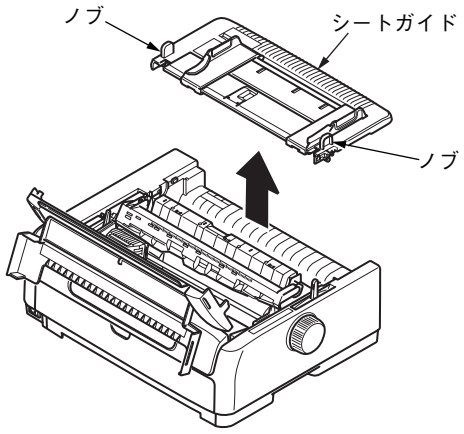
⚠注意	やけどの恐れがあります。	



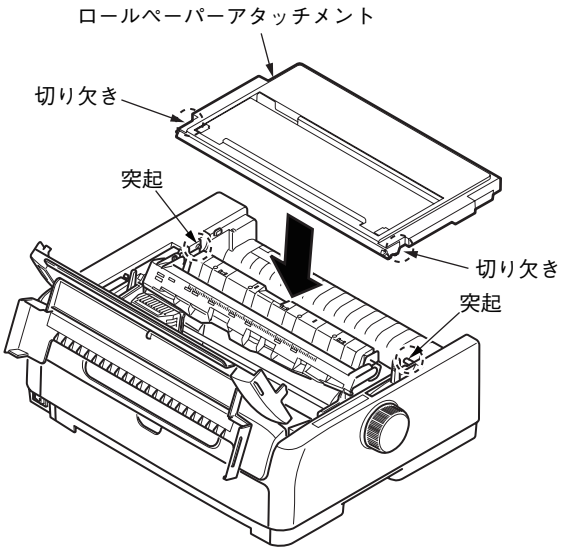
印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 左右のノブを持ってシートガイドを取り外します。

注 取り外したシートガイドは使用しませんので、大切に保管してください。

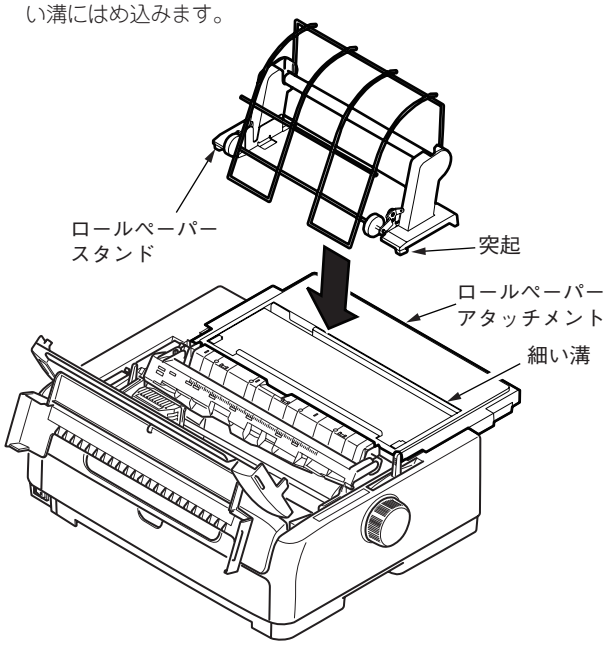


6 ロールペーパーアタッチメントの両側の切り欠きをプリンターの突起に差し込み、そのまま下ろします。



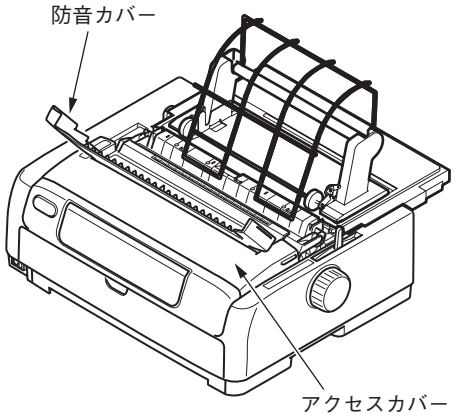
7 ロールペーパースタンドをはめ込みます。

ロールペーパースタンドの突起をロールペーパーアタッチメント前方の溝に入れ、ロールペーパースタンドを後方に倒し、細い溝にはめ込みます。



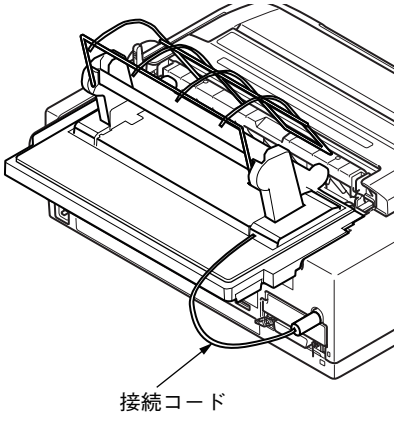
8 アクセスカバーを閉じます。

防音カバーは開いたままにします。



9 ロールペーパースタンドの接続コードをプリンター後方にあるコネクターに差し込みます。

注 コネクターの向きを間違えたり、無理矢理挿入しないでください。コネクターが破損する恐れがあります。

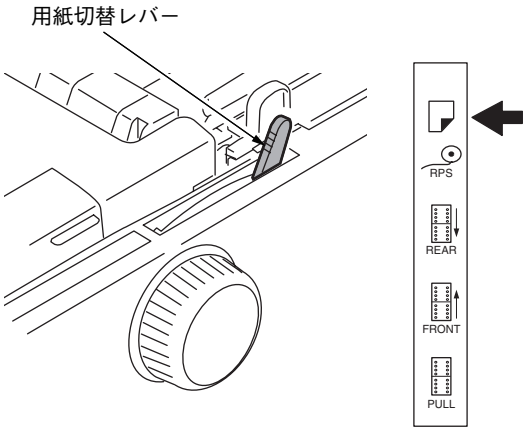


ロールペーパースタンドの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

ロール紙のセット

1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 用紙切替レバーを単票「 」にします。



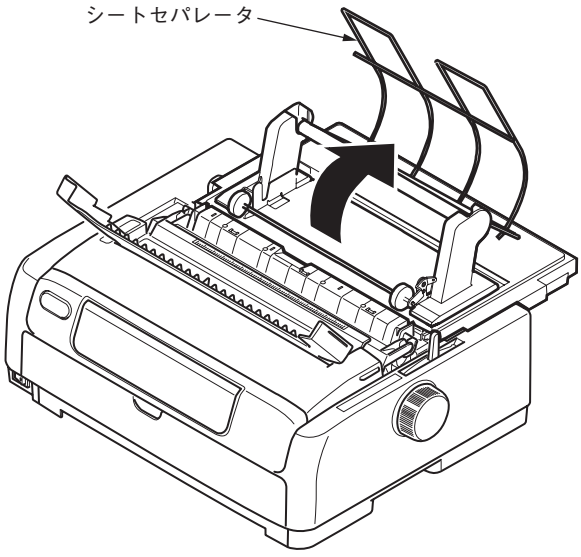
3 アクセスカバーを開け、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

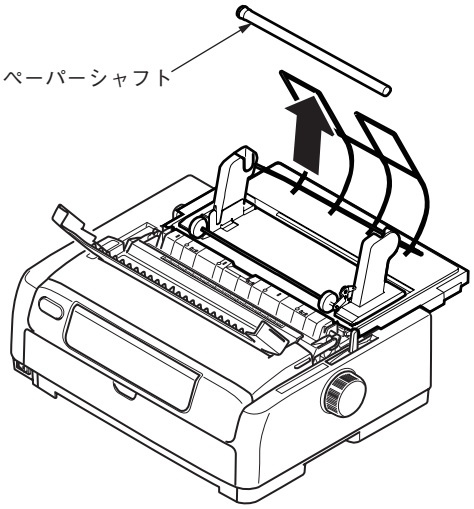
4 アクセスカバーを閉じます。

防音カバーは開いたままにします。

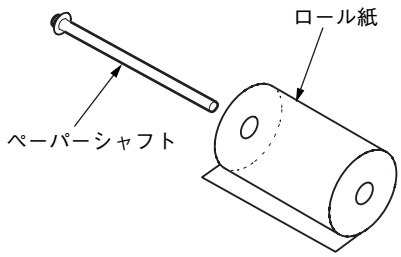
5 シートセパレータを後方に倒します。



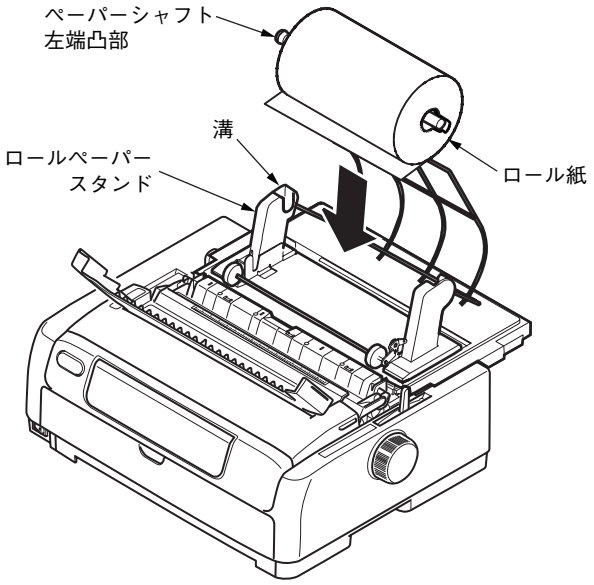
6 ペーパーシャフトを取り外します。



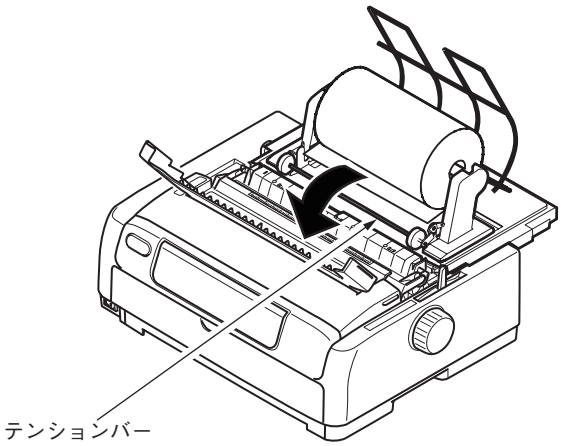
7 ロール紙を用紙の先端が手前下側になるようにして持ち、左側からペーパーシャフトを挿入します。



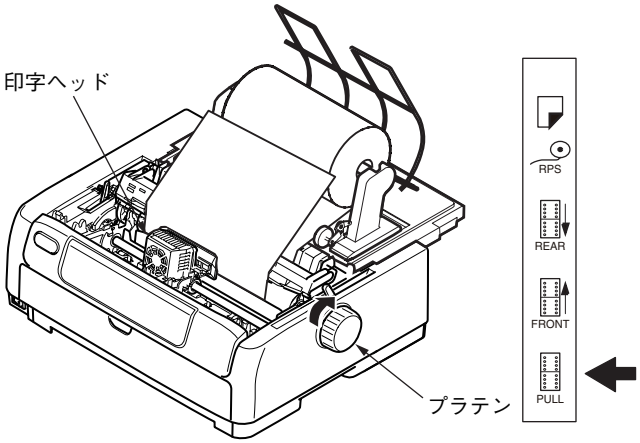
8 ペーパーシャフト左端凸部をロールペーパースタンドの溝に合わせて、ロール紙をセットします。



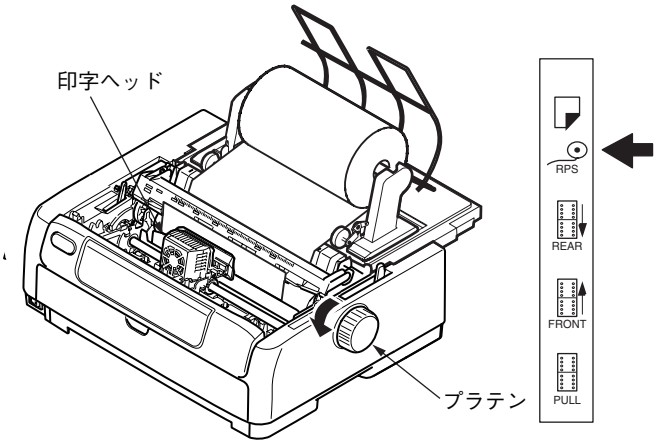
9 テンションバーの上から用紙をプラテンへセットします。



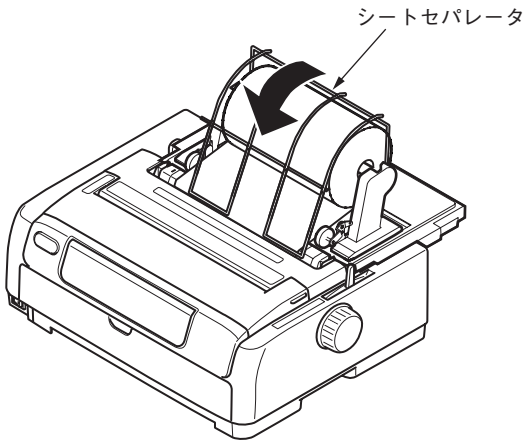
10 プラテンノブをまわして、用紙をロール紙のところまで送った後、用紙切替レバーを PULL「PULL」に倒し、用紙の左右をロール紙に揃えます。



11 用紙切替レバーをロールペーパースタンド「RPS」に倒し、プラテンノブを逆に回して用紙を印字開始位置まで戻します。



12 シートセパレータを前方に倒します。



注

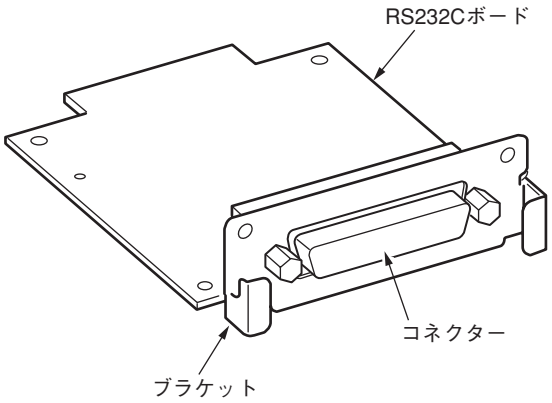
- ロールペーパースタンドで使用できる複写紙はオリジナル＋１枚までです。
- 用紙先端の左右をロール紙に合わせ、セットの曲がりを直してください。用紙を曲がってセットすると、用紙送り不良になります。
- ロールペーパースタンドを使用する場合には、プリンタードライバーの給紙方法は「ロールペーパースタンド」を選択してください。

RS232C ボード

RS232C ボードを取り付けることにより、シリアルインターフェースでデータを受信することができます。
シリアルインターフェースの機能は、メニューにより設定することができます。
シリアルインターフェースのメニューについては、ユーザーズマニュアル（活用編）「4 章　シリアルインターフェースの設定を変更します」（59 ページ）を参照してください。

注
- シリアルケーブルは、コンピューターによって異なります。それぞれのコンピューターとプリンターのコネクターに合ったものを販売店でお求めください。
- RS232C ボードは、静電気に非常に弱いため、注意して取り扱ってください。

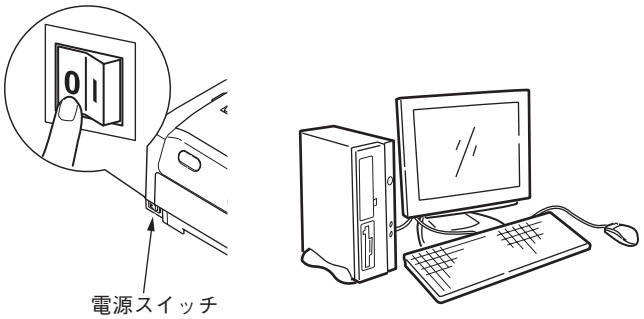
外観と各部の名称



RS232C ボードを取り付けます

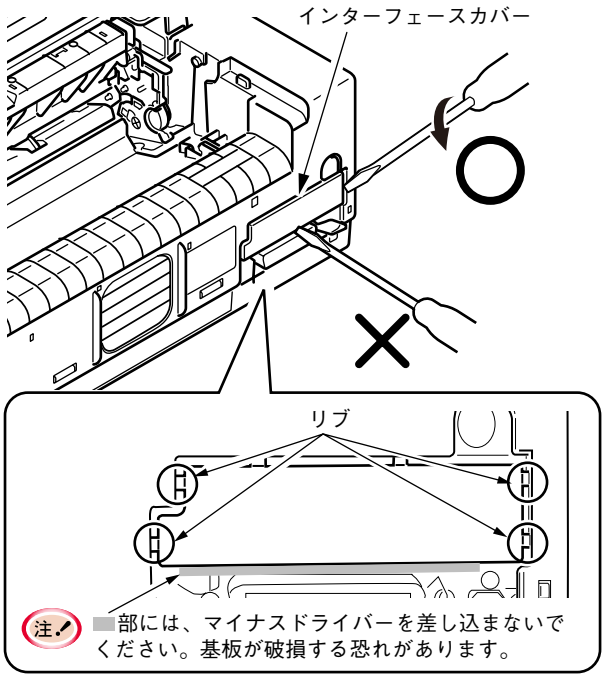
注 RS232C ボードの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にして電源コードを取り外してから行ってください。

1 プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にします。



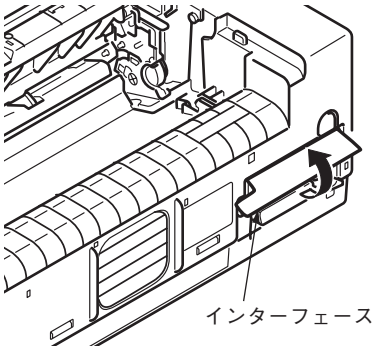
2 プリンター後方のインターフェースカバーを取り外します。

インターフェースカバーとプリンターカバーの間にマイナスドライバーを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバーを倒し、4 ヶ所のリブを外します。



注 ■部には、マイナスドライバーを差し込まないでください。基板が破損する恐れがあります。

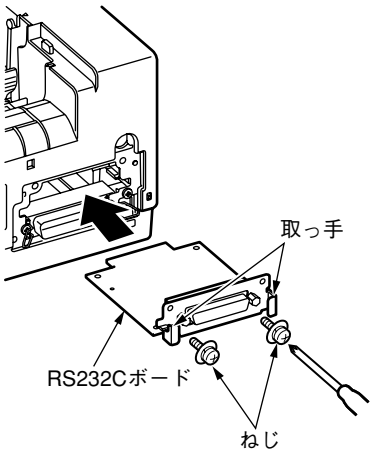
3 インターフェースカバーを上に折り曲げて取り外します。



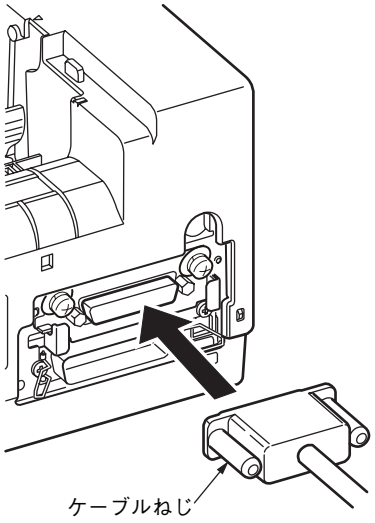
注 取り外したインターフェースカバーはプラスチック製です。各自治体の分別にしたがって廃棄してください。

4 RS232C ボードを取り付けます。

❶ RS232C ボードのブラケットの取っ手を持ち、上部と下部のガイドに合わせて静かにしっかり押し込みます。
さらに、添付されているねじ（2 個）でプリンターに固定します。



5 シリアルケーブルを RS232C ボードのコネクターに接続し、ケーブルねじで固定します。



RS232C ボードの取り外しは、*1* プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にし、*5*→*4* の手順で行います。

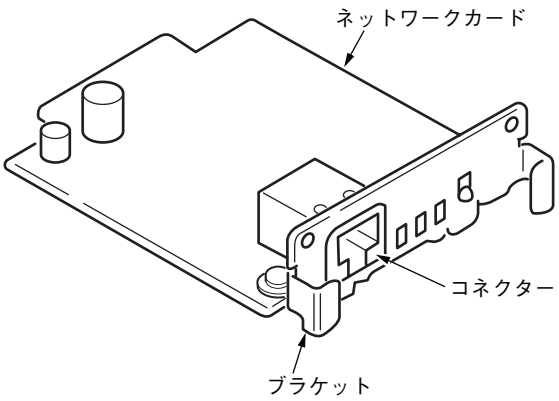
注 シリアルケーブルを無理に引っ張らないでください。RS232C ボードが外れたり、コネクターが破損する恐れがあります。

ネットワークカード

ネットワークカードを取り付けることにより、ネットワークでデータを受信することができます。
ネットワークカードの機能については、ネットワークカードのユーザーズマニュアルを参照してください。

注 ネットワークカードは、静電気に非常に弱いため、注意して取り扱ってください。

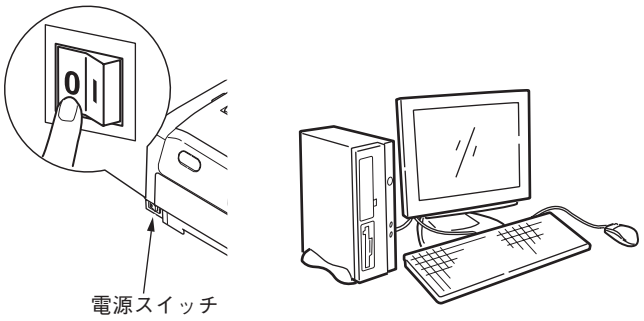
外観と各部の名称



ネットワークカードの取り付け、取り外し

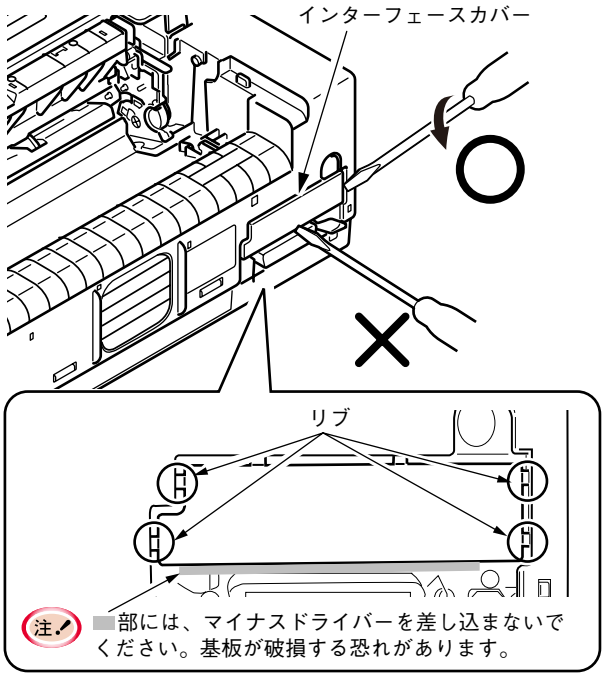
注 ネットワークカードの取り付け、取り外しは、必ずプリンターの電源を「OFF」にして電源コードを取り外してから行ってください。

1 プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にします。

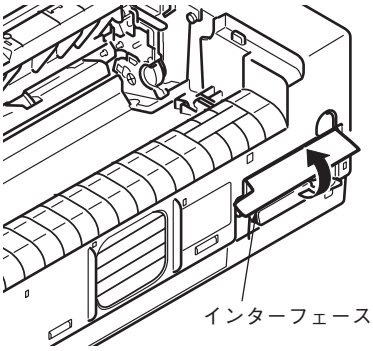


2 プリンター後方のインターフェースカバーを取り外します。

インターフェースカバーとプリンターカバーの間にマイナスドライバーを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバーを倒し、4 ヶ所のリブを外します。



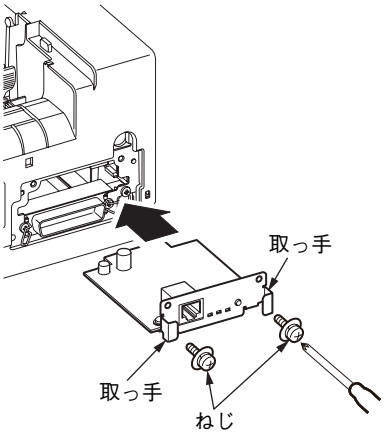
3 インターフェースカバーを上に折り曲げて取り外します。



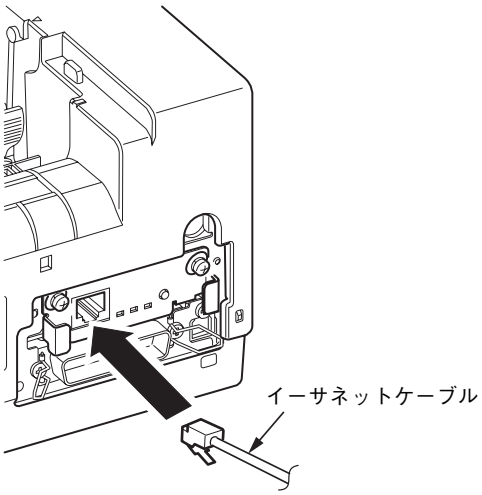
注 取り外したインターフェースカバーはプラスチック製です。各自治体の分別にしたがって廃棄してください。

4 ネットワークカードをプリンターに固定します。

ネットワークカードのブラケットの取っ手を持ち、上部と下部のガイドに合わせて静かにしっかり押し込みます。さらに、添付のねじ（2 個）でプリンターに固定します。



5 イーサネットケーブルをネットワークカードのコネクターに差し込みます。



ネットワークカードの取り外しは、*1* プリンターとコンピューターの電源スイッチを「OFF」にし、*5* → *4* の手順で行います。

注 イーサネットケーブルを無理に引っ張らないでください。ネットワークカードが外れたり、コネクターが破損する恐れがあります。

（MEMO）

LED ランプが点灯・点滅しているとき（アラーム表示がでたときは）

アラーム表示がでたときは

操作パネルのランプ表示と、その際に必要な操作パネルの操作を下表に示します。

ランプの状態	原　因	処　置	参照ページ
用紙 □ 点灯	単票または連続紙が給紙されていません。	新しい単票または連続紙をセットして、「給紙 / 退避」スイッチを押してください。	単票の場合：46 ページ 連続紙の場合：51 ページ
印字可 ▭ 点滅	単票給紙待ち状態です。	フロント給紙の場合はテーブルに、トップ給紙の場合はリアシートガイドに単票をセットしてください。	—
印字可 ▭ 点滅 用紙 ▭ 点滅	復旧不可能アラームです。	印字ヘッドがなめらかに移動することを確認し、電源を入れ直してください。電源を入れ直しても再度エラーになる場合は、お客様相談センターにご連絡ください。	175 ページ
用紙 ▭ 点滅	紙づまりです。	用紙を取り除き、ご使用する用紙の厚さと用紙厚設定レバーの位置が適正であるか再度確認してください。 用紙厚設定レバーの位置が適正でない場合は、正しい位置に設定してください。 「印字」スイッチを押して、紙づまりを解除します。	144 ページ
	用紙切替レバーと用紙モードが一致していません。	用紙切替レバーを、使用する用紙に合わせて「単票」、「REAR」、「FRONT」、または「PULL」へきちんと倒してから、「印字可」スイッチを押してください。 CSF モードのときは単票にセットしてください。	62 ページ
用紙 ▭ 点滅 用紙カット ▭ 点滅	サーマルアラームです。	しばらくお待ちください。 印字ヘッドの温度が上がった状態となっています。 温度が下がると、自動的に印字を再開します。	—
節電 ▭ 点滅	スリープモード中です。	アラームではありません。 そのままお使いください。 「節電」スイッチを押してスリープモードに入った場合は、「節電」スイッチを押すか、印刷データを受信した時のみ、スリープモードを解除することができます。 また、「節電」スイッチを押さずにスリープモードに入った場合は、操作パネルのスイッチを押すか、印刷データを受信した場合に、スリープモードを解除することができます。	78 ページ

紙づまりしたとき

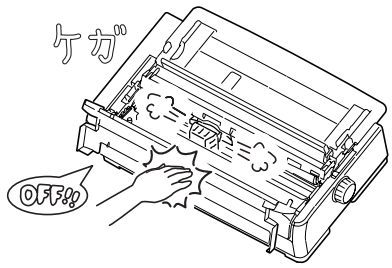
単票の場合

単票がプリンター内部でつまったとき

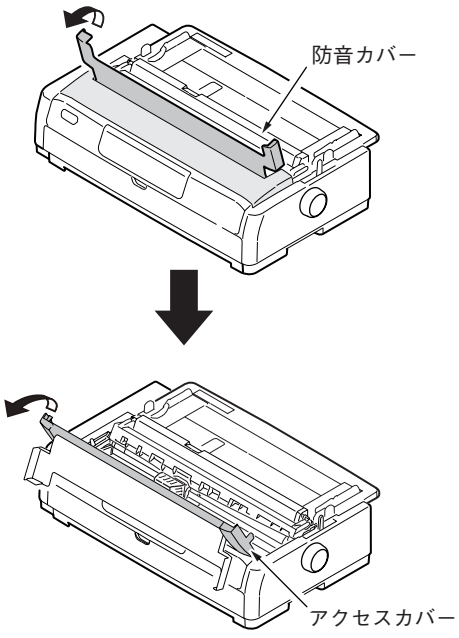
1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

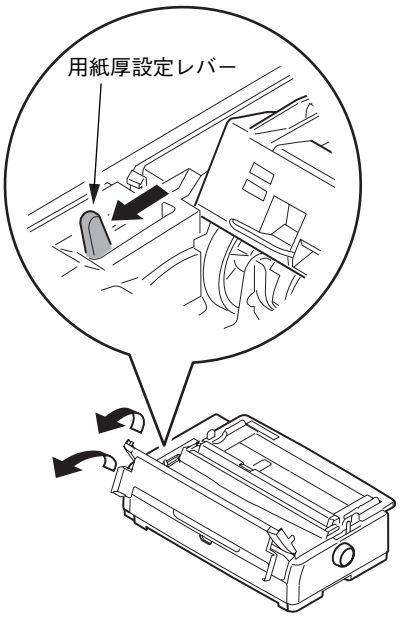
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンターが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。



2 防音カバー、アクセスカバーを開きます。



3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。

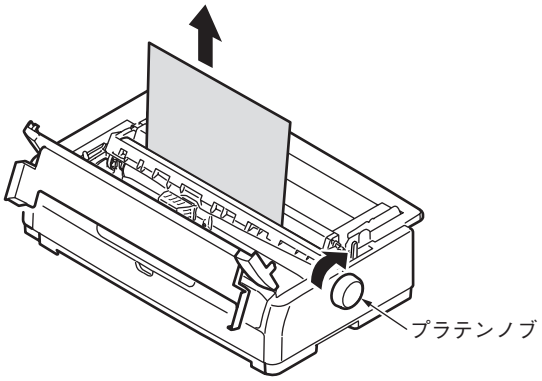


4 リボンガイドの両端を持ち、印字ヘッドを用紙のないところへ移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドやその周辺が高温になっていますので、印字ヘッドなどにはさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

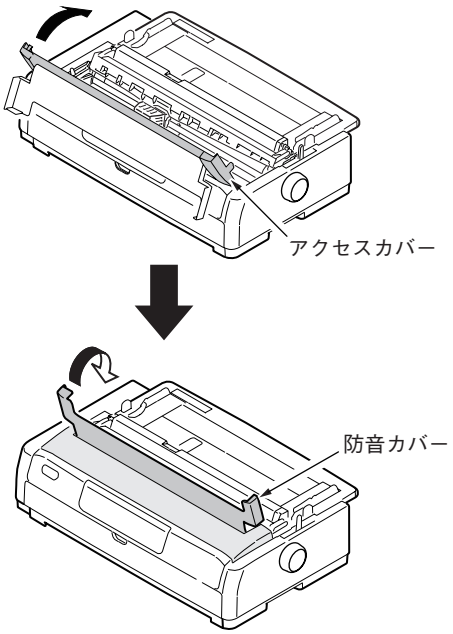
5 プラテンノブを回して単票を送り、排出させます。



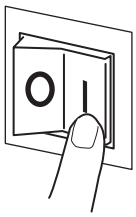
6 実際の用紙の厚さと、用紙厚設定レバーの設定位置が合っているか再度確認してください。

メモ 「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

7 アクセスカバー、防音カバーを閉じます。



8 電源スイッチを「ON」にします。

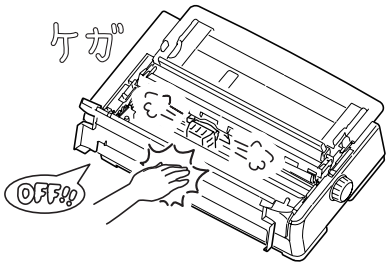


破れた単票がプリンター内部に残ったとき

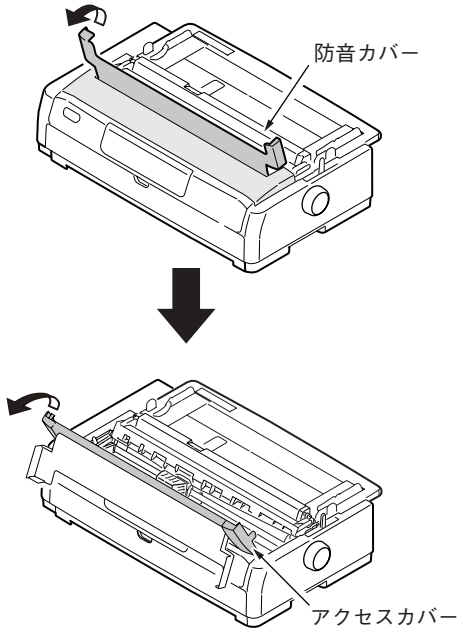
1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。

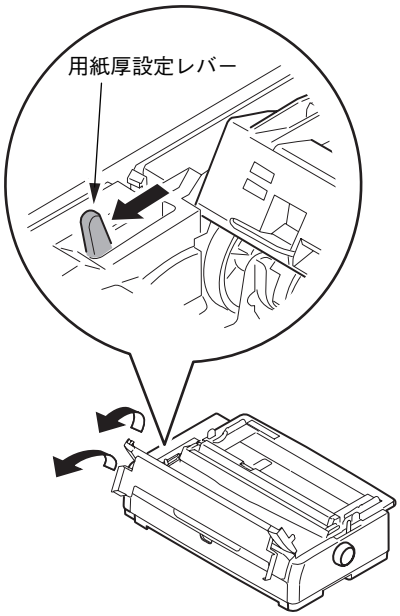
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンターが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。



2 防音カバー、アクセスカバーを開きます。



3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。

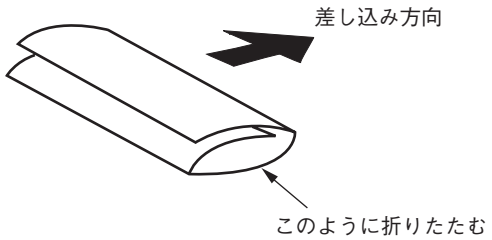


4 見えている紙くずをピンセットで取り除きます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。

印字直後は印字ヘッドやその周辺が高温になっていますので、印字ヘッドなどにはさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 3 つに折りたたんだ単票をシートガイドから差し込みます。

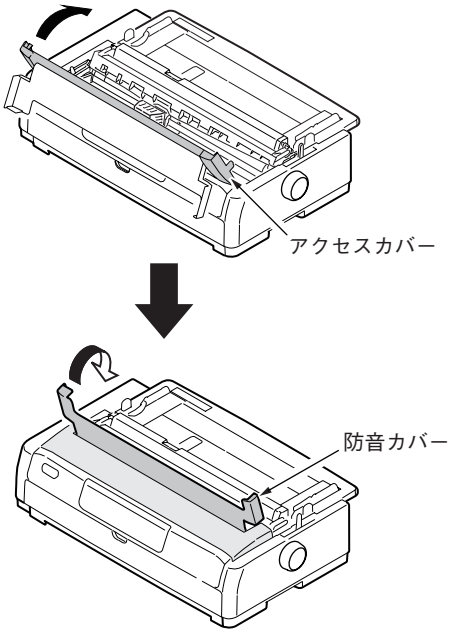


6 プラテンノブを回して単票を送り、つまった紙くずを押し出します。

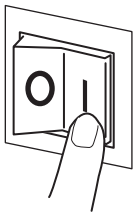
7 用紙厚設定レバーを用紙厚にあったレンジ位置に戻します。

メモ 「用紙の厚さに応じた調整方法」（77 ページ）を参照してください。

8 アクセスカバー、防音カバーを閉じます。



9 電源スイッチを「ON」にします。



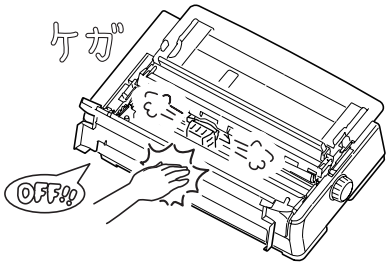
連続紙の場合

連続紙がプリンター内部でつまったとき（リアプッシュ）

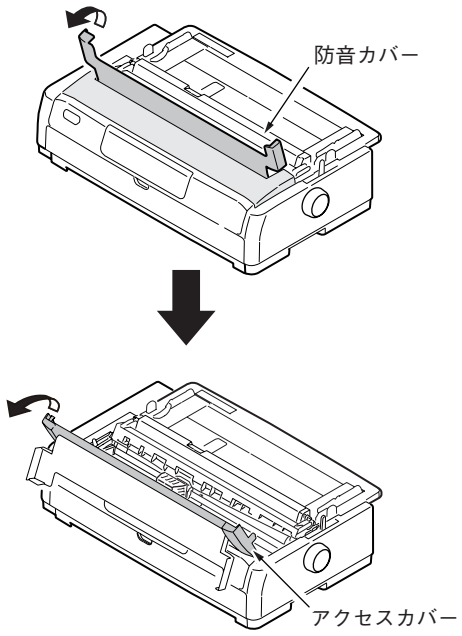
1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

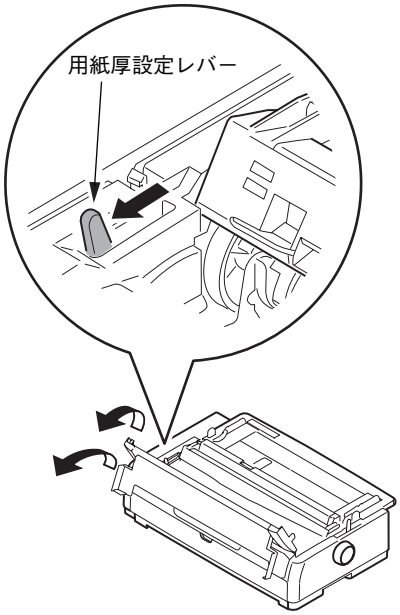
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンターが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。



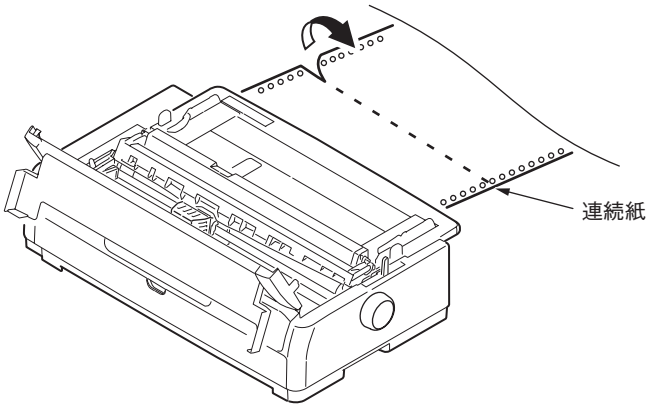
2 防音カバー、アクセスカバーを開きます。



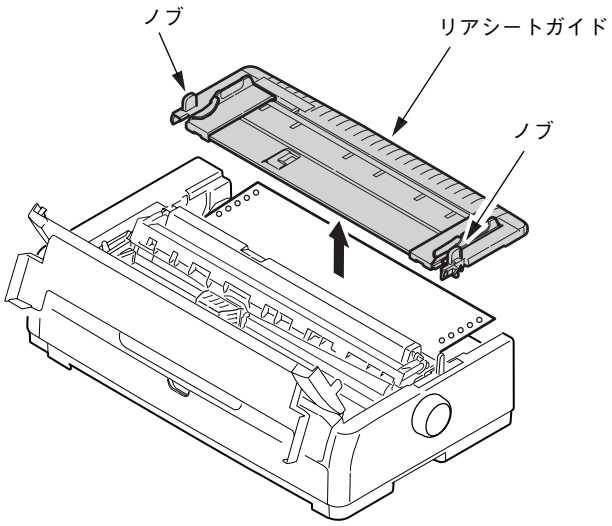
3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。



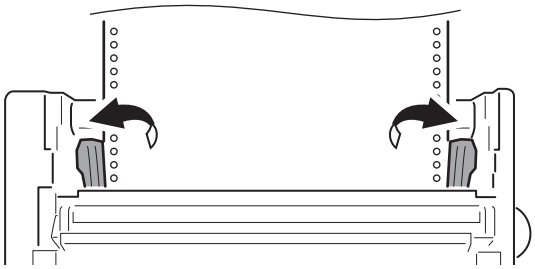
4 印刷前の連続紙を切り取ります。



5 左右のノブを持って、リアシートガイドを外します。



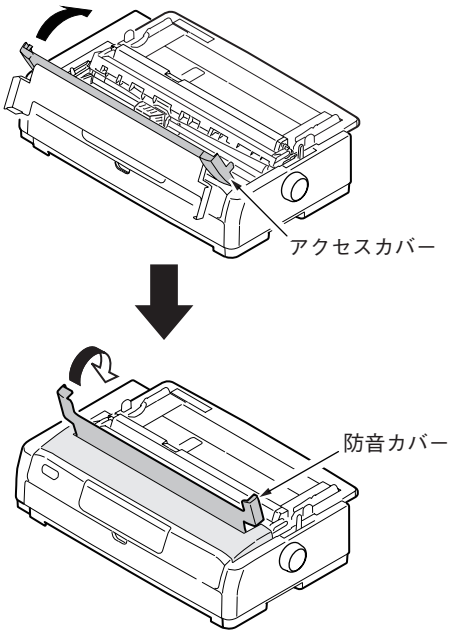
6 ピントラクタから連続紙を外します。



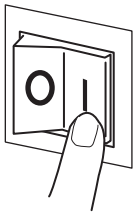
7 プラテンノブを回しながら、連続紙を手前側または後ろ側に引き出します。

破れた紙くずがプリンター内部に残ったときは、連続紙を２～３枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。

8 アクセスカバー、防音カバーを閉じます。

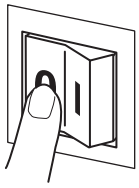


9 電源スイッチを「ON」にします。



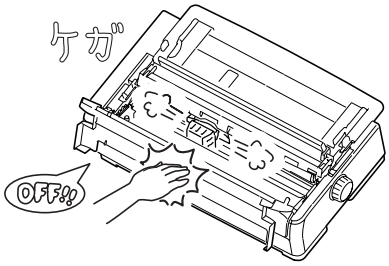
連続紙がプリンター内部でつまったとき（フロントプッシュ）

1 電源スイッチを「OFF」にします。

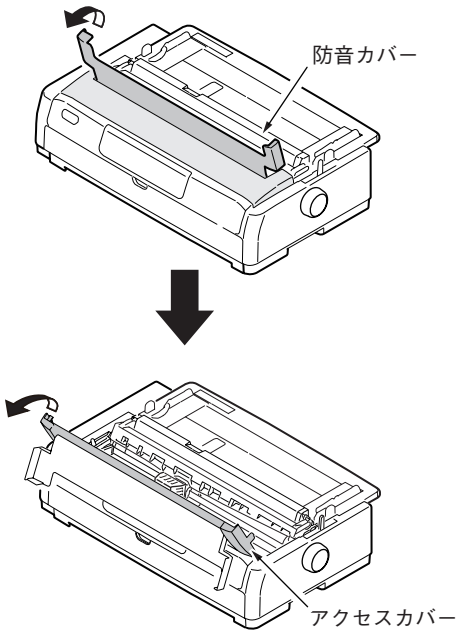


⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

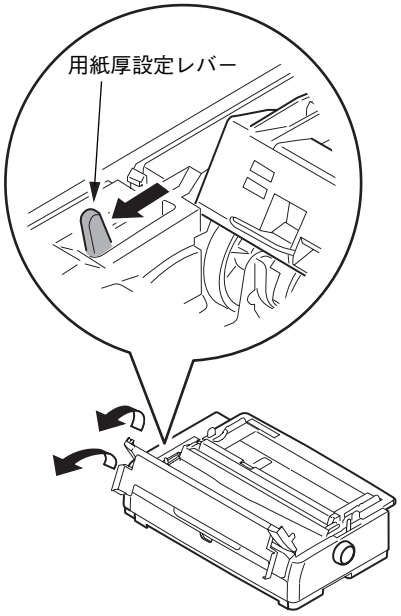
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンターが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。



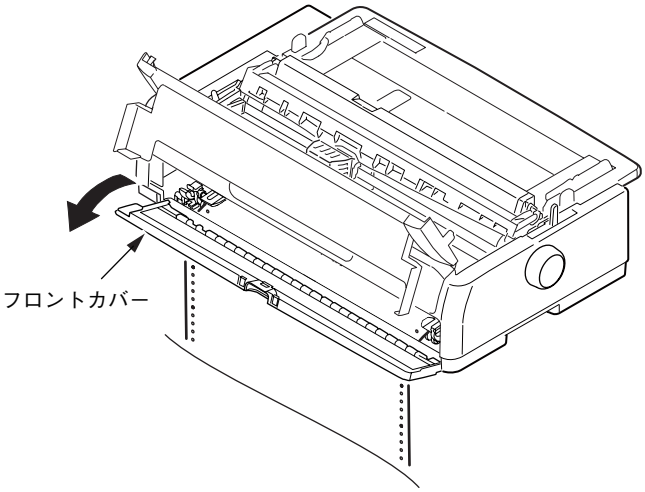
2 防音カバー、アクセスカバーを開きます。



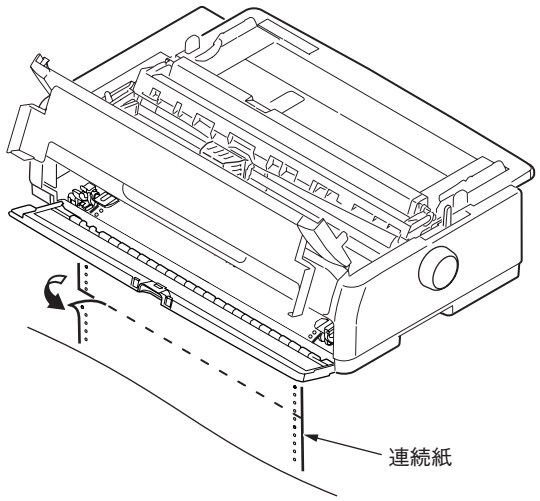
3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。



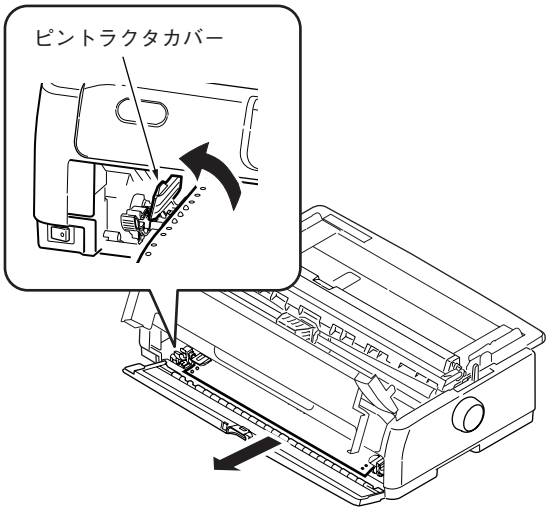
4 フロントカバーを開きます。



5 印字前の連続紙を切り取ります。



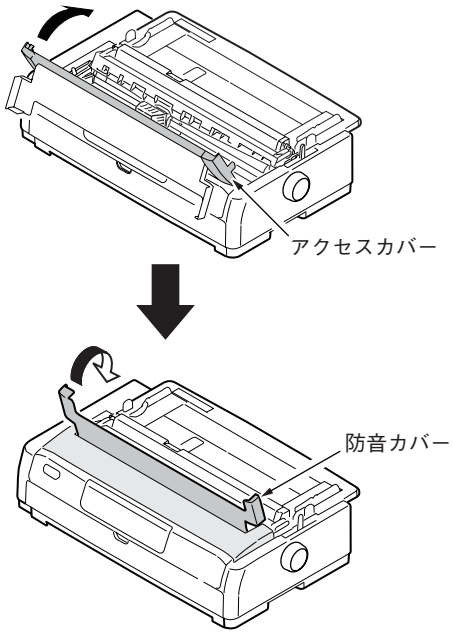
6 ピントラクタから連続紙を外します。



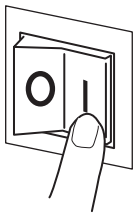
7 プラテンノブを回し、連続紙を手前または後ろに引き出します。

破れた紙くずがプリンター内部に残ったときは、連続紙を２～３枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。

8 アクセスカバー、防音カバーを閉じます。



9 電源スイッチを「ON」にします。



問題が発生したとき

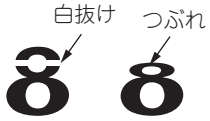
本機の操作中に問題が発生した場合の解決方法について説明します。

- 電源が入らない 153
- 印刷しない 153
- 印刷が遅くなった 153
- 印刷が鮮明でない 153
- 印刷結果が画面と異なる 154
- イメージ印刷、分割印字について 155
- 単票で、うまく紙送りできない 155
- 連続紙で、うまく紙送りできない 156
- 単票と連続紙の切り替えがうまくいかない 157
- カットシートフィーダー（CSF）を使用して、うまく紙送りできない 157

プリンタが思うように動作しなかった場合は、ここに記載してある項目を探し、適切な処置を行ってください。ー

現　象	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない			
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていません。	プリンター側、コンセント側ともしっかりと差し込んでください。	24 ページ
	電源コンセントの異常または停電の可能性があります。	他の電気製品を同じコンセントに差し込んで、正常に動作するか確認してください。	ー
印刷しない			
印字可ランプが消灯している。	印刷停止の状態です。	「印字可」スイッチを押してください。	ー
	用紙がセットされていません。	用紙をセットしてください。	単票の場合： 46 ページ 連続紙の場合： 51 ページ
	用紙切替レバーが、用紙に合っていません。	用紙切替レバーを使用する用紙に合わせて、きちんと倒してください。	62 ページ
印字可ランプは点灯しているが印刷しない。	I/F ケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。	USB の場合： 31 ページ パラレルの場合： 35 ページ
	I/F ケーブルがコンピューターやプリンターと合っていません。	仕様に合ったケーブルをお使いください。	USB の場合： 31 ページ パラレルの場合： 35 ページ
印字ヘッドは動いているが、印刷しない。	リボンカートリッジが取り付けられていません。	リボンカートリッジを取り付けてください。	21 ページ
印刷が遅くなった			
突然印刷が遅くなったり、片方向印字、印刷動作の休止となった。	印字ヘッド、モーターが高温になると、温度を下げるために印字速度が遅くなったり、片方向印字、一定時間動作の休止を行うことがありますが、故障ではありません。	印字ヘッド、モーターの温度が下がると、自動的に元の動作に戻ります。この現象が頻繁に起こる場合には、プリンターの電源を切ってしばらく置いてから印刷を行ってください。	ー
印刷が鮮明でない			
文字が薄い、文字の一部が欠ける。	用紙厚設定レバーのギャップレンジ値が、用紙に合っていません。	用紙厚設定レバーを適切なレンジ位置に合わせてください。	77 ページ
	高速印字に設定されています。	通常印字にします。	44 ページ
	リボンカートリッジの寿命です。	新しいリボンカートリッジに交換してください。	159 ページ
	リボンカートリッジが正しくセットされていません。	正しくセットし直してください。	21 ページ
	インクリボンが確実に巻き取られていません。	新しいリボンカートリッジに交換してください。	159 ページ
	リボンフィード動作が行われていません。	お客様相談センターへご相談ください。	175 ページ

現　象	原　因	処　置	参照ページ
文字が、横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	お客様相談センターへご相談ください。	175 ページ
印刷結果が画面と異なる			
カタカナがグラフィック文字になる。	コード表が拡張グラフィックスになっています。	コード表をカタカナに設定してください。	88 ページ
グラフィックがカタカナ文字になる。	コード表がカタカナになっています。	コード表を拡張グラフィックスに設定してください。	88 ページ
全く違う文字や記号で印刷される。	ソフトウェアのプリンター設定が間違っています。	ソフトウェア上のプリンター設定を優先順位に従って設定し直してください。	―
	前回印刷したソフトウェアコントロールコードが有効になっています。	プリンターを初期化してください。	106 ページ
	送られたソフトウェアコントロールが間違っています。	HEX ダンプをとって、データの内容を確認します。 間違っている部分をソフトウェア上で直してください。	活用編 13 ページ
	I/F ケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。	USB の場合： 31 ページ パラレルの場合： 35 ページ
用紙の頭出し量（印刷開始位置）が上または下すぎる、変わってしまった。	印刷開始位置の設定が正しくありません。	プリンターを初期化してください。	106 ページ
		単票と連続紙の頭出し位置の設定を行ってください。	活用編 9 ページ
		1 文字目印字位置の設定を行って、頭出し位置を調整してください。	活用編 7 ページ
		ソフトウェア上で上マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。	―
	プルアップ Assy が外れています。	プルアップ Assy を正しく取り付けてロックをしてください。	―
		プルアップ Assy のプルアップカバーが外れています。正しく取り付けてください。	―
左右の余白が多い、または少ない。	左右マージンの設定が正しくありません。	用紙ガイドやピントラクタの位置が適当ではありません。印刷形式に合わせてセットし直してください。	51 ページ
		ソフトウェア上で左右マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。	―
連続紙を使用しているときに、1 ページ分の印刷が 2 ページにわたって印刷される。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。	―

現　象	原　因	処　置	参照ページ
単票を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される。	ソフトウェア上の用紙設定のサイズと、実際に使用している用紙サイズが合っていません。	ソフトウェア上の用紙設定を、使用する用紙に合わせてください。	―
	プリンター側で自動測定されている1ページの印刷可能行数と合っていません。	ソフトウェア上で上下マージンを大きくとってください。	―
1行に印刷されるはずの文字などが、2行にわたって印刷される。	左右のマージンの設定が正しくありません。	ソフトウェア上で左右のマージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。	―
連続紙を使用しているときに、印刷途中で数行分の空白行ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。	88 ページ
縦罫線がずれる、ガタガタになる。	両方向印刷を行うと、ずれを生じることがあります。	Windows プリンタードライバーの設定で片方向印刷に設定してください。	82 ページ
		水平印字位置補正で調整してください。	95 ページ
行間隔が広すぎる、または狭すぎる。	改行量の設定が正しくありません。	ソフトウェア上で改行量が設定してある場合は、正しく設定し直してください。	―
印字位置がずれる。	内蔵フォントを使用した印字の際に、同一行内に通常文字と縦拡大文字が混在した場合、用紙の種類や印字内容によって発生します。	同一行内に通常文字と縦拡大文字が混在しないよう、設定を変更してください。また、内蔵フォント以外の文字に設定を変更してください。	―
	フロント給紙で逆改行印字を行った場合、用紙の種類や印字の内容によって発生します。	リアトラクタで使用してください。	51 ページ
イメージ印刷、分割印字について			
イメージ印字で白抜けが入る。 	用紙送りの誤差です。特に黒ベタ印字で目立ちます。	故障ではありません。	―
縦倍角などで、白抜けや文字つぶれがでる。 	1文字の途中で改行が入るため、用紙送りの誤差がでます。	故障ではありません。 重要な書類や伝票などは、プリンター内蔵フォント（明朝 / ゴシックまたは明朝倍角 / ゴシック倍角）を使用してください。	―
単票で、うまく紙送りできない			
用紙を給紙しない。	用紙の挿入位置が、右に寄り過ぎています。	用紙ガイドにそって、用紙をセットしてください。	47 ページ
	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。	47 ページ
プラテンは回るが、給紙できない。または、連続紙が給紙されてしまう。	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。	47 ページ
	用紙切替レバーが連続紙になっています。	連続紙を排出して、用紙切替レバーを単票にしてください。	62 ページ

現　象	原　因	処　置	参照ページ
用紙が曲がって給紙される。	用紙が突き当たるところまで入っていません。用紙がまっすぐ入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。	47 ページ
	用紙にしわや折り目など、問題があります。	新しい用紙を使用してください。	―
	用紙が仕様に合っていません。	プリンターの仕様に合った用紙を使用してください。	63 ページ
	プルアップ Assy が外れています。	プルアップ Assy を正しく取り付けてロックをしてください。	―
		プルアップ Assy のプルアップカバーが外れています。正しく取り付けてください。	―
用紙が排出できない。	「改行」スイッチを押しています。	「改頁」か、「給紙 / 退避」スイッチを押してください。	44 ページ
単票トップ給紙で、B4 サイズ（45gm^2）に印字した場合、用紙下端部にシワが発生する。	高温多湿な環境で印字した場合に、発生します。	単票フロント給紙で使用してください。	48 ページ
連続紙で、うまく紙送りできない			
改行しない、用紙が送られない。	用紙がピントラクタから外れています。	用紙を正しくセットし直してください。	51 ページ
	用紙厚設定レバーのギャップレンジ値が、用紙に合っていません。	用紙厚設定レバーを用紙の厚さに合わせてください。	77 ページ
ページによって改行量がズレる。	プルアップローラーの引っ張り量が合っていません。	プリンターの調整メニューの「改行補正」にて改行量を補正してください。	101 ページ
用紙が曲がって給紙される。または、プリンターの中で引っ掛かってしまう。	用紙の両端の穴が、左右ずれた状態でセットされています。	用紙の穴が左右平行になるようにセットしてください。	51 ページ
	左右のピントラクタの幅が狭すぎ、用紙がたるんでいます。	ピントラクタの位置を調整して、用紙のたるみを取ってください。	52 ページ
	用紙がプリンターに対して、まっすぐ給紙されていません。	まっすぐ給紙されるよう、用紙の位置を動かしてください。	51 ページ
	用紙が何かに引っ掛かっています。	引っ掛かっているものを取り除いてください。	12 ページ
	プルアップ Assy が外れています。	プルアップ Assy を正しく取り付けてロックをしてください。	―
		プルアップ Assy のプルアップカバーが外れています。正しく取り付けてください。	―
	用紙の置いてある位置が遠すぎます。	プリンターの近くへ用紙を動かしてください。	12 ページ
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。	63 ページ
印刷の途中で、数行分の空白ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。	88 ページ

現　象	原　因	処　置	参照ページ
ミシン目スキップを設定したが、実際のミシン目とずれてしまう。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。 ソフトウェア上で、行単位に設定します。	―
フロントトラクタ給紙で複写枚数の多い連続紙を使用した場合、ミシン目付近にシワが発生する。	用紙の種類や印字内容によって、本現象が発生します。	リアシートガイドを倒して使用してください。	54 ページ
フロントトラクタによる給紙で、紙ホッチキス留めの連続紙を使用した場合、印刷位置が上方にずれる。	紙ホッチキス留めの強度が弱い連続紙を使用した場合に発生します。	リアシートガイドを倒して使用してください。	54 ページ
単票と連続紙の切り替えがうまくいかない			
単票が給紙できない。	用紙切替レバーが連続紙になっています。	用紙切替レバーを単票にします。	62 ページ
用紙切替レバーは単票になっているのに、連続紙が給紙されてしまった。	連続紙が排出されていません。	連続紙を排出してください。	59 ページ
連続紙が給紙できない。	用紙切替レバーの位置が合っていません。	用紙切替レバーの位置を使用する用紙に合わせて設定してください。	62 ページ
	プルアップ Assy が外れています。	プルアップ Assy を正しく取り付けてロックをしてください。	―
		プルアップ Assy のプルアップカバーが外れています。正しく取り付けてください。	―
プラテンは回るが、連続紙が給紙できない。	連続紙がピントラクタから外れています。	連続紙を正しくセットし直してください。	51 ページ
連続紙と一緒に単票も給紙されてしまう。	単票が排出されていません。	単票を排出してください。	50 ページ
カットシートフィーダー（CSF）を使用して、うまく紙送りできない			
用紙を給紙しない。	用紙が CSF にセットされていません。	用紙をセットしてください。	110 ページ
	用紙セットレバーが「RESET」になっています。	用紙セットレバーを「SET」にしてください。	111 ページ
	CSF の左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。	110 ページ
	セットしている用紙が厚すぎます。	仕様に合った用紙を使用してください。	63 ページ
	最後の 1 枚は給紙できないことがあります。	最後の 1 枚は給紙できないことがあります。 用紙を補給してください。	111 ページ

現　象	原　因	処　置	参照ページ
一度に 2 枚以上給紙される。	CSF にセットされている用紙が多すぎます。	セットしている用紙を減らしてください。	111 ページ
	用紙が密着しています。	用紙をよくさばいてから、セットしてください。	110 ページ
	CSF の左右の用紙ガイドの間隔が、狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。	110 ページ
	大きさの違う用紙を入れています。	同じサイズの用紙だけをセットしてください。	111 ページ
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。	63 ページ
用紙が曲がって給紙される。	用紙に折り目やしわがあります。	新しい用紙にかえてください。	―
	CSF の左右の用紙ガイドの間隔が、広すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。	110 ページ
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。	63 ページ
うまく排出できない。	排出した用紙が溜まりすぎています。	用紙を取り除いてください。	―

リボンカートリッジを交換します

印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジを交換してください。

メモ リボンカートリッジは、純正品のご使用をお勧めします。
純正品のリボンカートリッジの型番は、以下の通りです。
MICROLINE 5460HU2 用リボンカートリッジ
（型番：RBC-21-001）
MICROLINE 8460HU2 用リボンカートリッジ
（型番：RBC-22-001）

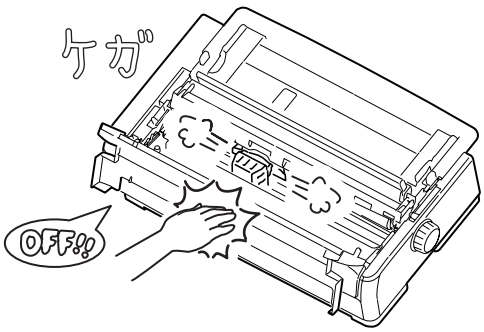
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっています。
印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの交換は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

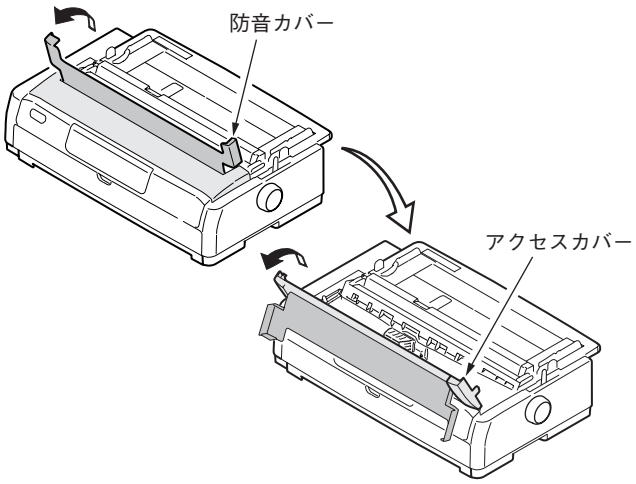
1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンターが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

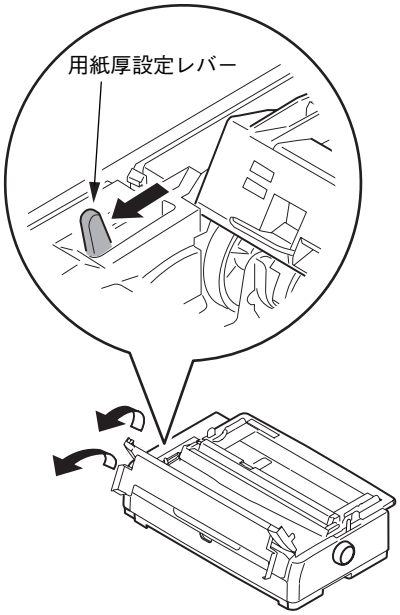


2 防音カバー、アクセスカバーを開きます。

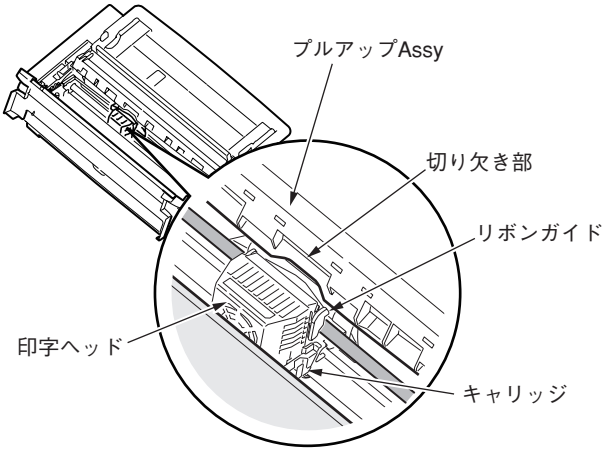


3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。

注 用紙厚設定レバーを「リボン交換」（10 レンジ）にすることにより、リボンが取り外しやすくなります。



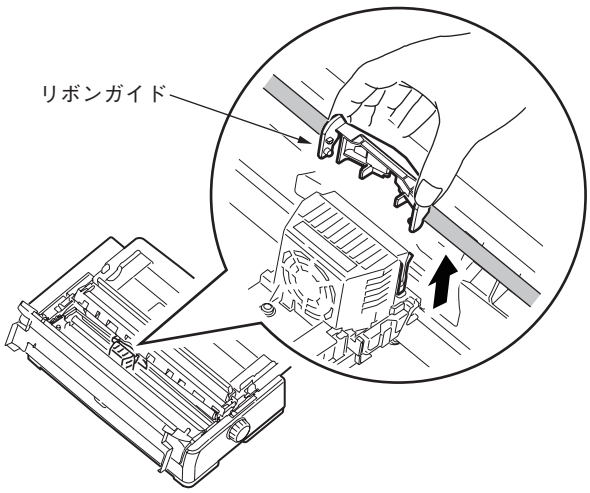
4 キャリッジをリボン交換位置のカバー切り欠き部へ移動させます。



⚠注意	やけどの恐れがあります。	

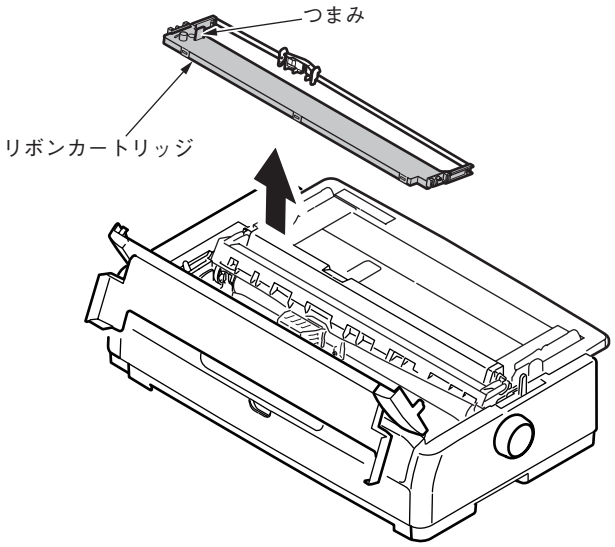
印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドやその周辺にさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 リボンガイドを指ではさみ、手前上方に引き上げてキャリッジより外します。



6 リボンカートリッジ取り外します。

リボンカートリッジの左側のつまみを上に持ち上げて、左側のロックを外します。さらに、そのまま全体を上に持ち上げて右側のロックを外し、そのまま全体を矢印のように外します。



7 新しいリボンカートリッジを取り付けます。

手順は「リボンカートリッジを取り付けます」(21 ページ)をご覧ください。

8 使用済みリボンカートリッジを処分します。

使用済みのリボンカートリッジはプラスチック製です。
不燃物として処理してください。
使用済みのリボンカートリッジの回収を行っています。
詳細は、「使用済み消耗品の回収について」(177 ページ)をご覧ください。

インクリボンを交換します

メモ 詰め替え用インクリボンは、純正品のご使用をお勧めします。

MICROLINE 5460HU2：IRB-21-006

MICROLINE 8460HU2：IRB-22-006

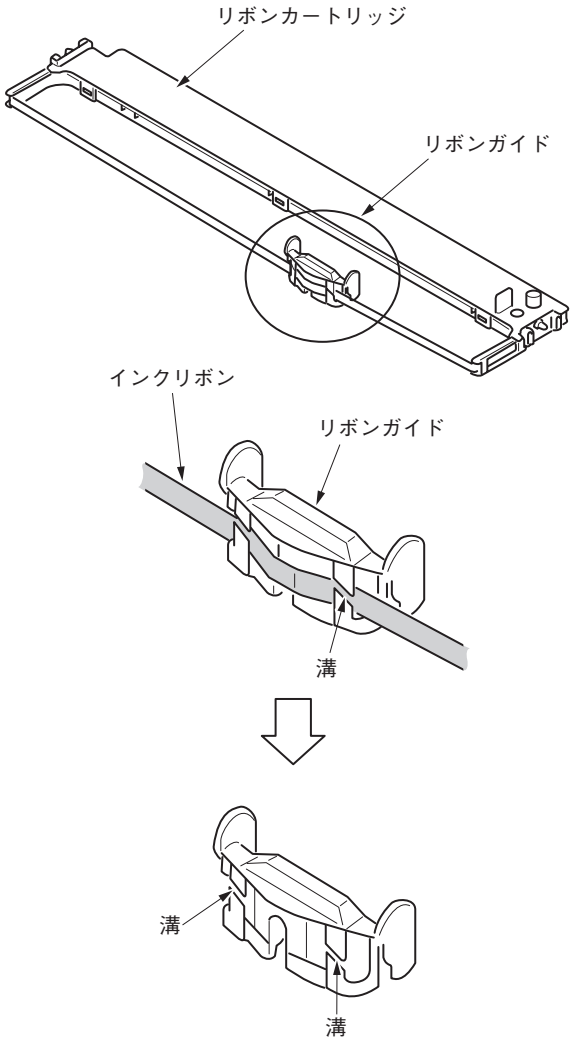
注 ・インクリボンは、子供の手が届かない場所に保管してください。

・インクが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

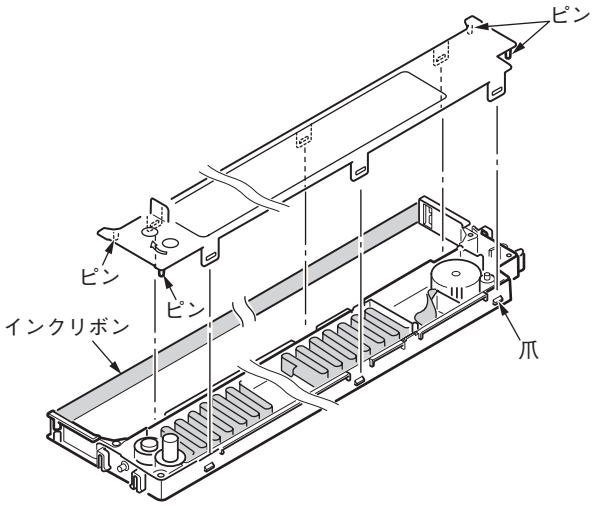
印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジ内のインクリボンとインクロールを交換してください。

注 インクリボンとインクロールは必ず一緒に交換してください。片側のみの交換の場合は、印字がすぐに薄くなったり、リボンづまりが発生する場合があります。

1 インクリボンから、リボンガイドの溝を通して、リボンガイドを外します。



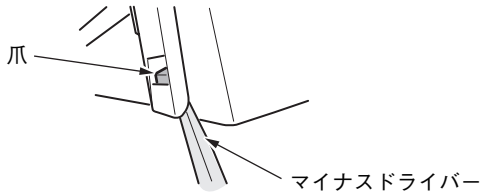
2 リボンカートリッジのふたについている爪を外し、ふたを外します。



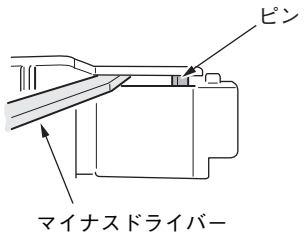
注 ・爪は、MICROLINE 5460HU2の場合、6ヵ所、MICROLINE 8460HU2の場合、10ヵ所あります。

・リボンカートリッジにはピンが4ヵ所あります。ふたを外す時にマイナスドライバーを使用すると簡単に外すことができます。

【爪を外す場合】



【ピンを外す場合】



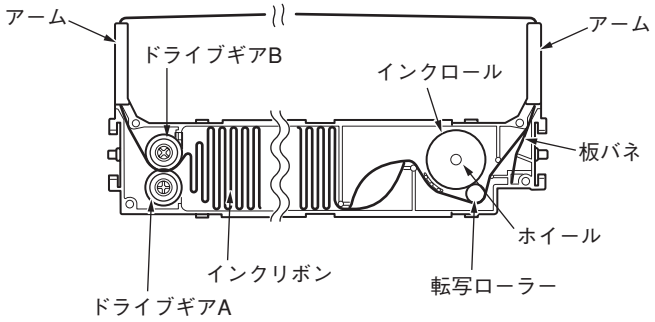
注 ・インクリボン交換時、爪またはピンを破損させた場合は、破損したリボンカートリッジを使用しないでください。

・リボンづまりにより印字品位が乱れる場合があります。破損させた場合は、新しいリボンカートリッジを使用してください。

3 使用済みのインクリボンおよびインクロールを取り出します。

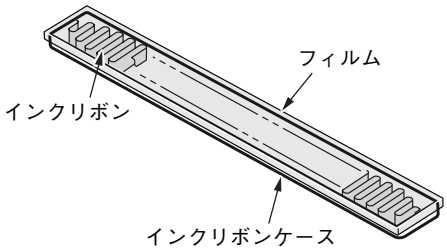
ドライブギアＡとドライブギアＢの間、左右のアーム部の溝および板バネ部から使用済のインクリボンおよび、インクロール（ホイールが付いた状態）を取り出し、リボンカートリッジの中のドライブギアＡ／ドライブギアＢ、左右のアーム部、板バネ部、転写ローラー部および、リボン走行ルート部のリボンくず、繊維くずを取り除きます。
また、転写ローラーも外してください。

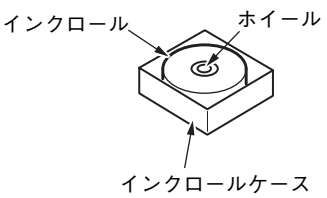
注 転写ローラーは使用しますので廃棄せず、大切に保管してください。



メモ
- 使用済みのリボンカートリッジはナイロン製です。不燃物として処理してください。
- 使用済みのリボンカートリッジの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」（177 ページ）をご覧ください。

4 インクリボン、インクロールの外側のフィルムを取ります。



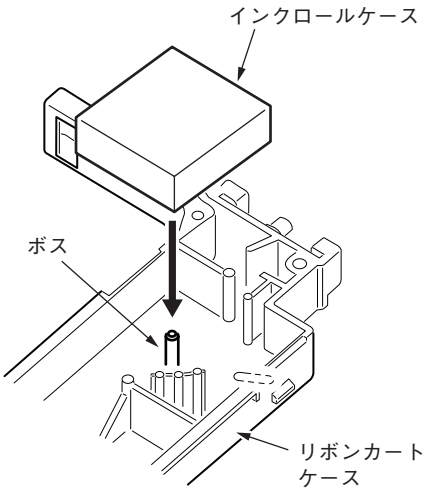


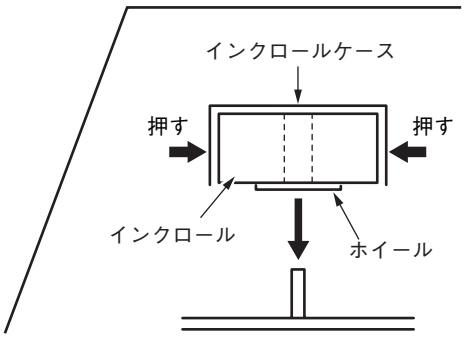
注 インクリボンケースの外側に巻いているフィルムは取り外さないでください。

5 インクロール、転写ローラーを取り付けます。

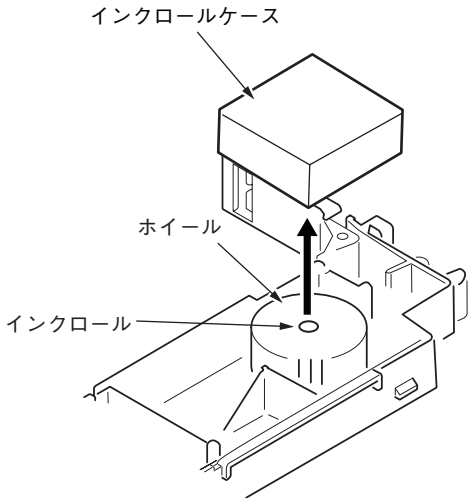
❶ インクロールケースを手で持ち、裏返ししてから、リボンケースのボスに差し込みます。
この時、インクローラーケースからインクローラーが落ちないように、インクロールケースの側面を押して、インクロールをおさえてください。
裏返しした時に、インクロールケースからインクロールが脱落することを防止できます。

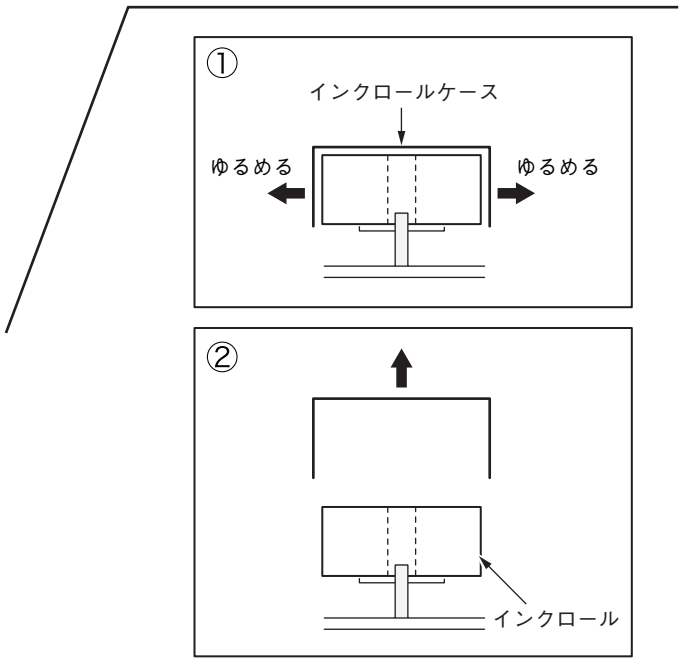
注 インクロールからホイールを外さずに、そのまあまリボンカートリッジケースのボスに差し込んでください。



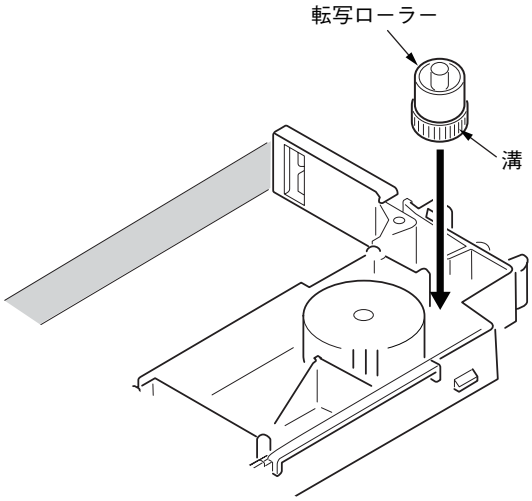


❷ インクロールが飛び出さないように、静かにインクロールケースを取り除きます。

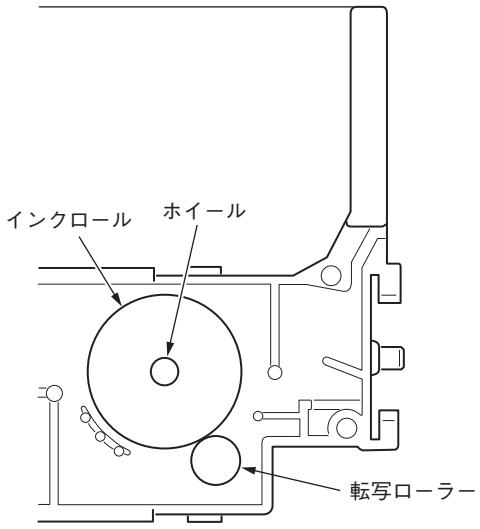




❸ 転写ローラーを取り付けます。
取り付けのときは転写ローラーの向きに注意してください（溝がある部分を下にして取り付けます）。

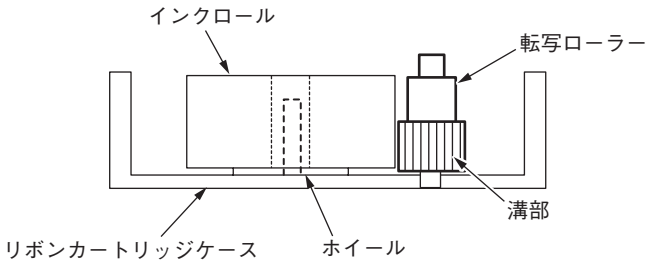


❹ インクロール、転写ローラーの取り付けを確認します。



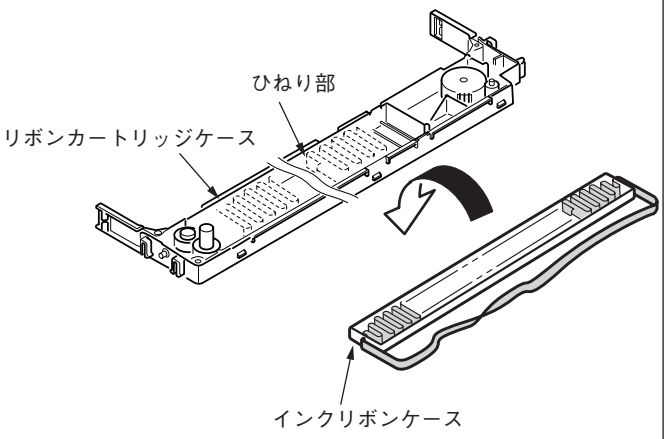
正しい取り付け位置

・インクロールにホイールが取り付けられていること。
・転写ローラーの向きが正しいこと（溝部が下）。

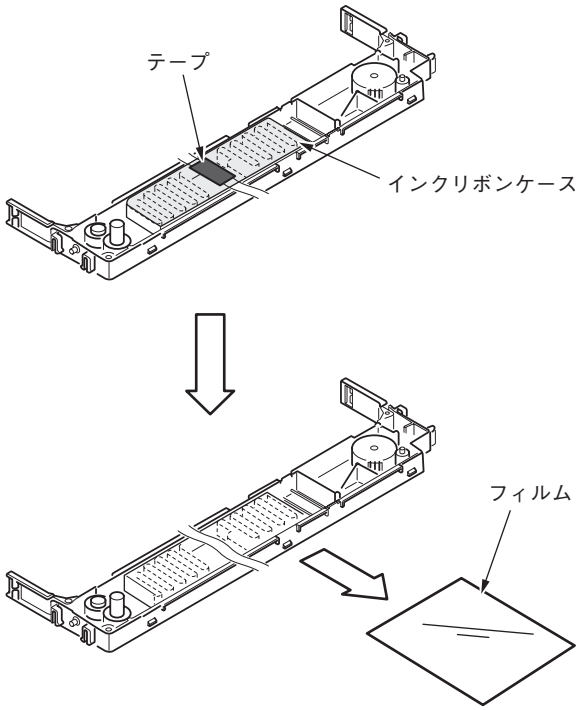


6 インクリボンを図の経路にセットします。

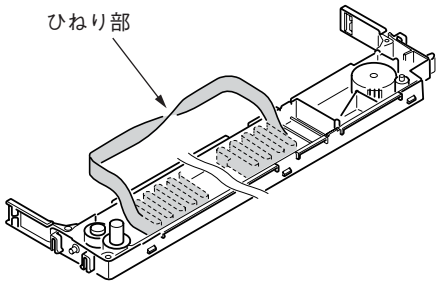
❶ インクリボンケースを裏返しして、インクリボンケースごとリボンカートリッジケースに収納します。



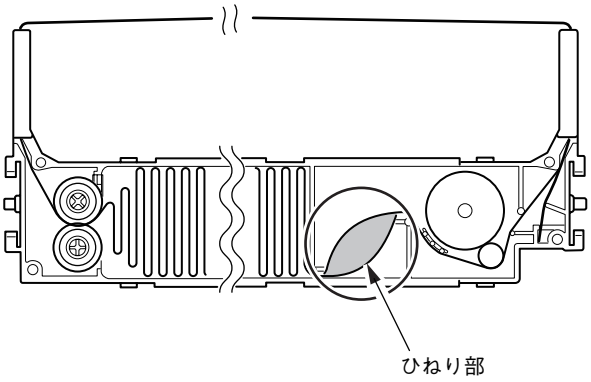
❷ インクリボンケースのフィルムを固定しているテープを剥がし、静かにフィルムを抜き取ります。
このとき、リボンが飛び出さないように注意してください。
インクリボンケースを少し持ち上げるとフィルムの抜き取りがやりやすくなります。



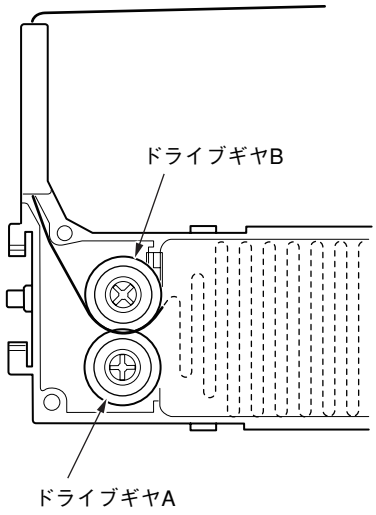
❸ インクリボンケースの外側にひねり部を引き出します。
引き出し量は、20 ～ 30cm です。



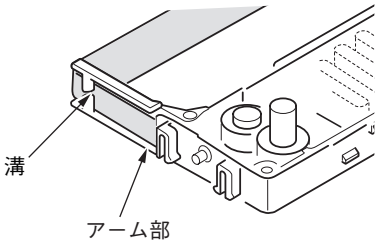
❹ インクリボンを図の経路にセットします。



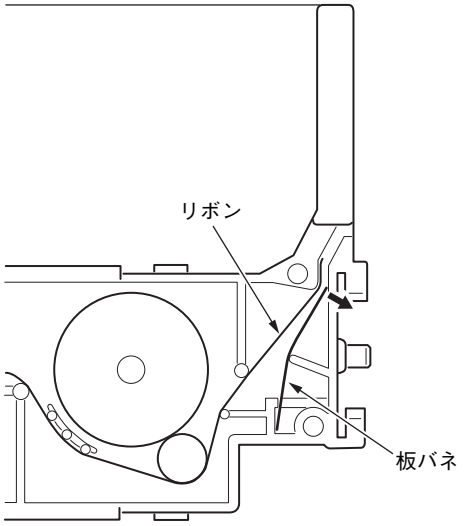
ドライブギア A とドライブギア B の間を通します。



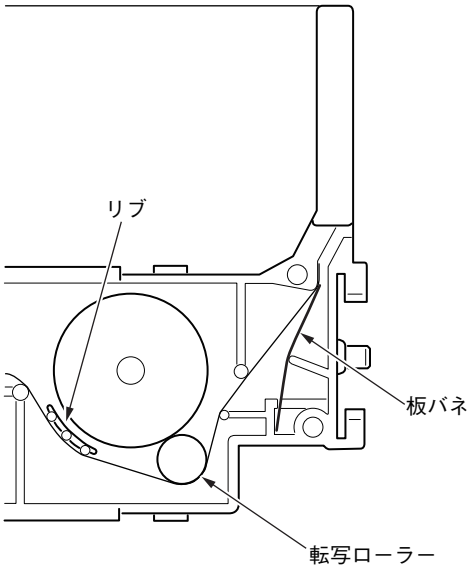
右側のアームの溝の内側を通し、左側のアームの溝を通します。



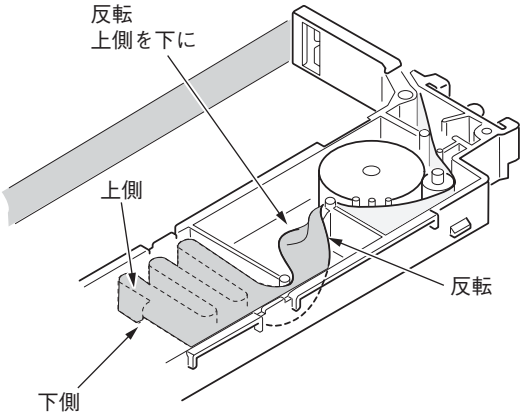
板バネを矢印方向に開き、板バネとリボンカートリッジの間を通します。
板バネは変形させないように、また、板バネが浮き上がらないように注意してください。



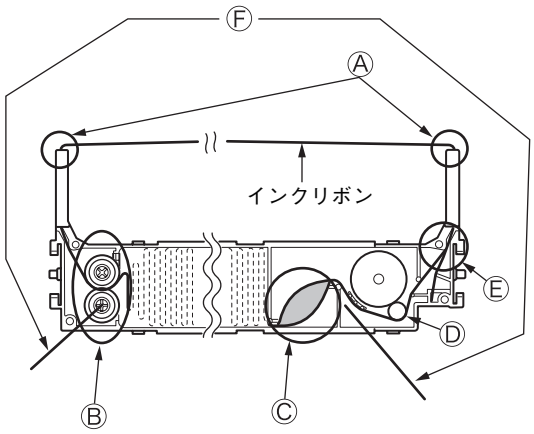
転写ローラーの外側を通します。さらにリブの外側を通します。



ねじれ部をセットします。

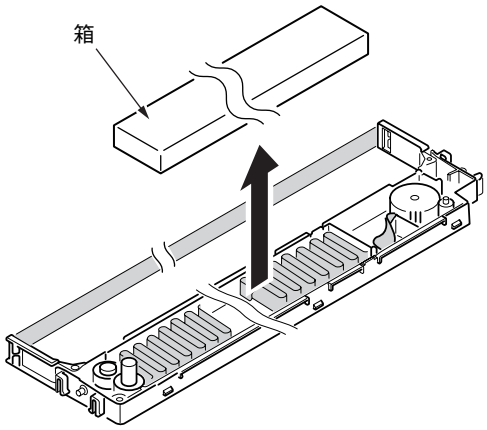


インクリボンのルートを確認します。

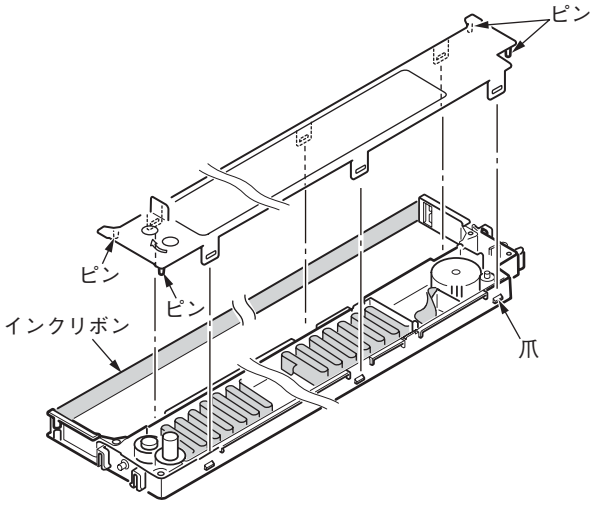


Ⓐ アーム部の溝にインクリボンが入っていること
Ⓑ ドライブギア A とドライブギア B の間をインクリボンが通っていること
Ⓒ インクリボンのねじれ部
Ⓓ 転写ローラーの外側およびリブの外側をインクリボンが通っていること
Ⓔ 板バネとリボンカートリッジケースの間にインクリボンが入っていること
Ⓕ この範囲でインクリボンにねじれのないこと

❺ リボンカートリッジからインクリボンが飛び出さないように、静かに箱を取り除きます。

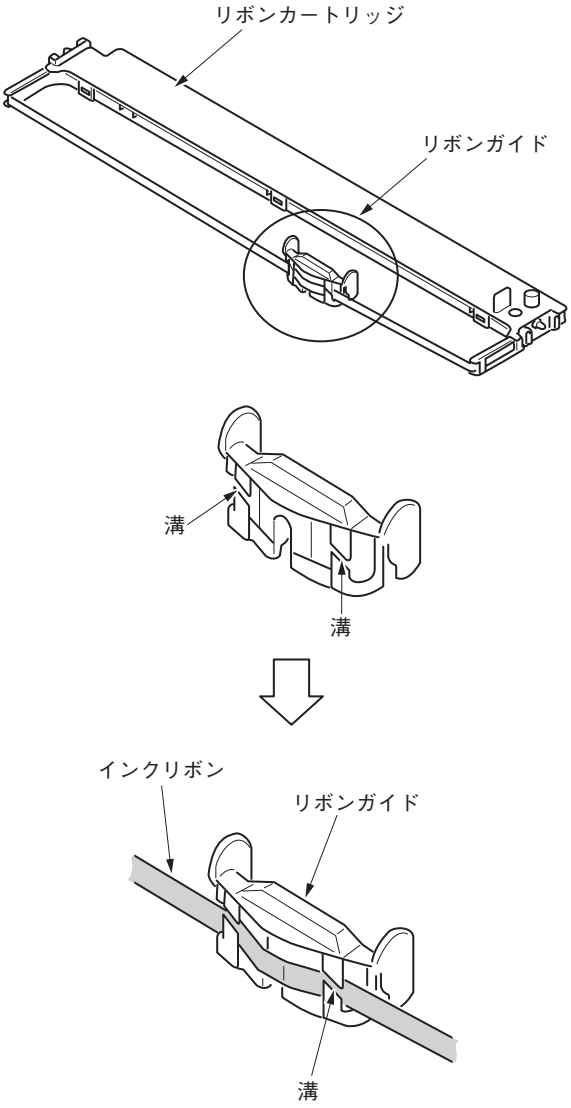


7 リボンカートリッジ内でインクリボンが折れたり、ねじれたりしていないか、また、ドライブギアA、ドライブギアB、転写ローラー、インクロール、板バネがリボンカートリッジケースから浮き上がっていないか確認してからふたを閉じます。



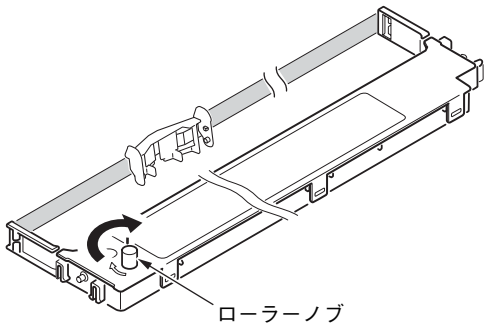
注
- 爪は、MICROLINE 5460HU2の場合、6ヵ所、MICROLINE 8460HU2の場合、10ヵ所あります。
- リボンカートリッジにはピンが 4 ヵ所あります。
  リボンカートリッジのふたを取り付ける時にピンを折らないように注意してください。
- インクリボン交換時、爪またはピンを破損させた場合は、破損したリボンカートリッジを使用しないでください。
  リボンづまりにより印字品位が乱れる場合があります。
  破損させた場合は、新しいリボンカートリッジを使用してください。
- 爪は確実にロックさせること。また、ピンは確実に奥まではめ込むこと。
  リボンづまりにより印字品位が乱れる場合がありますので注意してください。

8 リボンガイドの溝にインクリボンを通します。



9 ローラーノブを時計回り（矢印方向）に回してインクリボンのたるみをとります。

注
- ローラーノブを回したとき、インクリボンが動かなかったり、異常に鈍いときは、再度ふたを開けてインクリボンの経路を確認してください。
- ローラーノブを矢印の逆方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- インクリボン、インクロールの交換は 1 つのリボンカートリッジに対して 3 回までです。インクリボン、インクロールを 3 回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。交換の手順は「リボンカートリッジを取り付けます」(21 ページ) を参照してください。



10 使用済みインクリボン、インクロール、ホイールを処分します。

メモ
- 使用済みのインクリボンはナイロン製、インクロールは布製、ホイールはプラスチック製です。不燃物として処理してください。
- 使用済みのインクリボン、インクロール、ホイールの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」（177 ページ）をご覧ください。

プリンターのお手入れをします

◎ プリンターカバーの汚れは、中性洗剤を薄めた液にひたした布を、堅くしぼってふき取ってください。
◎ 堅い布やアルコール、シンナー、ベンジンなどでふかないでください。
◎ プリンター内部にごみやほこり、紙粉が目立つ場合は、掃除機などを使用して取り除いてください。

注 **ごみやほこり、紙粉がたまると、センサーの誤動作や用紙送り不良、印字乱れなどの原因になります。**

プリンターを良好な状態で使用できるように、定期的な清掃をしてください。
汚れにより、本来の機能が損なわれることがあります。

プリンター内部を清掃します

清掃

注
- 清掃は電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。
- 印字直後は印字ヘッドおよびその周辺が高温になっていますので、印字直後の清掃は避けてください。
- プリンターカバーは、中性洗剤をうすめた液にひたして堅くしぼった布で、汚れをふき取ってください。とくに、機械部品や電子部品を絶対ぬらさないように注意してください。
- 堅い布やアルコール、シンナー、ベンジンなど、揮発性のものを用いてふくと、傷が付いたり、表面が変色したり、変形したりする恐れがありますので注意してください。
- プリンター内部にごみやほこりが目立つ場合は、掃除機などを使って取り除いてください。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

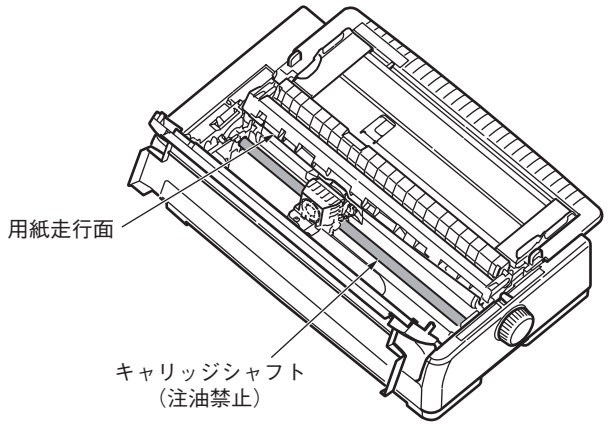
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

以下の項目にしたがって、定められた周期でプリンターの清掃を行ってください。
（その他のプリンター内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ：稼働時間が 6 か月または 300 時間の中でいずれか早いほう
所用時間 ：約 10 分
使用工具 ：ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、筆や綿棒、掃除機

清掃箇所	清掃内容
キャリッジシャフトおよび周辺	用紙くずを取り去り、汚れ、ほこり、リボンくずなどをふき取る。
用紙走行面	

注油



本プリンターはメンテナンスフリーの機械であり、運用途中での注油は不要です。
お客様での注油は絶対に行わないでください。
（プリンターの注油、分解についてはサービスマンにご依頼ください。）

カットシートフィーダーの清掃のしかた

清掃

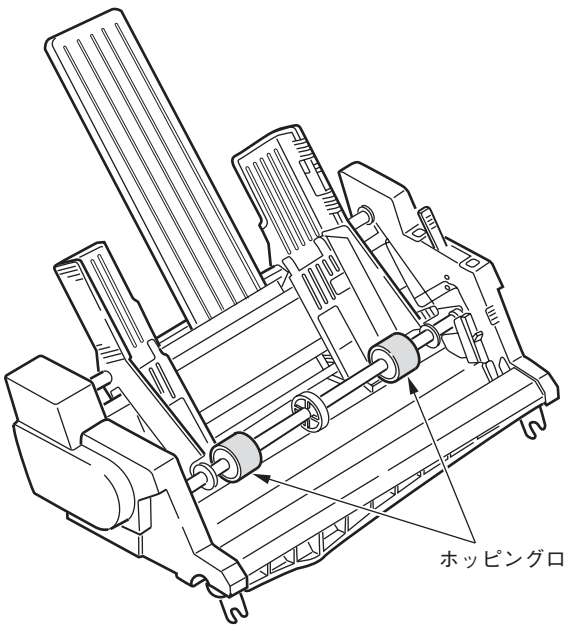
装置の設置環境 / 使用状況によりスキュー / ホッピングミスが発生する場合があります。その場合、以下の内容にてホッピングローラー汚れの清掃を行ってください。

注
- 清掃は電源スイッチを OFF にし、カットシートフィーダーを本体から外してから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。

以下の項目にしたがって、定められた周期でカットシートフィーダーの清掃を行ってください。
（本項目以外の清掃を行った場合には障害の発生する可能性がありますので行わないでください。なお、カットシートフィーダー内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ：稼働時間が 6 か月または 300 時間の中でいずれか早いほう
所用時間 ：約 5 分
使用工具 ：ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、アルコール（エタノール）

清掃箇所	清掃内容
左右一対のホッピングローラー	用紙くずを取り去り、油等の汚れ、ほこりなどをアルコール（エタノール）を軽く含ませたウエスで拭き取り、その後乾いたウエスでホッピングローラー面の乾拭きをしてください。



消耗品・オプション一覧

これらの消耗品およびオプション品は、販売店にて、型名を指定の上お求めください。

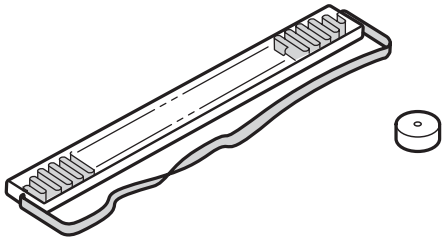
消耗品

インクリボン

注 インクリボンは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

インクリボンの寿命は、ML5460HU2 の場合は約 800 万字（高速度 ANK）、ML8460HU2 の場合は約 1300 万字（高速度 ANK）です。ただし、包装を解いたり、長時間放置していると短くなります。また、印字が薄くなったり、ほつれたりした場合は、早めに交換してください。
インクリボンは製造年月 1 年以内に使用してください。

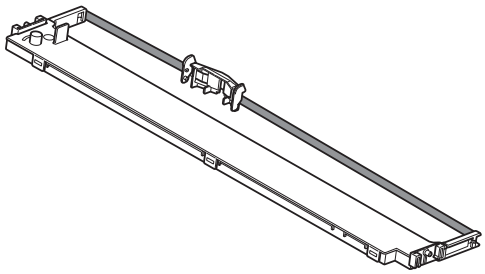
型名 : ML5460HU2 の場合、IRB-21-006（6 個入り）
ML8460HU2 の場合、IRB-22-006（6 個入り）



リボンカートリッジ

注
- リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- リボンカートリッジにはインクリボンおよびインクロールが入っています。
  インクリボン、インクロールを 3 回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。

型名 : ML5460HU2 の場合、RBC-21-001
ML8460HU2 の場合、RBC-22-001

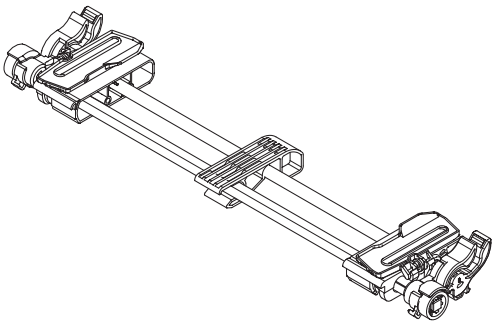


オプション品

プッシュトラクタ

プリンターの後部にはプッシュトラクタが標準装備されています。本オプションを取り付けることにより、前後それぞれに連続紙をセットして使用します。

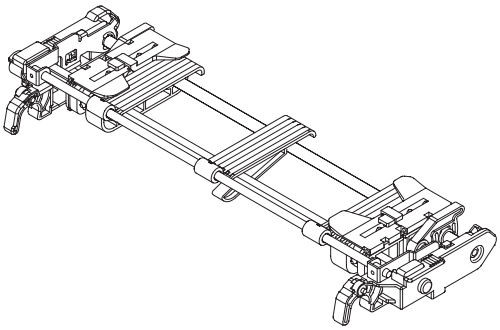
型名：ML5460HPST（MICROLINE 5460HU2）
ML8460HPST（MICROLINE 8460HU2）



プルトラクタ

連続紙をプリンターの前、後、下方向から引張方式で給紙します。

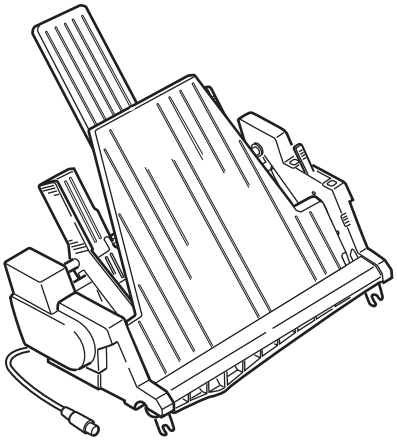
型名：ML5460HPLT（MICROLINE 5460HU2）
ML8460HPLT（MICROLINE 8460HU2）



カットシートフィーダー

単票、はがきを自動給紙します。

型名：ML5460HCSF（MICROLINE 5460HU2）
ML8460HCSF（MICROLINE 8460HU2）

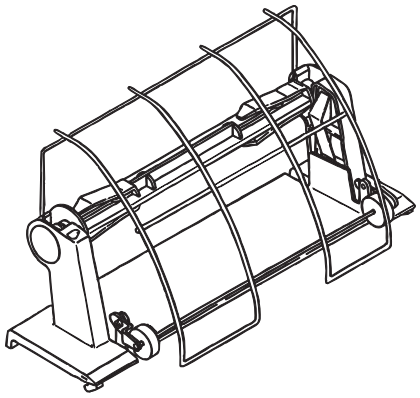


ロールペーパースタンド

ロール紙が使用できます。

注 MICROLINE 5460HU2 のみ取り付け可能です。

型名：ML5460HRPS（MICROLINE 5460HU2）

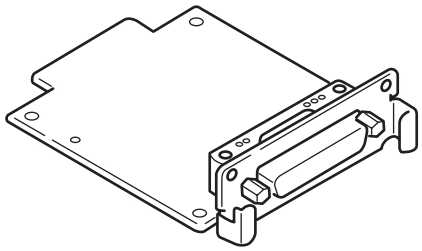


RS232C ボード

シリアルインターフェースに対応します。

注 ネットワークカードと同時実装はできません。

型名：MLRS232C-R3

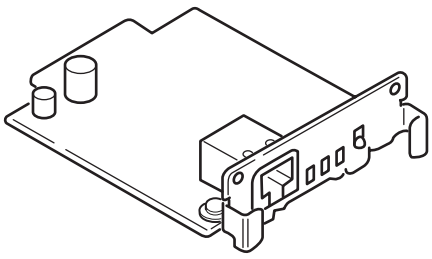


ネットワークカード

ネットワークに対応します。

注 RS232C ボードと同時実装はできません。

型名：LAN7120E3



プリンター仕様

印字方式	ドットマトリクスインパクト
ドットワイヤ径	0.2mm
ドットワイヤ数	24 ピン
印字方向	両方向印字
改行時間	4.23mm（1/6 インチ）改行のとき … 1 改行 約 46ms（保持時間除く）、約 53ms（保持時間含む）
改頁速度	約 139.7mm ／秒（5.5 インチ／秒）
紙送り制御	フォームフィード　　機能有り 垂直タブ　　機能有り ダイレクトスキップ　　機能有り
複写能力	通常モードの場合　オリジナル＋ 4 枚（用紙厚合計　0.36mm 以下） 高複写モードの場合　オリジナル＋ 5 枚（用紙厚合計　0.36mm 以下）
紙送り方向	リアパス方式、フロントパス方式、ボトムパス方式（オプション使用時）
紙送り方式	フリクションフィード方式 ピントラクタフィード方式
媒体仕様	「用紙規格および印字範囲」（63 ページ）を参照してください。
インクリボン （沖データ純正品）	カートリッジ ： 専用カートリッジ インク　　：黒単色 寿　命　　：ML5460HU2　10CPI　ドラフト ANK　800 万字 ML8460HU2　10CPI　ドラフト ANK　1300 万字
外形寸法	ML5460HU2　438mm (W) × 375mm (D) × 191mm (H) ML8460HU2　592mm (W) × 375mm (D) × 191mm (H) ※プラテンノブ／リアシートガイド／ゴム足／プルアップガイドを含む寸法です。
重　　量	ML5460HU2　約 7.7kg ML8460HU2　約 10kg
入力電源	単相交流　100V ± 10%（50/60Hz ± 2%）
消費電力	動作中 ： 最大 約 300W（ISO10561Letter（Roman, Range1）印字時 約 52W） 待機時（オプションなし）： 約 1.5W 以下（スリープモード時） 待機時（フルオプション）：約 3.7W 以下（スリープモード時）
電源コード	2 極 AC コード（アース線付） 長さ　約 2.0m
周囲温度・湿度	動作時 ： 5℃～ 35℃ , 20%～ 80% RH 保存時 ： － 10℃～ 50℃ , 5%～ 95% RH ただし、結露しない状態。保存時は、梱包状態とします。
塵埃・腐食性	一般事務室程度の環境で使用してください。
インターフェース	IEEE-std1284-1994 準拠双方向パラレルインターフェース（コンパチブルモード、ニブルモード） USB RS232C シリアルインターフェース（RS232C ボード：オプション） イーサネットインターフェース（100BASE-TX × 10BASE-T：オプション）
標準使用条件	10CPI Utility、印字 25% Duty（ページ文字密度 35%）
印字ヘッド寿命	4.5 億ストローク（ドットあたり）、3 億文字
装置寿命	5 年 または 12,000H 電源 ON 時間
騒　　音	58 dBA［ISO7779 印字パターン］（ドラフト ANK）

プリンターソフトウェア CD-ROM の内容

プリンターソフトウェア CD-ROM には、次のマニュアルが PDF 形式で収録されています。バージョン 5 以降の Acrobat に対応しています。Acrobat Reader は、アドビシステムズ社のホームページから無償でダウンロードできます。

- ML5460HU2_8460HU2setup.pdf
  ：ML5460HU2/8460HU2 ユーザーズマニュアル（セットアップと使い方編）です。（本書）
- ML5460HU2_8460HU2app.pdf
  ：ML5460HU2/8460HU2 ユーザーズマニュアル（活用編）です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップと使い方編と活用編を同じフォルダーに保存してご利用ください。

ユーザーサポートサービスについて

ユーザーサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンターの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンターソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

プリンターのご相談と修理について

プリンターの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンターに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　0120-654-632

（携帯電話からは＜ NAVI ダイヤル＞ 0570-055-654）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
（ 但し　祝日、年末年始等を除く ）

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンターのサポートサービスは（株）沖電気カスタマアドテック（OCA）が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a）当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b）お客様情報を統計的に集計･分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c）予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供、アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d）裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンターの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンター環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿購入日：＿＿＿＿年＿＿＿＿月
追加オプション：　なし　あり（　　）

コンピューター環境

☐ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿
☐ MacOS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐ パラレル　☐ USB　☐ RS232C　☐ ネットワーク
☐ TCP/IP　☐ IPX/SPX　☐ Ethertalk　☐ NetBEUI

プリンタードライバー

プリンタードライバー名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーション

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピューターの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿
プリンターの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない
他のコンピューターからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

消耗品を購入したい

プリンターをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

補修用部品の保有年数について

本プリンターの補修用部品の保有年数は、製造終了後５年間とさせていただきます。詳しくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）をご覧ください。

プリンターを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンターの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

使用済み製品の回収について

沖データでは使用済み製品を回収するシステムを構築しております。詳しくは、沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）をご覧ください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの沖データ製プリンターの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
このページをコピーし、必要事項を記入して Fax、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ１本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 0120-107995

沖データ回収センター　宛

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご担当者名　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご住所　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
お電話番号　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
回収ご希望日　　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラー	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　　個□

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センター
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

（MEMO）

索　引

C
CSF 107

L
LED ランプが点灯・点滅しているとき（アラーム表示がでたときは） 143

R
RS232C ボード 26, 138, 172
RS232C ボードの外観と各部の名称 26, 138
RS232C ボードの取り付け 26, 138
RS232C ボードの取り外し 27, 139

U
USB 接続で Windows にセットアップする 31
UPS（無停電電源） 24

あ行
頭出し位置 80
アラーム表示がでたとき 143
インクリボン 171
インクリボン交換 21, 161
印刷する 81, 84
印刷速度選択スイッチ 44
印刷できない 153
印字範囲 64, 69, 70, 72, 74, 75
印刷を停止する 86
印字可スイッチ 44
お客様相談センター 175
お客様登録 2
お客様登録の方法 2
お問い合わせチェックシート 176
オプション品について 107, 171

か行
カール、曲がり 67, 72, 73
改行 / 改頁スイッチ 44
改行精度 76
カット紙（単票）と連続紙の切り替え 62
カット紙（単票）をセットする 46, 110
カットシートフィーダー 107, 172
カットシートフィーダーの外観と各部の名称 107
カットシートフィーダーの取り付け、取り外し 107
カットシートフィーダーの清掃のしかた 170
紙づまりしたとき 144
紙ホッチキス 66
機能メニュー項目一覧 88
給紙 / 退避スイッチ 44
ケーブルを接続 29, 35
高静音印字 79
高速印字 96
コーナーカット 68
高複写印字 45, 96
個人情報の取り扱いについて 176

さ行
再生紙 75
修理 175
使用許諾契約 4
使用禁止の用紙 63
消耗品・オプション一覧 171
消耗品の回収 177
スイッチ機能 45, 103
スプロケット紙 64
スプロケット孔 67
スリープモード 45, 78
静音モード 79
清掃 168, 169, 170
製品の確認 18
設置条件 11
セットアップの流れ 17
節電スイッチ 44
操作パネル 43

た行
単票 69
単票を排出する 50
調整メニュー 100
通常印字 44
テスト印字 25
電源 13
電源コードを取り付ける 24
電源動作環境 13
点のり付け 66
動作環境 11, 13, 32, 36
とじ孔 68, 71
途中で印刷を停止するには 86

な行
ネットワークカード 27, 140, 172
ネットワークカードの外観と各部の名称 27, 140
ネットワークカードの取り付け 27, 140
ネットワークカードの取り外し 28, 141
ネットワークカードのセットアップ 30

は行
はがき 72, 73
はがきモード 44

パラレル接続で Windows にセットアップする.....35
複写紙.....70
複写紙の固定方法.....66
付属品の取り付け.....19
プッシュトラクタ.....112, 172
プッシュトラクタの取り付け、取り外し.....112
プリンター各部の名称.....15
プリンターソフトウェア CD-ROM の内容.....174
プリンタードライバー.....33, 37
プリンタードライバーの設定.....81
プリンタードライバーのインストール（パラレル接続）..37
プリンタードライバーのインストール（USB 接続）.....33
プリンタードライバーの動作環境.....32
プリンター仕様.....173
プリンター内部の清掃.....169
プリンターのお手入れ.....168
プリンターの廃棄.....177
プレプリント用紙.....63
プルトラクタ.....115, 172
フロントトラクタの外し方.....57

ま行

ミシン目.....66, 72
メニュー.....87
メニュー項目一覧.....88, 101
メニュー設定を確認する.....87, 100
メニュー設定を変更する.....99, 105
メニュー設定を初期化する.....106
メンテナンス.....159
問題が発生したとき.....152

や行

ユーザーサポートサービス.....175
用紙位置選択スイッチ.....44
用紙カットスイッチ.....44
用紙カットの方法.....59
用紙規格.....63
用紙切替レバー.....15
用紙の厚さに応じた調整方法.....77

ら行

ラベル紙.....74
ランプの表示.....43
リボンカートリッジ.....18, 171
リボンカートリッジの交換.....159
リアトラクタの外し方.....53
連続紙.....64
連続紙をセットする.....51
ロール紙.....75
ロール紙のセット.....136
ロールペーパースタンド.....134, 172
ロールペーパースタンドの外観と各部の名称.....134
ロールペーパースタンドの取り付け、取り外し.....134

MICROLINE 5460HU2/8460HU2

ユーザーズマニュアル(セットアップと使い方編)

発行日　2011年8月　第1版
発行者　株式会社 沖データ

44210112EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは 0570-055-654)

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

44210112EE Rev1